

(仮称) 大間町学校給食センター建設		工事特記仕様書																																							
<h3>I. 工事概要</h3> <p>1. 工事場所 青森県下北郡大間町大字大間字蝦浦道24、字冷水45-1、45-2、57-1、57-2、字狼丁37-2</p> <p>2. 敷地面積 2,307.21㎡</p> <p>3. 工事種目</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 工場 (給食センター) 鉄骨造 平屋建て</td> <td>新築</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>建築面積 591.60 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ面積 580.00 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) ゴミ庫 プレハブ 平屋建て</td> <td>新築</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>建築面積 5.42 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ面積 5.42 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 電気/発電機庫 鉄骨造 平屋建て</td> <td>新築</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>建築面積 55.06 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ面積 55.06 ㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 電気設備 (別図仕様書による)</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 機械設備 (別図仕様書による)</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 外構 第1期 (別冊による)</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 外構 第2期 (別冊による)</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 指定部分 有 無 対象部分 ( 年 月 日 )</p> <p>5. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 「3. 工事種目」のうち 工事範囲は下記のとおりとする。</p>			(1) 工場 (給食センター) 鉄骨造 平屋建て	新築	1棟	建築面積 591.60 ㎡			延べ面積 580.00 ㎡			(2) ゴミ庫 プレハブ 平屋建て	新築	1棟	建築面積 5.42 ㎡			延べ面積 5.42 ㎡			(3) 電気/発電機庫 鉄骨造 平屋建て	新築	1棟	建築面積 55.06 ㎡			延べ面積 55.06 ㎡			(4) 電気設備 (別図仕様書による)	一式		(5) 機械設備 (別図仕様書による)	一式		(6) 外構 第1期 (別冊による)	一式		(7) 外構 第2期 (別冊による)	一式	
(1) 工場 (給食センター) 鉄骨造 平屋建て	新築	1棟																																							
建築面積 591.60 ㎡																																									
延べ面積 580.00 ㎡																																									
(2) ゴミ庫 プレハブ 平屋建て	新築	1棟																																							
建築面積 5.42 ㎡																																									
延べ面積 5.42 ㎡																																									
(3) 電気/発電機庫 鉄骨造 平屋建て	新築	1棟																																							
建築面積 55.06 ㎡																																									
延べ面積 55.06 ㎡																																									
(4) 電気設備 (別図仕様書による)	一式																																								
(5) 機械設備 (別図仕様書による)	一式																																								
(6) 外構 第1期 (別冊による)	一式																																								
(7) 外構 第2期 (別冊による)	一式																																								
<h3>II. 建築工事仕様</h3> <p>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。</p> <p>○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。） ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と ○印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。</p>																																									
章	項目	特記事項																																							
1 各章共通事項	○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (Vo= 34 m/s) 地表面粗度区分 (・Ⅰ ○Ⅱ Ⅲ ・Ⅳ) ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ( 14 )																																							
	○ 環境への配慮 (1.4.1)	1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。																																							
2 仮設工事	○ 材料の品質等 (1.4.2)	1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 x11、a0、25、sm1、a1、t0:床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル(タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、錳鉄製ふた																																							
	○ 足場等 (2.2.4)	「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月24日）の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2)の手すり据置き方式又は3)手すり専用足場方式により行う。																																							
3 土工事	○ 埋戻し及び盛土 (3.2.3)	材料及び工法 ※標準仕様書表3.2.11による 種別 ・A種 適用場所 ( ) ・B種 適用場所 ( ) ・C種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・D種 適用場所 ( ) (品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) ・材料 ( ) 工法 ( )																																							
	4 5 6 7	特記仕様書（構造関係）による 4章 地業工事 5章 鉄筋工事 6章 コンクリート工事 7章 鉄骨工事																																							

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強コンクリートブロック造</li> <li>・コンクリートブロック 帳壁及び塀</li> <li>・ALCパネル</li> <li>・押出成形セメント板 (ECP)</li> </ul>
------------------------------------	--

(8.2.2、3、5、7、8)					
ブロックの種類等	正味厚さ (mm)	呼び呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考
断面形状及び圧縮強さによる区分	長さ	高さ	・無 ・有		
・					
・					
モルタルの割合（容積比） ※標準仕様書表8.2.11による ・セメント ( ) : 砂 ( ) 各部の配筋 ※図示による ・ 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まくさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による ・					
(8.3.2~4)					
ブロックの種類等	正味厚さ (mm)	呼び呼び寸法 (mm)	化粧の有無 (表8.3.1)以外	適用箇所	備考
断面形状及び圧縮強さによる区分	長さ	高さ	・無 ・有		
・					
・空洞ブロック C (16)			・無 ・有		
・型枠ブロック 20			・無 ・有		
モルタルの割合（容積比） ※標準仕様書表8.2.11による ・セメント ( ) : 砂 ( ) 罫に用いるブロックの正味厚さ (mm) 罫の高さが2m以下 ※120 2m超え ※150 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による ・ 各部の配筋 ※図示による ・					
(8.4.2~5)					
ALCパネルの区分等	単位荷重 (N/㎡)	厚さ (mm)	幅及び長さ (時間)	耐火性能	構造の種類
区分	正荷重	負荷重	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種
・外壁用	・一般	・平	・コーナー	・意匠	・C種 ・D種 ・E種
・間仕切	・一般	・平	・コーナー	・意匠	・なし ・1
・壁用	・一般	・平	・コーナー	・意匠	・なし ・1
・屋根用	—	—	—	—	図示による
・床用	—	—	—	—	図示による
パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・ 外壁、屋根パネルの構法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の耐風圧性能 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による 目地幅 (mm) (パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部) ※10~20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない					
(8.5.2~5)					
ECPの種類等	形状	長さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
パネルの種類					
・外壁パネル	・F	・50 ・60	・	※600	・A種 ・B種
	・D	・50 ・60	・	・	
	・T	60	・	・	
・間仕切壁パネル	・F	・50 ・60	・	※600	・B種 ・C種
	・D	・50 ・60	・	・	
	・T	60	・	・	
注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル 外壁パネルの工法における耐風圧性能 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の耐風圧性能 外壁パネル工法及び間仕切壁パネル工法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による パネル相互の目地幅 (mm) ・長辺 ( ) 短辺 ( ) 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する					
		孔あけ及び欠き込みの大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下		150mm以下	
	長辺	500mm以下		300mm以下	
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下		300mm以下	
	長辺	500mm以下		300mm以下	

(9.2.2~5) (表 9.2.3~9)																																															
屋根保護防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 ㊦</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td></td> <td>※アクリル系 厚さ0.15mm</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td></td> <td></td> <td>以上又はフラットタイプ</td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td></td> <td></td> <td>70g/㎡程度</td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-1</td> <td>(種類)</td> <td></td> <td>※アクリル系 70g/㎡程度</td> </tr> <tr> <td>・A1-2</td> <td></td> <td>※JIS A 9521に基づく押出法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-3</td> <td></td> <td>リフ レンゾル断熱材3種BA (スチレン付き)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-1</td> <td>(厚さ) (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ            ※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による            ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ            用途による区分            材料による区分 ※R種            厚さ ( ) mm以上            部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ            ※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による            ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ            用途による区分            材料による区分 ※R種            厚さ ( ) mm以上            立上り部への断熱材及び絶縁用シート            ・設置しない ・設置する            平場の保護コンクリートの厚さ            こて仕上げ ※水下 80mm以上            床タイル張り ※水下 60mm以上            立上り部の保護工法            ・乾式保護材 (品質・性能、試験方法は別表による)            営業系パネル1種 厚さ ( ) mm 幅 ( ) mm            ・れんが押え (※JIS R 1250 )            ・コンクリート押え            ・モルタル押え (屋内)</p>				種別	施工箇所	断熱材 ㊦	絶縁用シート	・A-1			※アクリル系 厚さ0.15mm	・A-2			以上又はフラットタイプ	・A-3			70g/㎡程度	・B-1				・B-2				・A1-1	(種類)		※アクリル系 70g/㎡程度	・A1-2		※JIS A 9521に基づく押出法		・A1-3		リフ レンゾル断熱材3種BA (スチレン付き)		・B1-1	(厚さ) (mm)			・B1-2			
種別	施工箇所	断熱材 ㊦	絶縁用シート																																												
・A-1			※アクリル系 厚さ0.15mm																																												
・A-2			以上又はフラットタイプ																																												
・A-3			70g/㎡程度																																												
・B-1																																															
・B-2																																															
・A1-1	(種類)		※アクリル系 70g/㎡程度																																												
・A1-2		※JIS A 9521に基づく押出法																																													
・A1-3		リフ レンゾル断熱材3種BA (スチレン付き)																																													
・B1-1	(厚さ) (mm)																																														
・B1-2																																															
屋根露出防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 ㊦</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td>・アクリル系</td> <td>※アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td>・の製造所</td> <td>・の製造所</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td></td> <td>標準仕様書9.2.2(9) (種類)</td> <td>の仕様</td> <td>の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ) (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ            ※標準仕様書表9.2.8による            ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ            用途による区分            材料による区分 ※R種            厚さ ( ) mm以上            部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ            ※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による            ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ            用途による区分            材料による区分 ※R種            厚さ ( ) mm以上            絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置            ※図示による            絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量            種類            ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定            ・            設置数量            ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定            ( ) 個</p>				種別	施工箇所	断熱材 ㊦	仕上塗料	高日射反射率				種類	使用量	・D-1			・アクリル系	※アクリル系	・D-2			・の製造所	・の製造所	・D1-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類)	の仕様	の仕様	・D1-2		(厚さ) (mm)																
種別	施工箇所	断熱材 ㊦	仕上塗料	高日射反射率																																											
			種類	使用量																																											
・D-1			・アクリル系	※アクリル系																																											
・D-2			・の製造所	・の製造所																																											
・D1-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類)	の仕様	の仕様																																											
・D1-2		(厚さ) (mm)																																													
屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層            ・設ける (※図示による )            ・設けない            E-1の工程3を行う部位            ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位            ・            防水層の下地の立上り            ※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種            ・            立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法            ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度            ・            防水層の下地のモルタル塗り            ・適用する (施工範囲 ※図示による )            ・適用しない            屋上排水溝            ※図示による            ・</p>				種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2																																					
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																												
・E-1		・E-2																																													

<p>改質アスファルトシート防水</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">防湿用シート</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS1-T1</td> <td></td> <td>標準仕様書</td> <td>設ける</td> <td></td> <td></td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>AS1-J1</td> <td></td> <td>9.3.2(3)(9) (改質アスファルトの種類) (厚さ) (mm)</td> <td>設けない</td> <td></td> <td></td> <td>適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ( ) 個</p> <p>合成高分子系ルーフィングシート防水</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料		高日射反射率防水	種類	使用量	AS-T1				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する	AS-T2				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する	AS-T3				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する	AS-T4				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する	AS-J1				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する	AS1-T1		標準仕様書	設ける			適用する	AS1-J1		9.3.2(3)(9) (改質アスファルトの種類) (厚さ) (mm)	設けない			適用する	<p>固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したものの</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ( ) 個</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 行う ( ) プレキャストコンクリート部材の入り部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合) 行う ( ) 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の ( ) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>防水層の種類 (9.5.3) (表 9.5.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X-1</td> <td></td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td></td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td></td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td>主材料の製造所の仕様</td> <td></td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y-2</td> <td>※屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td>適用する</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ( ) 個</p> <p>防水層の種類 (9.6.4) (表9.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-SUI</td> <td></td> <td>C-SUP</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の下地 壁 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種) 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)</p> <p>下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 図示による</p> <p>標準仕様書9.6.4(2)の(イ)、(ロ)以外の下地処理 図示による</p> <p>下表以外は、標準仕様書表 9.7.11による。(9.7.2、3、5) (表 9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合は11章に、カーテンウォール目地の場合は17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ( ) シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による 図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率防水	種類	使用量	X-1		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		適用する	X-2		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		適用する	Y-1	※地下外壁防水					Y-2	※屋内防水			適用する	適用しない	種別	施工箇所	種別	施工箇所	C-SUI		C-SUP		施工箇所	シーリング材の種類 (記号)									<p>セラゾタイト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の材料 取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 浸透性吸水防水剤 ※専門工事業者の指定する製品 石裏面処理材 ※専門工事業者の指定する製品 裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ 金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm</p> <p>アンカーの材質及び寸法 材質 ※SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 ドレンパイプ ・設ける(設置位置 図示による) ・設けない 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 ・流し筋工法 目地 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ※シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 図示による</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ・図示による</p>	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型			<p>目地寸法 ・</p> <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4) ※標準仕様書表10.2.4による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書表10.5.2(2)(7)による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の ( ) 倍の風圧力に対応した工法 シーリング材 種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地幅及び深さ</p> <p>浸透性吸水防水材 (10.6.2、3) (床石張り) ・適用する 石裏面処理 (床石張り) ・適用する 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 図示による</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 寸法等 引金物 ※標準仕様書表10.2.3による だぼ ※標準仕様書表10.2.3による かすがい ※標準仕様書表10.2.3による 受金物 ※標準仕様書表10.2.2(1)(4)による 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ※標準仕様書表10.2.4に準ずる (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ・図示による</p>
					種別	施工箇所		断熱材	防湿用シート	仕上塗料		高日射反射率防水																																																																																																															
種類	使用量																																																																																																																										
AS-T1				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
AS-T2				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
AS-T3				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
AS-T4				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
AS-J1				改質アスファルトの製造所の仕様	改質アスファルトの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
AS1-T1		標準仕様書	設ける			適用する																																																																																																																					
AS1-J1		9.3.2(3)(9) (改質アスファルトの種類) (厚さ) (mm)	設けない			適用する																																																																																																																					
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率防水																																																																																																																						
		種類	使用量																																																																																																																								
X-1		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		適用する																																																																																																																						
X-2		主材料の製造所の仕様	主材料の製造所の仕様		適用する																																																																																																																						
Y-1	※地下外壁防水																																																																																																																										
Y-2	※屋内防水			適用する	適用しない																																																																																																																						
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																								
C-SUI		C-SUP																																																																																																																									
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																										
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																						
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																																								
<p>塗膜防水</p> <p>ケイ酸質系塗布防水</p> <p>シーリング</p>	<p>防水層の種類 (9.5.3) (表 9.5.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X-1</td> <td></td> <td>X-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td>Y-2</td> <td>※屋内防水</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ( ) 個</p> <p>防水層の種類 (9.6.4) (表9.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-SUI</td> <td></td> <td>C-SUP</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の下地 壁 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種) 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)</p> <p>下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 図示による</p> <p>標準仕様書9.6.4(2)の(イ)、(ロ)以外の下地処理 図示による</p> <p>下表以外は、標準仕様書表 9.7.11による。(9.7.2、3、5) (表 9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合は11章に、カーテンウォール目地の場合は17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ( ) シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による 図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	X-1		X-2		Y-1	※地下外壁防水	Y-2	※屋内防水	種別	施工箇所	種別	施工箇所	C-SUI		C-SUP		施工箇所	シーリング材の種類 (記号)									<p>セラゾタイト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・6m程度 シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による</p>	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				<p>目地寸法 ・</p> <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4) ※標準仕様書表10.2.4による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書表10.5.2(2)(7)による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の ( ) 倍の風圧力に対応した工法 シーリング材 種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地幅及び深さ</p> <p>浸透性吸水防水材 (10.6.2、3) (床石張り) ・適用する 石裏面処理 (床石張り) ・適用する 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ・図示による</p>																																																																										
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																								
X-1		X-2																																																																																																																									
Y-1	※地下外壁防水	Y-2	※屋内防水																																																																																																																								
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																								
C-SUI		C-SUP																																																																																																																									
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																										
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																				
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																																							
<p>改質アスファルトシート防水</p> <p>合成高分子系ルーフィングシート防水</p>	<p>防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">可塑性移行防止シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S1-F1</td> <td></td> <td></td> <td>標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S1-F2</td> <td></td> <td></td> <td>標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S1-M1</td> <td></td> <td></td> <td>標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>S1-M2</td> <td></td> <td>※発泡ポリイソシアネート</td> <td>(厚さ) (mm)</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>M-フイグシートの製造所の仕様</td> <td>適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場の保護モルタル塗厚</th> <th>立上り部の保護モルタル塗厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>平場のモルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ※押し目地</p> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p>	種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	種類	使用量	S-F1				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S-F2				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S-M1				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S-M2				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S1-F1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S1-F2			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S1-M1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	S1-M2		※発泡ポリイソシアネート	(厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する	種別	施工箇所	保護層		平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚	S-C1			※7mm以下	<p>10 石工</p> <p>施工</p> <p>石材の割付け (10.1.3) ※図示による</p> <p>天然石 (10.2.1、3) (表 10.2.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>形状及び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・風除室</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・あり ・なし</p> <p>セラソブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類	備考	・風除室		・図示による				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				<p>外壁乾式工法</p> <p>外壁湿式工法</p> <p>外壁空積工法</p> <p>笠木、甲板等の石張り</p> <p>取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 特殊部位用金物 材質 ※SUS304 寸法等 引金物 ※標準仕様書表10.2.3による だぼ ※標準仕様書表10.2.3による かすがい ※標準仕様書表10.2.3による 受金物 ※標準仕様書表10.2.2(1)(4)による 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ※標準仕様書表10.2.4に準ずる (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.11による 目地寸法 ・図示による</p>																	
種別	施工箇所					可塑性移行防止シートの材質	断熱材		仕上塗料		高日射反射率防水																																																																																																																
		種類	使用量																																																																																																																								
S-F1				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S-F2				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S-M1				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S-M2				M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S1-F1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S1-F2			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S1-M1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (種類) (厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
S1-M2		※発泡ポリイソシアネート	(厚さ) (mm)	M-フイグシートの製造所の仕様	M-フイグシートの製造所の仕様	適用する																																																																																																																					
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																									
		平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																								
S-C1			※7mm以下																																																																																																																								
施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																						
・風除室		・図示による																																																																																																																									
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																				
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																																							

11  
タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 (11.1.3) (表11.1.1)

※標準仕様書表11.1.1による

・図示による

目地寸法

・図示による

・見本焼き  
試験施工 (11.1.4)

見本焼き

・行う (施工箇所： ) ・行わない

試験張り

・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、6)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	防汚	ぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性				
			適用	I類	II類	III類	施す	有	無	標準	特注	有	無	性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既設合モルタル (品質・性能、試験方法は別表による)

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既設合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理

※目荒し工法 (高圧水洗処理)

・MOR工法

・

壁タイル張りの工法

内外装タイル

・密着張り

・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル

・マスク張り

・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~5)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	防汚	ぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性				
			適用	I類	II類	III類	施す	有	無	標準	特注	有	無	性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

目地のシーリング材

打継ぎ目地

※ポリウレタン系シーリング材

ひび割れ誘発目地

※ポリウレタン系シーリング材

伸縮調整目地及びその他の目地

※変成シリコン系シーリング材

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理

※目荒し工法 (高圧水洗処理)

・MOR工法

・

外装タイルの目地詰め

・行う ・行わない

◎ 造作用集成材

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種	・	・
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種	・	・
		※A種	・ B種	・	・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下	・ A種 ・ B種	・
		※1等	※10%以下	・ A種 ・ B種	・
		※1等	※10%以下	・ A種 ・ B種	・

・JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		( )	・適用する	※A種 ・ B種	・
		造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用しない	・	・
		( )	・適用する	※A種 ・ B種	・
		造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用しない	・	・
		( )	・適用する	※A種 ・ B種	・
		造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用しない	・	・

・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
図示		杉			※1等 ・ 2等	・
					※1等 ・ 2等	・
					※1等 ・ 2等	・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・ 2等	・

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・
				※15%以下	・

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・

◎ 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する	・
				・適用しない	・
				・適用する	・
				・適用しない	・
				・適用する	・
				・適用しない	・

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下	・適用する	・
			※14%以下	・適用する	・
			※14%以下	・適用する	・
			※14%以下	・適用する	・

・合板等

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する	・適用しない
					・適用する	・適用しない
					・適用する	・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
					※12	・適用する ( )	・適用する ( )	・
	※2級以上	・1級	※1類 ・ 特類	※C-D以上	・	・適用する	・適用しない	・
						・適用する	・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・ 特類	・適用する	・
				・適用しない	・
				・適用する	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・ 2類	・適用する
				・適用しない
				・適用する

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・ 2類			・適用する
					・適用しない
					・適用する

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)

※隠し釘打ち

・釘頭埋め木

・つぶし頭釘打ち

・釘頭現し

諸金物 (※かすがい、座金、箱金、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) ・ (形状： 寸法： 材質： )

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)

※F☆☆☆☆

・防虫・防蟻処理 (12.3.1、2)

・防虫・防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位： ( )

・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・ K3 ・ K4
	・K2 ・ K3 ・ K4
	・K2 ・ K3 ・ K4

・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着材への混入による防虫・防蟻処理

適用部位 ( )

・合板等の加圧注入処理の適用

適用部位 ( )

・内部間仕切軸組及び床組み (12.4.1)

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

※杉又は松

・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

※杉又は松

・窓、出入口その他 (12.5.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

※吊元幹、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

・床板張り (12.6.1)

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

※ひのき

・壁及び天井下地 (12.7.1)

・壁脚線、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

※杉又は松

◎ 長尺金属板葺 (13.2.2、3)

施工箇所	板及び型材の種類	塗膜の耐久性の種類、めつき付着量	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考
屋根	※JIS G 3322の xsm1.19: 用 (着色 ・ 有)	・5類 (AZ150)	xsm1.19: 0.4 ○0.5	・心木なし瓦葺葺 ○立平葺 ・ 樋掛葺 ・ 横葺	

下葺材料

・アスファルトルーフィング 940

◎ 改質アスファルトルーフィング下葺材

( ・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)

積貫きの場合のけらば納め

・つかみ込み納め

・けらば包み納め

工法

1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

止止め

・設置する (形状及び施工箇所 ・ 図示による )

・設置しない

(13.2.2) (13.3.2.) (表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山C'ffによる区分	山高、山C'ffによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・ はせ縁め形 ・ かな合形			( )種	※鋼板製 ・ 75:75合板製		・有り ・ 無し	・30分 ・ 無し

材料

折板の材質の種類 (※JIS G 3302の屋根用 (着色 ・ 有) )

塗膜の耐久性の種類、めつき付着量 ( ・ 5類 (AZ150) )

断熱材張り

・行う (断熱材の種類： 厚さ (mm)： 防火性能： )

・行わない

工法

1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

耐火性能に対応した工法の適用

・適用する

・適用しない

折板のけらば納め

※けらば包みによる方法

止止め

・設置する (形状及び施工箇所 ・ 図示による )

・設置しない

(13.4.2、3)

施工箇所	種類			産地	役物瓦の種類	止止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分			
						・適用する
						・適用しない
						・適用する
						・適用しない

葺瓦の防災瓦の使用 ・ 適用する ・ 適用しない

JIS A5208に基づく凍害試験等

・行う ・行わない

○ とい	<p>瓦棧木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm) 瓦緊結用釘及びねじ 種類 ( ) 径 ( ) 長さ ( ) 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ※図示による 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1) ・1.15) ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による 瓦棧木の留付け工法 ※図示による 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟 ・のし積み 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺き用しゅくい</p> <p>といその他の材種 (13.5.2、3) (表 13.5.4) ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン ・表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 ) ○ステンレス とい受金物 材種 ※標準仕様書13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの) 形状 ※市販品 (とい径 100 以下) ・25×4.5(mm)以上 (とい径 100 を超えるもの) 取付け間隔 ※標準仕様書13.5.2による 足金物 材種 ※標準仕様書13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの) 形状 ※市販品 取付け間隔 ※標準仕様書13.5.2による 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 鋼管製といの防露巻き ※標準仕様書表13.5.4による ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ハルコニー中継用</td> <td>・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ハルコニー用</td> <td>・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・ハルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100		・ハルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100		<p>・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表 14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 溶融亜鉛めっき</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 電気亜鉛めっき</td> <td>・ E種 ・ F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表 14.4.1)</p> <p>野縁等の種類 (14.4.2~4) (表 14.4.1) 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔 周辺部の端からの間隔 野縁の間隔 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ・図示による ) (補強方法 ※図示による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1章 適用区分による風圧力の (・1) ・1.15) ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>○ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3、4) (表 14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類 (14.5.3、4) (表 14.5.1) ※標準仕様書表14.5.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4、(5)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・押し ・ロール</td> <td>スハドレ形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ニウム</td> <td>・プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示による 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示による ) ・設けない 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1章 適用区分による風圧力の (・1) ・1.15) ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>・ アルミニウム製笠木 (14.7.2、3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 250形</td> <td>・ 300形</td> <td>・ 350形</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面処理 種別 ( ) 種 色合等 ・標準色 ( ) ・特注色 ( ) 笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の (・1) ・1.15) ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	・ 溶融亜鉛めっき	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種		・ 電気亜鉛めっき	・ E種 ・ F種		種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミニウム	・押し ・ロール	スハドレ形					・ニウム	・プレス	パネル形					種類	形状	寸法	・ 250形	・ 300形	・ 350形	<p>ラスの材料 種類及び記号 ( ) 単位面積当たりの質量 ( ) ラスシートの材料 ラス目による区分 (※M ) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・LS4(建築基準法に基づく耐力壁) ) ステーブルの形状及び寸法 ( ) 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工</p> <p>・ セッコボード その他のボード下地 (15.2.5)</p> <p>・ こまい下地 (15.2.6)</p> <p>・ 木ずり下地 (15.2.7)</p> <p>・ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)</p> <p>内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材Si</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り ・吹付け</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け ・吹付け</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C ・内装薄塗材L</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E</td> <td>・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材G</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料	・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・	・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り	・適用する	・	・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け	・適用する	・	・外装薄塗材S	・砂壁状 ・凹凸状	・吹付け ・吹付け	・適用する	・	・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・	・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・	・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・適用する	・	・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	・	・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・適用する	・	・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・	・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・	<p>・ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 軽量骨材仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・吹付け用軽量塗材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・こて塗り用軽量塗材</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 (15.7.2) ・A種 ・B種</p> <p>ロックウール吹付け (15.12.2、3) ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ ・図示による ・25mm ・しゅくい塗り (15.10.2~4) しゅくい ・既調合材料 色しゅくい ・適用する ・適用しない ・現場調合材料 下地 ・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい ・下塗りをせっこうプラスターと上塗りに使用する場合 ・既調合しゅくいの調合 ・せっこうボード下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・モルタル塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2 ・せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による 現場調合しゅくいの調合及び各層の塗厚 ・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3 ・せっこうプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4 既調合しゅくいの上塗り仕上げ工法 ・なで切り仕上 ・パターン仕上げ ・のり (15.11.2~5、7、8) ・土壁用ののり ※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海菜 ・砂壁用ののり ※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・色土 ・土物仕上に用いる色土の種類 ( ) ・大津仕上に用いる色土の種類 ( ) 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したのもの 下塗りの調合 ※標準仕様書表15.11.2 ・塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ( ) こまい壁の工程 ※A種 ・B種</p>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料	・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・	・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・	・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・	種類 (呼び名)	防火材料	・吹付け用軽量塗材	・	・こて塗り用軽量塗材	・
	種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																												
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																												
・ハルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																												
・ハルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50 ・80 ・100 ・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																												
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																											
・ 溶融亜鉛めっき	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種																																																																																																																																																																												
・ 電気亜鉛めっき	・ E種 ・ F種																																																																																																																																																																												
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																																																																																																																																																								
					種別	色合い等																																																																																																																																																																							
・アルミニウム	・押し ・ロール	スハドレ形																																																																																																																																																																											
・ニウム	・プレス	パネル形																																																																																																																																																																											
種類	形状	寸法																																																																																																																																																																											
・ 250形	・ 300形	・ 350形																																																																																																																																																																											
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																									
・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・凹凸状	・吹付け ・吹付け	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・																																																																																																																																																																									
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・適用する	・																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	・																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・適用する	・																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料																																																																																																																																																																								
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・																																																																																																																																																																								
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・																																																																																																																																																																								
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	防火材料																																																																																																																																																																												
・吹付け用軽量塗材	・																																																																																																																																																																												
・こて塗り用軽量塗材	・																																																																																																																																																																												
14 金属工事	<p>・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ AB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ AB-2種</td> </tr> <tr> <td>・ AC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ AC-2種</td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ BA-2種</td> </tr> <tr> <td>・ BB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ BB-2種</td> </tr> <tr> <td>・ BC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ BC-2種</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色</p>	種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・ AB-1種	・標準色 ・特注色		・ AB-2種	・ AC-1種	・標準色 ・特注色		・ AC-2種	・ BA-1種	・標準色 ・特注色		・ BA-2種	・ BB-1種	・標準色 ・特注色		・ BB-2種	・ BC-1種	・標準色 ・特注色		・ BC-2種	・ C種	・標準色 ・特注色		<p>・ モルタル塗り (15.3.2、5)</p> <p>モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示による ) ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) 目地の種類 ※押し目地 ・設けない 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹付け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない 防水剤 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>・ ラス下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地 (15.2.4) ・二層下地通気構法 ・単層下地通気構法 換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2) (9) ) ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地</p>																																																																																																																																																	
種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																																																																																																																											
・ AB-1種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												
・ AB-2種																																																																																																																																																																													
・ AC-1種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												
・ AC-2種																																																																																																																																																																													
・ BA-1種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												
・ BA-2種																																																																																																																																																																													
・ BB-1種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												
・ BB-2種																																																																																																																																																																													
・ BC-1種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												
・ BC-2種																																																																																																																																																																													
・ C種	・標準色 ・特注色																																																																																																																																																																												

	<p>こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土物仕上げ工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>水ごね土物1工法</li> <li>水ごね土物2工法</li> <li>のりさし土物工法</li> <li>のりごね土物工法</li> <li>砂壁仕上げ工法</li> <li>切返し仕上げ工法</li> </ul> </li> </ul> <p>こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通大津仕上げ工法</li> <li>大津みがき仕上げ工法</li> </ul> <p>ちりじゃくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による</li> </ul>		<p>材料</p> <p>ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※複層ガラス（組合せは建具表による）</li> </ul> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示による</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する</p>		<p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</li> </ul> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ</p> <p>※HL ・鏡面仕上げ</p> <p>工法</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※普通曲げ</li> <li>・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））</li> <li>・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））</li> </ul>	<p>◎ 自動ドア開閉装置</p>	<p>戸の開閉方式 (16.9.2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表による</li> <li>・引き戸用駆動装置</li> </ul> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.9.1（防錆 ・適用する ・適用しない）</li> <li>・以下による</li> <li>種類・開閉方式 ( )</li> <li>耐電圧 ( )</li> <li>温度上昇 ( )</li> <li>耐久性（サイクル）( )</li> <li>防錆 ( )</li> <li>電源 ( )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置</li> </ul> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.9.2（防錆 ・適用する ・適用しない）</li> <li>・以下による</li> <li>耐電圧 ( )</li> <li>温度上昇 ( )</li> <li>耐久性（サイクル）( )</li> <li>防錆 ( )</li> <li>電源 ( )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き戸用検出装置</li> </ul> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.9.3（防錆 ・適用する ・適用しない）</li> <li>・以下による</li> <li>耐電圧 ( )</li> <li>防錆 ( )</li> <li>防油 ( )</li> <li>電源 ( )</li> </ul> <p>引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表による</li> <li>タッチスイッチの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</li> </ul> </li> <li>車椅子使用者用便房スイッチの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ</li> </ul> </li> </ul> <p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う ・行わない</li> </ul>																									
<p>16 建具工事</p>	<p>・ 防火戸 (16.1.3)</p> <p>・ 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>・ 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>◎ アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2)</p> <p>性能値等 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2)</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>気密性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>水密性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・B種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・C種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・D種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・E種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> </ul> <p>枠の見込み寸法 ( ・ 建具表による )</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</li> </ul> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BB-1 ・BB-2 (標準仕様書表14.2.1)</li> </ul> <p>着色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準色 ・特注色</li> </ul> <p>屋内の建具</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BC-1 ・BC-2 (標準仕様書表14.2.1)</li> </ul> <p>着色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準色 ・特注色</li> </ul> <p>結露水の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水貯め式 ・排水式</li> </ul> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> <li>木下地の場合の内付け建具</li> <li>・適用しない ・適用する</li> </ul> <p>・ 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1" data-bbox="276 1465 789 1564"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16～18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2～5) (表16.3.1～3)</p> <p>性能値等 (16.2.5) (16.3.2～5) (表16.3.1～3)</p> <p>耐風圧性の等級 ( )</p> <p>気密性の等級 ( )</p> <p>水密性の等級 ( )</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・B種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・C種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・D種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・E種 (建具符号 ・ 建具表による )</li> </ul> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ・T-1 ・T-2 ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱性の等級 ( ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>◎ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2～4) (16.4.6) (表16.4.2)</p> <p>性能値等 (16.2.2) (16.4.2～4) (16.4.6) (表16.4.2)</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</li> </ul> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.4.2による</li> <li>・使用箇所 ( )</li> </ul> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p> <p>性能値等 (16.2.2) (16.5.2～4) (16.5.6) (表16.5.1)</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜鉛めっき鋼板</li> <li>・ビニル被覆鋼板</li> <li>・カラー鋼板</li> <li>・ステンレス鋼板</li> </ul> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</li> </ul> <p>召合わせ、縦小口包み板の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※鋼板</li> </ul> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.5.11による</li> <li>・使用箇所 ( )</li> </ul> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法</p> <p>※建具表による</p> <p>性能値等 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2～5)</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号 ・ 建具表による )</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p>	<p>・ 木製建具 (16.7.2～4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)</p> <p>※A種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・ フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放散量等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.7.2(2)(d)(a)による</li> </ul> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1" data-bbox="973 535 1484 787"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 ( )</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板 ( )</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工 化粧合板 ( )</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF ( )</td> <td>接着の程度 ( ・1類 ・2類 )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※表16.7.6による</li> </ul> <p>引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用しない</li> <li>・適用する</li> </ul> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( )</p> <p>見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 ( ・I型 ・II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥の子</li> <li>・新鳥の子又はビニル紙程度</li> </ul> <p>縁仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗り縁</li> <li>・生地縁 (素地)</li> <li>・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)</li> </ul> <p>見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま</p> <p>表面板の仕上 ・建具表による</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表による</li> </ul> <p>◎ 建具用金物 (16.8.2、3) (表16.8.1～5)</p> <p>金物の種類及び見え掛りの材質等 (16.8.2、3) (表16.8.1～5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による</li> </ul> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.8.2による</li> <li>・建具表による</li> </ul> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.8.3による</li> <li>・建具表による</li> </ul> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.8.4による</li> <li>・建具表による</li> </ul> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.8.5による</li> <li>・建具表による</li> </ul> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表による</li> </ul> <p>・ シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>◎ 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎製作する ・製作しない</li> </ul> <p>鍵の製作本数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※各室3本1組 (室名札付き)</li> </ul> <p>鍵箱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※有り ・無し</li> </ul>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 ( )	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )		・天然木 化粧合板 ( )	樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )		・特殊加工 化粧合板 ( )	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板		・MDF ( )	接着の程度 ( ・1類 ・2類 )		<p>◎ 建具用金物 (16.8.2、3) (表16.8.1～5)</p> <p>◎ 鍵 (16.8.4)</p>	<p>◎ 閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) (表16.10.1)</p> <p>性能値等 (16.10.3) (表16.10.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表16.10.1</li> <li>・以下による</li> <li>手動開き力 ( )</li> <li>手動閉じ力 ( )</li> <li>閉じ速度の調整 ( )</li> <li>制動区間 ( )</li> <li>開閉繰返し ( )</li> <li>耐衝撃性 ( )</li> </ul> <p>・ 重量シャッター (16.11.2、3)</p> <p>シャッターの種類 (16.11.2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理用シャッター</li> <li>・外壁用防火シャッター</li> <li>・屋内用防火シャッター</li> <li>・防煙シャッター</li> </ul> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) pa</p> <p>開閉方式の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※電動式 (手動併用) ・手動式</li> </ul> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設ける ・設けない</li> </ul> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</li> </ul> <p>めっきの付着量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※Z12又はF12</li> </ul> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</li> </ul> <p>◎ 軽量シャッター (16.12.2～4)</p> <p>開閉方式の種類 (16.12.2～4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※手動式</li> <li>・電動式 (手動併用)</li> </ul> <p>耐風圧強度 ( ) pa</p> <p>安全装置</p> <p>電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>スラットの材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>めっきの付着量 (※Z06又はF06 )</li> <li>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>めっきの付着量 (※A290 )</li> </ul> <p>スラットの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターロッキング形</li> <li>・オーバーラッピング形</li> </ul>
種類	材質	線径	網目																													
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ																													
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																													
合板の種類	規格等	備考																														
・普通合板 ( )	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )																															
・天然木 化粧合板 ( )	樹種名 ( ) 接着の程度 ( ・1類 ・2類 )																															
・特殊加工 化粧合板 ( )	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板																															
・MDF ( )	接着の程度 ( ・1類 ・2類 )																															

<p>・ オーバーヘッドドア</p> <p>○ ガラス</p>	<p>(16.13.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による強さの区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 (9.7) (16.14.2~4) (図16.14.1) ・ 建具表による</p> <p>・ 型板ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>・ 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による</p> <p>・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・ 建具表による</p> <p>・ 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類</p> <p>・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・ 建具表による</p> <p>・ 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類</p> <p>・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>・ 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種</p> <p>○ 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ○ 建具表による</p> <p>・ 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</p> <p>・ 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ○S</p> <p>・ 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>・ 日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</p> <p>・ 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・ A類 ・ B類</p> <p>・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2) (9.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材の種類</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">アルミニウム製</td> <td>・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル</td> <td>※建具製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ シーリング材</td> <td>※建具製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※建具製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>※建具製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">樹脂製</td> <td>・ グレイジングガスケット</td> <td>※建具製造所の仕様による ・ 図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p>	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル	※建具製造所の仕様による ・ 図示による	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による	ステンレス製	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による	樹脂製	・ グレイジングガスケット	※建具製造所の仕様による ・ 図示による			<p>・ ガラスブロック積み</p> <p>(16.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・ 160×160</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 200×200</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 (17.3.2~6) (表17.3.1、2) 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 160×160	・ 95					・ 200×200	・ 95					<p>・ PCカーテンウォール</p> <p>17 カーテンウォール工事</p> <p>・ 取付け形態、性能等 (17.1.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>耐火性</th> <th>耐震性能</th> <th>耐温度差性 (°C)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 30分 ・ 1時間</td> <td>・ 80 ・ 70 ・ 60</td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け形態による分類 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式</p> <p>性能</p> <p>耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける</p> <p>金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6) ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による</p> <p>ガラスの取付け材料 ・ シーリング種類 (・SR-2 ・SR-1) ・ 構造ガスケット 形状、寸法等 ※図示による</p> <p>断熱材 種類及び範囲 ※図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.11による</p> <p>見え掛かり部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様</p>	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐震性能	耐温度差性 (°C)					・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60		支点間距離 (h)	耐風圧性能	4m以下	・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること	4mを超える		<p>取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の心の通り ※±3mm 目地側の段差 ※±3mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±3mm</p> <p>耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による</p> <p>ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持</p> <p>材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ) 品質 設計基準強度 (Fc) ※30N/? スランプ ※12cm 気乾単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/?を超え2.5t/?以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8 t/ m3~2.1 t/ m3 単位水量の最大値 ※185kg/?</p> <p>鉄筋 種類の記号 ※SD295 補強鉄線 径 (mm) ・ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 網目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・ 構造ガスケット 形状、寸法等 ※図示による</p> <p>耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による</p> <p>断熱材 種類 ( ) 種類及び範囲 ※図示による</p> <p>先付け金物の材料 ・ 表面仕上材 ・ セラミックタイル ・ 石材 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール</p> <p>形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ※±3mm 対角線長の差 ※0~5mm 版厚 ※±2mm 開口部内法寸法 ※±2mm ねじれ、反り ※0~5mm 曲がり ※0~3mm 面の凸凹 ※0~3mm</p> <p>先付け金物の位置 ※±5mm</p> <p>PCカーテンウォールの仕上げ ・ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ※図示による</p> <p>製作 PC版の配筋 ※図示による</p> <p>取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±5mm 目地の心の通り ※0~3mm 目地側の段差 ※0~4mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±5mm</p> <p>ガラスの取付け方法 ・ ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う</p>	<p>18 塗装工事</p> <p>○ 材料</p> <p>○ 素地ごしらえ</p> <p>・ 錆止め塗料塗り</p> <p>○ 塗装</p> <p>○ 接着剤</p> <p>○ 下地の工法</p> <p>・ ビニル床シート</p>	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所: )</p> <p>(18.2.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※C種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td></td> <td>※C種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DPのみ)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び</td> <td>目地: 継目処理工法</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> </table> <p>(18.3.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>錆止め塗料の種類</th> <th>錆止め塗料塗りの工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>A種</td> <td>見え掛り: A種 見え隠れ: B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>C種及びD種</td> <td>表18.3.4</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>見え掛り: A種 見え隠れ: B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>鋼製建具等: A種 上記以外: B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>B種</td> <td>表18.3.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EP-G</td> <td>C種</td> <td>鋼製建具等: A種 上記以外: B種</td> </tr> </table> <p>(18.4.1~18.12.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> <th>高日射反射率塗料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>高日射反射率塗料</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>高日射反射率塗料</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>高日射反射率塗料</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 押出成形セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面 せつこうプaster面 その他ボード面等</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ ステン塗り</td> <td>・ ビグメント ・ ステン塗り ・ オイルステン塗り (OS)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>高日射反射率塗料 <input checked="" type="checkbox"/> を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。 クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤形着色剤 ・ 油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色剤の適用 ・ 適用しない ・ 適用する オイルステン塗りの工程等</p> <p>(19.2.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p>	下地面等		種別		木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・ B種	透明塗料塗りの場合	※C種	・ A種	鉄鋼面 (DP以外)		※C種	・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DPのみ)		※B種	・ A種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種	モルタル面及びせつこうプaster面		※B種	・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種	・ A種	押出成形セメント板面		※B種	・ A種	コンクリート面 (DPのみ)		※A種	・ B種	せつこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※A種	・ B種	その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種	・ A種	下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程	鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種	DP	C種及びD種	表18.3.4	EP-G	※B種 ・ A種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種	亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・ B種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種	DP	B種	表18.3.6		EP-G	C種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種	塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	—	木部屋内	※B種 ・ A種	—	・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	高日射反射率塗料	亜鉛めっき鋼面	—	—	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	—	高日射反射率塗料	・ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	—	高日射反射率塗料	コンクリート面 押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種	—	○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	—	—	モルタル面 せつこうプaster面 その他ボード面等	※B種 ・ A種	—	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—	亜鉛めっき鋼面	—	—	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—	・ ステン塗り	・ ビグメント ・ ステン塗り ・ オイルステン塗り (OS)	—	—	・ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0		<p>19 内装工事</p> <p>○ 接着剤</p> <p>○ 下地の工法</p> <p>・ ビニル床シート</p> <p>ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) ※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示による</p> <p>標準仕様書19.2.3(7)~(9)以外の下地の工法 (19.2.3) ・ 図示による</p> <p>(19.2.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0	
	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																																																																																																																																																				
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																					
建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																							
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル	※建具製造所の仕様による ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																							
	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																							
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																							
ステンレス製	・ シーリング材	※建具製造所の仕様による ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																							
樹脂製	・ グレイジングガスケット	※建具製造所の仕様による ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																							
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																				
・ 160×160	・ 95																																																																																																																																																																																																																								
・ 200×200	・ 95																																																																																																																																																																																																																								
水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐震性能	耐温度差性 (°C)																																																																																																																																																																																																																			
				・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60																																																																																																																																																																																																																				
支点間距離 (h)	耐風圧性能																																																																																																																																																																																																																								
4m以下	・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること																																																																																																																																																																																																																								
4mを超える																																																																																																																																																																																																																									
下地面等		種別																																																																																																																																																																																																																							
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																						
	透明塗料塗りの場合	※C種	・ A種																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面 (DP以外)		※C種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面 (DPのみ)		※B種	・ A種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																						
モルタル面及びせつこうプaster面		※B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																						
押出成形セメント板面		※B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (DPのみ)		※A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																						
せつこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																						
その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																						
下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種																																																																																																																																																																																																																						
	DP	C種及びD種	表18.3.4																																																																																																																																																																																																																						
	EP-G	※B種 ・ A種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種																																																																																																																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・ B種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種																																																																																																																																																																																																																						
	DP	B種	表18.3.6																																																																																																																																																																																																																						
	EP-G	C種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種																																																																																																																																																																																																																						
塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																						
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	—																																																																																																																																																																																																																						
	木部屋内	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																						
・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	—	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																						
	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																																																																																																																																																						
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	—	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																						
・ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	—	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																						
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種	—																																																																																																																																																																																																																						
○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	—	—																																																																																																																																																																																																																						
	モルタル面 せつこうプaster面 その他ボード面等	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																						
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																						
	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																																																																																																																																																						
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																						
・ ステン塗り	・ ビグメント ・ ステン塗り ・ オイルステン塗り (OS)	—	—																																																																																																																																																																																																																						
・ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																						
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																						
※FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																						
※FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																							

○ ビニル床タイル	(19. 2. 2)																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※KT (コブ・ジョビニル床タイル)</td> <td rowspan="5">・無地 ・柄物</td> <td>・300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・500×500</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コブ・ジョビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300	※2.0		・TT (単層ビニル床タイル)	・450×450	・2.5		・FT (複層ビニル床タイル)	・500×500	・3.0		・FOA (置敷きビニル床タイル)	・	・		・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・	・																																			
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																									
※KT (コブ・ジョビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300	※2.0																																																										
・TT (単層ビニル床タイル)		・450×450	・2.5																																																										
・FT (複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0																																																										
・FOA (置敷きビニル床タイル)		・	・																																																										
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)		・	・																																																										
・特殊機能床材	(19. 2. 2)																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>帯電防止床シート           <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>性能 ( )</li> <li>厚さ (mm) ( )</li> </ul> </li> <li>帯電防止床タイル           <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>性能 ( )</li> <li>寸法 (mm) ( × )</li> <li>厚さ (mm) ( )</li> </ul> </li> <li>視覚障害者用床タイル           <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。</li> <li>種類 ( )</li> <li>形状 ( )</li> </ul> </li> <li>耐動荷重性床シート           <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>厚さ (mm) ( )</li> </ul> </li> <li>防滑性床シート           <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>厚さ (mm) ( )</li> </ul> </li> <li>防滑性床タイル           <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>寸法 (mm) ( × )</li> <li>厚さ (mm) ( )</li> </ul> </li> </ul>																																																												
○ ビニル幅木	(19. 2. 2)																																																												
	<p>材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軟質</li> <li>硬質</li> </ul> <p>高さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※60</li> <li>・75</li> <li>・100</li> </ul> <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1.5以上</li> </ul>																																																												
・ゴム床タイル	(19. 2. 2)																																																												
	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単層品</li> <li>・積層品</li> </ul> <p>色柄 ( )</p> <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3.0</li> <li>・4.5</li> <li>・6.0</li> <li>・9.0</li> </ul> <p>寸法 (mm) ( × )</p>																																																												
・カーペット敷き	(19. 3. 2、3) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2)																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ワイルトンカーペット</td> <td>・カットバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・ループバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※模様のない無地</li> </ul> <p>バイル系の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)</li> </ul> <p>帯電性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>織じゅうたんの接合方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ヒートボンド工法</li> <li>・つづり縫い</li> </ul> <p>下敷き材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</li> </ul> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バール長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・ダブル接着工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (グリッター工法の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</li> </ul> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット・ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	織り方	バイル形状	備考 (参考価格)	・ワイルトンカーペット	・カットバイル		・ダブルフェースカーペット	・ループバイル		・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル		バイル形状	バール長さ (mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する		・ループバイル	・4~6	・ダブル接着工法	・適用しない		・カット、ループ併用	・	・	・		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考 (参考価格)	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5					
織り方	バイル形状	備考 (参考価格)																																																											
・ワイルトンカーペット	・カットバイル																																																												
・ダブルフェースカーペット	・ループバイル																																																												
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル																																																												
バイル形状	バール長さ (mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)																																																									
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する																																																										
・ループバイル	・4~6	・ダブル接着工法	・適用しない																																																										
・カット、ループ併用	・	・	・																																																										
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考 (参考価格)																																																								
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																									
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																									
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																									

	<p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <p>平場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※市松敷き</li> <li>・模様流し</li> </ul> <p>階段部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※模様流し</li> <li>・市松敷き</li> </ul> <p>見切り、押え金物</p> <p>材質 ( )</p> <p>種類 ( )</p> <p>形状等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul>																			
・合成樹脂塗床	(19. 4. 2、3) (表19. 4. 4、5)																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul>	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ			
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																	
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																	
・厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																	
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																	
・フローリング張り	(19. 5. 2~5) (表19. 5. 1~6)																			
	<p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書19. 5. 2(2)による</li> </ul> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>・単層フローリング (フローリングボード1等)</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)</li> <li>・接着工法</li> </ul> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※なら</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>・単層フローリング (フローリングブロック1等)</p> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>・複合フローリング</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)</li> <li>・接着工法</li> </ul> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※なら</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 ・B種 ・C種</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>接着工法の場合の不陸緩和材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※合成樹脂発泡シート</li> </ul>																			
・畳敷き	(19. 6. 2) (表 19. 6. 1)																			
	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床) ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N</li> </ul> <p>下地の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書表12. 6. 1による床組</li> <li>・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム )</li> </ul> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: ・C1 ・C2)</p>																			
○ せっこうボード、その他のボード及び合板張り	(19. 7. 2、3) (表 19. 7. 1)																			
	<p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>合板のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書19. 7. 2(3) (イ)の(a)~(d)のいずれか</li> </ul> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul>																			

	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類等</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木質系セメント板 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木毛セメント板</td> <td>※図示による ・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質(HH) ・中質(MH) ・普通(MH)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木片セメント板</td> <td>※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30</td> </tr> <tr> <td>・硬質(HF) ・普通(NF)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維強化セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板 (タイプ2)</td> <td>※図示による ○6 ・8</td> </tr> <tr> <td>普通ボード 0. 8FK</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質複層板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>種類 ※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維板 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF (MDF)</td> <td>※図示による ・3 ・7 ・9 ・12</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スリットボード (無処理)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・素地ハードボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・未研磨板 (RN)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・研磨板 (RS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装用化粧ハードボード (D1)</td> <td>※図示による ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・フェニールボード (処理)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・素地ハードボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・未研磨板 (RN)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・研磨板 (RS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装用化粧ハードボード (DE)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・インサレーションボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A級インサレーションボード (A-1B)</td> <td>※図示による ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>・天井仕上げ材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装仕上げ材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パーティクルボード </td> <td></td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td>※図示による ・10 ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>・無研磨板 (VN)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・研磨板 (VS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・単板パーティクルボード (DV)</td> <td>※図示による ・10 (難燃) ・12 (難燃)</td> </tr> <tr> <td>・パーティクルボード (DO)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗装 (DC)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音材料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>・9 (不燃) ・12 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・フラットタイプ</td> <td>・12 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・凹凸タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード (1号)</td> <td>※図示による ・25</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード (32K)</td> <td>・25 (※スリット包み)</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード (GB-R)</td> <td>※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ノゾック せっこうボード (GB-S)</td> <td>○ 12. 5 (・不燃 ・準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード (GB-L)</td> <td>・9. 5</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード (GB-NC)</td> <td>・9. 5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・化粧無し (下地張り用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧有り (化粧用模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合板類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通合板 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>表板の樹種名:</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>板面品質:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・行方</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 </td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>化粧板の樹種名:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・行方</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 </td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>化粧加工の方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パーティクルボード</td> <td>・プリント</td> </tr> <tr> <td>・塗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面性能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・行方</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合板類の張り付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボードの目地工法等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地工法の種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※仕上表による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ベベルエッジ</td> <td>・スクエアエッジ</td> </tr> </tbody> </table>	種類等	厚さ (mm)、規格等	木質系セメント板		・木毛セメント板	※図示による ・15 ・20 ・25	・硬質(HH) ・中質(MH) ・普通(MH)		・木片セメント板	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30	・硬質(HF) ・普通(NF)		繊維強化セメント板		○ けい酸カルシウム板 (タイプ2)	※図示による ○6 ・8	普通ボード 0. 8FK		火山性ガラス質複層板		・火山性ガラス質複層板	※図示による	種類 ※図示による		繊維板		・MDF (MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12	・ハードボード		・スリットボード (無処理)		・素地ハードボード		・未研磨板 (RN)		・研磨板 (RS)		・内装用化粧ハードボード (D1)	※図示による ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7	・フェニールボード (処理)		・素地ハードボード		・未研磨板 (RN)		・研磨板 (RS)		・外装用化粧ハードボード (DE)		・インサレーションボード		・A級インサレーションボード (A-1B)	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18	・天井仕上げ材		・内装仕上げ材		パーティクルボード		・単板張りパーティクルボード	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18	・無研磨板 (VN)		・研磨板 (VS)		・化粧パーティクルボード		・単板パーティクルボード (DV)	※図示による ・10 (難燃) ・12 (難燃)	・パーティクルボード (DO)		・塗装 (DC)		吸音材料		・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・9 (不燃) ・12 (不燃)	・フラットタイプ	・12 (不燃) ・15 (不燃)	・凹凸タイプ		・ロックウール吸音ボード (1号)	※図示による ・25	・グラスウール吸音ボード (32K)	・25 (※スリット包み)	せっこうボード		○ せっこうボード (GB-R)	※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)	○ ノゾック せっこうボード (GB-S)	○ 12. 5 (・不燃 ・準不燃)	・強化せっこうボード (GB-F)	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうボード (GB-L)	・9. 5	・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	・9. 5 (不燃)	・化粧無し (下地張り用)		・化粧有り (化粧用模様)		合板類		・普通合板		表板の樹種名:	※図示による	板面品質:		防虫処理		・行方	・行わない	・天然木化粧合板	※図示による	化粧板の樹種名:		防虫処理		・行方	・行わない	・特殊加工化粧合板	※図示による	化粧加工の方法		・パーティクルボード	・プリント	・塗装		表面性能		防虫処理		・行方	・行わない	天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合		※図示による		合板類の張り付け		・A種 ・B種		せっこうボードの目地工法等		目地工法の種類		※仕上表による		突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類		・ベベルエッジ	・スクエアエッジ			
種類等	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																													
木質系セメント板																																																																																																																																																														
・木毛セメント板	※図示による ・15 ・20 ・25																																																																																																																																																													
・硬質(HH) ・中質(MH) ・普通(MH)																																																																																																																																																														
・木片セメント板	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30																																																																																																																																																													
・硬質(HF) ・普通(NF)																																																																																																																																																														
繊維強化セメント板																																																																																																																																																														
○ けい酸カルシウム板 (タイプ2)	※図示による ○6 ・8																																																																																																																																																													
普通ボード 0. 8FK																																																																																																																																																														
火山性ガラス質複層板																																																																																																																																																														
・火山性ガラス質複層板	※図示による																																																																																																																																																													
種類 ※図示による																																																																																																																																																														
繊維板																																																																																																																																																														
・MDF (MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12																																																																																																																																																													
・ハードボード																																																																																																																																																														
・スリットボード (無処理)																																																																																																																																																														
・素地ハードボード																																																																																																																																																														
・未研磨板 (RN)																																																																																																																																																														
・研磨板 (RS)																																																																																																																																																														
・内装用化粧ハードボード (D1)	※図示による ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7																																																																																																																																																													
・フェニールボード (処理)																																																																																																																																																														
・素地ハードボード																																																																																																																																																														
・未研磨板 (RN)																																																																																																																																																														
・研磨板 (RS)																																																																																																																																																														
・外装用化粧ハードボード (DE)																																																																																																																																																														
・インサレーションボード																																																																																																																																																														
・A級インサレーションボード (A-1B)	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																													
・天井仕上げ材																																																																																																																																																														
・内装仕上げ材																																																																																																																																																														
パーティクルボード																																																																																																																																																														
・単板張りパーティクルボード	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																													
・無研磨板 (VN)																																																																																																																																																														
・研磨板 (VS)																																																																																																																																																														
・化粧パーティクルボード																																																																																																																																																														
・単板パーティクルボード (DV)	※図示による ・10 (難燃) ・12 (難燃)																																																																																																																																																													
・パーティクルボード (DO)																																																																																																																																																														
・塗装 (DC)																																																																																																																																																														
吸音材料																																																																																																																																																														
・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・9 (不燃) ・12 (不燃)																																																																																																																																																													
・フラットタイプ	・12 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																													
・凹凸タイプ																																																																																																																																																														
・ロックウール吸音ボード (1号)	※図示による ・25																																																																																																																																																													
・グラスウール吸音ボード (32K)	・25 (※スリット包み)																																																																																																																																																													
せっこうボード																																																																																																																																																														
○ せっこうボード (GB-R)	※12. 5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																													
○ ノゾック せっこうボード (GB-S)	○ 12. 5 (・不燃 ・準不燃)																																																																																																																																																													
・強化せっこうボード (GB-F)	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																													
・せっこうボード (GB-L)	・9. 5																																																																																																																																																													
・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	・9. 5 (不燃)																																																																																																																																																													
・化粧無し (下地張り用)																																																																																																																																																														
・化粧有り (化粧用模様)																																																																																																																																																														
合板類																																																																																																																																																														
・普通合板																																																																																																																																																														
表板の樹種名:	※図示による																																																																																																																																																													
板面品質:																																																																																																																																																														
防虫処理																																																																																																																																																														
・行方	・行わない																																																																																																																																																													
・天然木化粧合板	※図示による																																																																																																																																																													
化粧板の樹種名:																																																																																																																																																														
防虫処理																																																																																																																																																														
・行方	・行わない																																																																																																																																																													
・特殊加工化粧合板	※図示による																																																																																																																																																													
化粧加工の方法																																																																																																																																																														
・パーティクルボード	・プリント																																																																																																																																																													
・塗装																																																																																																																																																														
表面性能																																																																																																																																																														
防虫処理																																																																																																																																																														
・行方	・行わない																																																																																																																																																													
天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合																																																																																																																																																														
※図示による																																																																																																																																																														
合板類の張り付け																																																																																																																																																														
・A種 ・B種																																																																																																																																																														
せっこうボードの目地工法等																																																																																																																																																														
目地工法の種類																																																																																																																																																														
※仕上表による																																																																																																																																																														
突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類																																																																																																																																																														
・ベベルエッジ	・スクエアエッジ																																																																																																																																																													

・壁紙張り	(19. 8. 2、3)																																																		
	<p>ホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考 (参考価格)</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>織種</th> <th>塩化ビニル</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃</td> <td>・準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃</td> <td>・準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃</td> <td>・準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃</td> <td>・準不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル及びプラスター面の素地ごしらの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※B種 ・A種</li> </ul> <p>コンクリート面の素地ごしらの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※B種 ・A種</li> </ul> <p>せっこうボード面の素地ごしらの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※B種 ・A種</li> </ul>	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)	紙	織種	塩化ビニル	プラスチック	無機質その他		・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃		・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃		・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃		・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃					
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)																																												
	紙	織種	塩化ビニル	プラスチック	無機質その他																																														
	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃																																												
	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃																																												
	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃																																												
	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃																																												
・断熱材	(19. 9. 2~4)																																																		
	<p>フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>開口部等修繕のための張り付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ( )</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種I</li> <li>・A種IH</li> </ul> <p>吹付け厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>施工箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ( )	・		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD)	・		・硬質ウレタンフォーム断熱材	・		・フェノールフォーム断熱材	・																																				
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ( )	・																																																		
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD)	・																																																		
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																																		
・フェノールフォーム断熱材	・																																																		
・フリーアクセスフロア	(20. 2. 2)																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱 調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1. 0G ・0. 6G</td> <td>・3. 000N ・5. 000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書20. 2. 2(2) (オ) (a)~(c)による</li> <li>・以下による</li> </ul> <p>パネルの長さの寸法精度 ( )</p> <p>パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ( )</p> <p>フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ( )</p> <p>帯電防止性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価値 (U) ≥0. 6以上</li> <li>・評価値 (U) ≥1. 2以上</li> </ul> <p>感電防止性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漏えい抵抗 (R) ≥1×10<sup>7</sup> Ω</li> </ul> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考		・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500		・1. 0G ・0. 6G	・3. 000N ・5. 000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																			
施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考																																												
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500		・1. 0G ・0. 6G	・3. 000N ・5. 000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																													
・可動間仕切	(20. 3. 3)																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式による種類</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">パネル表面仕上げ</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>スリット</th> <th>パネル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td></td> <td></td> <td>・PVC樹脂接着付又は</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td></td> <td></td> <td>・PVC樹脂接着付</td> <td>・12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td></td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> <td>・20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・28</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有り (※図示による)</li> <li>・無し</li> </ul> <p>パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落しとは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul>	構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	スリット	パネル	・スタッド式 (内蔵)			・PVC樹脂接着付又は	・0	・不燃	・スタッド式 (露出)			・PVC樹脂接着付	・12		・スタッドパネル式			・壁紙張り	・20		・パネル式			・	・28						・36													
構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)				防火性能																																											
	スリット	パネル																																																	
・スタッド式 (内蔵)			・PVC樹脂接着付又は	・0	・不燃																																														
・スタッド式 (露出)			・PVC樹脂接着付	・12																																															
・スタッドパネル式			・壁紙張り	・20																																															
・パネル式			・	・28																																															
				・36																																															
・移動間仕切	(20. 4. 4)																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方式による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>仕上材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平方向</td> <td>・移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・ブレン式</td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向</td> <td>・移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンド式</td> <td>・</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・部分電動式</td> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>パネルをランナに取り付ける部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</li> </ul>	走行方向	操作方式による種類	パネル圧接装置の操作方法 (mm)	総厚さ (mm)	パネル表面材	仕上材	遮音性 (dB/500Hz)	・平方向	・移動式	・手動式	・ブレン式	・鋼板	・焼付塗装	・36未満	・二方向	・移動式	・電動式	・ハンド式	・	・壁紙張り	・36以上			・部分電動式	・		・																							
走行方向	操作方式による種類	パネル圧接装置の操作方法 (mm)	総厚さ (mm)	パネル表面材	仕上材	遮音性 (dB/500Hz)																																													
・平方向	・移動式	・手動式	・ブレン式	・鋼板	・焼付塗装	・36未満																																													
・二方向	・移動式	・電動式	・ハンド式	・	・壁紙張り	・36以上																																													
		・部分電動式	・		・																																														

20 ユニット及びその他の工事

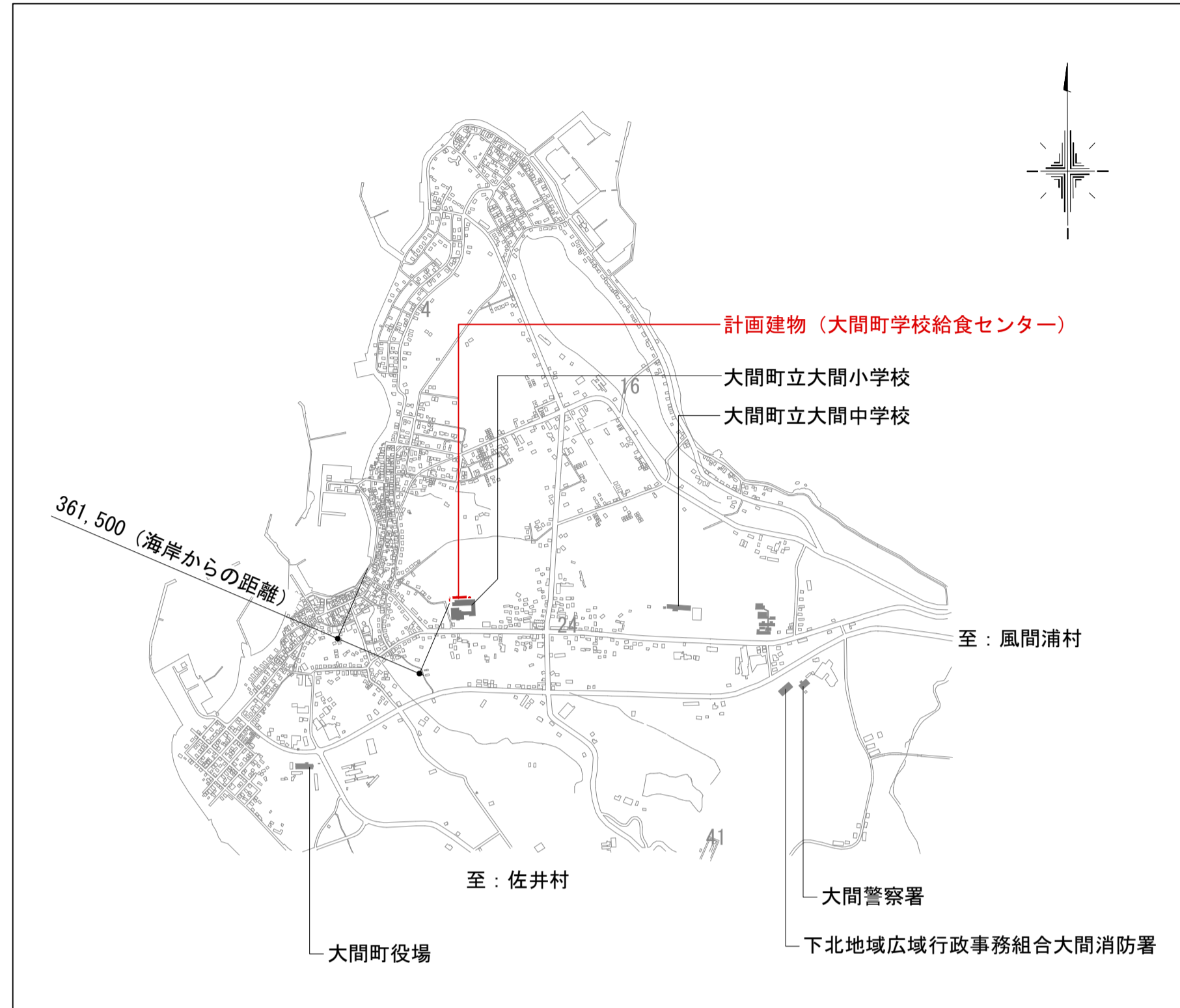
<p>○ トイレブース (20.2.5)</p> <p>○ 手すり (20.2.6)</p> <p>○ 階段滑り止め (20.2.7)</p> <p>・ 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <p>・ 鏡 (20.2.10)</p> <p>・ 表示 (20.2.11)</p> <p>・ タラップ (20.2.12)</p> <p>・ 煙突ライニング (20.2.13)</p>	<p>ハンガーレール及びランナ ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの ・ (品質・性能は別表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部種類</th> <th>ドアエッジ材質</th> </tr> <tr> <td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>材料の種類及び仕上げ (20.2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SUS304 表面処理 ※HL程度</li> <li>鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.21による種別 ( ) 種)</li> <li>アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.21による種別 ( ) 種) <ul style="list-style-type: none"> <li>色合い</li> <li>標準色 ( )</li> <li>特注色 ( )</li> </ul> </li> </ul> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材種: )</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製</td> <td></td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材種 (20.2.7)</p> <p>○ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</p> <p>形状 ※タイヤ型(タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤ型 端部の形状 ・フラットエンドあり ・フラットエンドなし</p> <p>寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p> <p>・ 黒板区分 (20.2.9)</p> <p>※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p> <p>取付け箇所 ( ) (20.2.10)</p> <p>寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ※5</p> <p>衝突防止表示 (20.2.11)</p> <p>・設置する (設置場所: ※図示による ) 形状・寸法 ( ・30φ ) 材質 ( ・ステンレス製 ) ・設置しない</p> <p>誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による</p> <p>・ タラップ (20.2.12)</p> <p>材質及び仕上げ (20.2.12)</p> <p>・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.21による種別 (※C種 ) 種)</p> <p>・ 煙突ライニング (20.2.13)</p> <p>適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</p>	表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種: )	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度			・ビニル製		・35程度 ・45程度			<p>○ ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ボックス・レールの材種</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○線形</td> <td rowspan="2">○手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td rowspan="2">※7&amp;#246;mm合金製 ( )</td> <td rowspan="2">※25</td> <td rowspan="2">※鋼製</td> <td rowspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td>・電動</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦形</td> <td rowspan="2">・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7&amp;#246;mmスラット ・9&amp;#246;mmスラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>※7&amp;#246;mm合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・電動</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ( ) とする</p> <p>(20.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材種</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・木製</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ( ) とする</p> <p>(20.2.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付け箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレーひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ( ) とする 暗幕用カーテンの両端、上部及びひ合せの重なり ※300mm以上</p> <p>・ カーテンレール (20.2.16)</p> <p>材料による区分 (20.2.16)</p> <p>※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ○120×150 ・150×80 ・図示による</p> <p>材種 ・集成材 (仕上げ: ) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.11による種別 ・B0-1種 ・B0-2種 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( ) ・鋼製 (仕上げ: )</p> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td rowspan="2">・一般形</td> <td>・屋内外用</td> <td>・額縁タイプ</td> </tr> <tr> <td>・600×600</td> <td>・屋内用</td> <td>・目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・気密形</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製</td> <td>・600×600</td> <td>・密閉形</td> <td>・屋内用</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>幅 (mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・垂直</td> <td rowspan="2">・25</td> <td rowspan="2">・完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>・25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ)</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材 (内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.11による</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材種	幅・高さ取付箇所	○線形	○手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7&#246;mm合金製 ( )	※25	※鋼製	・図示による	・電動	・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7&#246;mmスラット ・9&#246;mmスラット	・80 ・100	※7&#246;mm合金製	・図示による	・電動	—	—	—	—	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレーひだ		・図示による		材種	寸法	形式	外枠	内枠	○アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・額縁タイプ	・600×600	・屋内用	・目地タイプ	・	・	・気密形			材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	○ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用	・鋼製	・	・	・	方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り		・非耐火型	・無し	・水平	・25					目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	<p>・ 止水板</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示による</p> <p>・ エキスパンションジョイント金物</p> <p>・ くつきマット</p> <p>○ 流し台ユニット</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・流し台</td> <td>○1200 ・1500 ・1800</td> <td>・650 ・850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td>・650 ・600 ・650</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・</td> <td>市販品 ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示による</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>材種 ・ステンレス製 (SUS 304)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式額内蔵式</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 旗竿</p> <p>・ 旗竿受金物</p> <p>・ 車止めさく</p> <p>・ フェンス</p> <p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による</p> <p>・ プレキャストコンクリート (20.3.3、4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>2</sup>を満足する顕合強度 ・図示による</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による</p> <p>取付け方法 ※図示による</p> <p>・ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>—</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による</p>	材種	寸法 (mm)	受け枠	備考	・流し台	○1200 ・1500 ・1800	・650 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・600	・650 ・600 ・650	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・コンロ台	・1200 ・900	・450 ・700	市販品	・つり戸棚	・1200 ・900	・	市販品 ステンレス製	・水切り	・1200 ・900 ・600	・	市販品 ステンレス製 ・1段式	材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・上下式額内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	・	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—		・コンクリート間知ブロック	—	・A ・B		<p>・ 鋼製書架及び物品棚</p> <p>・ 屋内掲示板</p> <p>・ 洗面カウンター</p> <p>・ 防煙垂れ壁</p> <p>・ 屋外掲示板</p> <p>・ 収納家具</p> <p>21 排水工事</p> <p>・ 屋外雨水排水</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 通心力鉄筋コンクリート管</td> <td rowspan="2">外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・RF-VP ( )</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td rowspan="3">・RS-VU ( )</td> <td>・VP</td> <td>・</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・VU</td> <td>・</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>材料 (21.2.1、2) (表 21.2.1、2)</p> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示による 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側塊の形状及び寸法 ・図示による 排水樹の種類 ・図示による 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クワッシュラン ( ) ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) ※18 スランプ (cm) ※15又は18 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・排水桁が現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の軸度試験) ・行方 ・行わない</p>	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・ 通心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・	・図示による	・RF-VP ( )		・図示による	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VU ( )	・VP	・	・図示による	・VU	・	・図示による	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table> <p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p> <p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600</p> <p>・ 固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・ 可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>・800</td> <td>表面仕上げ ※天井張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p> <p>照明器具 ※有り ・無し 施設 ※有り ・無し 製造所 ・</p> <p>合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による</p>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・800	表面仕上げ ※天井張り
表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質																																																																																																																																																																																																																																														
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																														
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																												
・集成材 (材種: )	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度																																																																																																																																																																																																																																														
・ビニル製		・35程度 ・45程度																																																																																																																																																																																																																																														
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材種	幅・高さ取付箇所																																																																																																																																																																																																																																										
○線形	○手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7&#246;mm合金製 ( )	※25	※鋼製	・図示による																																																																																																																																																																																																																																										
		・電動																																																																																																																																																																																																																																														
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7&#246;mmスラット ・9&#246;mmスラット	・80 ・100	※7&#246;mm合金製	・図示による																																																																																																																																																																																																																																										
		・電動	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																																												
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・																																																																																																																																																																																																																																												
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																											
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレーひだ		・図示による																																																																																																																																																																																																																																												
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																												
○アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・額縁タイプ																																																																																																																																																																																																																																												
	・600×600		・屋内用	・目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																												
・	・	・気密形																																																																																																																																																																																																																																														
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																													
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用																																																																																																																																																																																																																																													
○ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用																																																																																																																																																																																																																																													
・鋼製	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																													
方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																																																																																																																																											
・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り																																																																																																																																																																																																																																												
			・非耐火型	・無し																																																																																																																																																																																																																																												
・水平	・25																																																																																																																																																																																																																																															
目地	内壁	外壁																																																																																																																																																																																																																																														
目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材 (内外とも)																																																																																																																																																																																																																																														
目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																																																																																																																																																																																														
材種	寸法 (mm)	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																																													
・流し台	○1200 ・1500 ・1800	・650 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																													
	・600	・650 ・600 ・650	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																													
・コンロ台	・1200 ・900	・450 ・700	市販品																																																																																																																																																																																																																																													
・つり戸棚	・1200 ・900	・	市販品 ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																													
・水切り	・1200 ・900 ・600	・	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																																																																																																																																																																																																													
材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																											
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																												
形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																													
・上下式額内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	・																																																																																																																																																																																																																																													
材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																																																													
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—																																																																																																																																																																																																																																														
・コンクリート間知ブロック	—	・A ・B																																																																																																																																																																																																																																														
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																																												
・ 通心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・	・図示による																																																																																																																																																																																																																																												
		・RF-VP ( )		・図示による																																																																																																																																																																																																																																												
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VU ( )	・VP	・	・図示による																																																																																																																																																																																																																																												
		・VU	・	・図示による																																																																																																																																																																																																																																												
		種類	規格等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																												
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																																																														
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																													
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																																													
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																													
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																																																																													
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・800	表面仕上げ ※天井張り																																																																																																																																																																																																																																													

<p>・ 舗装製ふた</p> <p>○ グレーチング</p> <p>・ 街きよ、緑石及び側溝</p> <p>・ 埋戻し土</p>	<p>(21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (n'つむ式) ・密閉形 (r'n'・n'つむ式) ・中ふた付き密閉形 (r'n'・n'つむ式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>材のバリエーション</th> <th>垂鉛めっき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・鋼製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目</td> <td>( )</td> <td>・凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・普通目 ・細目</td> <td>( )</td> <td>・平形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・スチール製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・平形</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>街きよ、緑石、側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・緑石</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン</p> <p>砂利地業の厚さ (mm) ※100 ・ 図示による</p> <p>・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/?) ※18 スランプ (cm) ※15又は18</p> <p>・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・行 ・行わない</p> <p>※B種</p>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (n'つむ式) ・密閉形 (r'n'・n'つむ式) ・中ふた付き密閉形 (r'n'・n'つむ式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による。	材質	形式	用途	適用荷重	材のバリエーション	垂鉛めっき (付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用)	・歩行用	・細目	( )	・凹凸形	・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	( )	・平形	・スチール製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用)	・歩行用	-	-	・凹凸形	・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	-	・平形	種類	形状・寸法	・緑石	・ 図示による	・L形側溝	・ 図示による	・U形側溝	・ 図示による	・U形側溝ふた	・ 図示による	・	・ 図示による	<p>(22.3.2、3) (表 22.3.1)</p> <p>・ 路盤</p> <p>路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン</p> <p>・再生粒度調整砕石</p> <p>・クラッシュラン鉄鋼スラグ</p> <p>・粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>(22.4.2~6) (表 22.4.4)</p> <p>・ アスファルト舗装</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示による</p> <p>材料 アスファルト ・再生アスファルト</p> <p>(標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100)</p> <p>・ストレータスファルト</p> <p>骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (I3) ・細粒度アスファルト混合物 (I3) ・密粒度アスファルト混合物 (I3F)</p> <p>舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行 ・行わない</p> <p>(22.5.2~4、6) (表22.5.1、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・ 図示による</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・ 図示による</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 コンクリート ※ 普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ( ) 設計基準強度 (N/?) ( ) 所定のスランプ (cm) (※8 ) 粗骨材の最大寸法 (mm) ( )</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない</p> <p>注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地 ※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・以下による 種類 ・ ( )m程度ごと 構造 ・ 図示による</p> <p>舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>(22.6.2~4)</p> <p>・ カラー舗装</p> <p>・ 加熱系カラー舗装 構成・厚さ ・ 図示による 加熱系混合物の結合材 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 ( %)</p> <p>添加材 着色骨材 ( ) 自然石 ( )</p> <p>・ 常温系カラー舗装 工法 ・ ニート工法 (配合その他: ) ・ 塗布工法 (配合その他: )</p> <p>着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>(22.7.2、3、6)</p> <p>・ 透水性 アスファルト舗装</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・ 図示による	・ 図示による	コンクリート舗装	歩行者用通路	・ 図示による	※70	<p>(22.8.2、3)</p> <p>・ ブロック系舗装</p> <p>・ コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※ 砂 ・ 空練りモルタル 普通平板は (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平坦性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/?)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">車路</td> <td rowspan="3">・ 図示による</td> <td rowspan="3">※80</td> <td rowspan="3">※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">歩行者用通路</td> <td rowspan="3">・ 図示による</td> <td rowspan="3">※60</td> <td rowspan="3">※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※ 砂 ・ 空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平坦性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ 舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>張り方</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 花こう岩</td> <td rowspan="2">・ 図示による</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・ コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・ 75%以上混合物</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※ 砂 ・ 空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5 × 10<sup>-3</sup> cm/sec 以上</p> <p>(22.9.2)</p> <p>・ 砂利敷き</p> <p>種別 ・ A種 (施工範囲: ・ 図示による ・ 通路 ) ・ B種 (施工範囲: ・ 図示による ・ 建物周囲その他 )</p> <p>路面標示用塗料 路面標示用塗料は JIS K 5665 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td>・ 白</td> <td>・ 150</td> <td>・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・ 100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>加熱</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示用塗料</p> <p>(23.1.3)</p> <p>・ 植栽地の確認等</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行 ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行 ・ 行わない</p> <p>(23.2.2、4)</p> <p>・ 植栽基盤の整備</p> <p>樹木の植栽基盤の整備 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td rowspan="4">※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)</td> <td rowspan="4">・ 葉張り部分 ・ 植栽部分</td> <td rowspan="4">・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m未満 (※50 ・ 60)</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (※ 図示による ) ・ 設けない</p> <p>(23.2.3)</p> <p>・ 植込み用土</p> <p>・ 現場発生の良質土 ・ 客土</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工	・透水性平板 (P)	・	・	・	・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/?)	備考	※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示による	※80	※5.0	表面加工	・ 透水性ブロック (P)	・	・ 保水性ブロック (M)	・	※ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示による	※60	※3.0	・	・ 透水性ブロック (P)	・	・ 保水性ブロック (M)	・	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)	・ 花こう岩	・ 図示による	・	・	・ コンクリート版	※70	・ 75%以上混合物	※70	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	※3種1号	熔融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・	・ 2種	加熱	液状	・	・	・	植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)	樹高3m未満 (※50 ・ 60)	※B種	※20	・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない	<p>(23.2.3)</p> <p>種類及び指定量等 ・ パーク堆肥 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)</p> <p>施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。</p> <p>(23.3.2)</p> <p>・ 樹木</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※ 図示による</p> <p>(23.3.2、3)</p> <p>・ 支柱</p> <p>支柱材 ※ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 形式 ・ 図示による</p> <p>(23.3.2)</p> <p>・ 幹巻き用材料</p> <p>材料 ※ 幹巻きテープ ・ わら及びこも</p> <p>(23.4.2、3)</p> <p>・ 芝</p> <p>種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 ※ 目地張り ・ ペタ張り 法面 ※ ペタ張り法面 ・ 目地張り</p> <p>(23.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※ 発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(23.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>(23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)</p> <p>・ 新植、芝等の枯損償、移植樹木の枯損処置</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の 枯損償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 無し</p> <p>(23.5.2~4)</p> <p>・ 屋上緑化</p> <p>植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示による 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ: ) ・ 板状成形品 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※ 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>支柱 ・ 設置する ・ 設置しない 形式 ・ 図示による</p> <p>かん水装置 ・ 設置する ・ 設置しない 種類 ・ 図示による</p> <p>工法 「屋根ふき材及び屋外に面する構造物の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考	※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上			樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・
	名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																					
鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (n'つむ式) ・密閉形 (r'n'・n'つむ式) ・中ふた付き密閉形 (r'n'・n'つむ式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による。																																																																																																																																																																																						
材質	形式	用途	適用荷重	材のバリエーション	垂鉛めっき (付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																				
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用)	・歩行用	・細目	( )	・凹凸形																																																																																																																																																																																				
		・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	( )	・平形																																																																																																																																																																																				
・スチール製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用)	・歩行用	-	-	・凹凸形																																																																																																																																																																																				
		・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	-	・平形																																																																																																																																																																																				
種類	形状・寸法																																																																																																																																																																																									
・緑石	・ 図示による																																																																																																																																																																																									
・L形側溝	・ 図示による																																																																																																																																																																																									
・U形側溝	・ 図示による																																																																																																																																																																																									
・U形側溝ふた	・ 図示による																																																																																																																																																																																									
・	・ 図示による																																																																																																																																																																																									
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																							
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・ 図示による	・ 図示による																																																																																																																																																																																							
コンクリート舗装	歩行者用通路	・ 図示による	※70																																																																																																																																																																																							
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																						
・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工																																																																																																																																																																																						
・透水性平板 (P)	・	・	・	・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																																																																																																																																																																																						
・保水性平板 (M)	・	・	・	・																																																																																																																																																																																						
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/?)	備考																																																																																																																																																																																					
※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示による	※80	※5.0	表面加工																																																																																																																																																																																					
・ 透水性ブロック (P)					・																																																																																																																																																																																					
・ 保水性ブロック (M)					・																																																																																																																																																																																					
※ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示による	※60	※3.0	・																																																																																																																																																																																					
・ 透水性ブロック (P)					・																																																																																																																																																																																					
・ 保水性ブロック (M)					・																																																																																																																																																																																					
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																					
・ 花こう岩	・ 図示による	・	・	・ コンクリート版	※70																																																																																																																																																																																					
				・ 75%以上混合物	※70																																																																																																																																																																																					
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																																																																					
※3種1号	熔融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1.0																																																																																																																																																																																					
・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・																																																																																																																																																																																					
・ 2種	加熱	液状	・	・	・																																																																																																																																																																																					
植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																						
・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																						
		樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)																																																																																																																																																																																								
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)																																																																																																																																																																																								
		樹高3m未満 (※50 ・ 60)																																																																																																																																																																																								
※B種	※20	・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																							
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																																							
※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上																																																																																																																																																																																									
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																																																																							
・	・	・	・																																																																																																																																																																																							
<p>22 舗装工事</p> <p>・ 路床</p> <p>路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>標準仕様書表22.2.3.(3)による</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行 ・ 行わない</p> <p>・ 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号)</p> <p>添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (CBR ・ 3以上 )</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5 × 10<sup>-3</sup> cm/sec 以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行 ・ 行わない 路床締め度の試験 ・ 行 ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行 ・ 行わない</p>	種類	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・ 図示による	・ フィルター層	標準仕様書表22.2.3.(3)による	・ 図示による	<p>(23.1.3)</p> <p>・ 植栽地の確認等</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行 ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行 ・ 行わない</p> <p>(23.2.2、4)</p> <p>・ 植栽基盤の整備</p> <p>樹木の植栽基盤の整備 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td rowspan="4">※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)</td> <td rowspan="4">・ 葉張り部分 ・ 植栽部分</td> <td rowspan="4">・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m未満 (※50 ・ 60)</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (※ 図示による ) ・ 設けない</p> <p>(23.2.3)</p> <p>・ 植込み用土</p> <p>・ 現場発生の良質土 ・ 客土</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)	樹高3m未満 (※50 ・ 60)	※B種	※20	・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																												
種類	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																								
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による																																																																																																																																																																																								
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・ 図示による																																																																																																																																																																																								
・ フィルター層	標準仕様書表22.2.3.(3)による	・ 図示による																																																																																																																																																																																								
植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																						
・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																						
		樹高7m以上~12m未満 (※80 ・ 100)																																																																																																																																																																																								
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)																																																																																																																																																																																								
		樹高3m未満 (※50 ・ 60)																																																																																																																																																																																								
※B種	※20	・ 植栽部分	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																							

<p>4 地業工事</p> <p>・支持地盤等</p> <p>・杭基礎</p> <p>・直接基礎</p> <p>・既製コンクリート杭地業</p>	<p>(3.2.1) (4.2.4) (4.3.4) (4.3.5) (4.4.4) (4.5.5) (4.5.6)</p> <p>・支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>(4.2.2) (4.3.1) (4.3.3) ~ (4.3.6) (4.3.8)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭)</li> <li>プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭)</li> <li>外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭)</li> <li>SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</li> </ul> <p>杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種類)、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">コンクリート</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セツ数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放形</li> <li>半開放形</li> <li>閉そく形</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セメントミルク工法</li> <li>試験杭の位置</li> <li>掘削深さ</li> <li>杭の支持層への根入れ長さ</li> <li>杭の精度</li> <li>水平方向の位置ずれ</li> <li>建込み時の杭の鉛直度</li> <li>特定埋込杭工法</li> <li>杭周囲固定液</li> <li>試験杭の位置</li> <li>杭の支持層への根入れ長さ</li> <li>杭の精度</li> <li>水平方向の位置ずれ</li> <li>建込み時の杭の鉛直度</li> <li>杭の継手の工法</li> <li>溶接材料</li> <li>機械式継手</li> <li>工法</li> <li>杭頭の処理等</li> <li>杭頭の中詰め材料</li> <li>杭施工に伴う発生汚泥の処理</li> </ul>		種類	コンクリート		杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	強度 (N/mm <sup>2</sup> )	種類	試験杭	上杭 中杭 下杭										本杭	上杭 中杭 下杭										<p>・鋼杭地業</p> <p>鋼杭の材料</p> <p>杭の種類、寸法、継手等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セツ数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>試験杭</th> <th>本杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で <math>\alpha=250</math> を採用できる工法</li> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち <math>\alpha</math>、<math>\beta</math>、<math>\gamma</math> が以下の値を採用できる工法</li> <li>工法</li> </ul> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <p>杭の支持層への根入れ長さ</p> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <p>建込み時の杭の鉛直度</p> <p>杭の継手の工法</p> <p>溶接材料</p> <p>機械式継手</p> <p>工法</p> <p>杭頭の処理等</p> <p>杭頭の中詰め材料</p> <p>寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">軸径 (mm)</th> <th rowspan="2">節径 (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">セツ数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>試験杭</th> <th>本杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <p>孔壁の保持状況(孔壁測定)</p> <p>測定箇所</p> <p>杭の支持層への根入れ長さ</p> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <p>建込み時の杭の鉛直度</p> <p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">種類の記号</th> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>帯筋の加工及び組立</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ</p> <p>鉄筋かごの補強</p> <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手</p> <p>主筋の基礎底盤への定着長さ</p>		種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	本杭	試験杭	上杭 中杭 下杭								本杭	上杭 中杭 下杭									軸径 (mm)	節径 (mm)	杭長 (mm)	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	本杭	試験杭							本杭								種類の記号	呼び径 (mm)	備考	試験杭				本杭				<p>(4.2.2) (4.4.3) ~ (4.4.6)</p> <p>・砂利地業</p> <p>・捨コンクリート地業</p> <p>・床下防湿層</p> <p>・地盤改良工法</p> <p>・置換コンクリート地業</p> <p>5 鉄筋工事</p> <p>○ 鉄筋</p> <p>○ 溶接金網</p> <p>○ 鉄筋の継手</p> <p>○ 鉄筋の定着</p>	<p>セメントの種類</p> <p>コンクリートの種類</p> <p>スランプ</p> <p>材料</p> <p>範囲</p> <p>厚さ</p> <p>範囲</p> <p>厚さ</p> <p>設計基準強度</p> <p>スランプ</p> <p>材料</p> <p>範囲</p> <p>種類及び施工法等</p> <p>形状等</p> <p>支持地盤</p> <p>型枠使用の有無</p> <p>鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄線の形状等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・溶接継手</td> <td>・機械式継手 ・重ね継手</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋( )</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <p>機械式定着工法</p> <p>適用する</p> <p>種類</p> <p>工法</p> <p>必要定着長さ</p> <p>補強筋形状</p> <p>かぶり厚さ</p> <p>品質確認</p> <p>検査</p>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295			・SD345			・			・			種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ・重ね継手	耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	その他の鉄筋( )	・重ね継手	・	<p>○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)</p> <p>○ 各部配筋</p> <p>○ ガス圧継手</p> <p>○ 機械式継手</p> <p>○ 溶接継手</p>	<p>(5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ</p> <p>・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)4.1表4.1)</p> <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <p>・あり 適用箇所( )</p> <p>・最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm</p> <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等をおそれのある部分等)</p> <p>・あり 適用箇所( )</p> <p>・最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm</p> <p>(5.3.7)</p> <p>各部配筋</p> <p>・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図))</p> <p>(5.4.10)</p> <p>圧接完了後の圧接部の試験</p> <p>・超音波探傷試験</p> <p>・引張試験</p> <p>試験方法等 ※標準仕様書5.4.10(i)(b)①~⑥による</p> <p>(5.5.3) (5.5.5)</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <p>・A級</p> <p>種類</p> <p>・ねじ式鉄筋継手</p> <p>充填方式</p> <p>・無機グラウト方式</p> <p>・有機グラウト方式</p> <p>・端部ねじ加工継手</p> <p>・モルタル充填式継手</p> <p>工法</p> <p>※第三者機関の評定等を取得している工法</p> <p>鉄筋相互のあき</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>品質の確認</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>検査</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>・外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※全数</p> <p>試験項目</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>試験方法</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>・超音波測定試験</p> <p>試験対象</p> <p>・抜き取り</p> <p>ロット</p> <p>・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。</p> <p>試験の箇所数</p> <p>1ロットに対して ( ) 箇所</p> <p>・全数</p> <p>試験項目</p> <p>※挿入長さ</p> <p>試験方法</p> <p>※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>(5.6.3) (5.6.5)</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <p>・A級</p> <p>溶接継手の工法</p> <p>・図示による( )</p> <p>鉄筋相互のあき</p> <p>・標準仕様書5.3.5(4)による</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>・図示による( )</p> <p>施工完了後の溶接部の試験</p> <p>・外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※全数</p> <p>試験項目</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>試験方法</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>・超音波探傷試験</p> <p>試験対象</p> <p>・抜き取り</p> <p>ロット</p> <p>・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする。</p> <p>試験の箇所数</p> <p>1ロットに対して ( ) 箇所</p> <p>・全数</p> <p>試験項目</p> <p>※内部欠陥の検出</p> <p>試験方法</p> <p>※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による</p> <p>不合格となった場合の措置</p>
	種類			コンクリート									杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																													
		強度 (N/mm <sup>2</sup> )	種類																																																																																																																																													
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																															
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																															
	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																								
									試験杭	本杭																																																																																																																																						
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																															
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																																															
	軸径 (mm)	節径 (mm)	杭長 (mm)	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																										
							試験杭	本杭																																																																																																																																								
試験杭																																																																																																																																																
本杭																																																																																																																																																
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																													
				試験杭																																																																																																																																												
本杭																																																																																																																																																
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																														
・SD295																																																																																																																																																
・SD345																																																																																																																																																
・																																																																																																																																																
・																																																																																																																																																
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																																													
・溶接金網																																																																																																																																																
・鉄筋格子																																																																																																																																																
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																																																																																																														
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ・重ね継手																																																																																																																																														
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・																																																																																																																																														
その他の鉄筋( )	・重ね継手	・																																																																																																																																														

6 コンクリート工事	<p>・コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>コンクリートの類別          ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)          ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>(6.2.1)~(6.2.4) (6.3.2) (6.10.1) (6.10.2)</p> <p>・普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>※標準仕様書表6.2.2による</td> <td>・2.3程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p> <p>・軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※21</td> <td>・</td> <td>・1種</td> <td>・2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所	・24	※標準仕様書表6.2.2による	・2.3程度		・	・	・	・	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所	・	※21	・	・1種	・2種	・	・	・	・	・	<p>・打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)</p> <p>打継ぎの位置          ※標準仕様書6.6.4(1)による          ・図示による( )</p> <p>目地寸法          ※標準仕様書9.7.3(1)(7)による          ・図示による( )</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法          ・図示による( )</p> <p>(6.2.5)</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ (柱・梁・壁)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>仕上げ塗材塗り</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、肌線下地</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ (床)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、二重床</td> </tr> </table>	種別	適用箇所	・A種		・B種		・C種		種別	適用箇所	・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り	・b種	仕上げ塗材塗り	・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、肌線下地	種別	適用箇所	・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)	・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り	・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床	<p>・普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8)</p> <p>ボルト及びナットの材料          ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又は次による          ボルトの規格は、JIS B 1180とする。          ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は金ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。          ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。          ナットの規格は、JIS B 1181とする。          ナットの種類は、六角ナット-0とし、材料は鋼とする。</p> <p>・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)</p> <p>ボルトの軸端距離、ボルト間隔、ゲージ等          ・図示による( )          摩擦面の処理方法          ・プラスチック処理 (表面粗度50 μm Rz 以上)          ・りん酸塩処理          ・すべり試験の実施          ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験          すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>・アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)</p> <p>・構造用アンカーボルト種類          ・ABR400 ・ABR490          ・建方用アンカーボルト種類          ・SS400          アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度          ※標準仕様書 表7.2.3による          ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所          ・図示による( )          種類          ・SS400          アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度          ※標準仕様書 表7.2.3による          ボルトの軸端距離、ボルト間隔、ゲージ等          ・図示による( )</p> <p>・溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料          ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</p> <p>・ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類          建築用ターンバックルボルト          ※羽子板ボルト          建築用ターンバックル胴          ※新特式          ねじの呼び          ・図示による( )</p> <p>・床構造用のデッキプレート (7.2.7) (7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・デッキプレート単独の構法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デッキプレートとコンクリートとの合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成スラブとする構法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む)          ・図示による( )          鉄骨部材への溶接方法          ・図示による( )          耐火認定          ・あり          耐火時間 ・図示による( )          ・なし</p> <p>・スタッド (7.2.8)</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等          ※標準仕様書 7.2.9(2) (7)から(3)による</p> <p>・製作精度 (7.3.3)</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による          差しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法          ※H12建告第1464号第二号イ(2)による          ・          アンダーカットの寸法          ※H12建告第1464号第二号イ(3)による          ・          食い違い仕口のずれの検査方法及び補強方法          ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p>		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート単独の構法				・デッキプレートとコンクリートとの合				成スラブとする構法				・				呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>・仮組 (7.3.10)</p> <p>仮組を行う範囲          ・図示による( )</p> <p>・溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>試験の要領          ・図示による( )</p> <p>・溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)</p> <p>開先の形状          ・図示による( )          鋼製エンドタブを切断する部分          切断する箇所          ・図示による( )          切断範囲          ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。          なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>・切断面の仕上げ          ・標準仕様書7.6.7(1)(b) (2)による</p> <p>・スカラップの形状          ・図示による( )</p> <p>・入熱、バス間温度の溶接条件 (7.6.7) (7.6.10)</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件          ・図示による( )          適用箇所          ・図示による( )          ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>・溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等          ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による抜き取り検査② ・抜き取り検査①          JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等          ・JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。          完全溶込み部の超音波探傷試験          ・工場溶接の場合          ADQL (%) ※4.0 ・2.5</p> <table border="1"> <tr> <th>節</th> <th>全て</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>※第6水準</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・工事現場溶接の場合          ※全て</p> <p>・錆止め塗装 (7.8.2.4) (18.3.2)</p> <p>塗料の範囲          耐火被覆材の接着する面の塗装範囲          ・図示による( )          耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲          xt19: ※標準仕様書7.8.2(1)による          ・図示による( )          塗料の種類          ・下記以外の鉄鋼面は、18章 [塗装工事]による          ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類          ※A種          ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類          ・</p> <p>(7.9.2)~(7.9.8)</p> <p>・耐火被覆 (7.9.2)~(7.9.8)</p> <p>種類、材料、工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能 (耐火時間)</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法          ・図示による( )          構造用アンカーフレームの形状及び寸法          ・図示による( )          建方用アンカーボルトの形状及び寸法          ・図示による( )          建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法          種別          ・A種 ・B種          柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類          厚さ          ・          種別          ※A種 ・B種</p> <p>(7.11.2)</p> <p>・軽量形鋼構造 (7.11.2)</p> <p>ボルトの接合部          ・普通ボルト接合</p>	節	全て				検査水準	※第6水準				種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	・			・耐火塗料	・		
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所																																																																																																																					
	・24	※標準仕様書表6.2.2による	・2.3程度																																																																																																																						
	・	・	・	・																																																																																																																					
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所																																																																																																																				
	・	※21	・	・1種	・2種																																																																																																																				
	・	・	・	・	・																																																																																																																				
	種別	適用箇所																																																																																																																							
	・A種																																																																																																																								
	・B種																																																																																																																								
・C種																																																																																																																									
種別	適用箇所																																																																																																																								
・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り																																																																																																																								
・b種	仕上げ塗材塗り																																																																																																																								
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、肌線下地																																																																																																																								
種別	適用箇所																																																																																																																								
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式)																																																																																																																								
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																																																																																								
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床																																																																																																																								
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																						
・デッキプレート単独の構法																																																																																																																									
・デッキプレートとコンクリートとの合																																																																																																																									
成スラブとする構法																																																																																																																									
・																																																																																																																									
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																																																																																							
・16																																																																																																																									
・19																																																																																																																									
・22																																																																																																																									
節	全て																																																																																																																								
検査水準	※第6水準																																																																																																																								
種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																						
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																								
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																								
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																																																																								
・ラス張りモルタル塗り	・																																																																																																																								
・耐火塗料	・																																																																																																																								
・セメント (6.3.1)	<p>種 類          ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする)          適用箇所 ( )          ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 ( )          ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ( )</p>	<p>・打増し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>・打ち直し厚さ (外部に面する部分に限る)          ・20mm          ・打ち直し厚さ (内部に面する部分に限る)          ・10mm ・20mm</p> <p>・型枠 (6.8.2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ          ・合板 (※12mm ) [G]          ・断熱材を兼用した型枠材          使用箇所          ・図示による( )          性能          熱抵抗値を0.73m<sup>2</sup>・K/W以上を有するもの          ・MCR工法用シート          適用箇所          ・図示による( )          打増し厚さ ・20mm          打増し範囲 ・図示による( )          スリーブの材質・規格等          ・図示による( )</p> <p>・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理 (6.8.2)</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、打増しを行うこと。          コンクリートの打増し厚さ          ※10mm          施工範囲          ※図示による( )</p> <p>実施要領          ※図示による (構造関係共通図 (構造関係共通事項) )</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・骨材 (6.3.1)	<p>アルカリシリカ反応性による区分          ※A ・B</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・混和材料 (6.3.1)	<p>・混和剤          混和剤の種類          ※標準仕様書 6.3.1(4) (a)による          ・混和材          混和材の種類          ※標準仕様書 6.3.1(4) (b)による</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・寒中コンクリート (6.11.1) (6.11.2)	<p>適用期間          ・図示による( )          構造体強度補正值          ・標準仕様書6.11.2(3) (7)による          ・積算温度による</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・暑中コンクリート (6.12.2)	<p>構造体強度補正值          ※6N/mm<sup>2</sup></p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	<p>適用箇所          ・図示による( )          セメントの種類          ・普通ポルトランドセメント          ・中熱ポルトランドセメント          ・低熱ポルトランドセメント          ・高炉セメントB種 [G]          ・フライアッシュセメントB種 [G]          ・シリカセメント          ・          混和材料          ・混和剤          混和剤の種類          ※標準仕様書 6.13.2(2) (7)による          ・混和材          混和材の種類          ※標準仕様書 6.13.2(2) (4)による</p> <p>スラブ          ※15cm          構造体強度補正值          ※標準仕様書表6.13.1による</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・無筋コンクリート (6.14.1)	<p>コンクリートの種類          ※普通コンクリート          セメントの種類          ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種          ・高炉セメントB種 [G]          ・フライアッシュセメントB種 [G]          設計基準強度          ※10N/mm<sup>2</sup>          スラブ          ※15cm又は18cm          適用箇所          ※標準仕様書 6.14.1(4) (7)~(8)による</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
・流動化コンクリート (6.15.1)	<p>適用箇所          ・図示による( )</p>	<p>・型枠 (6.8.2)</p>	<p>・コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)</p>																																																																																																																						
7 鉄骨工事	<p>・鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力          ※建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( )グレード以上          ・監督職員の承諾する工場</p> <p>・鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>※配置する</p> <p>・鋼材 (7.2.1) (7.2.10)</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> </table> <p>・高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2)</p> <p>高力ボルトの種類          ・トルシア形高力ボルト          ・JIS形高力ボルト          ・          ボルトの軸端距離、ボルト間隔、ゲージ等          ・図示による( )          摩擦面の処理方法          ・標準仕様書7.4.2(1)による          ・          ・すべり試験の実施          ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験          すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1) (4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる	<p>・鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力          ※建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( )グレード以上          ・監督職員の承諾する工場</p> <p>・鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>※配置する</p> <p>・鋼材 (7.2.1) (7.2.10)</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> </table> <p>・高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2)</p> <p>高力ボルトの種類          ・トルシア形高力ボルト          ・JIS形高力ボルト          ・          ボルトの軸端距離、ボルト間隔、ゲージ等          ・図示による( )          摩擦面の処理方法          ・標準仕様書7.4.2(1)による          ・          ・すべり試験の実施          ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験          すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1) (4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる	<p>・鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力          ※建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( )グレード以上          ・監督職員の承諾する工場</p> <p>・鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>※配置する</p> <p>・鋼材 (7.2.1) (7.2.10)</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> </table> <p>・高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2)</p> <p>高力ボルトの種類          ・トルシア形高力ボルト          ・JIS形高力ボルト          ・          ボルトの軸端距離、ボルト間隔、ゲージ等          ・図示による( )          摩擦面の処理方法          ・標準仕様書7.4.2(1)による          ・          ・すべり試験の実施          ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験          すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1) (4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる																																																																
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							
		・JISによる																																																																																																																							

◆案内図 S=1/20,000

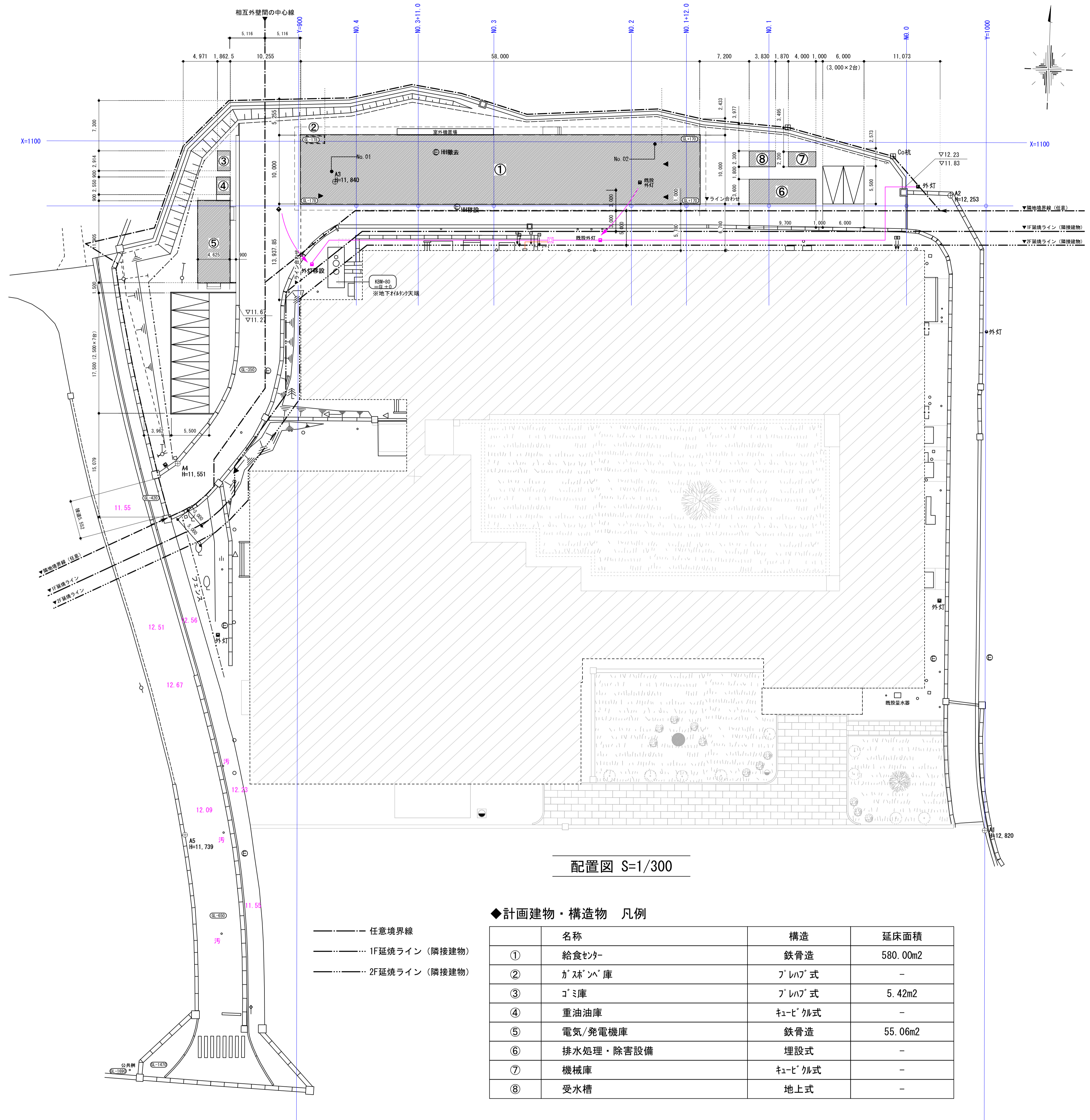


◆建築概要

工事名称	大間町学校給食センター建設工事		
地名地番	青森県下北郡大間町大字大間字蝦浦道24、字冷水45-1,45-2、57-1、57-2、字狼丁37-2		
都市計画区分	都市計画区域外		
用途地域	指定なし		
防火指定	指定なし		
建蔽率	指定なし		
容積率	指定なし		
建物用途	工場（給食センター）		
構造・階数	鉄骨造平屋建て		
敷地面積	2,307.21 m <sup>2</sup>		

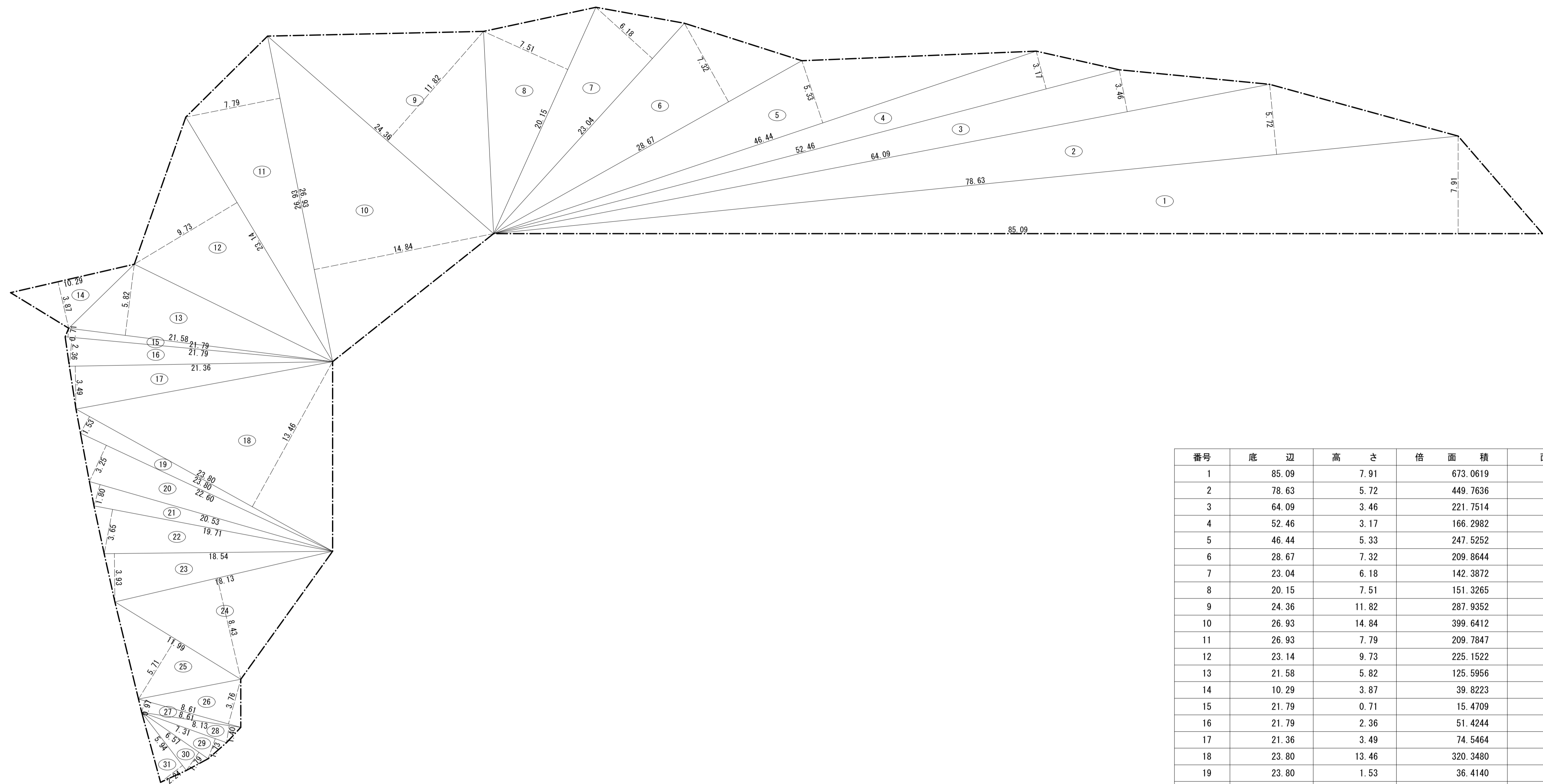
番号	①	③	⑤
棟名	学校給食センター	ゴミ庫	電気・発電機庫
建築面積	591.60m <sup>2</sup>	5.42 m <sup>2</sup>	55.06 m <sup>2</sup>
建築面積 計	652.08 m <sup>2</sup>		
建蔽率			
延床面積	580.00 m <sup>2</sup>	5.42 m <sup>2</sup>	55.06 m <sup>2</sup>
延床面積 計	640.48 m <sup>2</sup>		
容積率			
最高高さ	6,585.00 mm	2,217.00 mm	3,840.00 mm
最高軒高	6,200.00 mm	2,179.00 mm	3,630.00 mm

※建築確認に該当する計画建物のみを記載



◆計画建物・構造物 凡例

番号	名称	構造	延床面積
①	給食センター	鉄骨造	580.00m <sup>2</sup>
②	ガスボンベ庫	プレハブ式	-
③	ゴミ庫	プレハブ式	5.42m <sup>2</sup>
④	重油油庫	キュービカル式	-
⑤	電気/発電機庫	鉄骨造	55.06m <sup>2</sup>
⑥	排水処理・除害設備	埋設式	-
⑦	機械庫	キュービカル式	-
⑧	受水槽	地上式	-



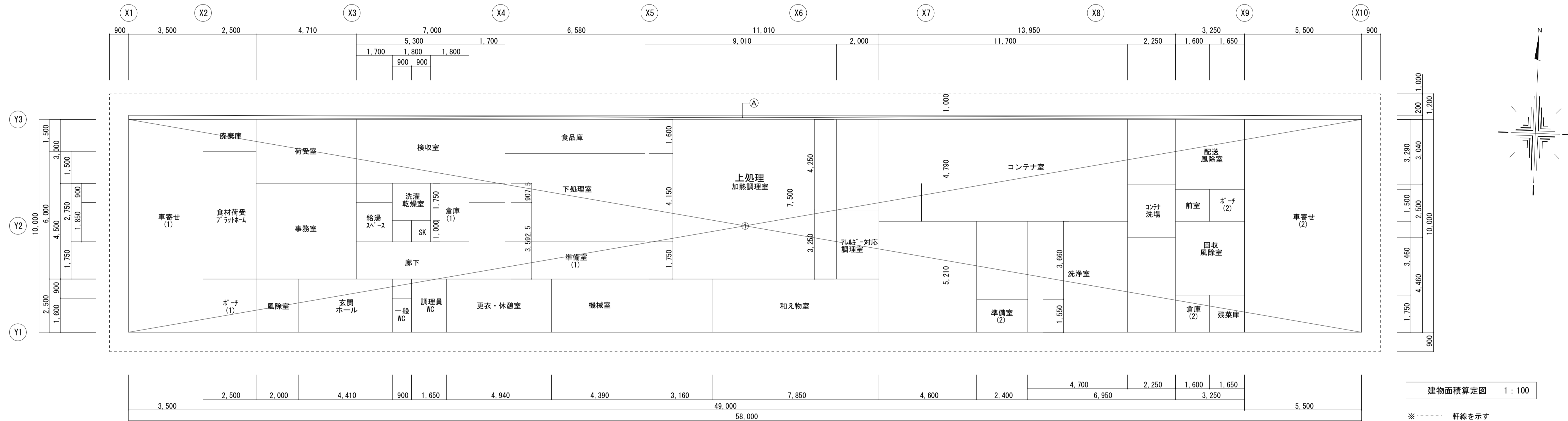
敷地求積図 S=1/200

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	85.09	7.91	673.0619	336.53095
2	78.63	5.72	449.7636	224.88180
3	64.09	3.46	221.7514	110.87570
4	52.46	3.17	166.2982	83.14910
5	46.44	5.33	247.5252	123.76260
6	28.67	7.32	209.8644	104.93220
7	23.04	6.18	142.3872	71.19360
8	20.15	7.51	151.3265	75.66325
9	24.36	11.82	287.9352	143.96760
10	26.93	14.84	399.6412	199.82060
11	26.93	7.79	209.7847	104.89235
12	23.14	9.73	225.1522	112.57610
13	21.58	5.82	125.5956	62.79780
14	10.29	3.87	39.8223	19.91115
15	21.79	0.71	15.4709	7.73545
16	21.79	2.36	51.4244	25.71220
17	21.36	3.49	74.5464	37.27320
18	23.80	13.46	320.3480	160.17400
19	23.80	1.53	36.4140	18.20700
20	22.60	3.25	73.4500	36.72500
21	20.53	1.80	36.9540	18.47700
22	19.71	3.65	71.9415	35.97075
23	18.54	3.93	72.8622	36.43110
24	18.13	8.43	152.8359	76.41795
25	11.99	5.71	68.4629	34.23145
26	8.61	3.76	32.3736	16.18680
27	8.61	0.97	8.3517	4.17585
28	8.13	1.40	11.3820	5.69100
29	7.31	1.73	12.6463	6.32315
30	6.57	1.79	11.7603	5.88015
31	5.94	2.24	13.3056	6.65280
合 計				2,307.21965
敷 地 面 積				2,307.21 m <sup>2</sup>

外部仕上表		特記・共通事項	防火材料認定番号		塗装記号凡例				
屋根	上葺材：完全嵌合式立平葺きフッ素ガルバリウム鋼板t=0.5 #390 表張り：発泡ポリウレタンフォーム 下葺材：放電アスファルトルーフィング（片面粘着）t=1.0 野地板：細木太木二層式木毛セメント板t=40.0	・木材寸法は一般造作見え掛かり材は挽きたて寸法とし、構造材下地、集成材は仕上がり寸法とする。 ・ステンレス材、ステンレス板等は特記なき限りSUS304とする。	アルミスバンドレ	：NM-1170	同等品以上	SOP	：合成樹脂調合ペイント塗り		
			ガルバリウム鋼板	：NM-8697	同等品以上	CL	：クリアラッカー塗り		
軒天	高圧岩綿複層板 t=12.0 + フッ素塗装 EQ1301-1/DAIKEN同等品以上	・クロス下地、塗装下地部はジョイント石膏ボード（テーパーエッジ）を使用すること。 ・屋根工事は10年間以上の保証とすること。 ・内装材・建具・家具は規制対象外（F☆☆☆☆）を使用すること。（仕上、下地、接着材共） ・クロピリホスを使用しないこと。	押出成形セメント板	：NM-9252	同等品以上	NAD	：アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		
			普通石膏ボード t12.5	：NM-8619	同等品以上	DP (A種)	：耐候性塗料塗り		
外壁	窯業系サイディング t=16.0（通気金具止め工法）+透湿防水シート t=0.15 +石膏ボード t=12.5 EPS244/ニテハ同等品以上	・タイルカーベットは防炎加工品及び静電処理品とする。 ・床仕上材が異なる部分にはステンレス製床見切りを使用する。 ・化粧ケイカルシウム板の見掛小口は見切を使用する。	普通石膏ボード t9.5	：QN-9828	同等品以上	EP-G	：つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り		
			不燃積層石膏ボード t9.5	：NM-8613	同等品以上	EP	：合成樹脂エマルジョンペイント塗り		
基礎	コンクリート打放し仕上（B種）	・開口部廻りや金属廻りなどの結露の恐れのある部分は現場発泡ウレタン吹付とする。 ・ビニル床シートは特記なき限り、溶接工法とする。	シーリング石膏ボード t12.5	：NM-9639	同等品以上	EP-T	：合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り		
			強化石膏ボード t12.5	：NM-8615	同等品以上	UC	：ウレタン樹脂エマルジョン塗り		
ポーチ (1)(2)	床：コンクリート金ゴテの上エポキシ樹脂塗床t2.0 天井：高圧岩綿複層板 t=12 + フッ素塗装 ※屋外階段の踏面/踊場は床と同等仕上とする	・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。 ・外部に使用するシーリング材は高耐久性、低汚染性のものを使用する。 ・床及び壁の貫通部仕様（防火区画及び引114条区画）は引112条20項/21項による施工とする。 ・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。 ・内部の鉄部見え掛かり部分は、特記なき限り錆止め塗装の上、SOPとする。	化粧石膏ボード t9.5	：QM-9824	同等品以上	略号	ST	：ビグメントステイン塗り	
			化粧石膏ボード t12.5	：NM-9645	同等品以上		WP	：木材保護塗料塗り	
食材荷受 プラットフォーム	床：コンクリート金ゴテの上エポキシ樹脂塗床t2.0 天井：高圧岩綿複層板 t=12 + フッ素塗装	・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。 ・内部の鉄部見え掛かり部分は、特記なき限り錆止め塗装の上、SOPとする。	ロックウール化粧吸音板 t9.0	：NM-8599	同等品以上	C	：コンクリート下地	GB-R	：石膏ボード
			繊維強化セメント板 JIS A 5430に準拠	：NM-8576	同等品以上	M	：モルタル下地	GB-NC	：不燃積層石膏ボード
車寄せ	床：コンクリート金ゴテ仕上 天井：高圧岩綿複層板 t=12 + フッ素塗装 ※屋外階段の踏面/踊場はポーチ床と同等仕上とする	・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。 ・内部の鉄部見え掛かり部分は、特記なき限り錆止め塗装の上、SOPとする。 ・各所に設置する消火器は管轄消防署の指導に従い設置すること。	繊維混入けい酸カルシウム板 t5.0以上	：NM-8578	同等品以上	S	：鉄骨下地	GB-S	：シーリング石膏ボード
			化粧繊維強化セメント板 JIS A 5430に準拠	：NM-8579	同等品以上	LGS	：軽量鉄骨下地	GB-F	：強化石膏ボード
開口部	スチール製建具、アルミ製軽量電動シャッター アルミ製建具（FL5+A12+FL5/日射取得型、断熱タイプ）	・塩ビ製廻縁は見付15mm型とする。 ・額縁等内部造作材は杉集成材とする。 ・天井裏等の建築材料はF☆☆☆☆以上とする。	化粧繊維混入けい酸カルシウム板 t5.0以上	：NM-8579	同等品以上	CB	：コングラブ R04下地	GB-R-H	：普通硬質石膏ボード
			化粧繊維混入けい酸カルシウム板 t6.0	：NM-4339、NM5037 ※	同等品以上	W	：木軸下地	GB-D	：化粧石膏ボード
その他	〔施設設備〕 館名サイン、館内案内サイン、室名サイン、靴洗機場、トラックガード、手摺、郵便受 北側：屋外階段（コンクリート金ゴテ仕上） 北側：室外機基礎（コンクリート金ゴテ仕上） 西側車寄せ内：ポンペ庫基礎（コンクリート金ゴテ仕上） 〔附帯建物〕 電気発電庫、油庫基礎、除害設備基礎、機械室基礎、受水槽基礎 ゴミ庫：基礎、上屋-LMD(S)-2918型/ヨド同等品以上 ポンペ庫：基礎、上屋-BN-500/ホクエイ同等品以上		メラミン不燃化粧板	：NM-2183	同等品以上	DP	：デッキプレート	FL	：透明硝子
			不燃ビニルクロス	：NM-3992	同等品以上	SUS	：ステンレス	F	：型板硝子
			塗装基材同等	：NM-8585	同等品以上	GW	：グラスウール	PW	：網入り硝子
			吹付けロックウール	：NM-8601	同等品以上	GWB	：グラスウールボード	FW	：網入り透明硝子
			吹付硬質ウレタンフォーム	：NM-5332	同等品以上	HL	：ヘアライン	T	：強化硝子
			高圧岩綿複層板	：NM-4131	同等品以上	(金)	：金コテ	FT	：透明強化硝子
			窯業サイディング	：QM-0639	同等品以上	(木)	：木コテ	A	：空気層

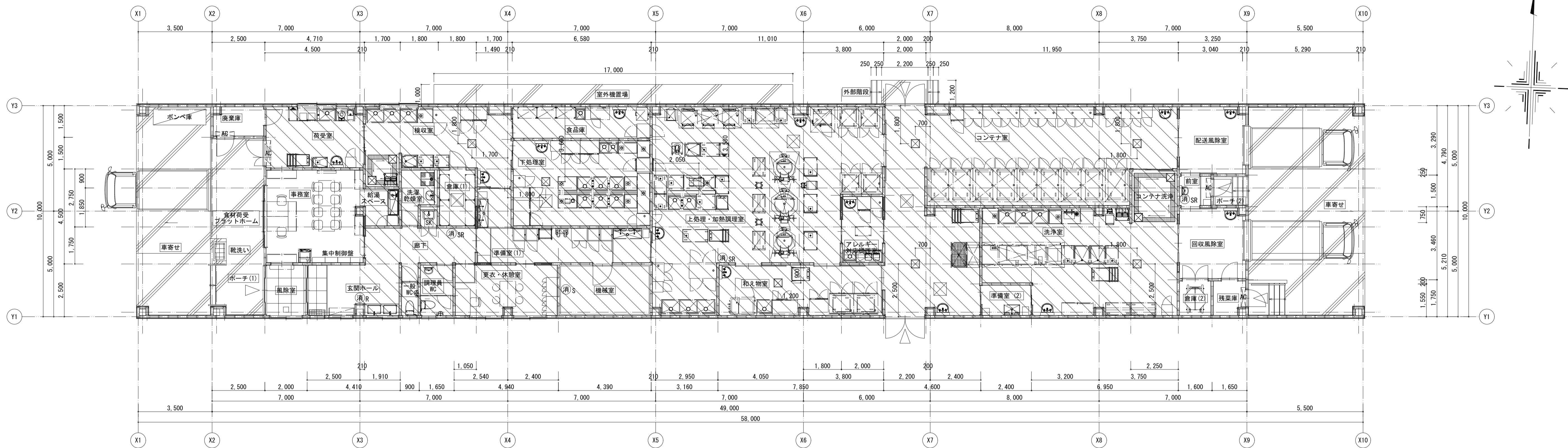
内装仕上表		床										巾木				壁				天井				備考（建築工事）		備考（設備工事）		室名
区域	居室	室名	床高	丸み 仕上	下地	仕上				仕上				仕上				天井高	廻縁	カーテン ボックス					室名			
						磁器質タイル	300角	磁器質タイル	100角	100	LGS	仕上	塗装	H	下地	仕上	塗装									下地	仕上	塗装
一般 エリア		風除室	±0	+15 ~ +20	C(金)	磁器質タイル	300角	磁器質タイル	100角	100	LGS	GB-R	t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.700	塩ビ			受付カウンター			風除室	
		玄関ホール 廊下	±0	±0 ~ +20	C(金)	長尺塩ビシート、一部磁器質タイル	300角	磁器質タイル	100角 ビニル巾木	100	LGS	GB-R	t12.5+EP-G、一部GB-S t12.5+化粧ケイカルシウム板 t=6.0	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.700	塩ビ	○ ブラインド		洗面台 半埋込型消火器BOX、埋込型消火器BOX	ABC消火器10型×2		玄関ホール・廊下	
		○ 事務室	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-R	t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.700	塩ビ	○ ブラインド		収納棚			事務室	
		給湯スペース	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-R	t12.5+EP-G、一部GB-S t12.5+化粧ケイカルシウム板 t=6.0	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.700	塩ビ			キッチンセット			給湯スペース	
		一般WC	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-S	t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.550	塩ビ			洋便器、手洗い、防湿鏡（上下SUS枠）			一般WC	
		SK	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-S	t12.5+EP-G、一部GB-S t12.5+化粧ケイカルシウム板 t=6.0	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.550	塩ビ			ライニング、フック掛け	シロップシンク		SK	
		○ 洗濯乾燥室	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-S	t12.5+EP-G、一部GB-S t12.5+化粧ケイカルシウム板 t=6.0	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.700	塩ビ			ライニング	洗濯排水パン		洗濯乾燥室	
		調理員WC	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-S	t12.5+EP-G、一部GB-S t12.5+化粧ケイカルシウム板 t=6.0	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.550	塩ビ			ライニング、フック掛け	洋便器、手洗い、防湿鏡（上下SUS枠）		調理員WC	
		○ 更衣休憩室	±0	±0	C(金)	長尺塩ビシート	t=2.0	ビニル巾木		100	LGS	GB-R	t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D	t9.5			2.550	塩ビ	○ ブラインド		下足収納棚			更衣休憩室	
		準備室(1)	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						準備室(1)
	準備室(2)	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						準備室(2)	
	機械室	-20	-20	C(金)	防塵クリア塗装		ビニル巾木		100	LGS	GB-R	t12.5+GWB t50		LGS	GB-R	t9.5+GWB t50			2.700	—					スタンド型消火器			機械室
	残菜庫	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ					エアーカーテン		残菜庫
	前室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ			ライニング	半埋込型消火器BOX、エアーカーテン		前室	
汚 染 作 業 区 域		廃棄庫	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ				エアーカーテン		廃棄庫
		○ 荷受室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ			受付カウンター	エアーカーテン		荷受室
		○ 検収室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ			各所樹：□400樹脂グレーチング、SUS受枠 洗浄用側溝：□400樹脂グレーチング、SUS受枠 D200樹脂グレーチング、SUS受枠			検収室
		食品庫	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						食品庫
		○ 下処理室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ			各所樹：□400樹脂グレーチング、SUS受枠			下処理室
		○ 洗浄室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ			各所樹：□400樹脂グレーチング、SUS受枠 洗浄用側溝：□400樹脂グレーチング、SUS受枠 D200樹脂グレーチング、SUS受枠			洗浄室
		回収風除室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						回収風除室
		倉庫(1)	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						倉庫(1)
		倉庫(2)	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート	t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	FK	t=8.0+化粧ケイカルシウム板 t=6.0		LGS	FK	t=6.0+EP-G			EP-G	2.700	塩ビ						倉庫(2)

内装仕上表		床		巾木		壁		天井				備考 (建築工事)	備考 (設備工事)	室名						
区域	居室	室名	床高	SLから 仕上げまで	下地	仕上	仕上	塗装	H	下地	仕上	塗装	天井高	廻縁	カーテン ボックス					
非汚染作業区域	○	上処理加熱調理室	±0	+15 ~ +20	C(金)	防滑性複合ビニル床シート t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=8.0 + 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G			D5移動式ポンクビット 半埋込型消火器BOX	ABC消火器10型	上処理・加熱調理室	
	○	和え物室	±0	±0 ~ +20	C(金)	防滑性複合ビニル床シート t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=8.0 + 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G			各所樹: □400樹脂グレーチング、SUS受枠		和え物室	
	○	コンテナ室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=8.0 + 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G			各所樹: □400樹脂グレーチング、SUS受枠		コンテナ室	
		配送風除室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=8.0 + 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G						配送風除室
高度清潔区域	○	アレルギー対応調理室	±0	±0	C(金)	防滑性複合ビニル床シート t=2.0 (HACCP対応)	ビニル巾木		100	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=8.0 + 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G						アレルギー対応調理室

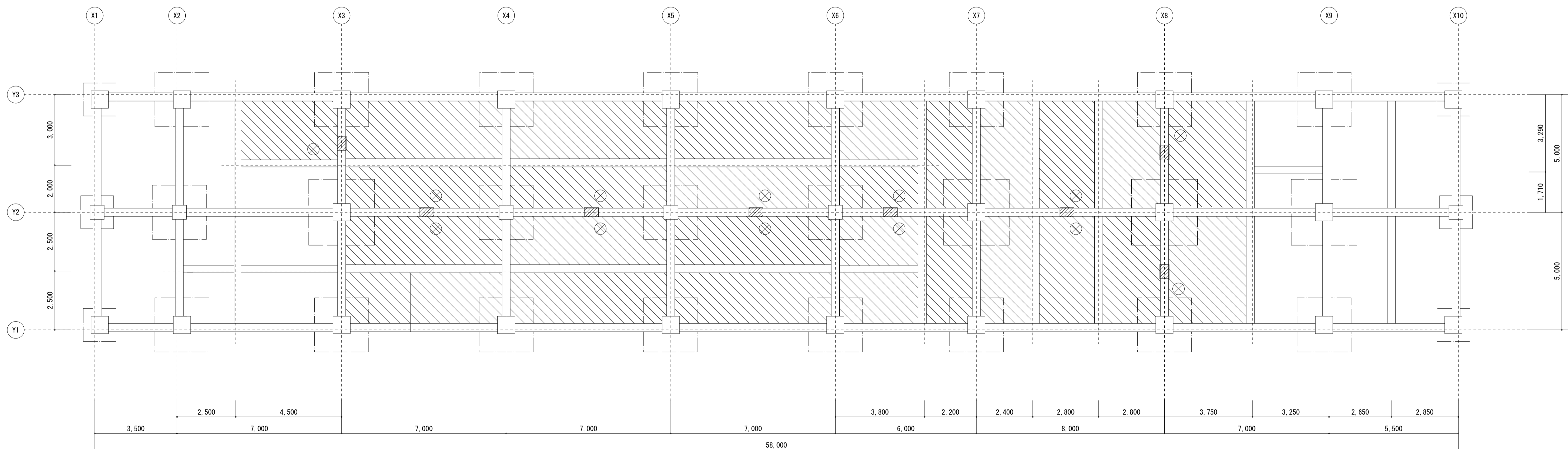


①	10.000 × 58.000	=	580.00000
②	0.200 × 58.000	=	11.60000
延べ床面積	①		580.00
建築面積	① + ②		591.60

区域	室名	算定式	面積	区域	室名	算定式	面積	区域	室名	算定式	面積	
一般エリア	風除室	2.5000 × 2.0000	5.000000	汚染作業区域	廃棄庫	1.5000 × 2.5000	3.750000	非汚染作業区域	上処理・加熱調理室	7.5000 × 9.0100	67.575000	
	玄関ホール・廊下	2.5000 × 4.4100	11.025000		荷受室	3.0000 × 4.7100	14.130000		和え物室	2.5000 × 2.0000	5.000000	
	事務室	1.7500 × 5.3000	9.275000		検収室	3.0000 × 7.0000	21.000000		コンテナ室	2.5000 × 3.1600	7.900000	
	給湯スペース	0.9000 × 0.9000	0.810000		検収室	0.9000 × 1.7000	1.530000		配送風除室	2.5000 × 7.8500	19.625000	
	一般WC	0.9000 × 0.9000	0.810000		下処理室	0.9075 × 1.7000	1.542750		コンテナ室	4.7900 × 11.7000	56.043000	
	SK	1.0000 × 0.9000	0.900000		洗浄室	1.6000 × 6.5800	10.528000		配送風除室	3.0400 × 2.2500	6.840000	
	洗濯乾燥室	1.7500 × 1.8000	3.150000		下処理室	4.1500 × 6.5800	27.307000		アレルギー対応調理室	5.2100 × 4.6000	23.966000	
	調理員WC	1.0000 × 0.9000	0.900000		洗浄室	3.6600 × 2.4000	8.784000		アレルギー対応調理室	3.2900 × 3.2500	10.692500	
	更衣休憩室	1.7500 × 1.8000	3.150000		コンテナ洗場	5.2100 × 4.7000	24.487000		アレルギー対応調理室	3.2500 × 2.0000	6.500000	
	準備室(1)	1.0000 × 0.9000	0.900000		回収風除室	4.4600 × 2.2500	10.035000		その他	ボーチ(1)	2.500 × 2.500	
	準備室(2)	1.0000 × 0.9000	0.900000		倉庫(1)	2.5000 × 2.2500	5.625000			ボーチ(2)	1.500 × 1.650	
	機械室	1.7500 × 4.9400	12.350000		倉庫(2)	3.4600 × 3.2500	11.245000			食材荷受プラットフォーム	6.000 × 2.500	
	廃棄庫	3.5925 × 1.7000	6.107250			準備室(2)	1.5500 × 1.6000		2.480000	車寄せ(1)	10.000 × 3.5000	
	前室	1.7500 × 6.5800	11.515000			車寄せ(2)	10.000 × 5.5000		55.000000	車寄せ(2)	10.000 × 5.5000	
合計			580.000000									



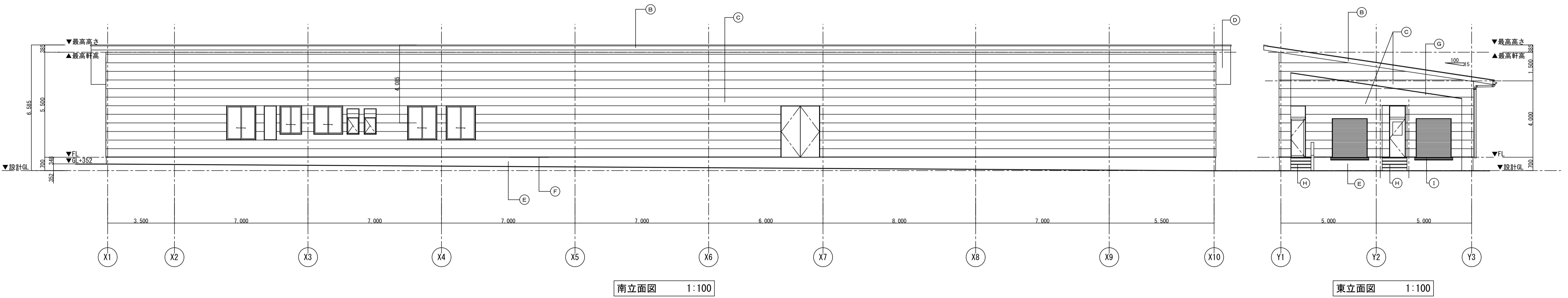
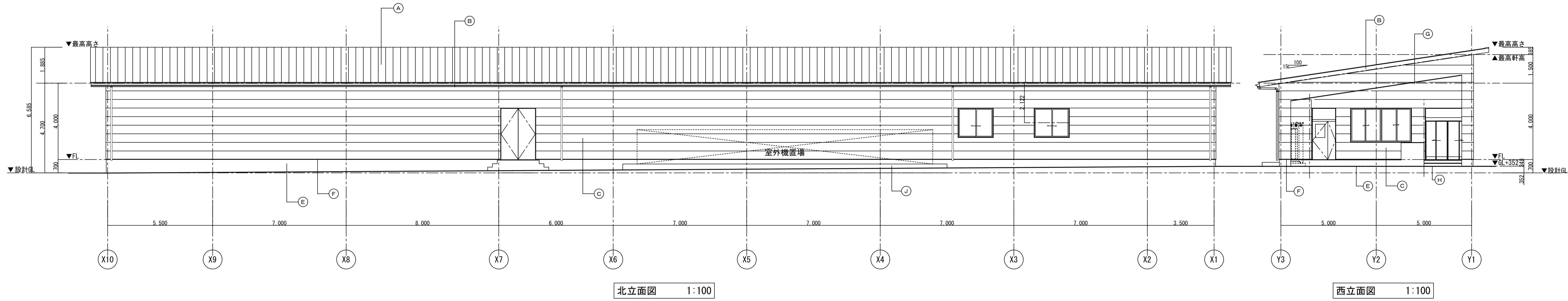
平面図 1 : 100



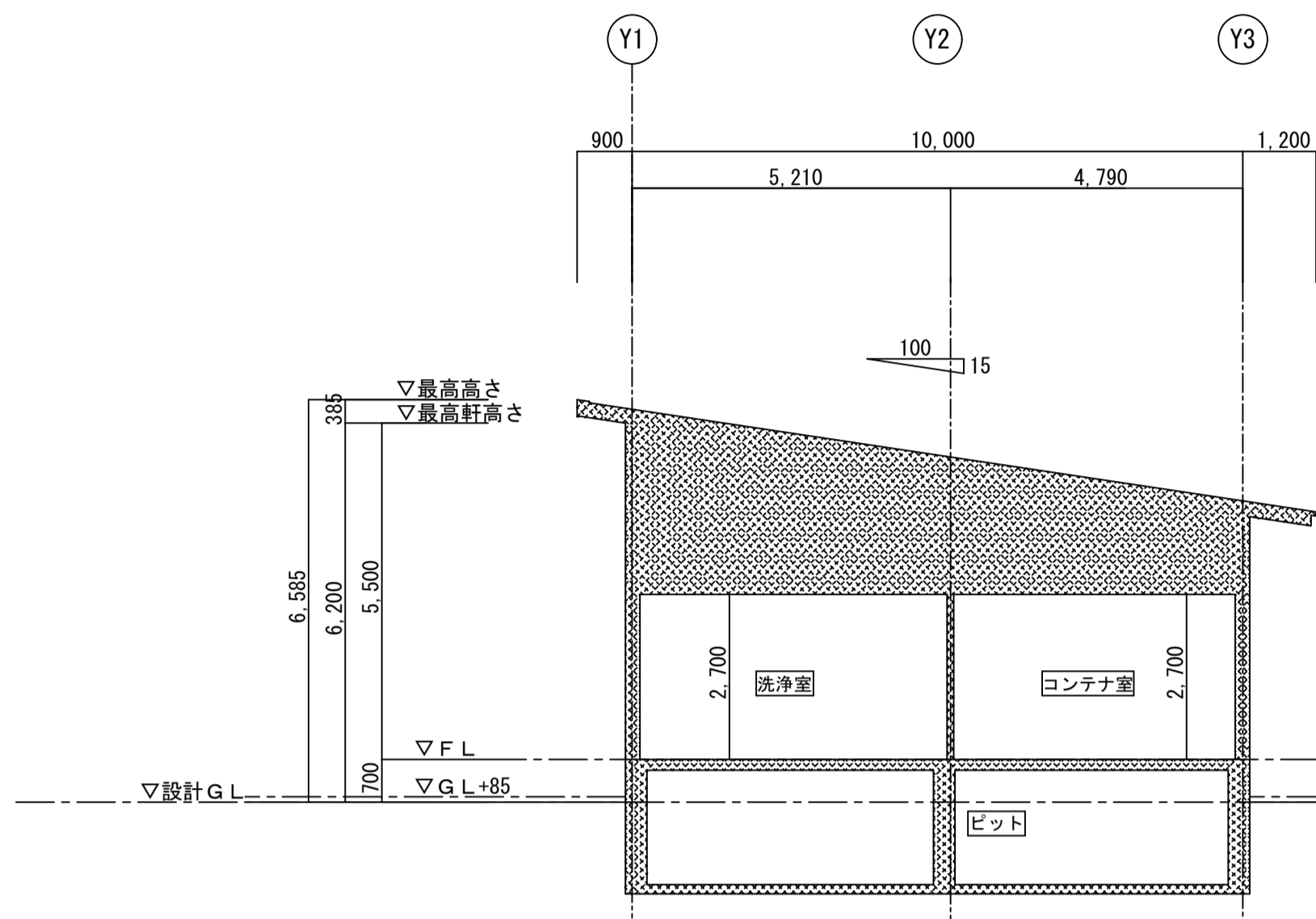
地下ピット平面図 1 : 100

凡例

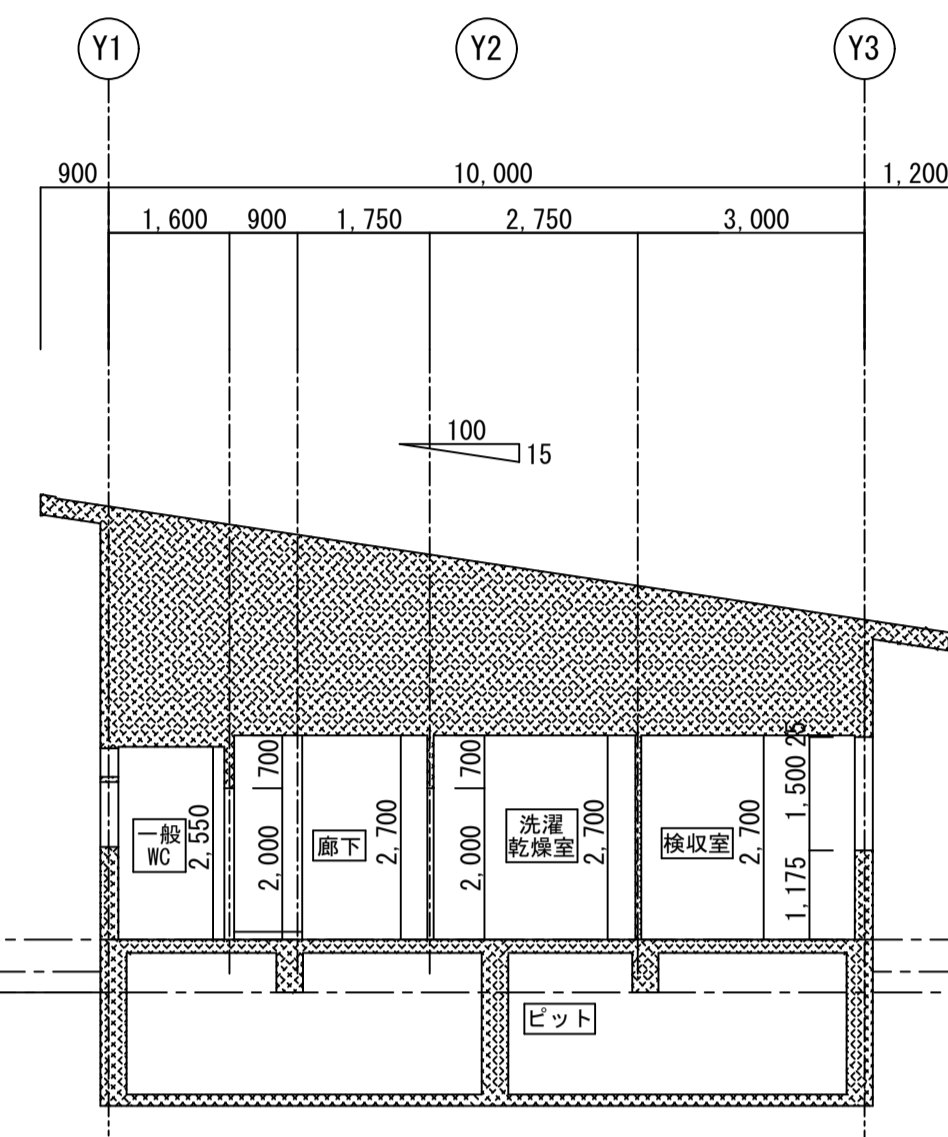
	出入口		埋込型消火器 (BOX-建築工事、消火器-機械設備工事)		樹 400×400 防滑性樹脂ゲレーチング
	防火設備		人通路 600×600		側溝 W200 防滑性樹脂ゲレーチング
	エアカテナ (機械設備工事)		窯場 500×500 H=500		側溝 W1600×D900 防滑性樹脂ゲレーチング
	スタンド型消火器 (機械設備工事)		床下点検口 600角(ステンレス製) 昇降ステップ		
	半埋込型消火器 (BOX-建築工事、消火器-機械設備工事)		地下ピット部分を示す		



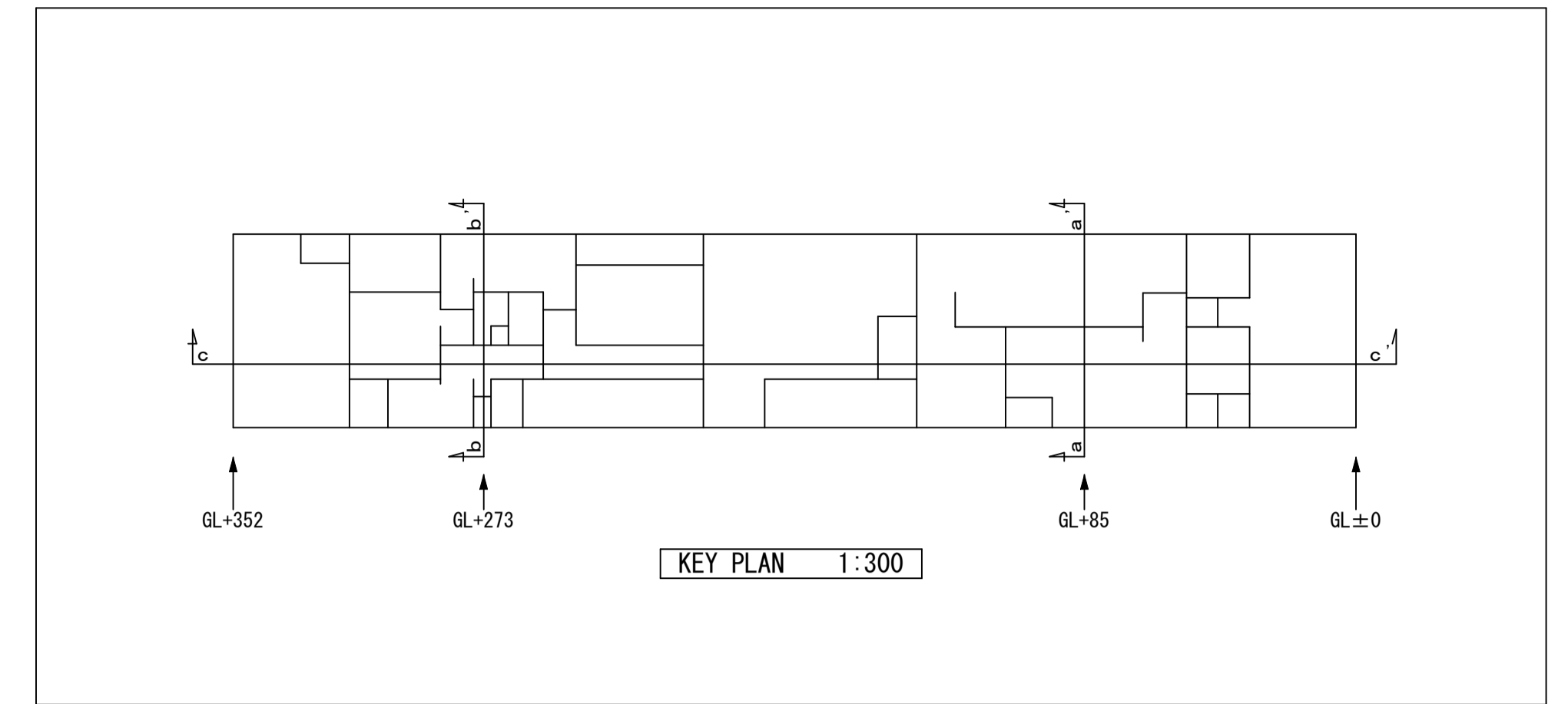
凡例	Ⓐ	屋根：完全嵌合式立平葺きフッ素ガルバリウム鋼板 t=0.5 #390	Ⓗ	埋込見切
	Ⓑ	破風：フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.5	Ⓘ	衝撃吸収緩衝材 H=150 トラックガード
	Ⓒ	外壁：窯業系サイディング t=16 (金具止め工法)	Ⓙ	室外機基礎：コンクリート金ゴテ仕上
	Ⓓ	軒天：高圧岩綿被覆板 t=12 フッ素塗装		
	Ⓔ	基礎：コンクリート打放し (B種) 仕上		
	Ⓕ	水切：フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.4		
	Ⓖ	見切縁：サイディング役物		



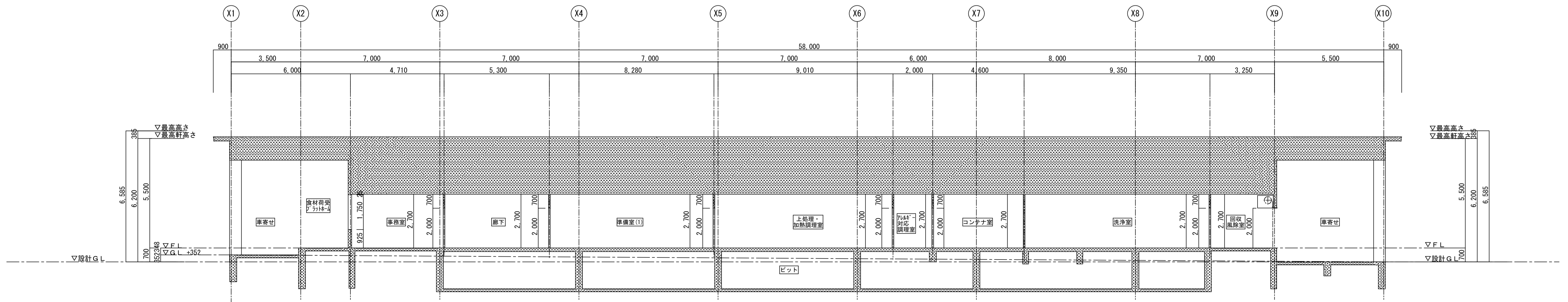
a-a' 断面図 1:100



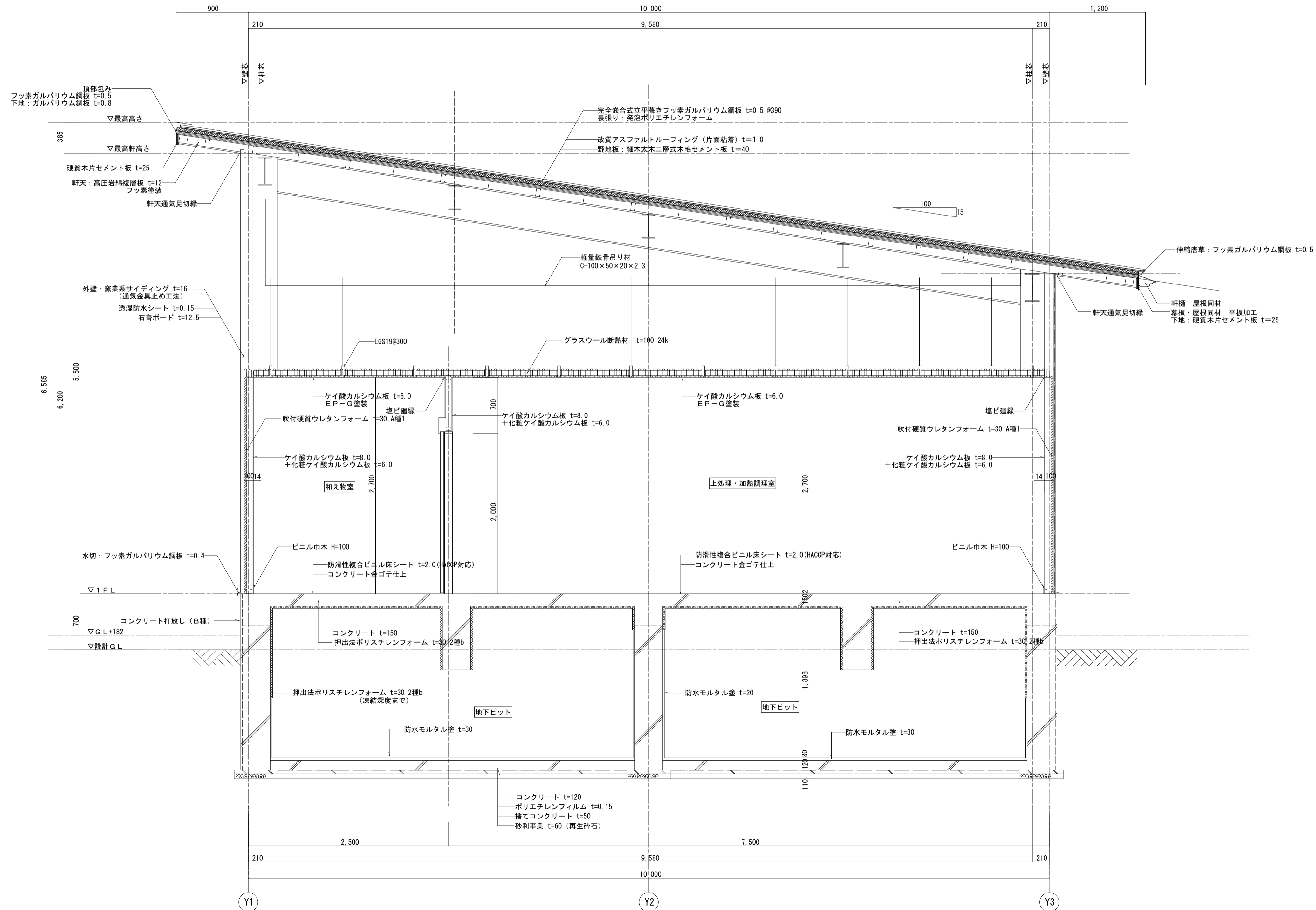
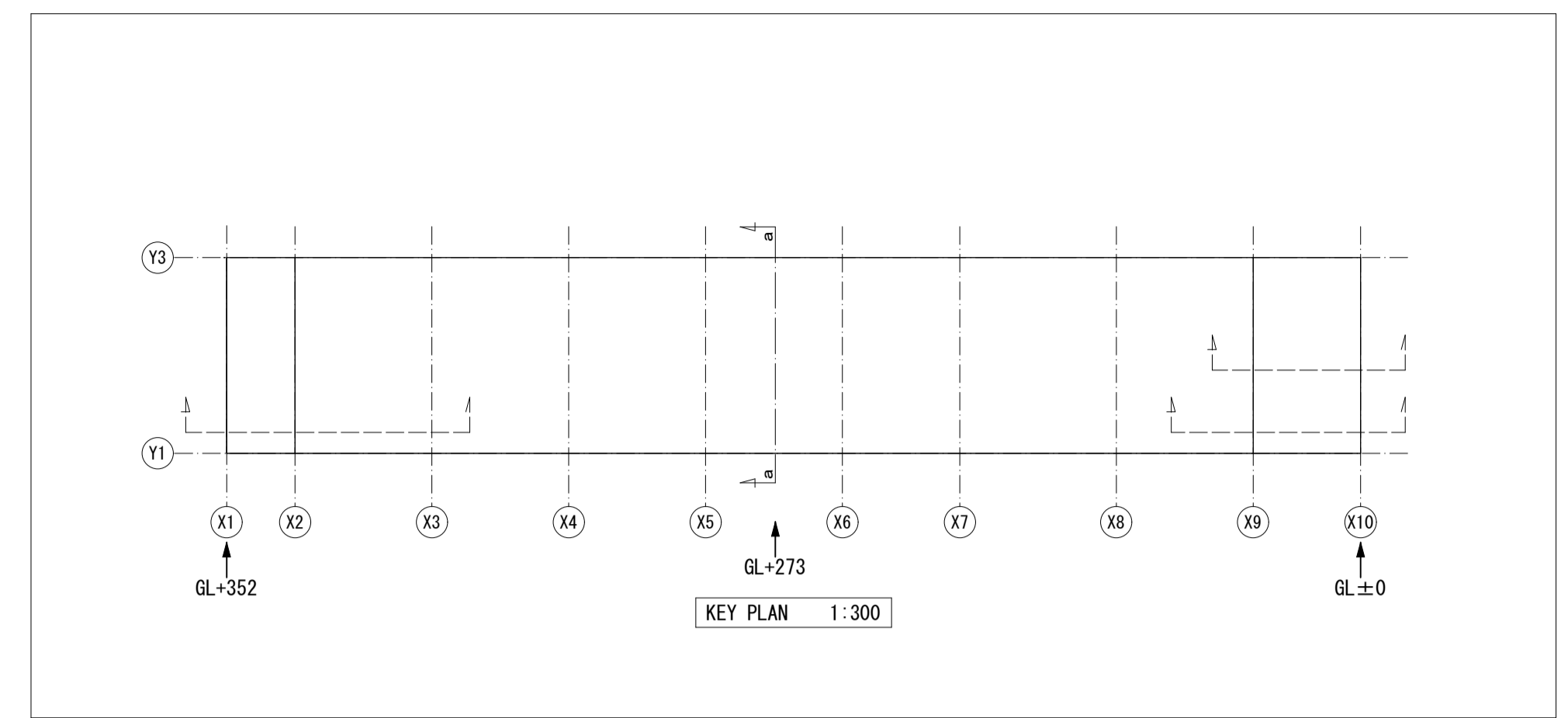
b-b' 断面図 1:100



KEY PLAN 1:300



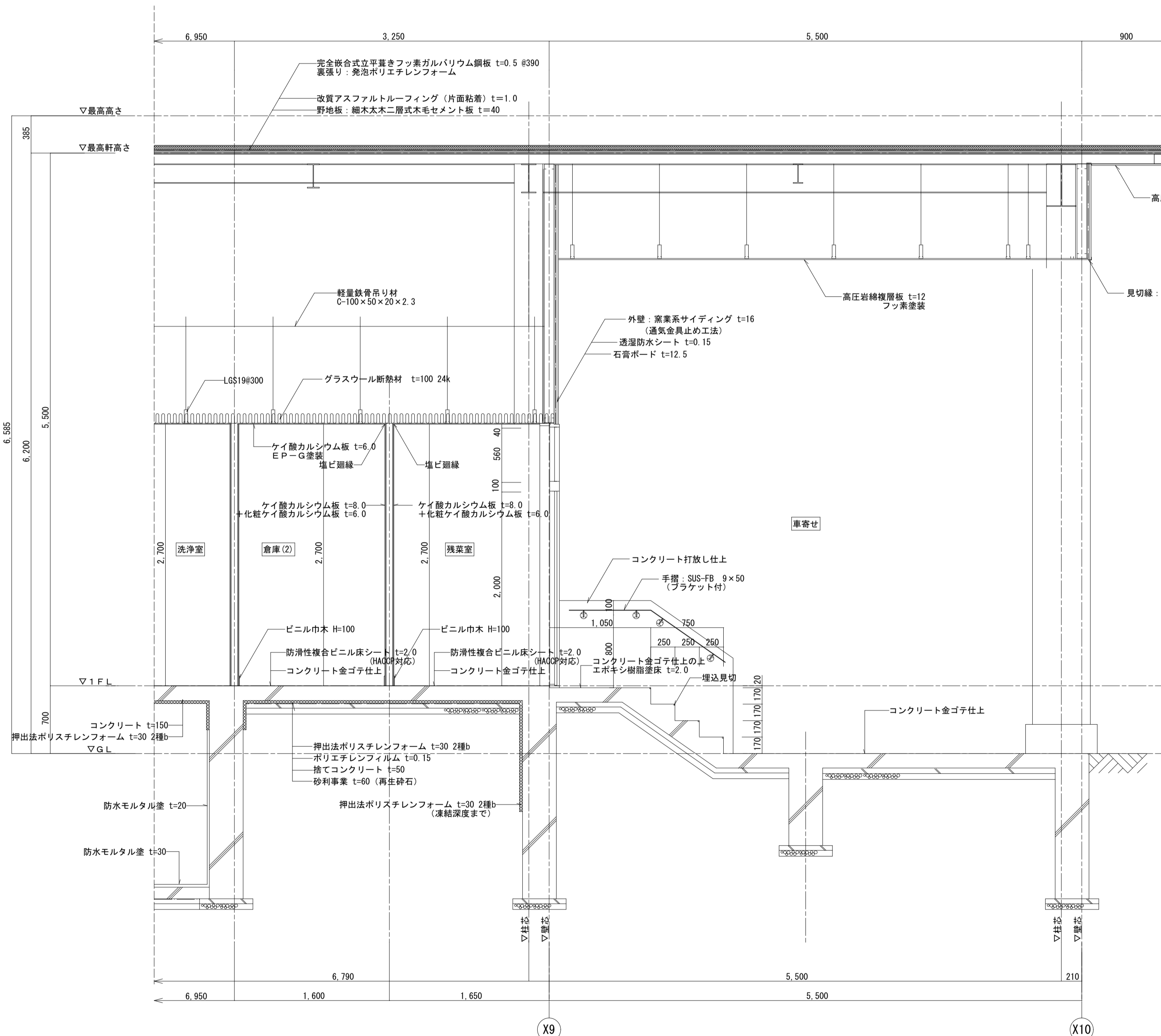
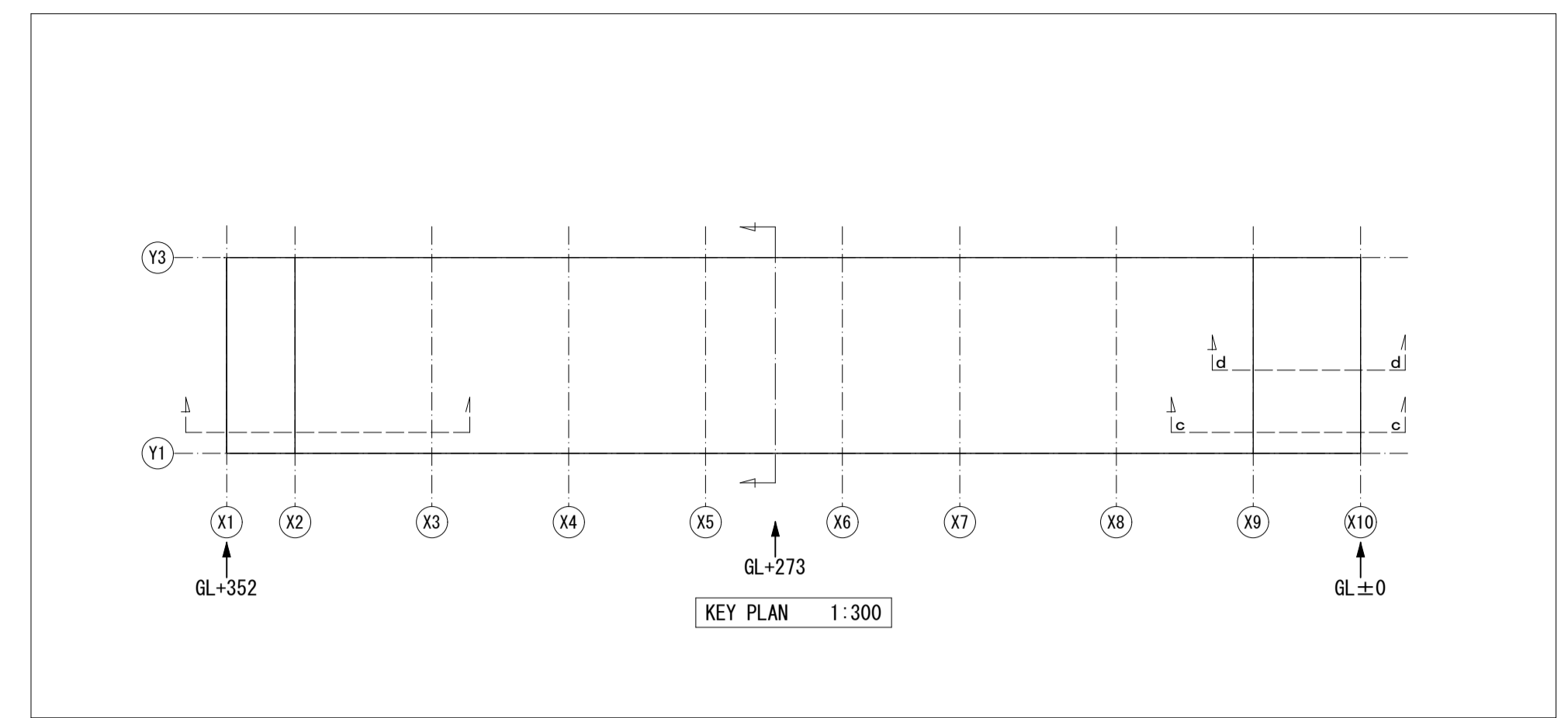
c-c' 断面図 1:100



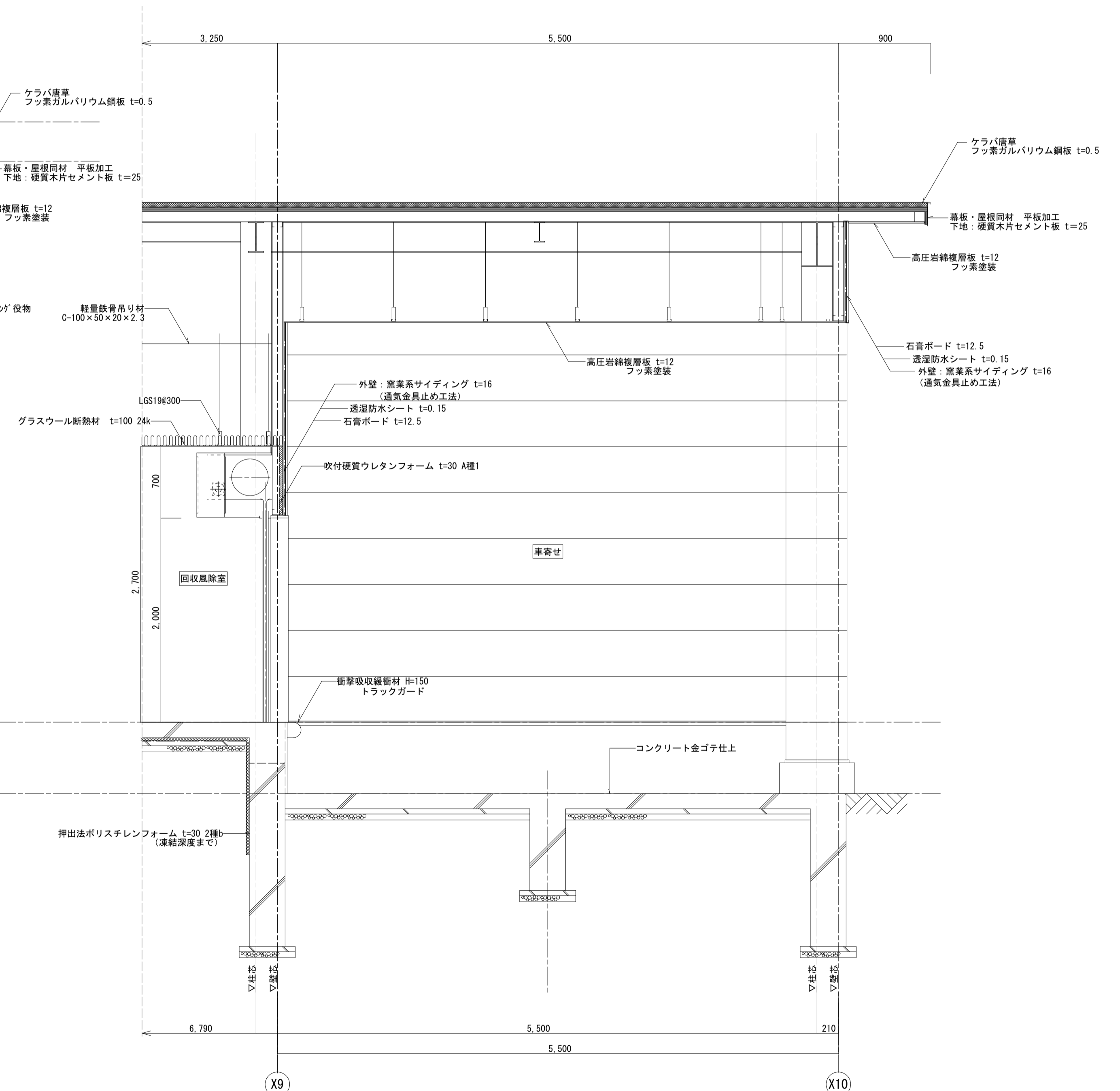
a-a 矩計図 1:30

DRAWING 矩計図-1	SCALE A1:1/20 A3:1/60
PROJECT (仮称) 大開町学校給食センター建設工事	DATE 2026.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第233491号 山内 剛男	DRAWING No. A-08

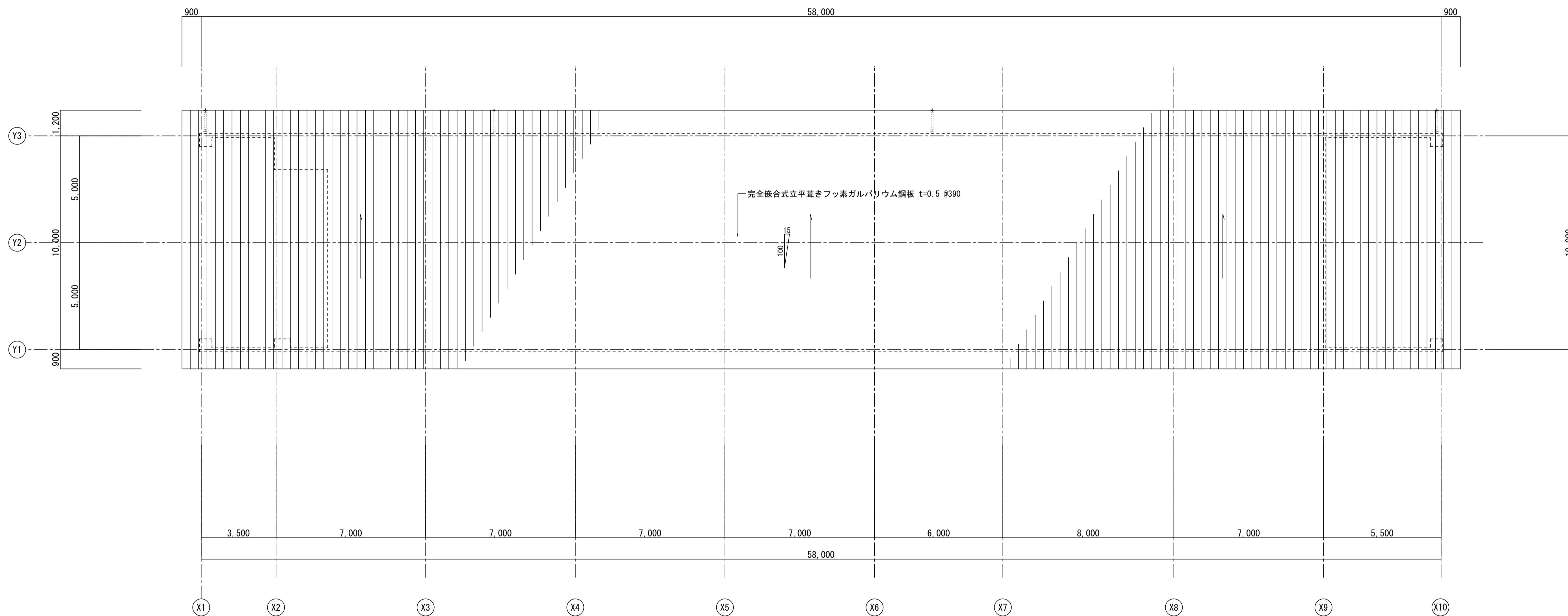
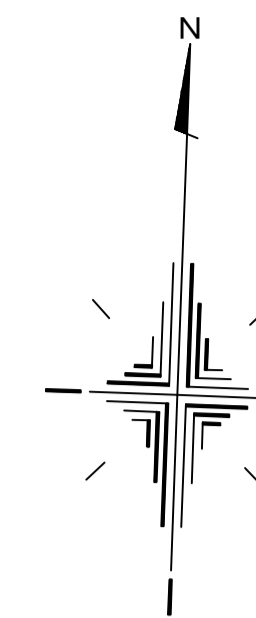




c-c 矩計図 1:30



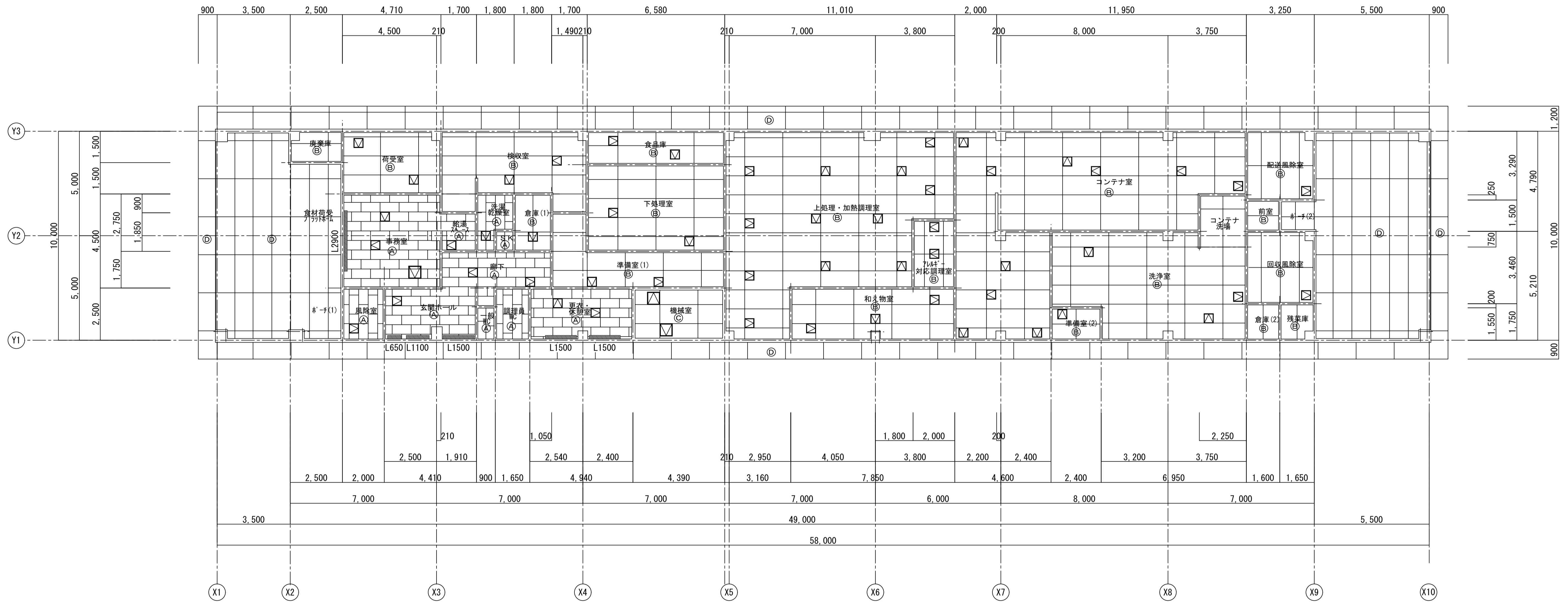
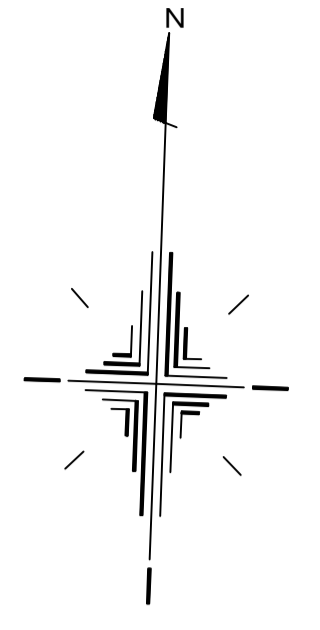
d-d 矩計図 1:30



屋根伏図 1:100

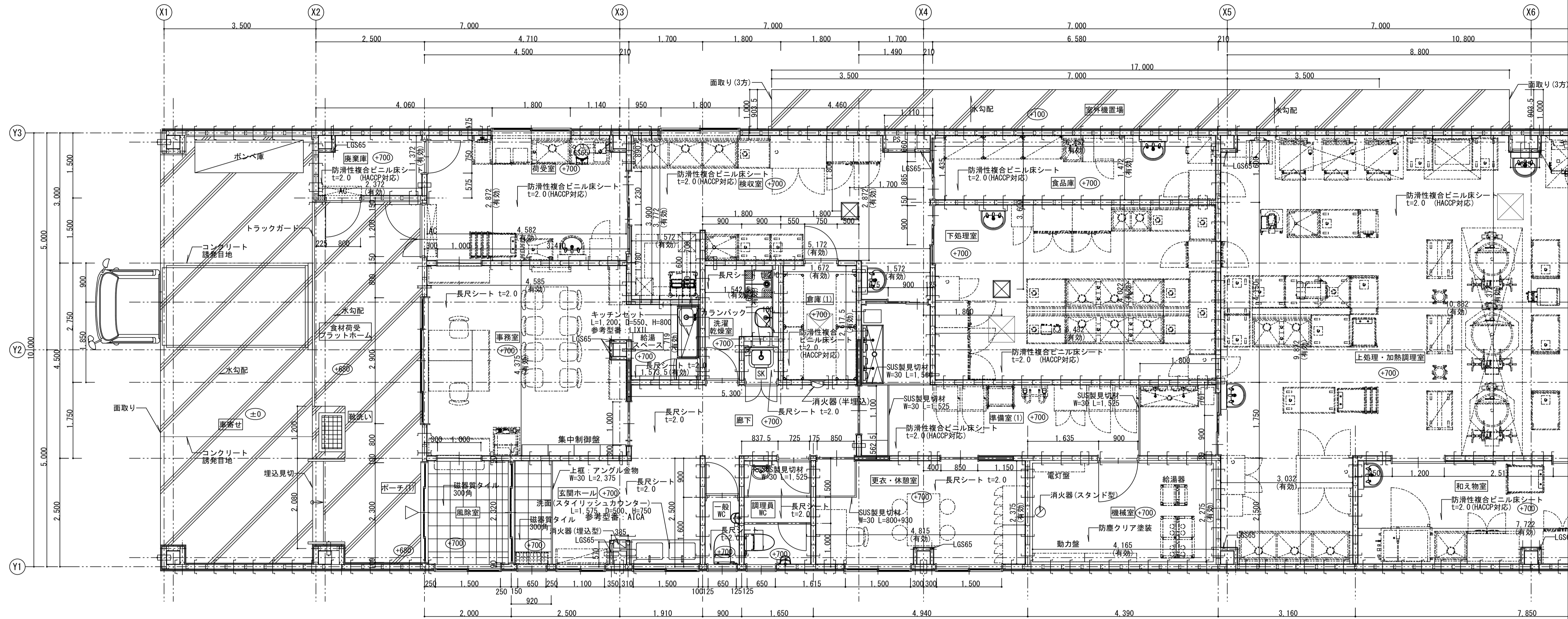
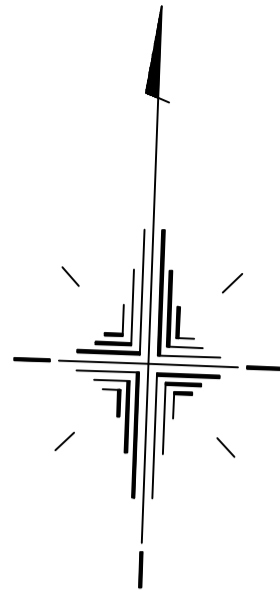
- ⊕ 内樋を示す (建築工事)
- ⊙ 外樋を示す (機械設備工事)

DRAWING	屋根伏図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	(仮称) 大開町学校給食センター建設工事	DATE	2026.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第233491号 山内 剛男		DRAWING No.	A-11



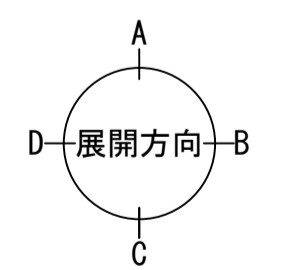
天井伏図 1:100

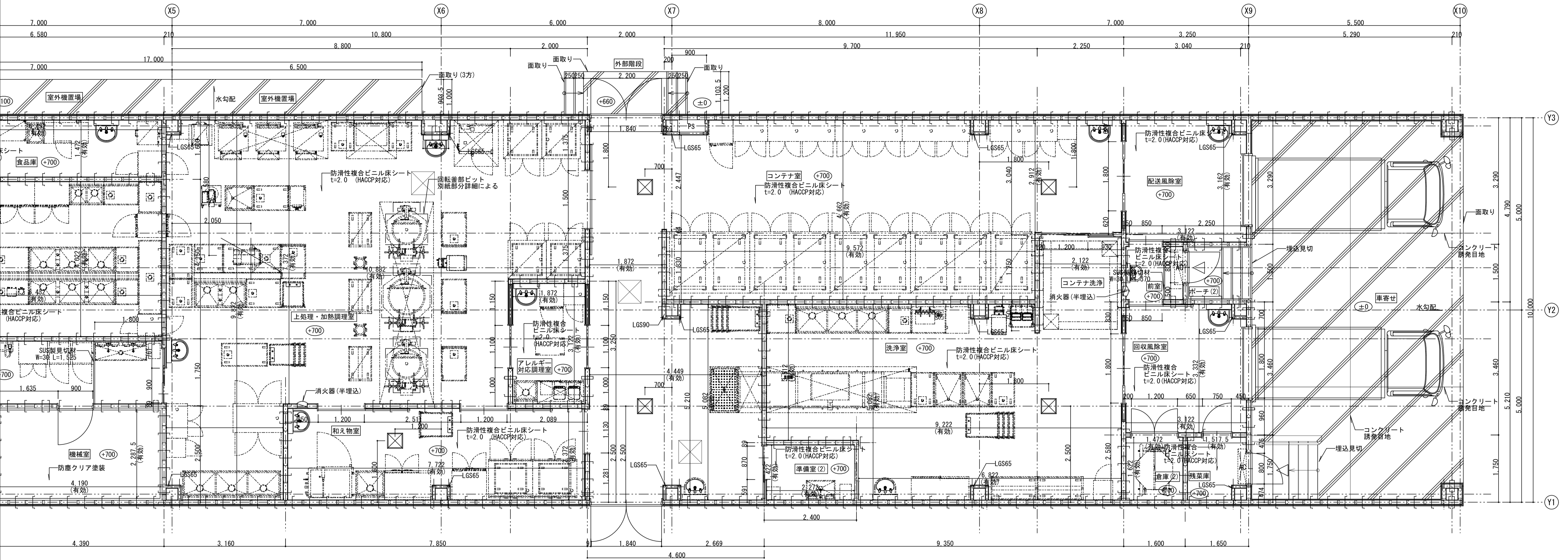
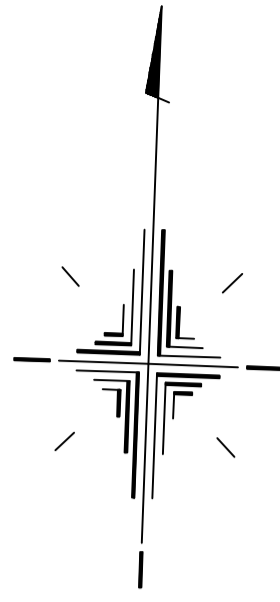
凡例	
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9.5
Ⓑ	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G
Ⓒ	グラスウールボード t=50
Ⓓ	高圧岩綿複層板 t=12 フッ素塗装
	天井点検口 600×600 3ヶ所
	天井点検口 450×450 54ヶ所
	木製カーネーション W150×H120



平面詳細図(1) 1:50

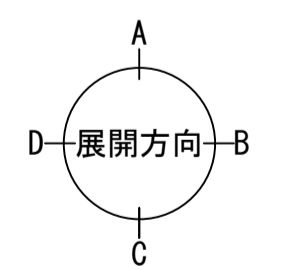
- 凡例
- : 鋼織 C-100×50×20×2.3 @455
  - : 軽量鉄骨下地 ※特記なき場合はLGS100
  - : 消火器ABC 10型 半埋込型BOX共 (本体・扉: ポンテ銅板製)
  - : 消火器ABC 10型 埋込型BOX共 (本体・扉: ポンテ銅板製)
  - : 消火器ABC 10型 スタンド共 (床置き型)
  - : 柵 400×400 防滑性樹脂ゲレータ
  - : 床下点検口 600角 (ステン製) 昇降ステップ

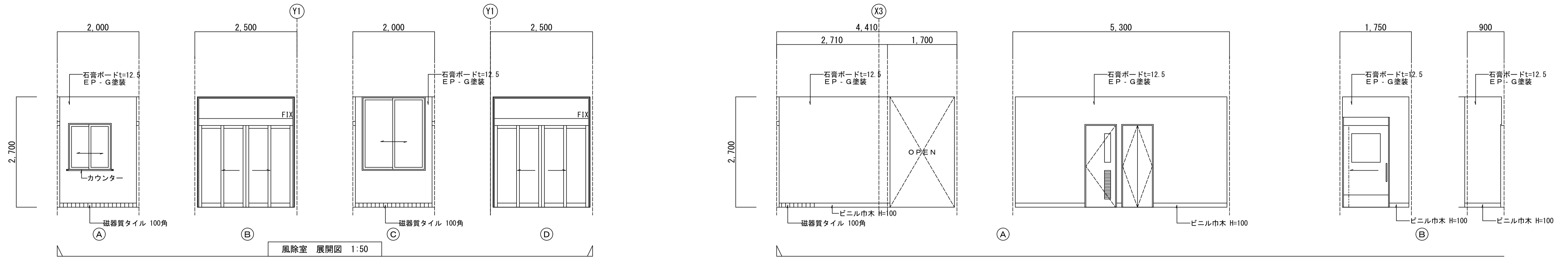




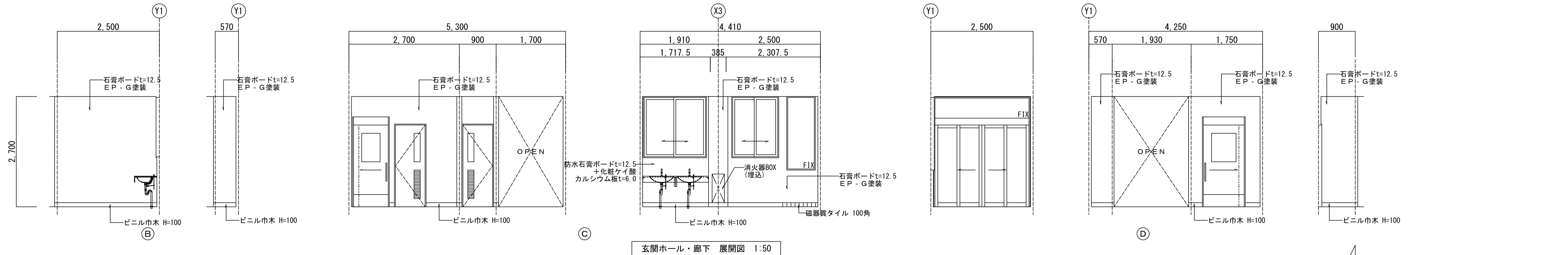
平面詳細図(2) 1:50

- 凡例
- : 鋼線 C-100×50×20×2.3 @455
  - : 軽量鉄骨下地 ※特記なき場合はLGS100
  - : 消火器ABC 10型 半埋込型BOX共 (本体・扉: ポンテ鋼板製)
  - : 消火器ABC 10型 埋込型BOX共 (本体・扉: ポンテ鋼板製)
  - : 消火器ABC 10型 スタンド共 (床置き型)
  - : 樹 400×400 防汚性樹脂がレチク
  - : 床下点検口 600角 (ステン製) 昇降ステップ

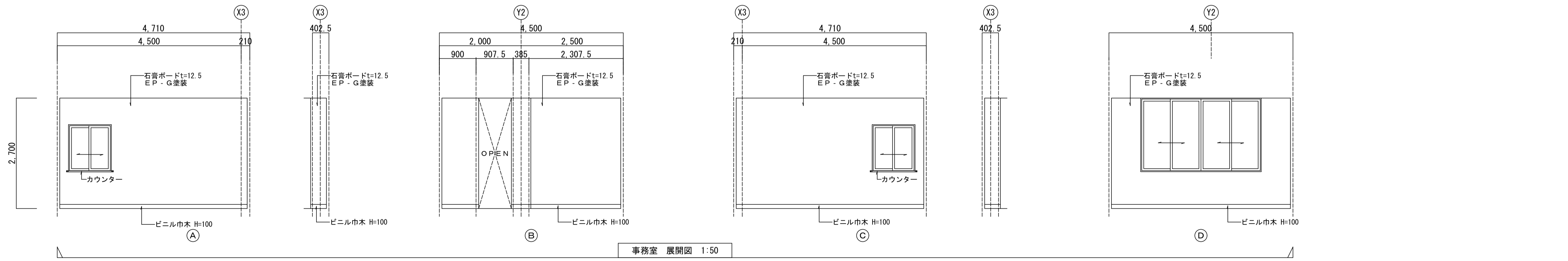




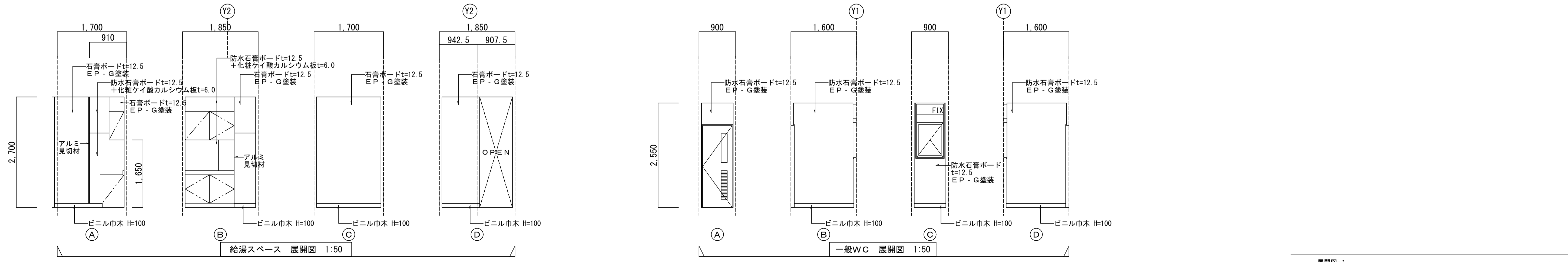
風除室 展開図 1:50



玄関ホール・廊下 展開図 1:50

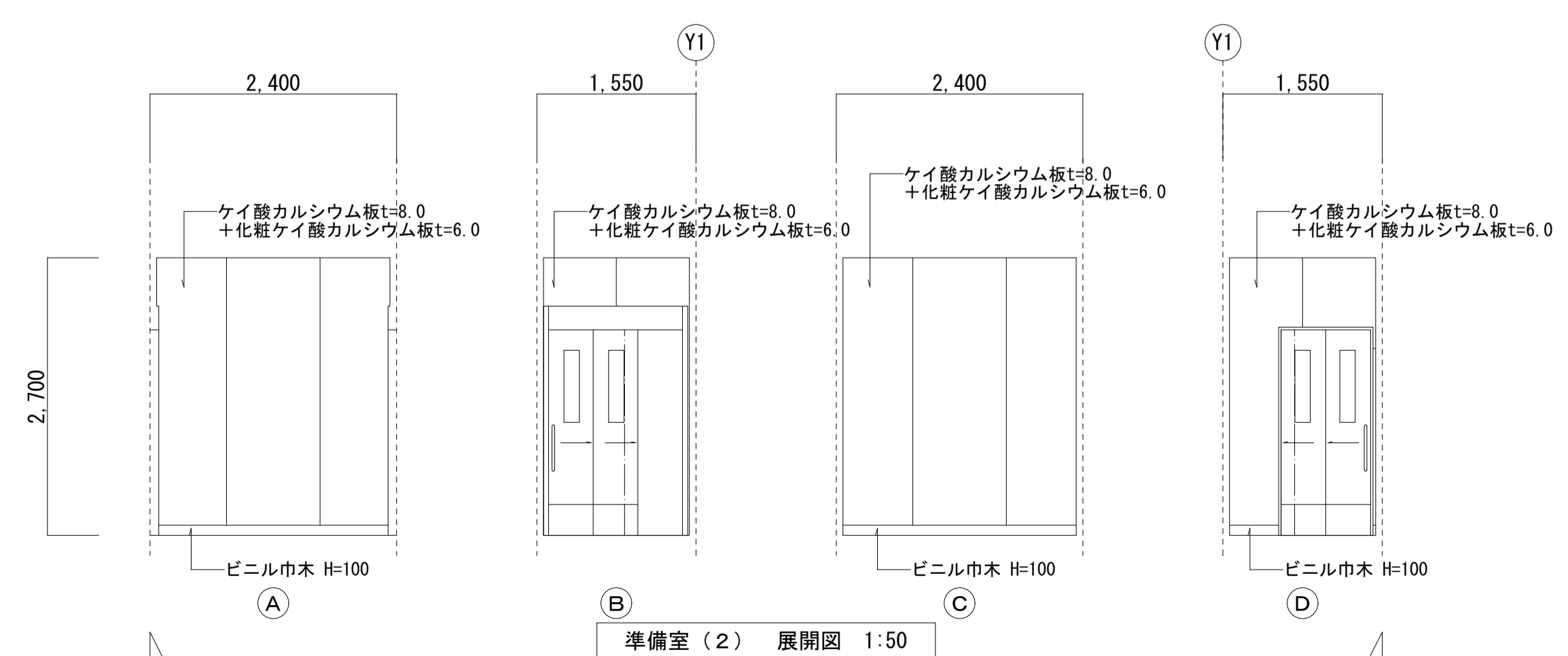
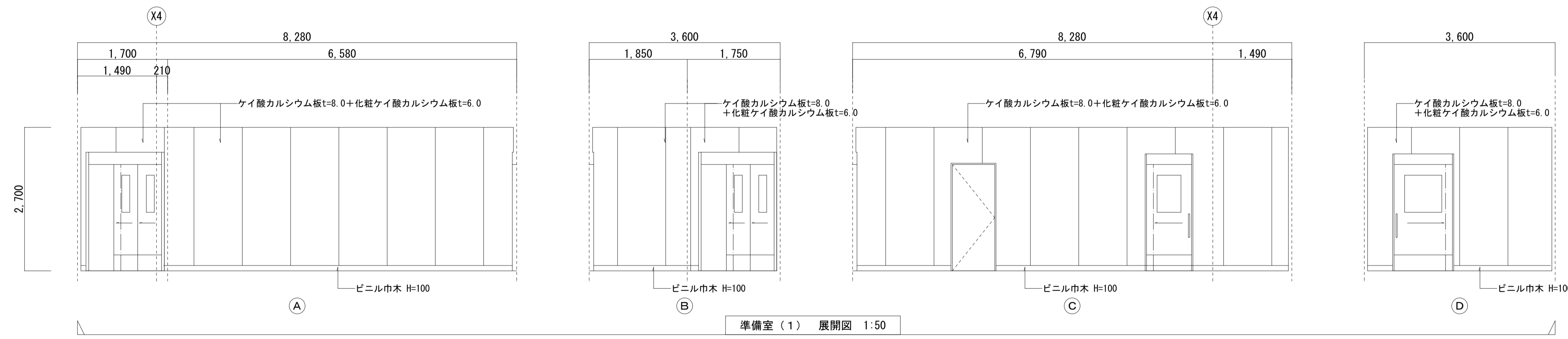
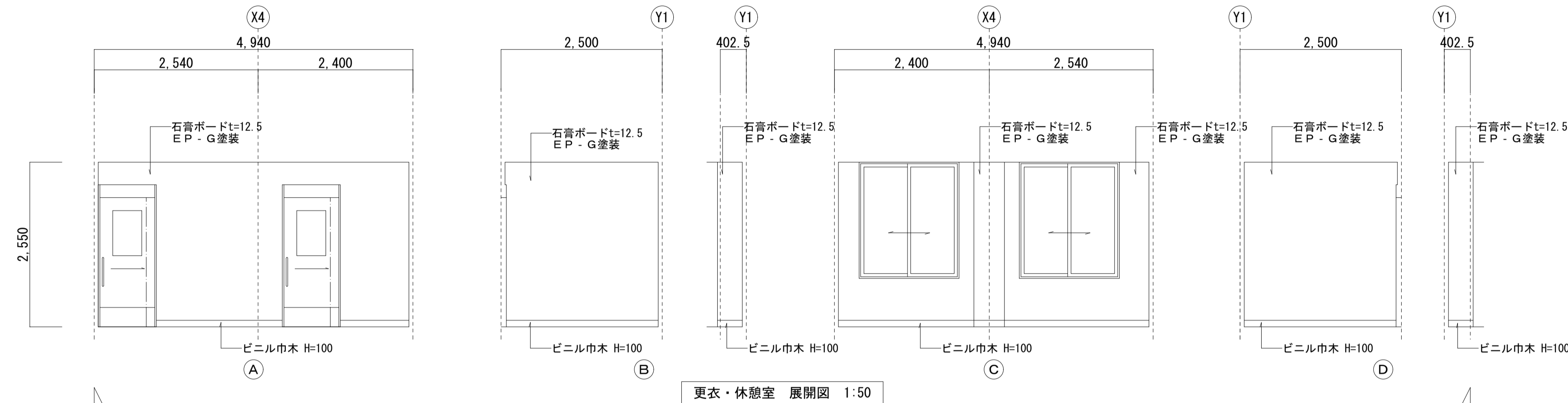
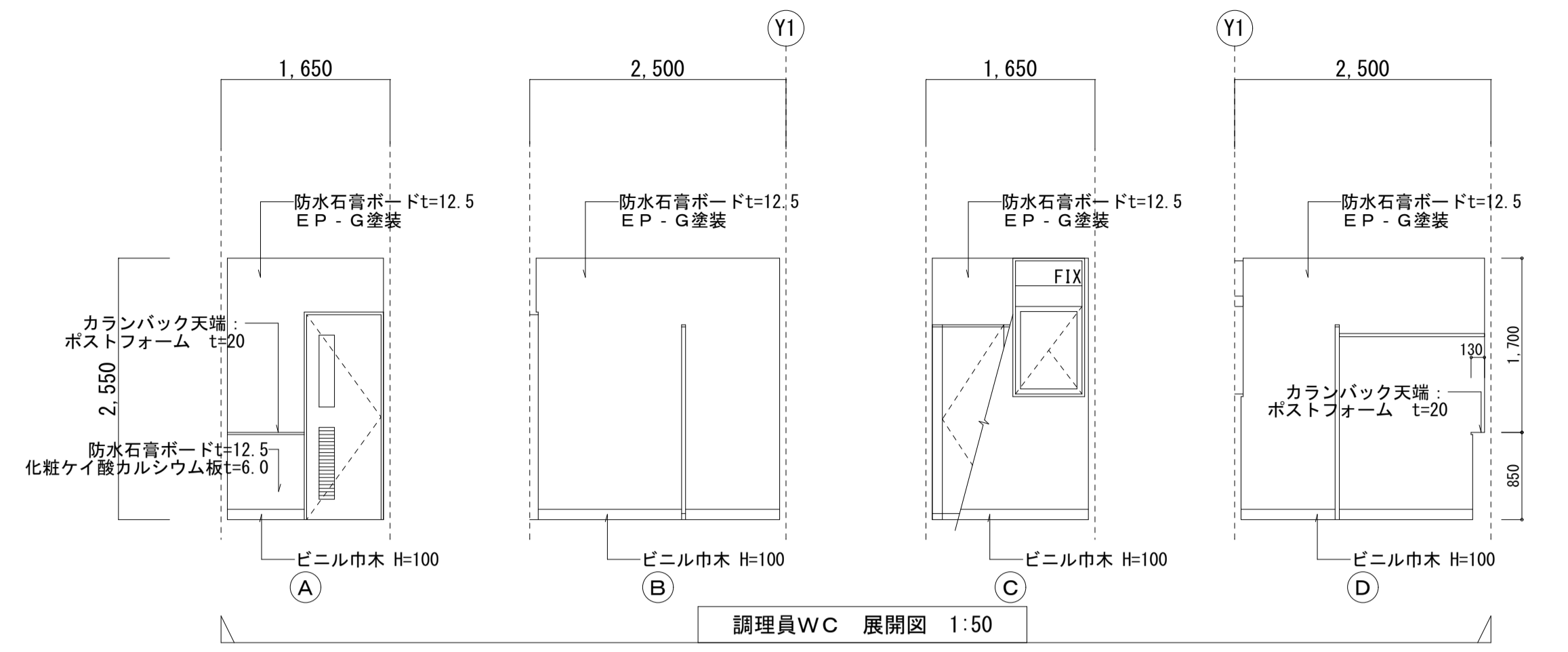
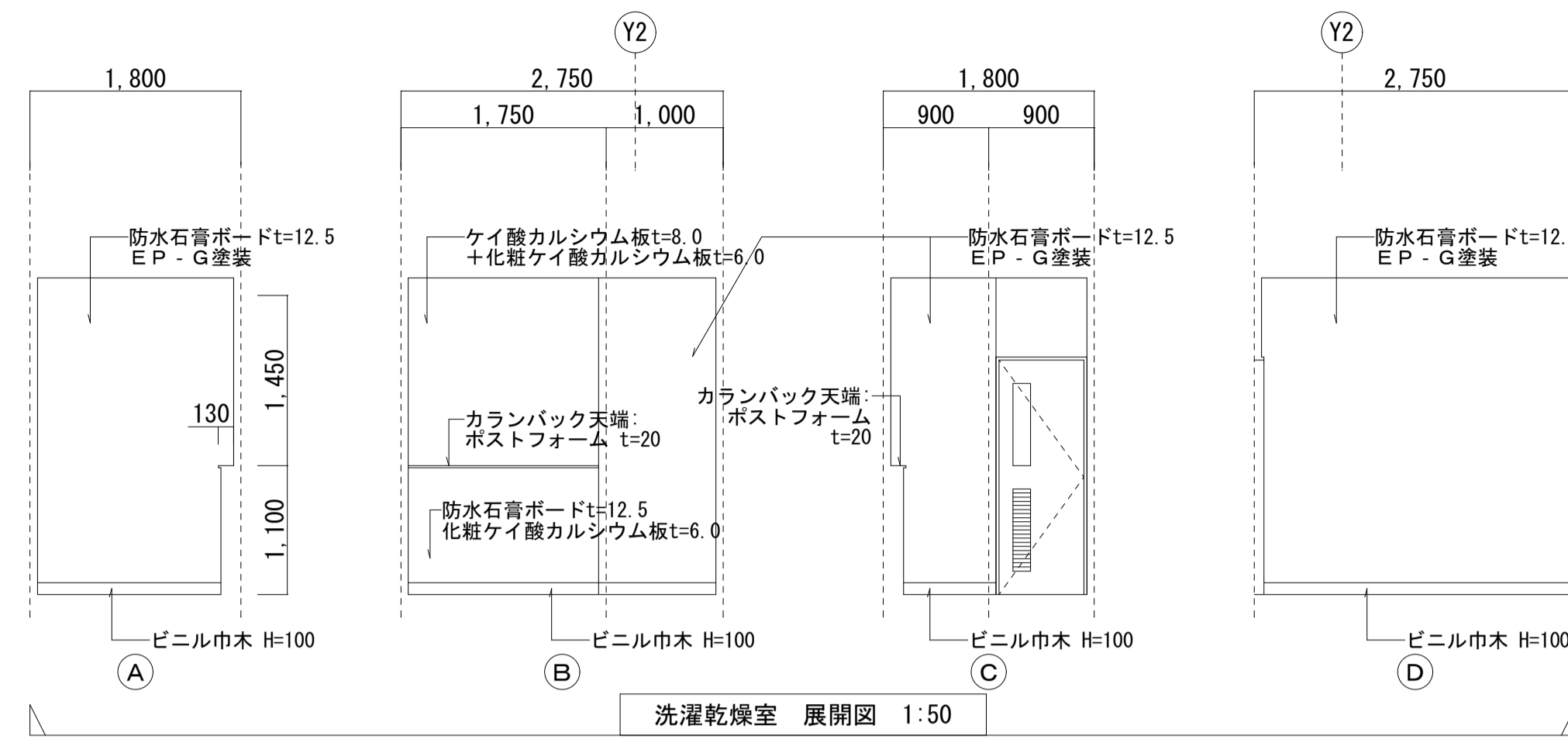
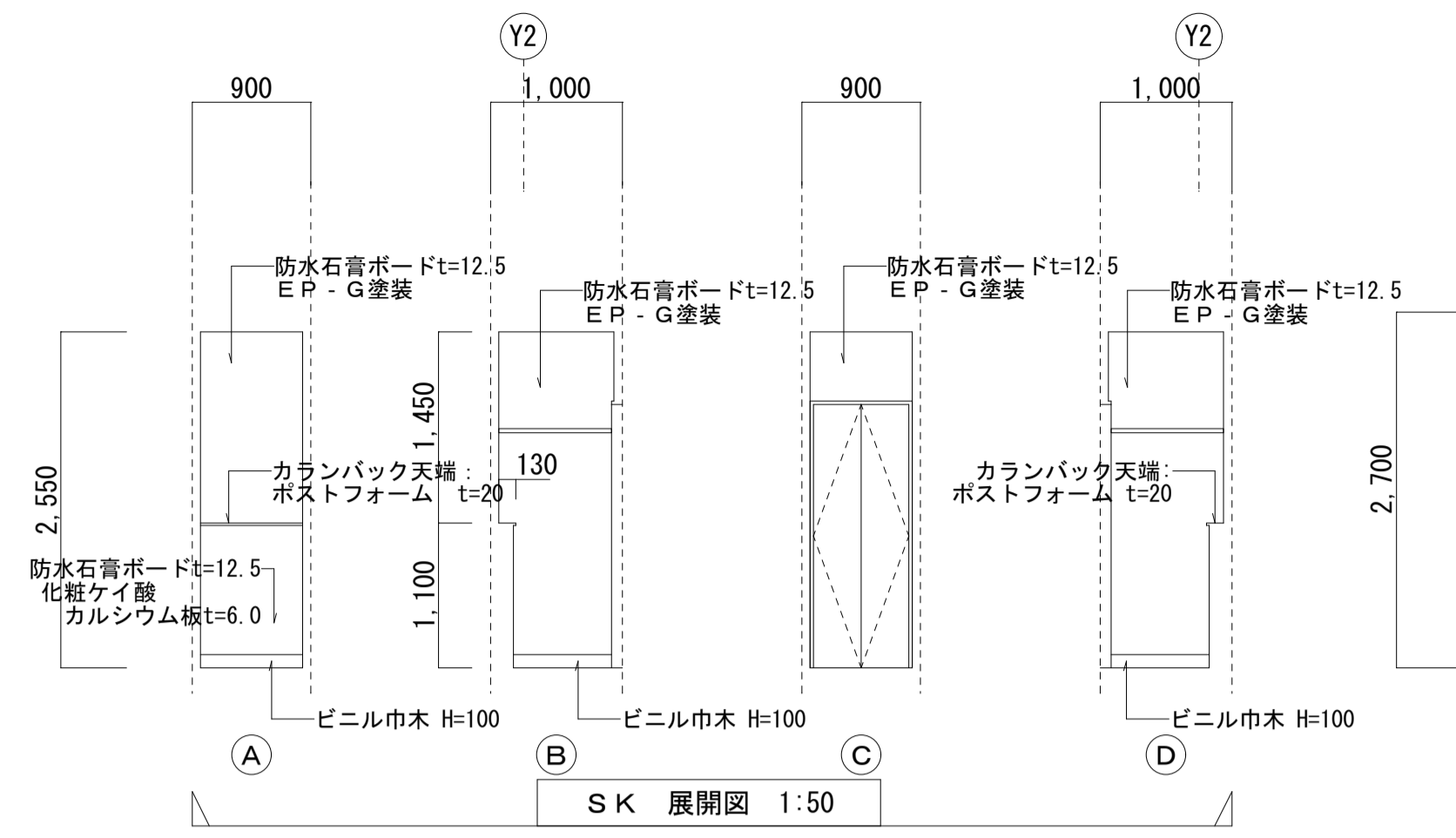


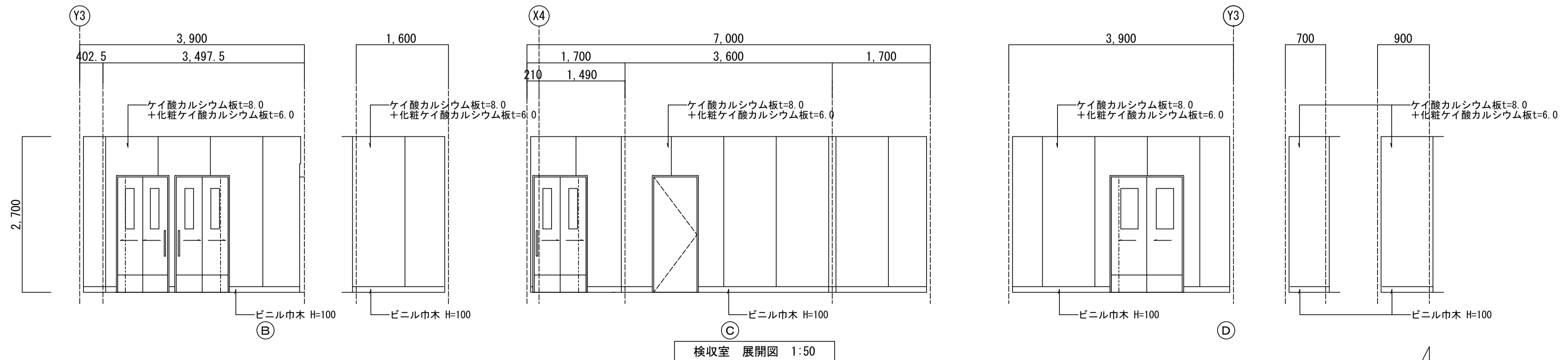
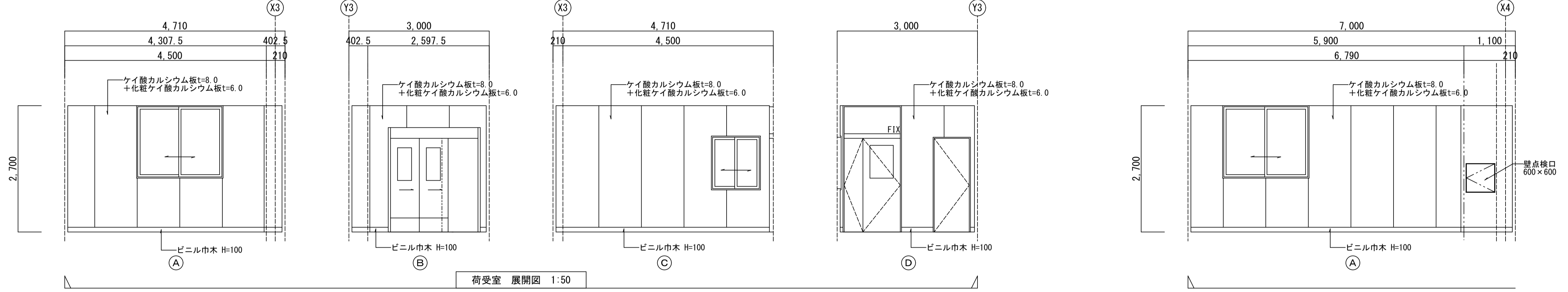
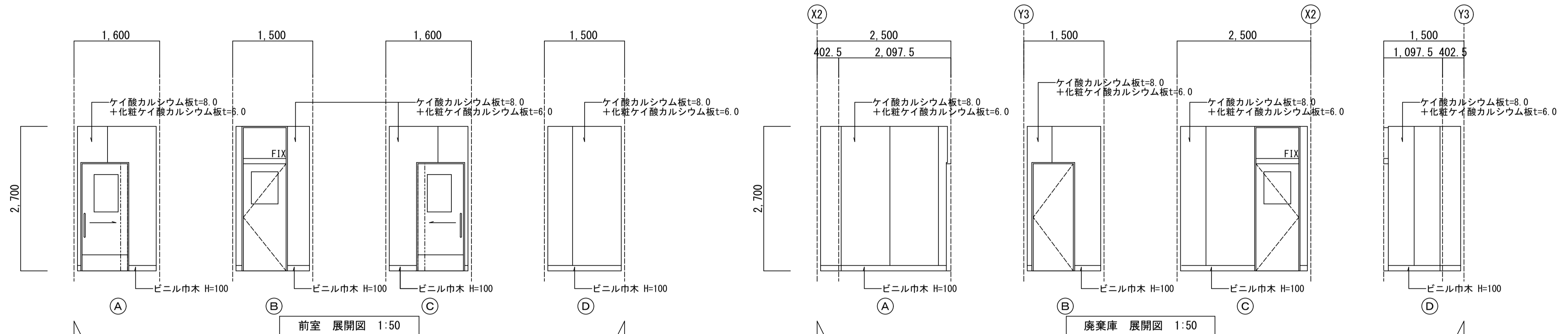
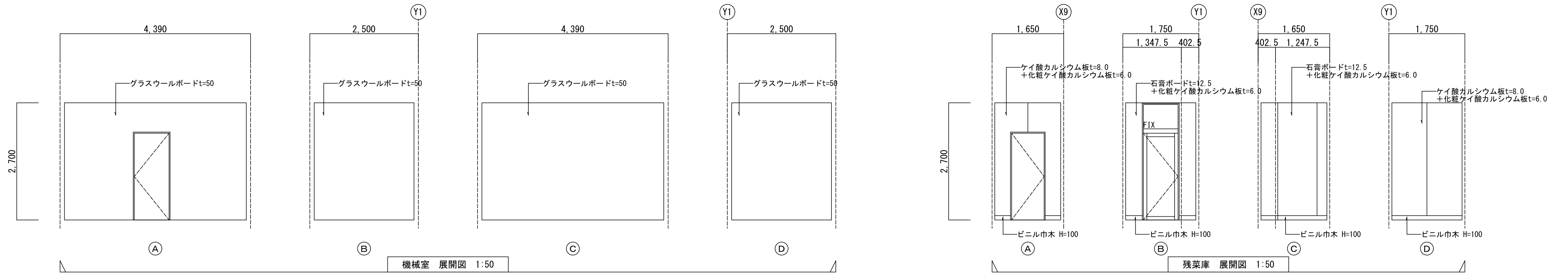
事務室 展開図 1:50

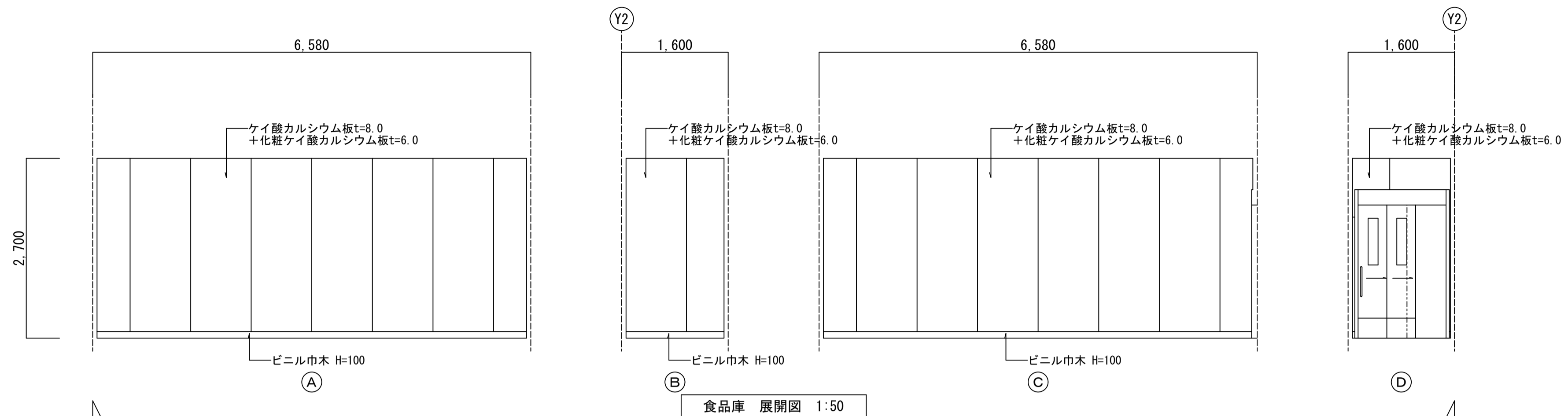


給湯スペース 展開図 1:50

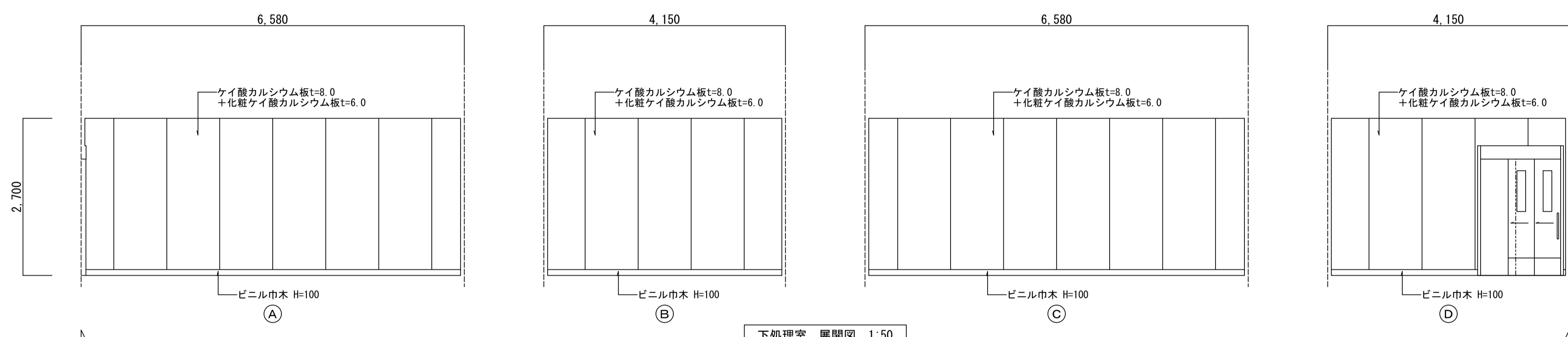
一般WC 展開図 1:50



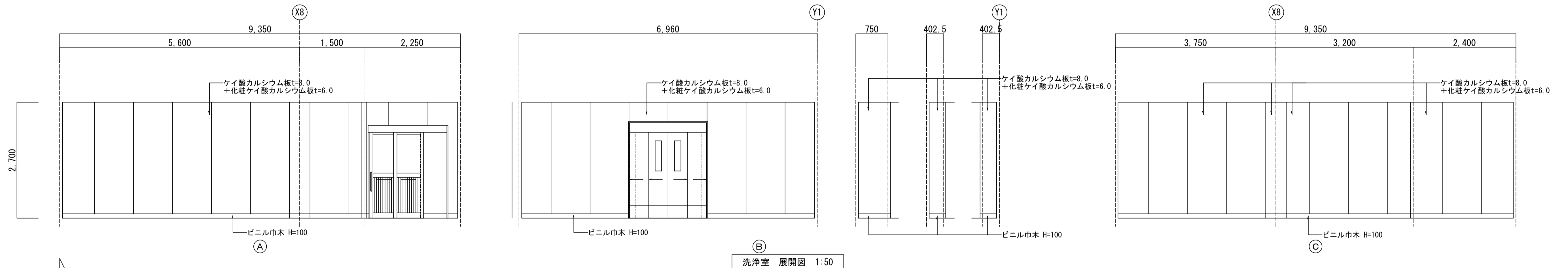




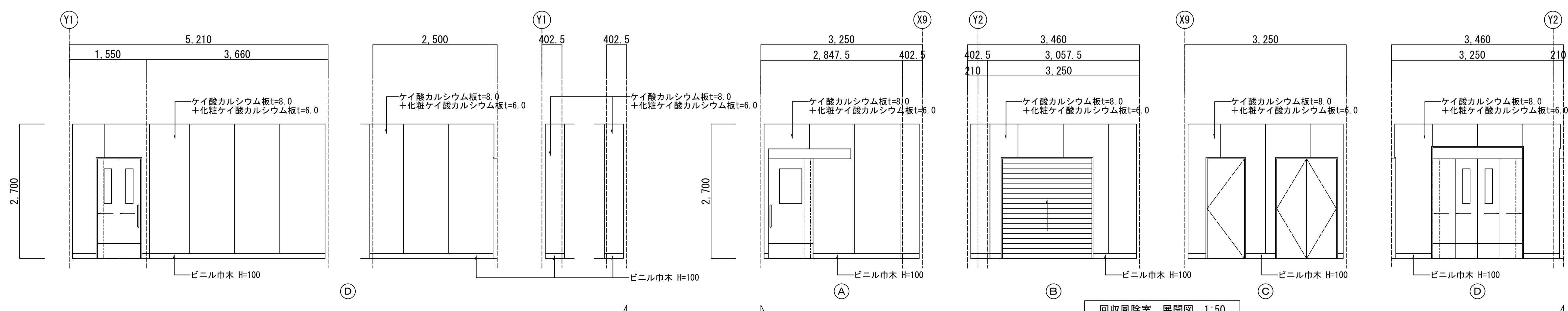
食品庫 展開図 1:50



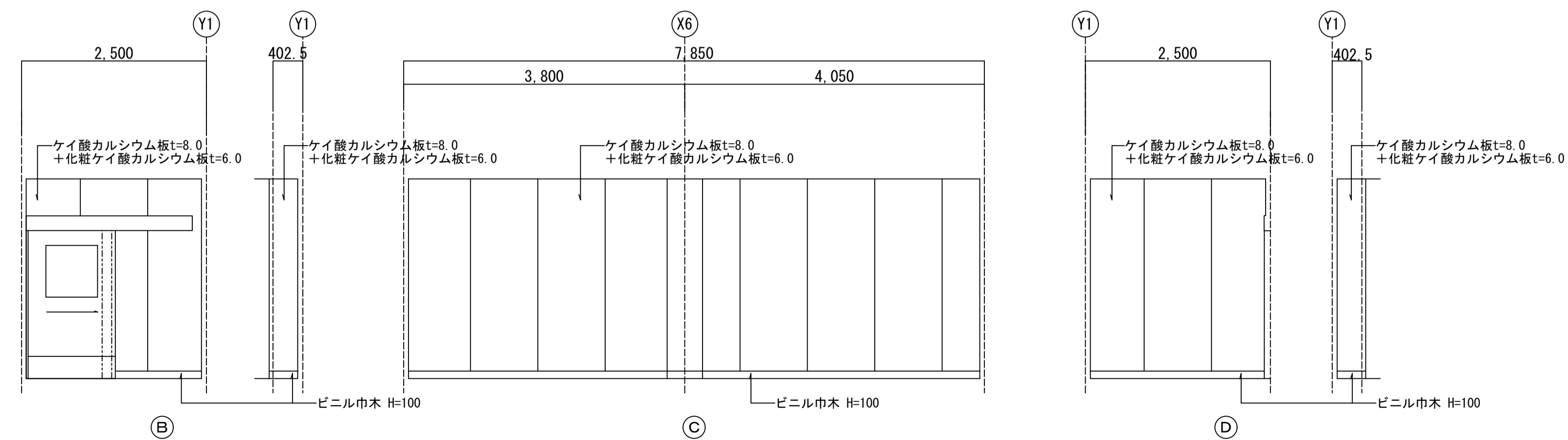
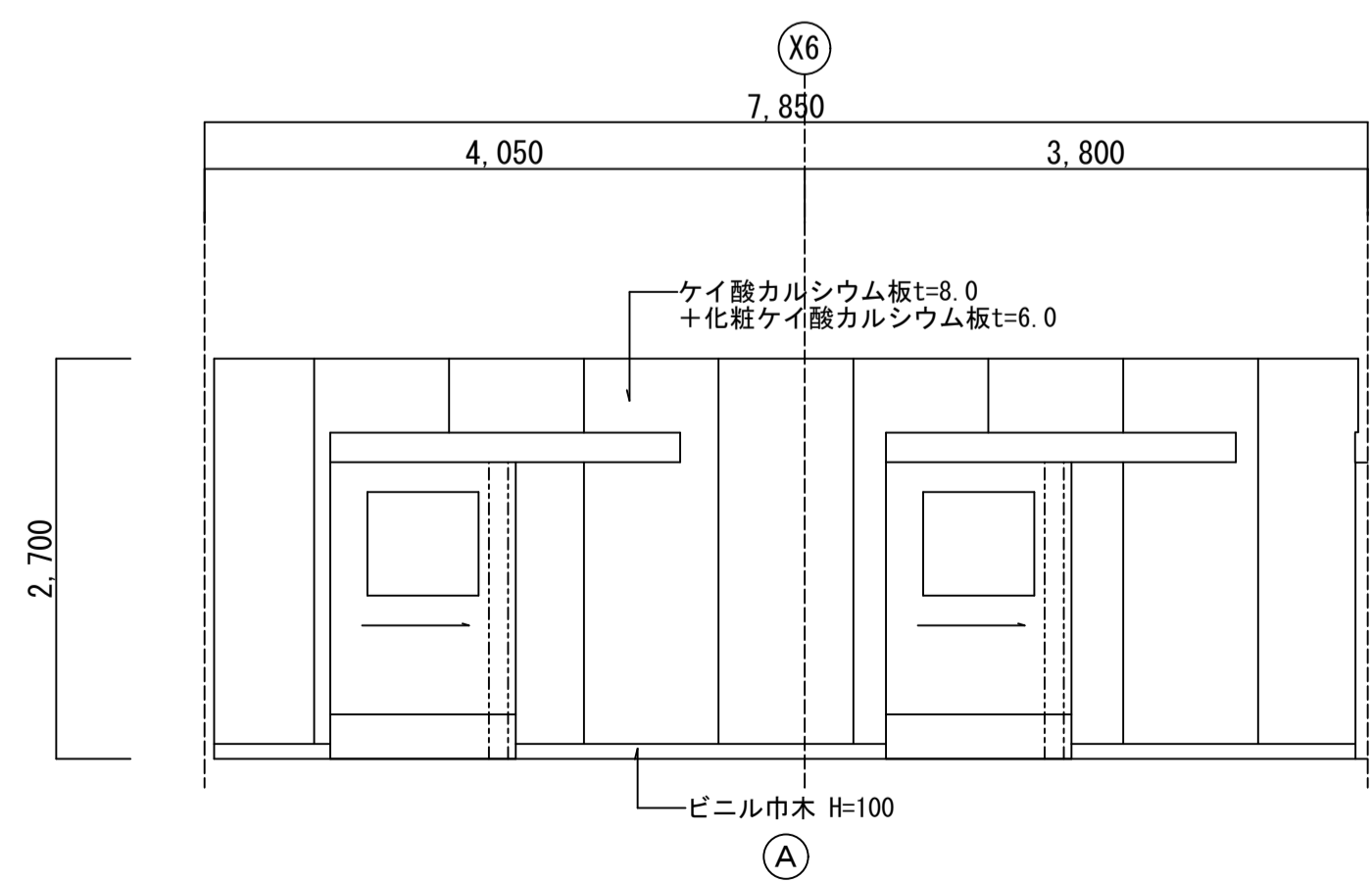
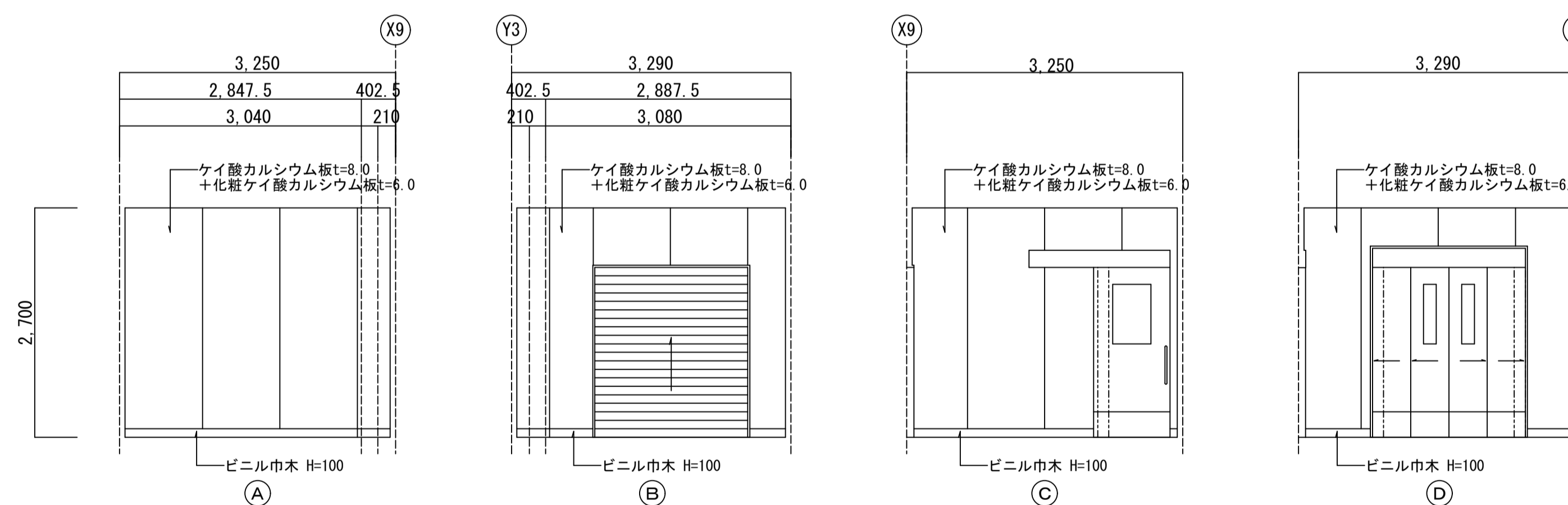
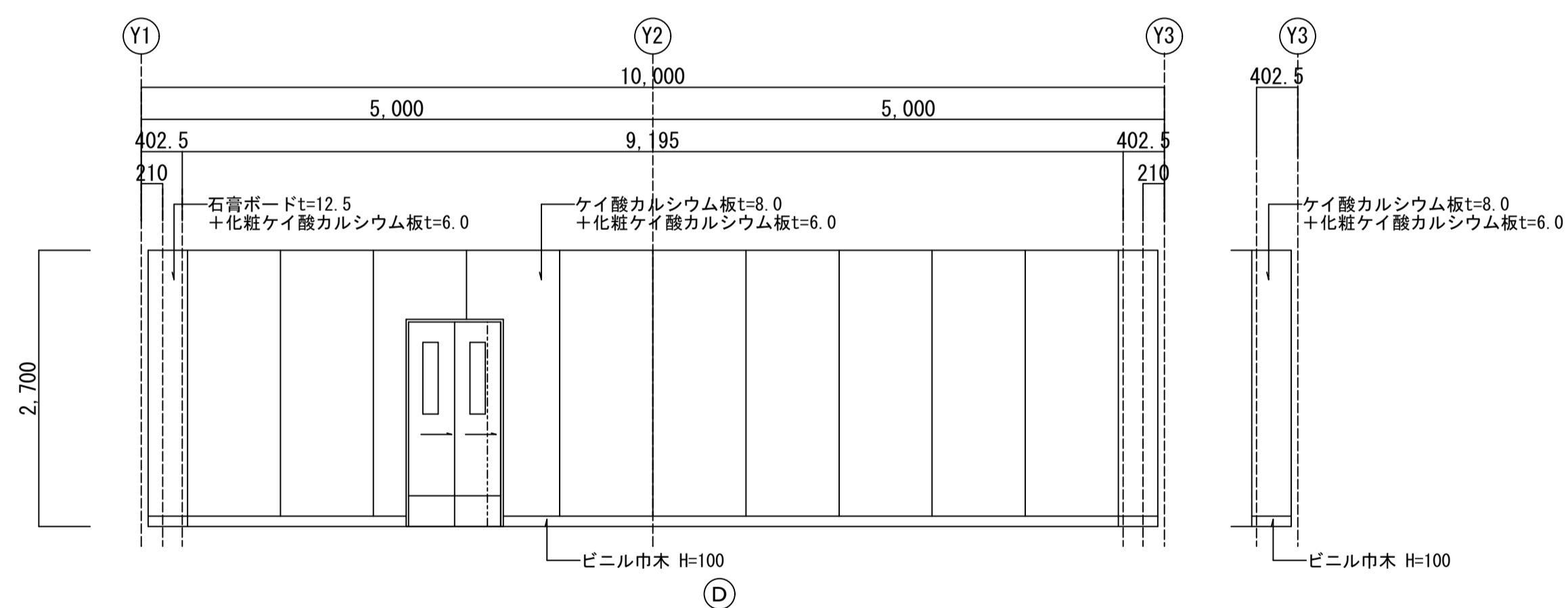
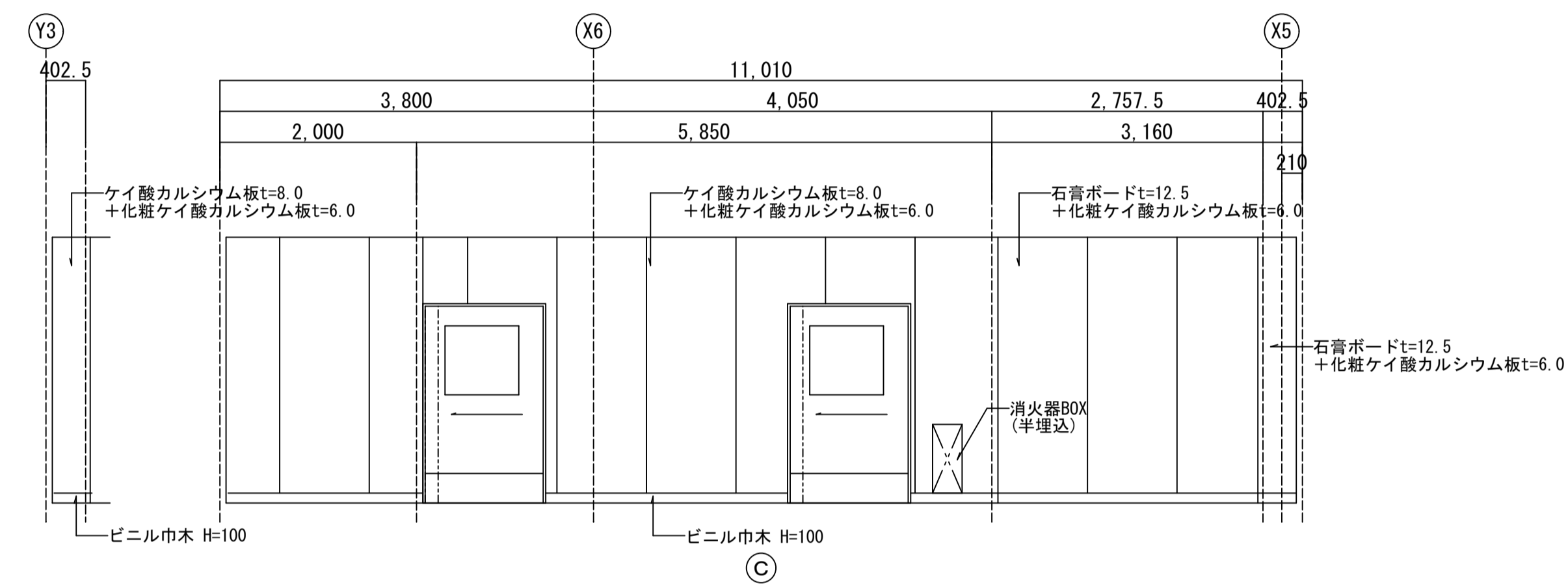
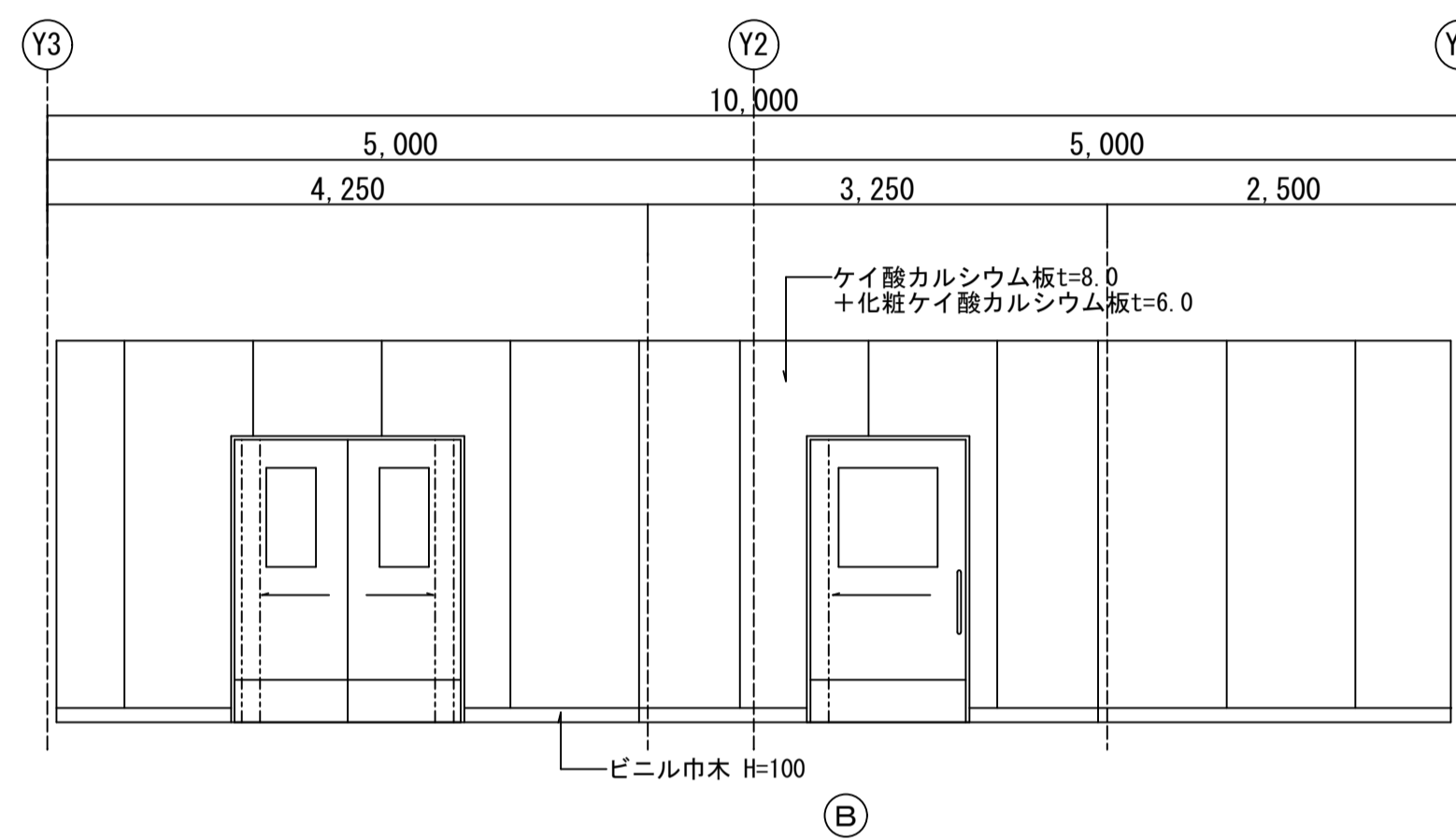
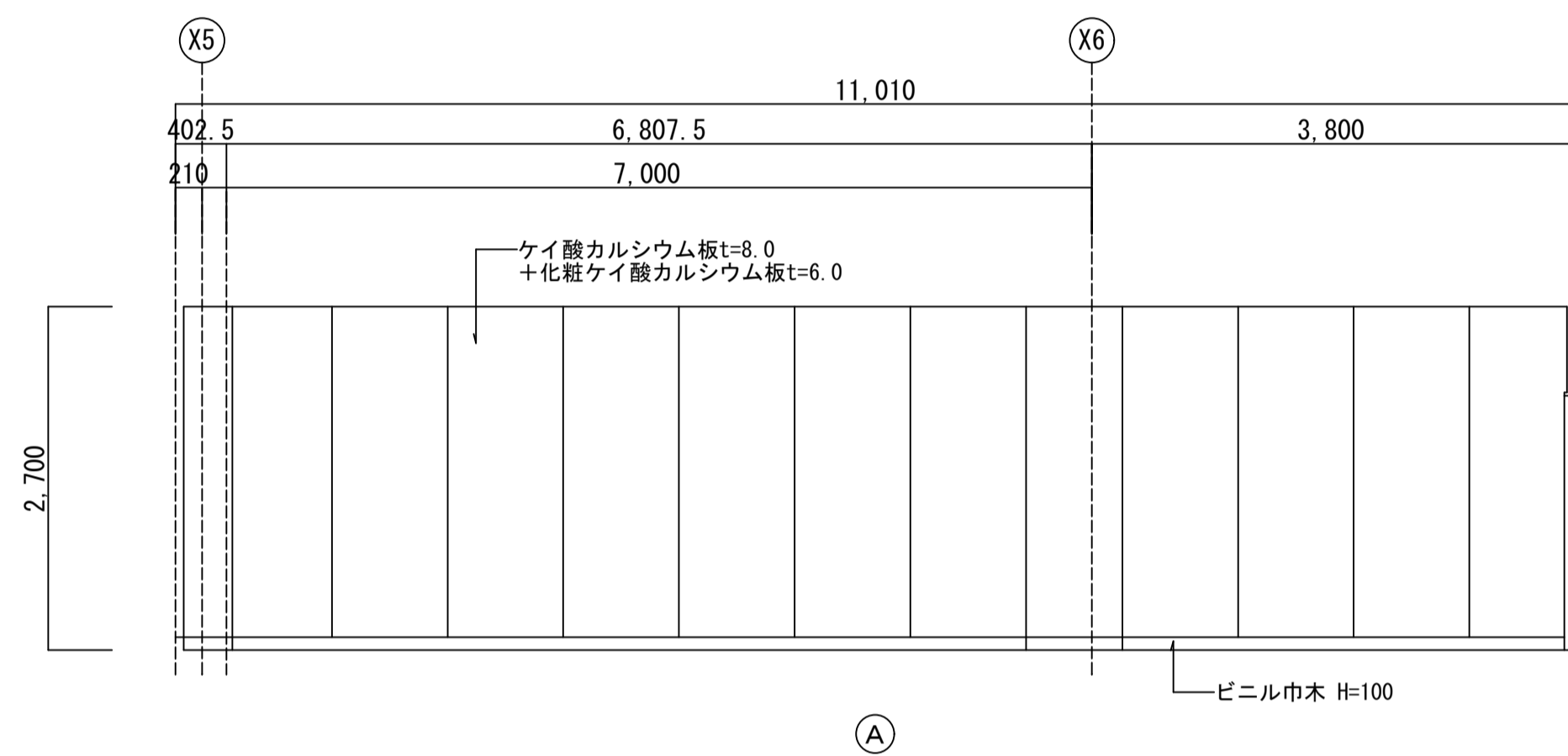
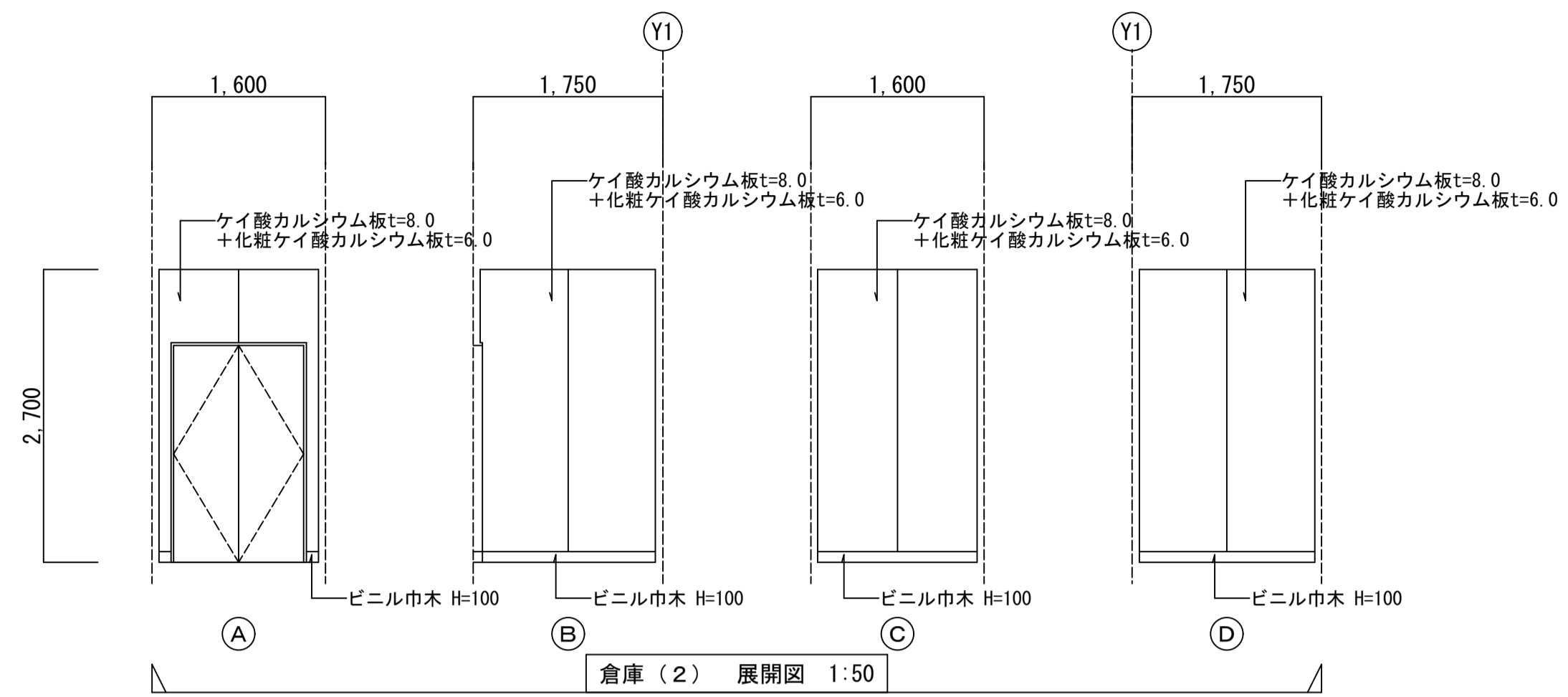
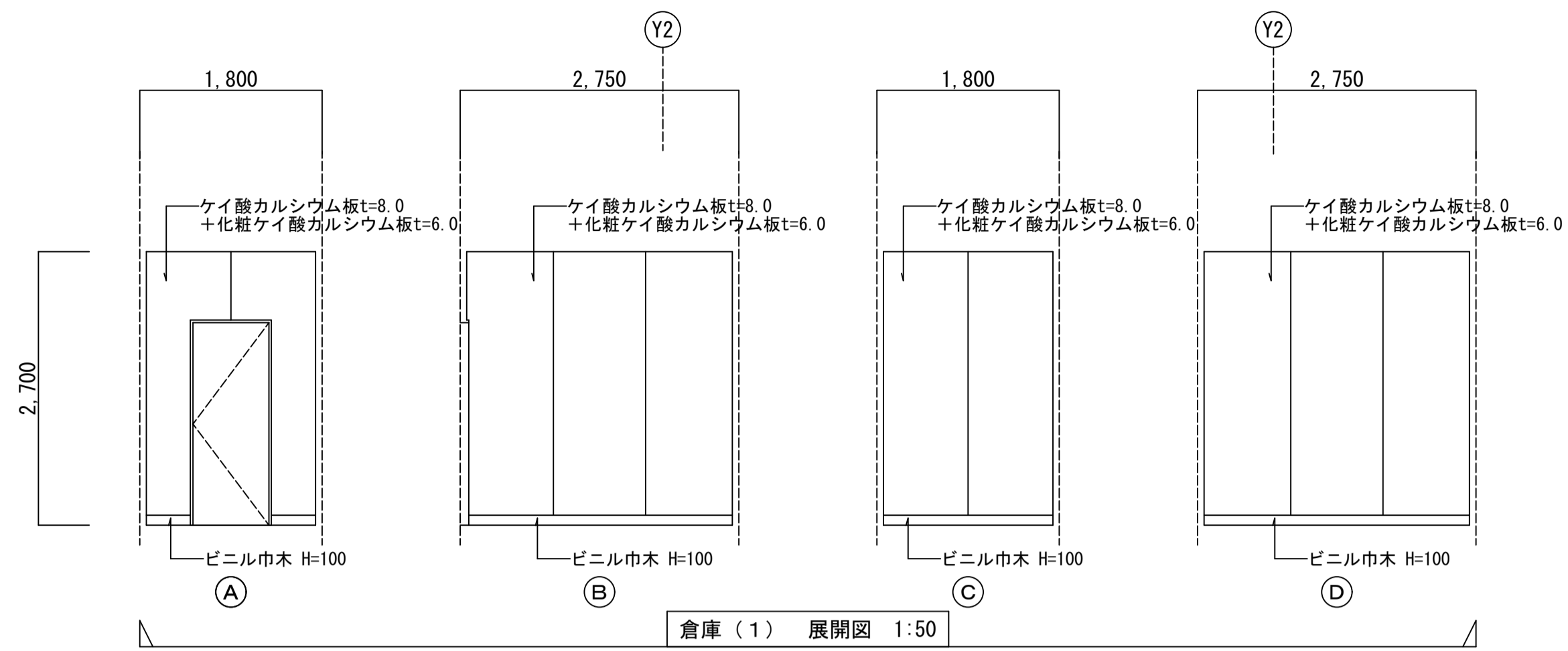
下処理室 展開図 1:50

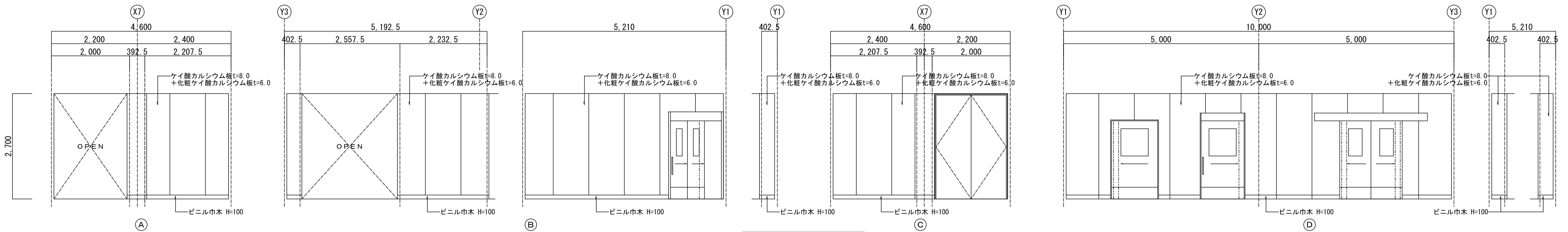
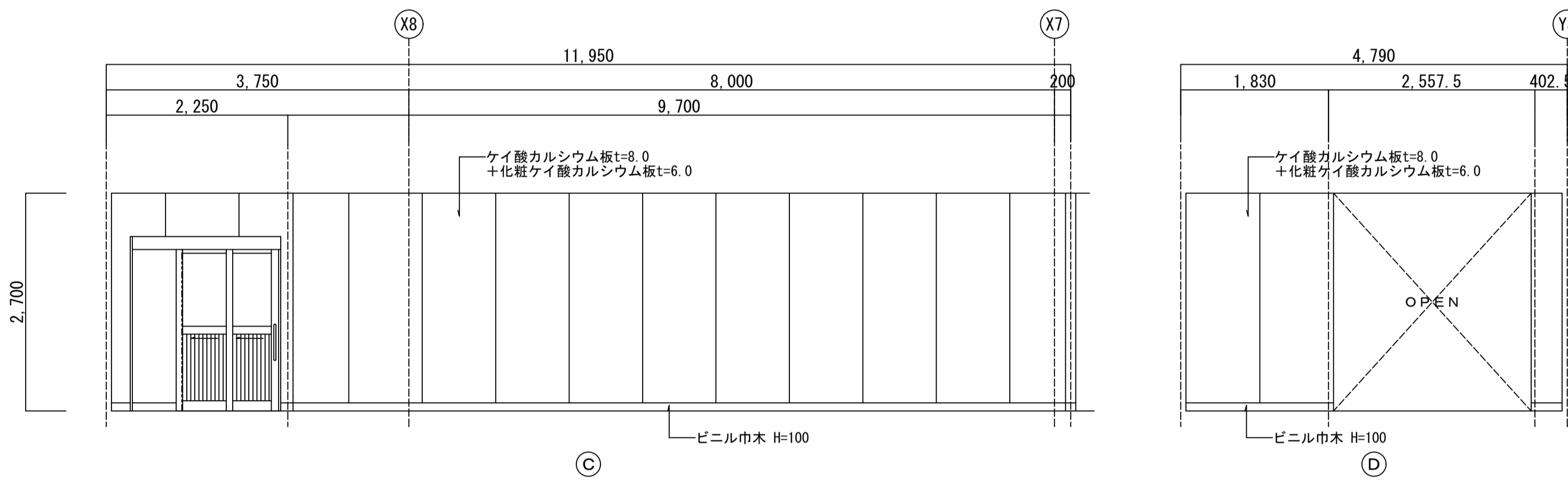
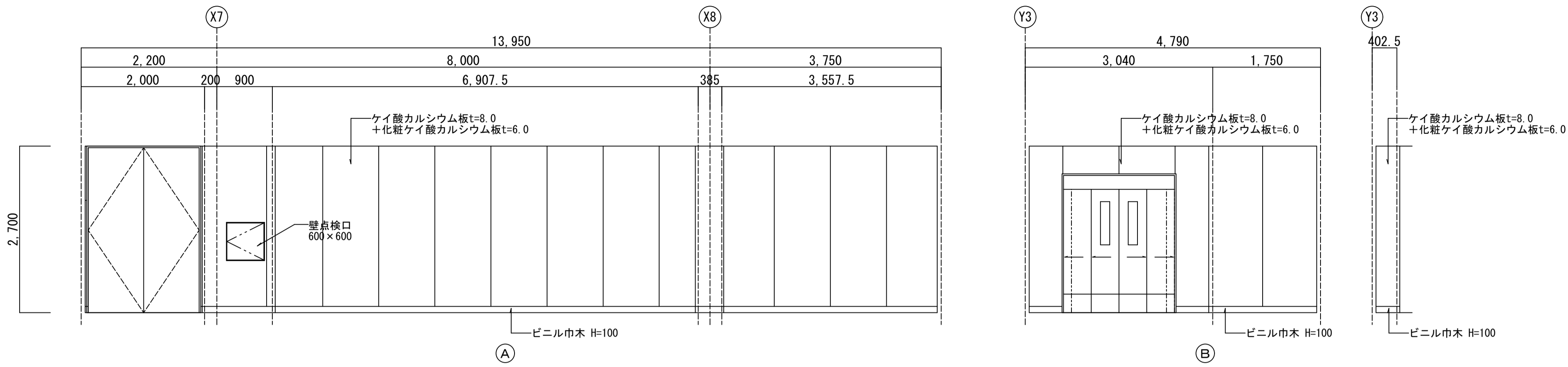


洗浄室 展開図 1:50

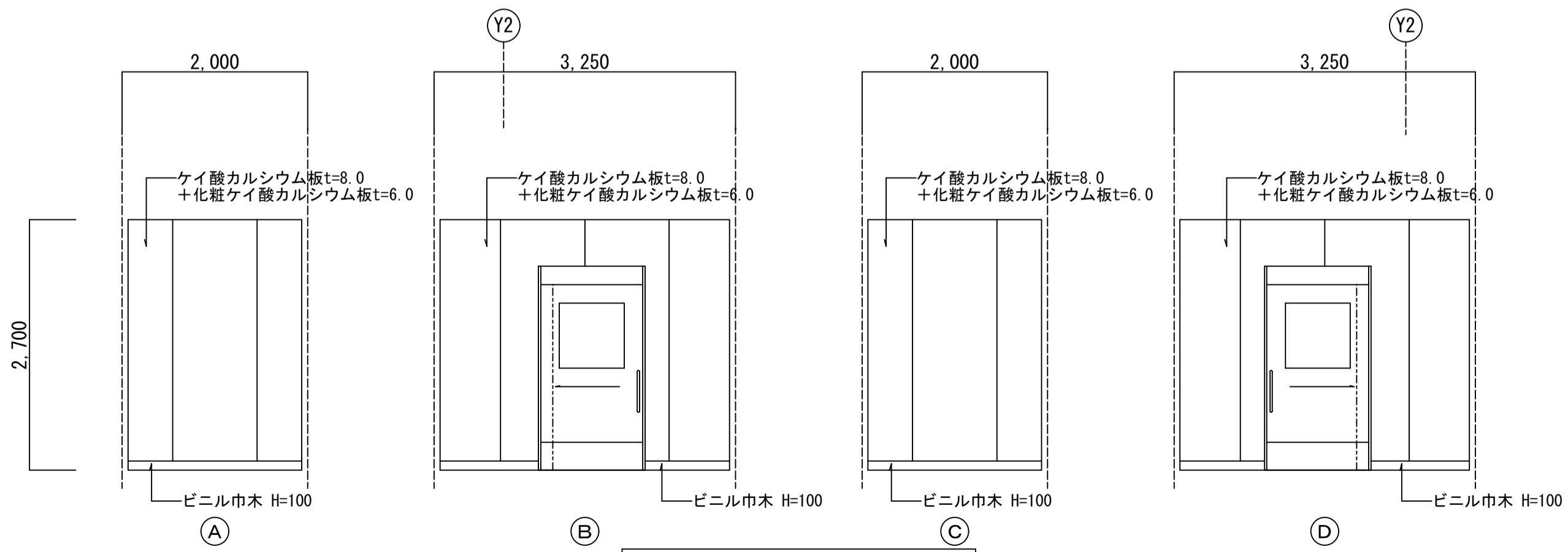


回収風除室 展開図 1:50

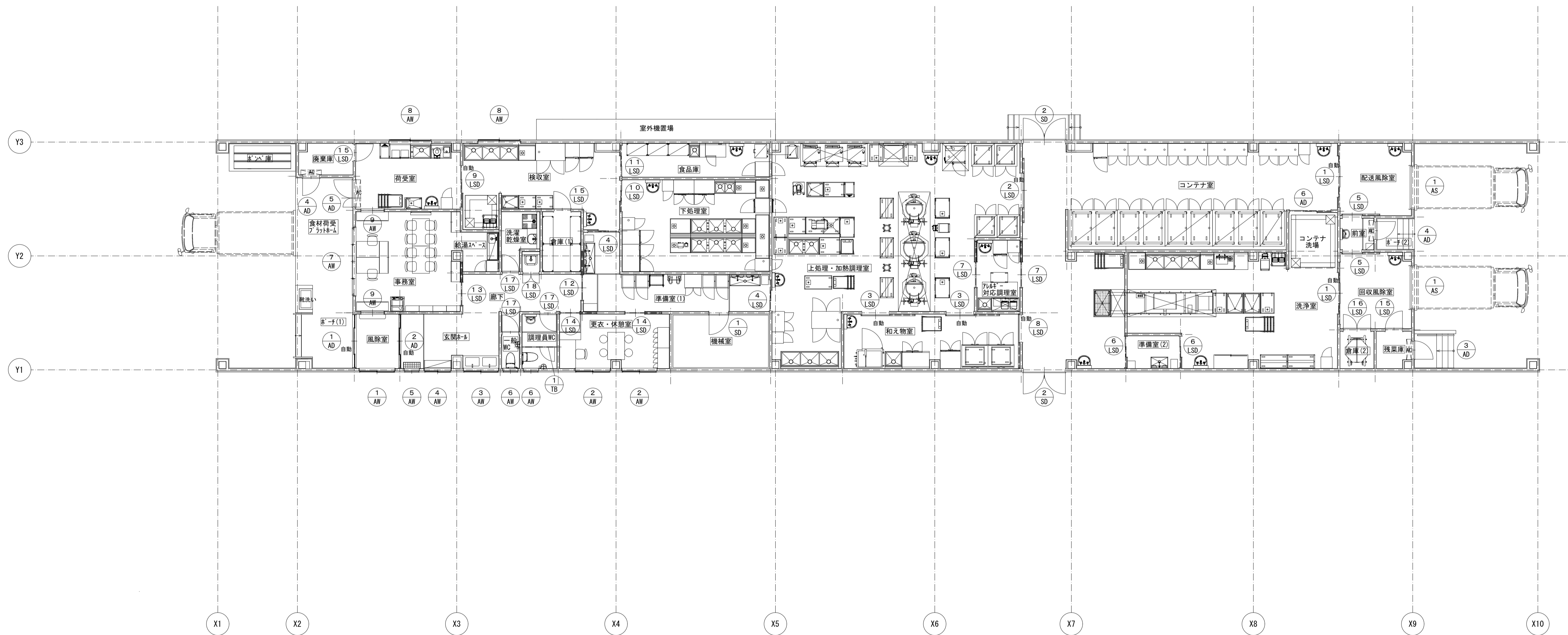
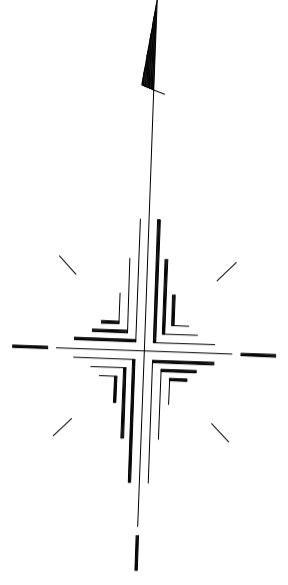




コンテナ室 展開図 1:50



アレルギー対応調理室 展開図 1:50



建具リスト 1:100

符号・本数	① AD	1ヶ所	② AD	1ヶ所	③ AD	1ヶ所	④ AD	2ヶ所	⑤ AD	1ヶ所	⑥ AD	1ヶ所
姿図												
使用場所	風除室		風除室		残菜庫		前室、廃棄庫		荷受室		コンテナ室	
形式	アルミ製引分け自動ドア 上部はめ殺し窓		アルミ製引分け自動ドア 上部はめ殺し窓		アルミ製引き扉戸、上部はめ殺し窓		アルミ製引き扉高フラッシュ戸、上部はめ殺し窓		アルミ製引き二連ハコ7 (縦タイプ)		アルミ製引き二連ハコ7 (縦タイプ)	
硝子	FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5		硝子: FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+FL5		FL5+A12+FL5		上:強化4 上:7mmガラス	
仕上	ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー	
見込	100		100		70		70		70		70	
金物 その他	シングル錠/サムターン、ステンレス下枠、7mm額縁、開閉部サッシ付付イ 衝突防止ケール 付属金物一式		ステンレス下枠、7mm額縁、開閉部サッシ付付イ 付属金物一式		シングル錠/サムターン、レバーハンドル、ドアアラーム、ステンレス靴摺、7mm額縁、丁番 ステンレス戸当金物 付属金物一式		シングル錠/サムターン、レバーハンドル、ドアアラーム、ステンレス靴摺、7mm額縁、丁番 ステンレス戸当金物 付属金物一式		シングル錠/サムターン、レバーハンドル、ドアアラーム、ステンレス靴摺、7mm額縁、丁番、ガラス 落下シ下枠ステンレス t=1.5 HL、引手 (SUS304 L=450) ステンレス戸当金物 付属金物一式		ステンレス戸当金物 付属金物一式	

符号・本数	① AW	1ヶ所	② AW	2ヶ所	③ AW	1ヶ所	④ AW	1ヶ所	⑤ AW	1ヶ所	⑥ AW	2ヶ所
姿図												
使用場所	風除室		更衣・休憩室		玄関・ホール		玄関・ホール		玄関・ホール		一般WC、調理員WC	
形式	アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製はめ殺し窓		アルミ製縦入り窓、上部はめ殺し窓	
硝子	FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+F4 (Low-E)		FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+FL5 (Low-E)	
仕上	ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー	
見込	70		70		70		70		70		70	
金物 その他	結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		結露受 額縁アングル 付属金物一式		結露受 額縁アングル ロール網戸 付属金物一式	

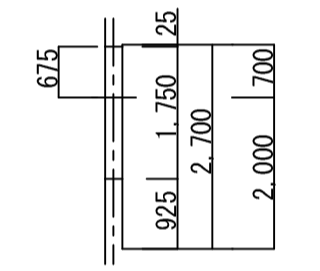
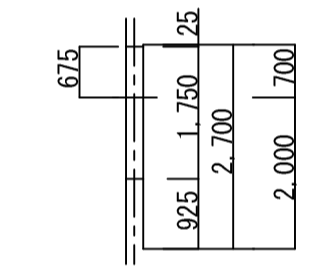
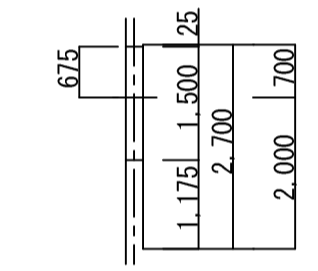
符号・本数	⑦ AW	1ヶ所	⑧ AW	2ヶ所	⑨ AW	2ヶ所						
姿図												
使用場所	事務室		荷受室、研修室		事務室							
形式	アルミ製4枚引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓							
硝子	FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5+A12+FL5 (Low-E)		FL5							
仕上	ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー							
見込	70		70		70							
金物 その他	結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		結露受 額縁アングル クレセント 網戸 (サラン) 付属金物一式		額縁アングル クレセント 付属金物一式							

符号・本数	① AS 2ヶ所	① SD 1ヶ所	② SD 2ヶ所		
姿図					
使用場所	配送風除室、回収風除室	機械室	コンテナ室		
形式	アルミ製軽量電動シャッター	鋼製片開きフラッシュ戸	鋼製両開きフラッシュ戸		
硝子	—	—	—		
仕上	カラー鋼板 t=0.5	焼付塗装	焼付塗装		
見込		100	100		
金物 その他	ガイドレール、スチール三方枠焼付塗装、押ボタン付、水圧開放装置 付属金物一式	リソダゲ錠/サムターン、ケースハンドル、ステンレス靴摺、丁番 付属金物一式	リソダゲ錠/サムターン、ケースハンドル、フランス落し、ステンレス靴摺、丁番 付属金物一式		

符号・本数	① LSD 2ヶ所	② LSD 1ヶ所	③ LSD 2ヶ所	④ LSD 2ヶ所	⑤ LSD 2ヶ所	⑥ LSD 2ヶ所
姿図						
使用場所	洗浄室、コフ室	上処理・加熱調理室	和え物室	上処理・加熱調理室、検査室	回収風除室、配送風除室	準備室(2)
形式	鋼製軽量二連動引き分けハガ-自動ドア(壁内蔵タイプ)	鋼製軽量引き分けハガ-自動ドア(外付タイプ)	鋼製軽量片引きハガ-自動ドア(外付タイプ)	鋼製軽量二連動片引きハガ-ドア(外付タイプ)	鋼製軽量片引きハガ-ドア(外付タイプ)	鋼製軽量二連動片引きハガ-ドア(外付タイプ)
硝子	FL3+A12+強化4	強化4	強化4	強化4	FL3+A12+強化4	強化4
仕上		焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
見込		40	40	40	40	40
金物 その他	下枠ステンレス t=1.5 HL、赤外線スイッチ付 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、赤外線スイッチ付、床付け戸当り 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、赤外線スイッチ付、床付け戸当り 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450)、床付け戸当り 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式

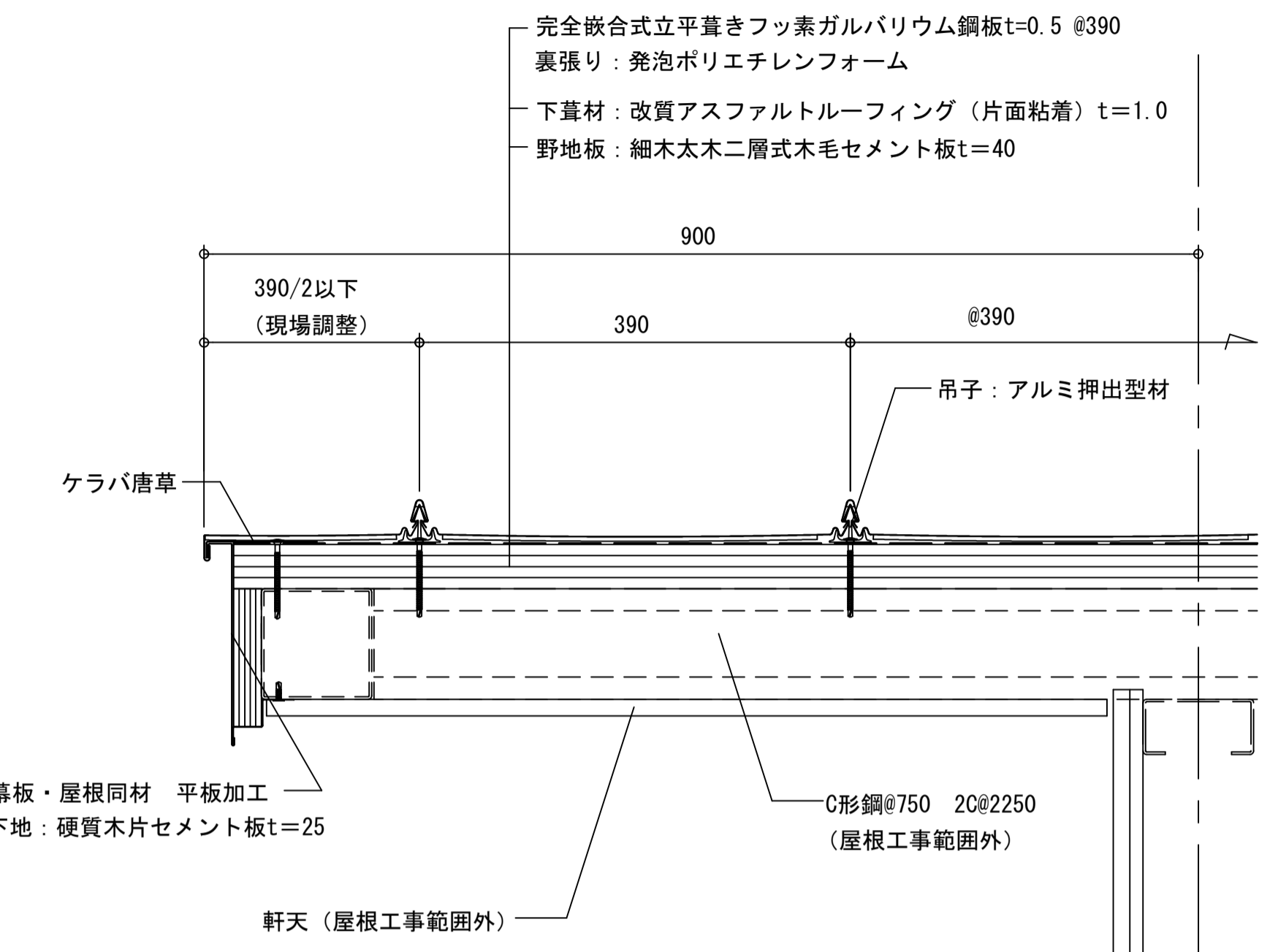
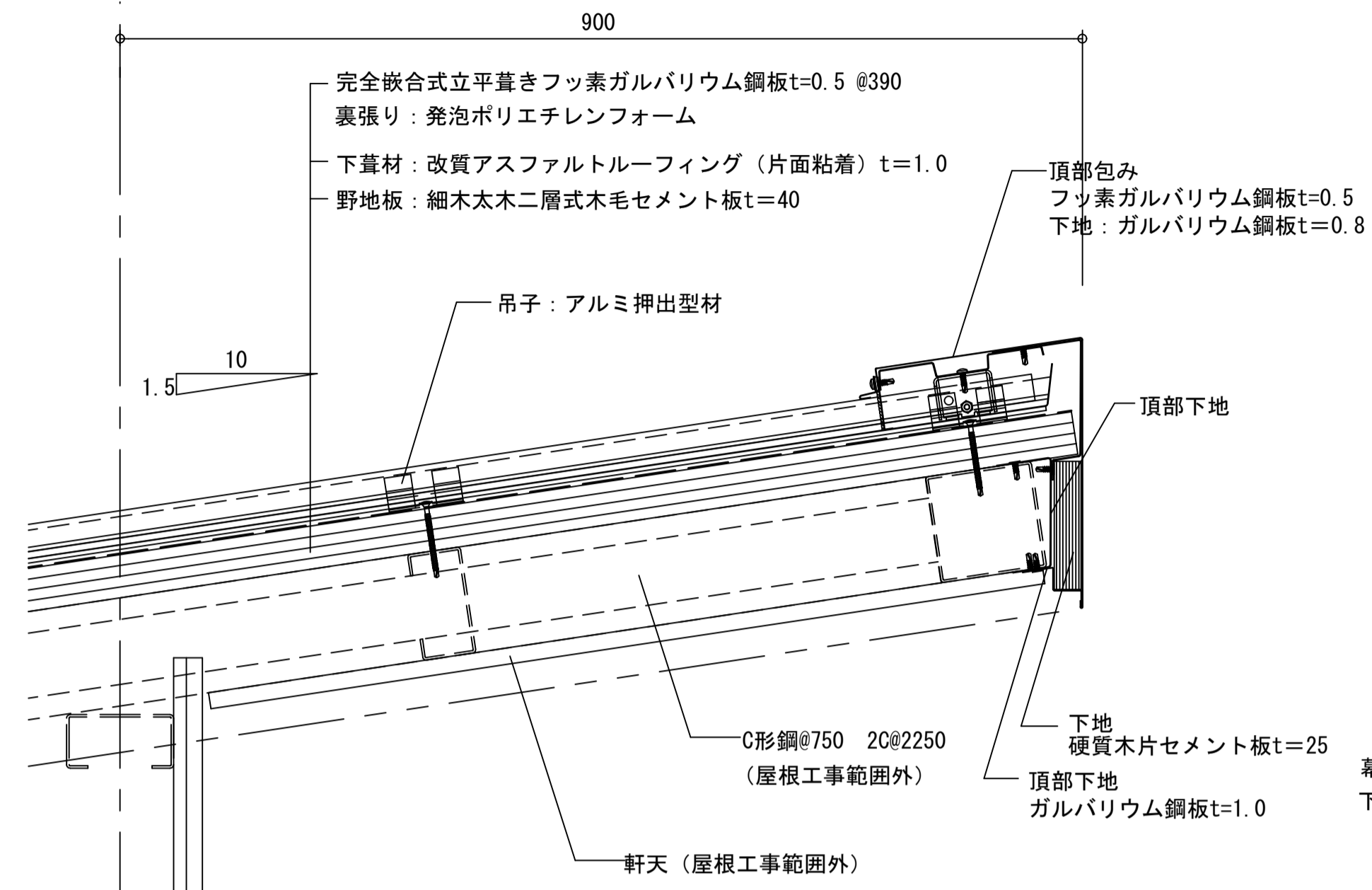
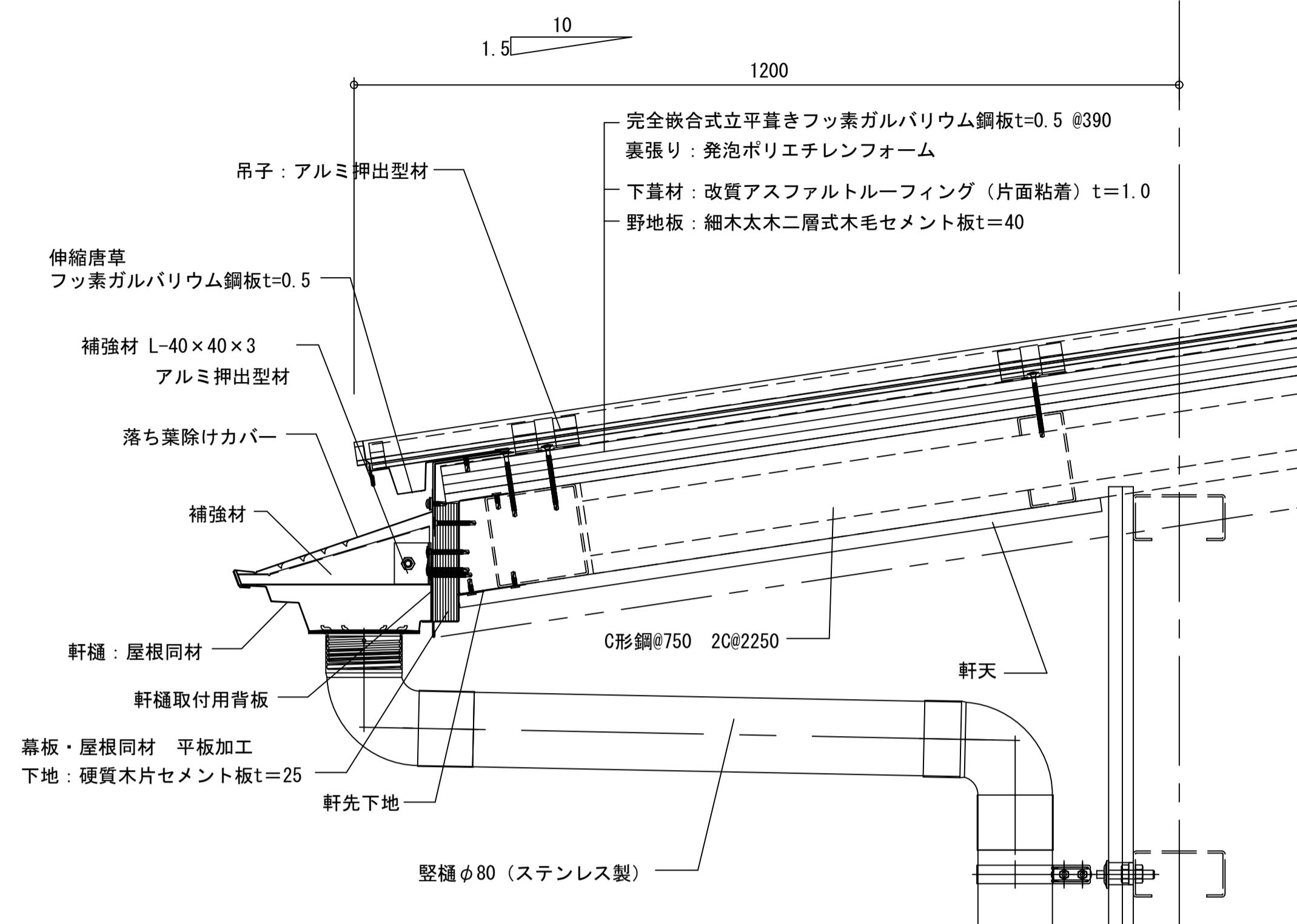
符号・本数	⑦ LSD 2ヶ所	⑧ LSD 1ヶ所	⑨ LSD 1ヶ所	⑩ LSD 1ヶ所	⑪ LSD 1ヶ所	⑫ LSD 1ヶ所
姿図						
使用場所	PLK-対応調理室	和え物室	荷受室	下処理室	食品庫	廊下
形式	鋼製軽量片引きハガ-ドア(壁内蔵タイプ)	鋼製軽量片引きハガ-自動ドア(外付タイプ)	鋼製軽量二連動片引きハガ-自動ドア(外付タイプ)	鋼製軽量二連動片引きハガ-ドア(外付タイプ)	鋼製軽量二連動片引きハガ-ドア(外付タイプ)	鋼製軽量片引きハガ-ドア(壁内蔵タイプ)
硝子	強化4	強化4	強化4	強化4	強化4	F L 3
仕上	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
見込	40	40	40	40	40	40
金物 その他	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、赤外線スイッチ付、床付け戸当り 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、赤外線スイッチ付 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式	下枠ステンレス t=1.5 HL、引手(SUS304 L=450) 付属金物一式



採光・換気・排煙検討表																										
室名	事務室、給湯スペース		洗濯乾燥室		更衣・休憩室		準備室(1)		準備室(2)		荷受室		検収室		下処理室		洗浄室、コシ洗浄		上処理・加熱調理室		和え物室		コシ室		704t-対応調理室	
項目	床面積 (A) m <sup>2</sup>		必要採光窓面積 A/20		必要換気窓面積 A/50		H		W		係数		ヶ所		計		H		W		係数		ヶ所		計	
採光有効面積 (H*W)	告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による		告示249号による	
換気有効面積 (H*W)	TOTAL 2.53 OK		OK		2.62 OK		OK		OK		1.35 OK		1.35 OK		OK		OK		OK		OK		OK		OK	
排煙有効面積 (H*W)	TOTAL 0.97 OK		OK		1.01 OK		OK		OK		0.60 OK		0.60 OK		OK		OK		OK		OK		OK		OK	
備考	d=4400≧4000のため 採光補正係数0 		採光補正係数算定 (2/AW:引違窓) $d/h \times 10 - 1$ $= 0.1 / 4.085 \times 10 - 1 = -0.75$ 		採光補正係数算定 (北側 8/AW:引違窓) $d/h \times 10 - 1$ $= 5.090 / 2.122 \times 10 - 1 = 22.98$ $\geq 3$ 		同左																			

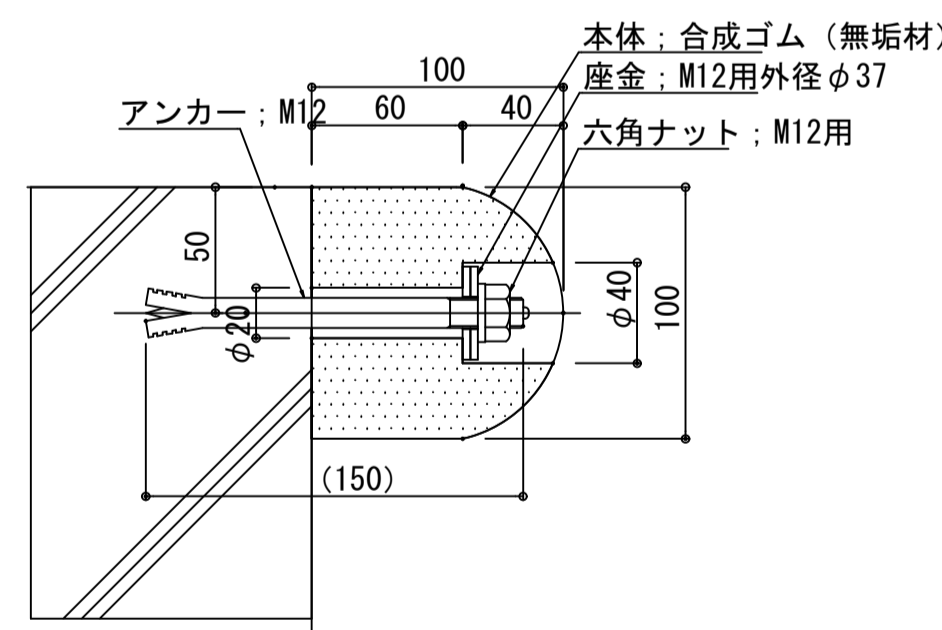
d:開口部の直上にある建築物の部分から隣地境界線までの水平距離 h:開口部の中心から直上にある建築物の部分までの距離

普通階・無窓階算定書									
1階床面積 (A)	必要開口部面積 (A/30)	有効開口部面積	算定結果		消防機関		判定		
580.00 m <sup>2</sup>	16.33	17.88	○	※	○	※	○	※	○
算定対象床面積 490.00 (車寄せ部分除く)									
建具記号	開口部位置又は方角	床からの高さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	カ所	開口部面積小計 m <sup>2</sup>	開口部種別	※備考	
1/AS	東面	0	GL+700	1.80	2.00	2	7.20	シャッター	水圧開放装置
4/AD	北・東面	0.00	0.80	2.00	2	3.20	片開戸	FL5+A6+FL5	
5/AD	西面	0.00	1.20	2.00	1	2.40	親子開戸	FL5+A6+FL5	
7/AW	西面	0.925	2.90	1.75	1	5.08	4枚引違窓	FL5+A6+FL5	
						17.88			

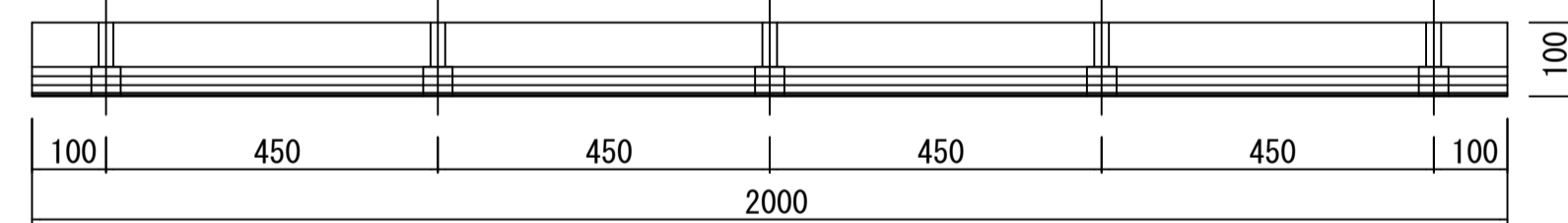


食材荷受ラットフォーム×4700  
回送ラットフォーム×2000×2

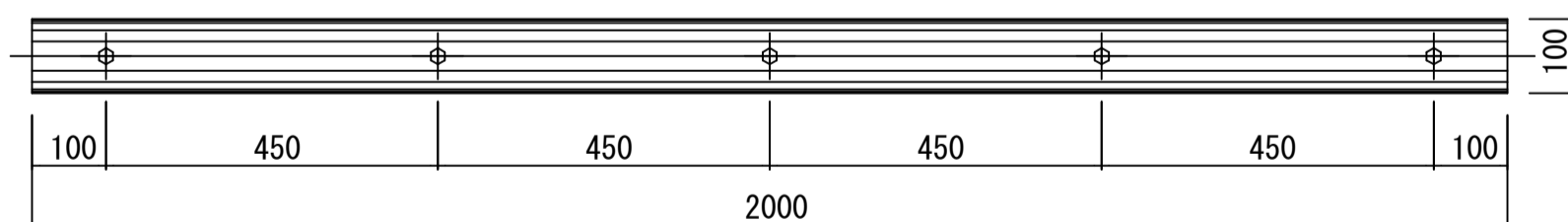
SK: レール L855mm×2 フック 各6個  
調理員WC: レール1415mm フック 各5個



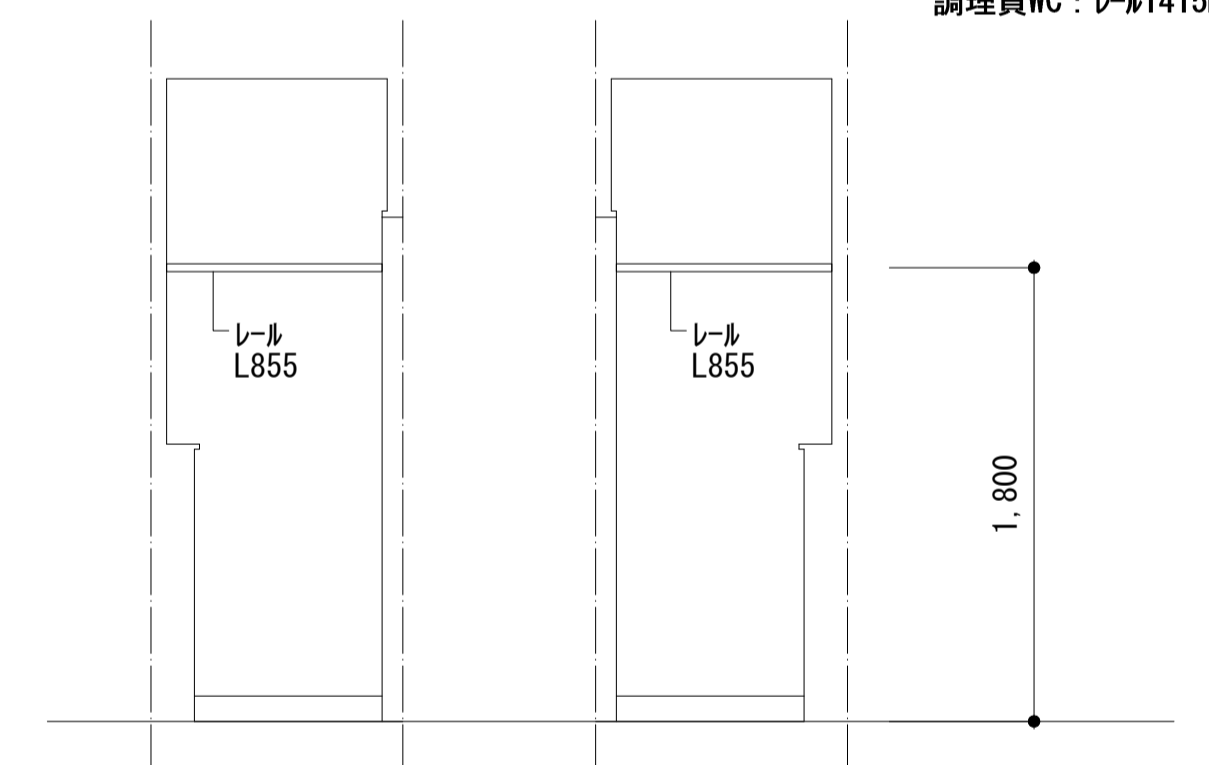
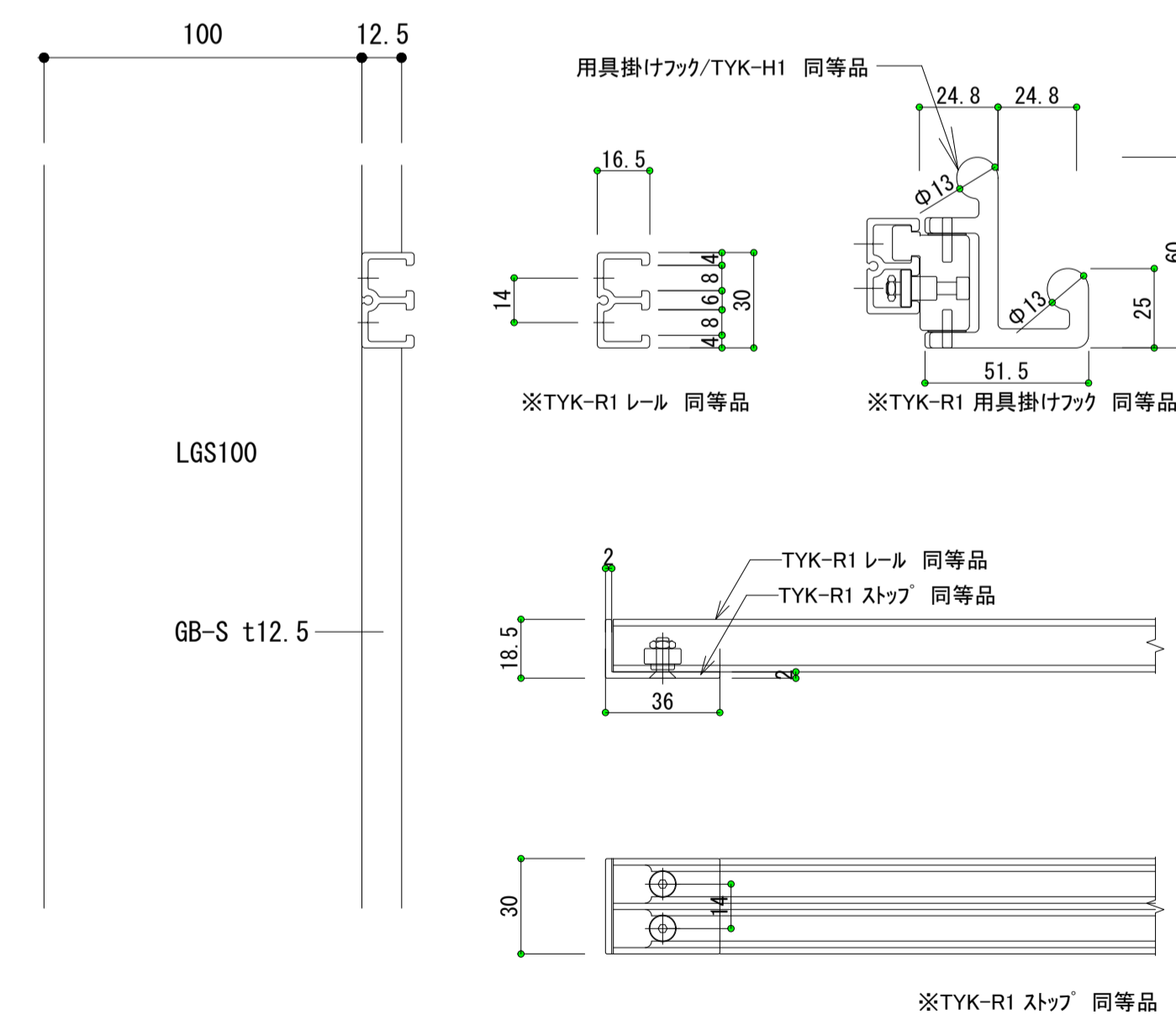
断面詳細図 S=1/3



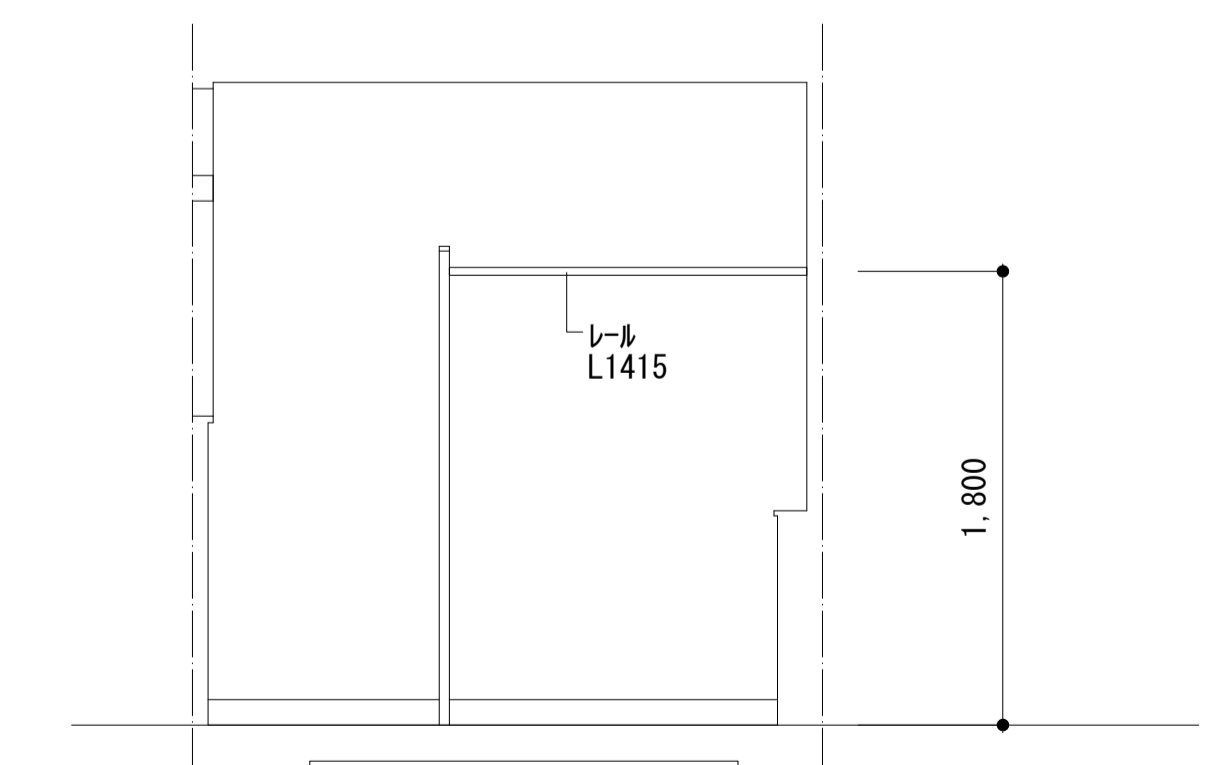
平面図 S=1/10



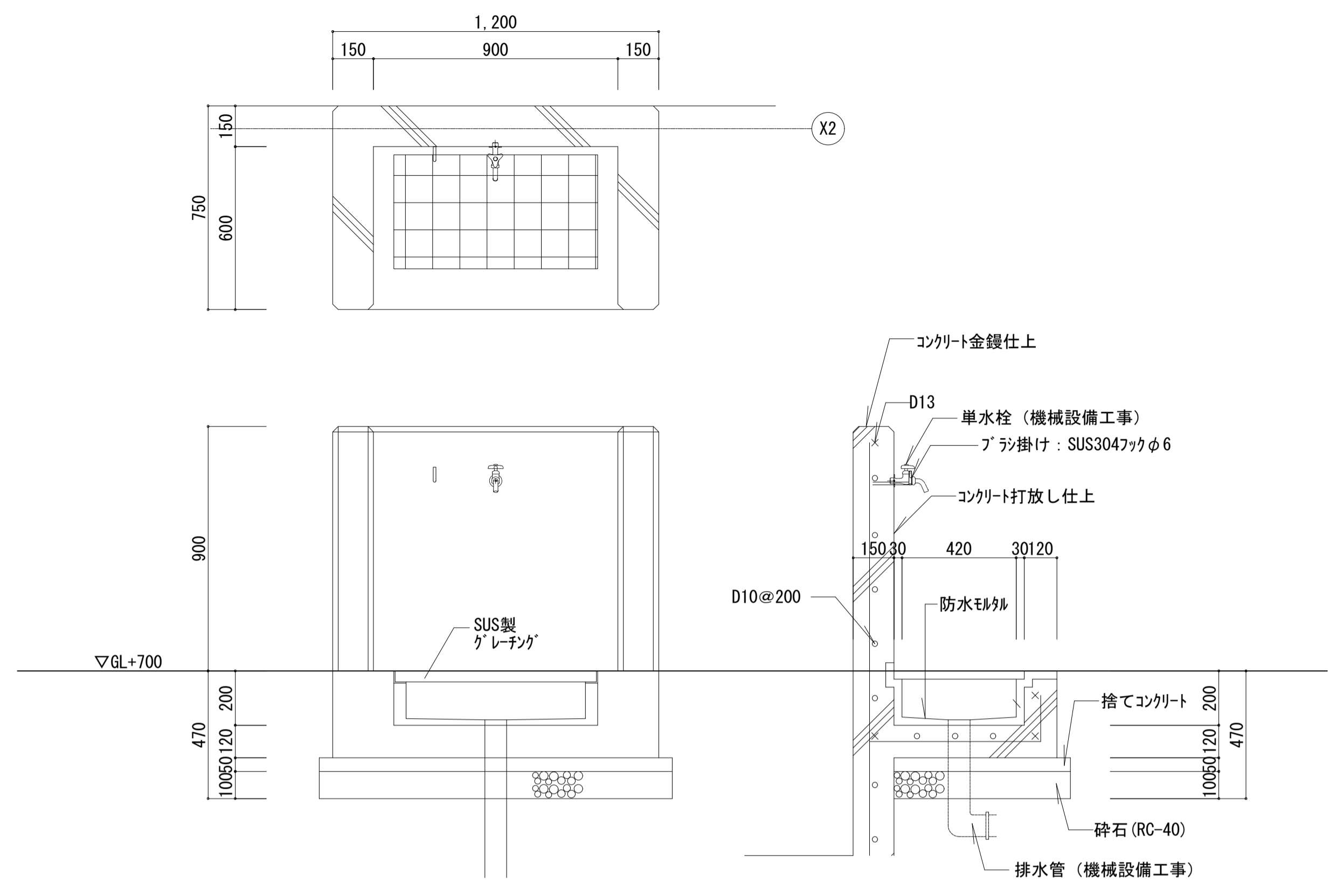
正面図 S=1/10



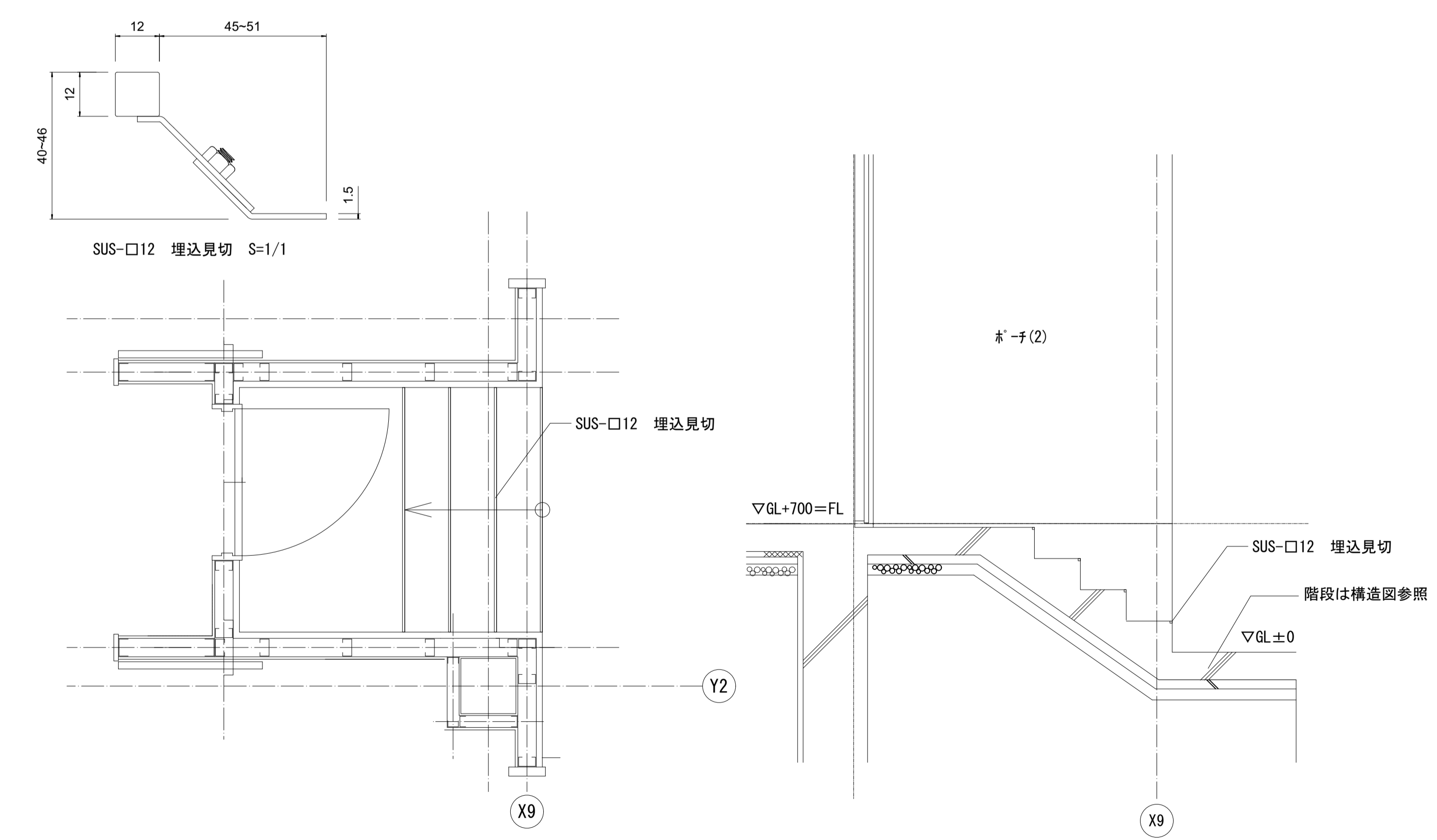
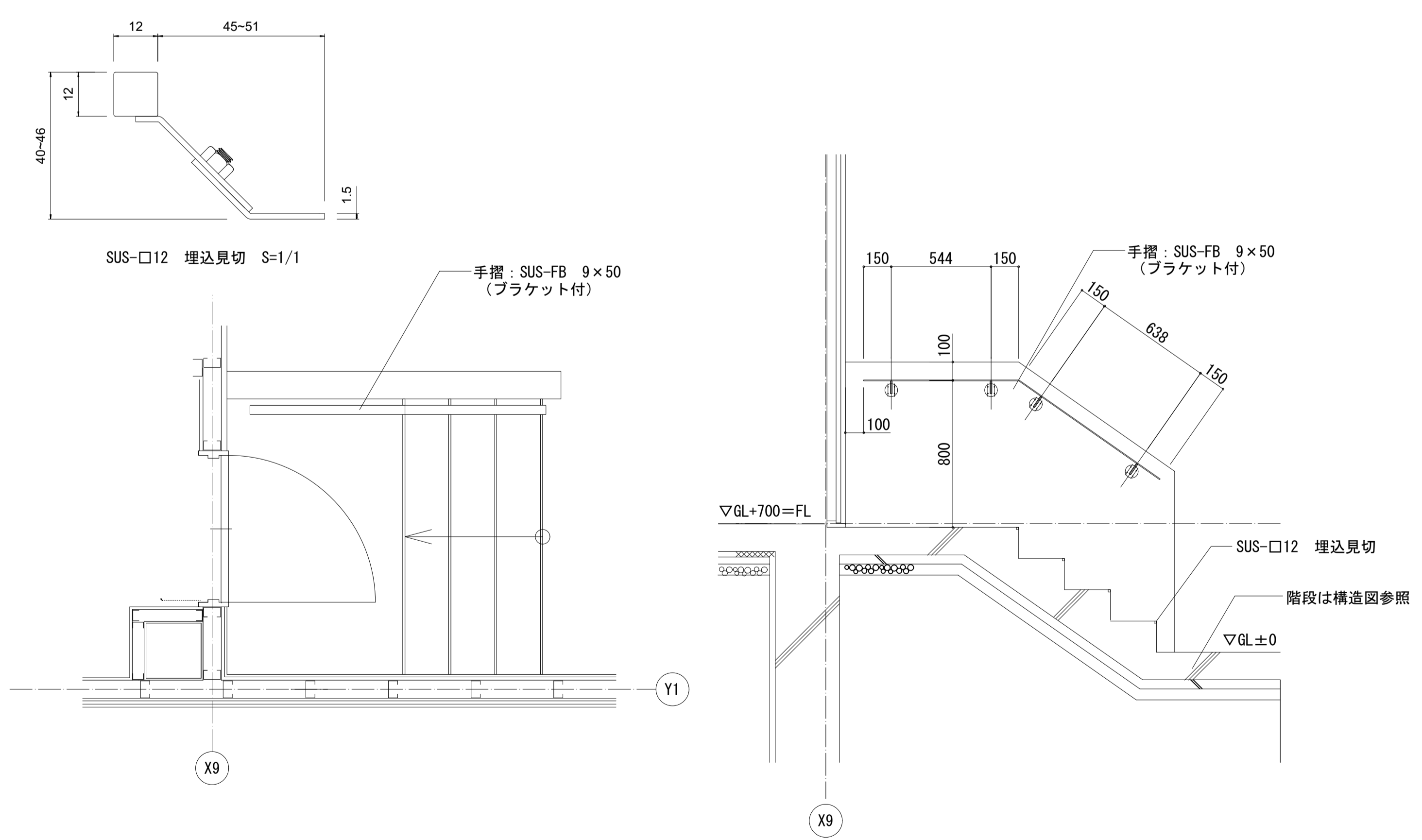
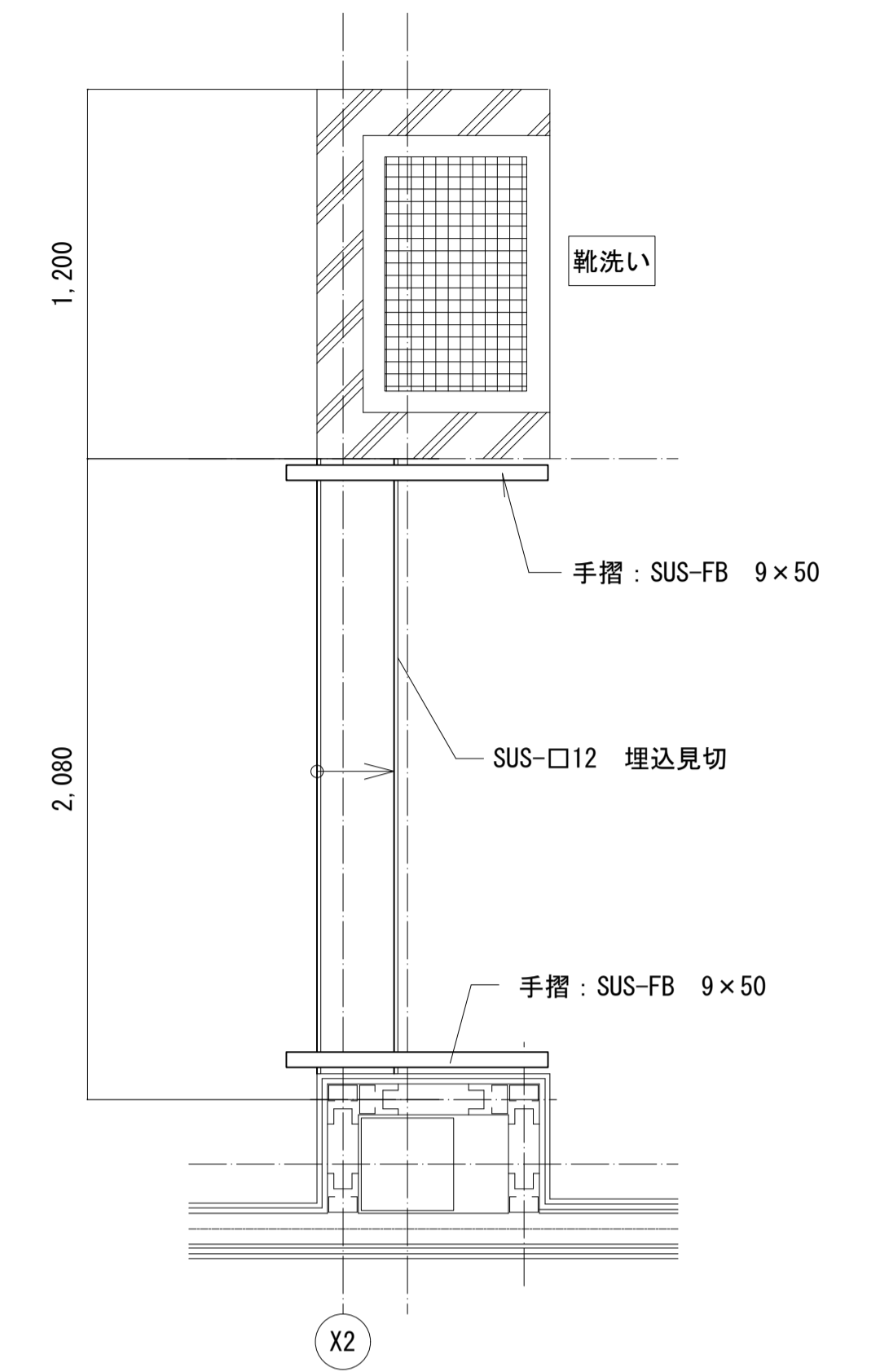
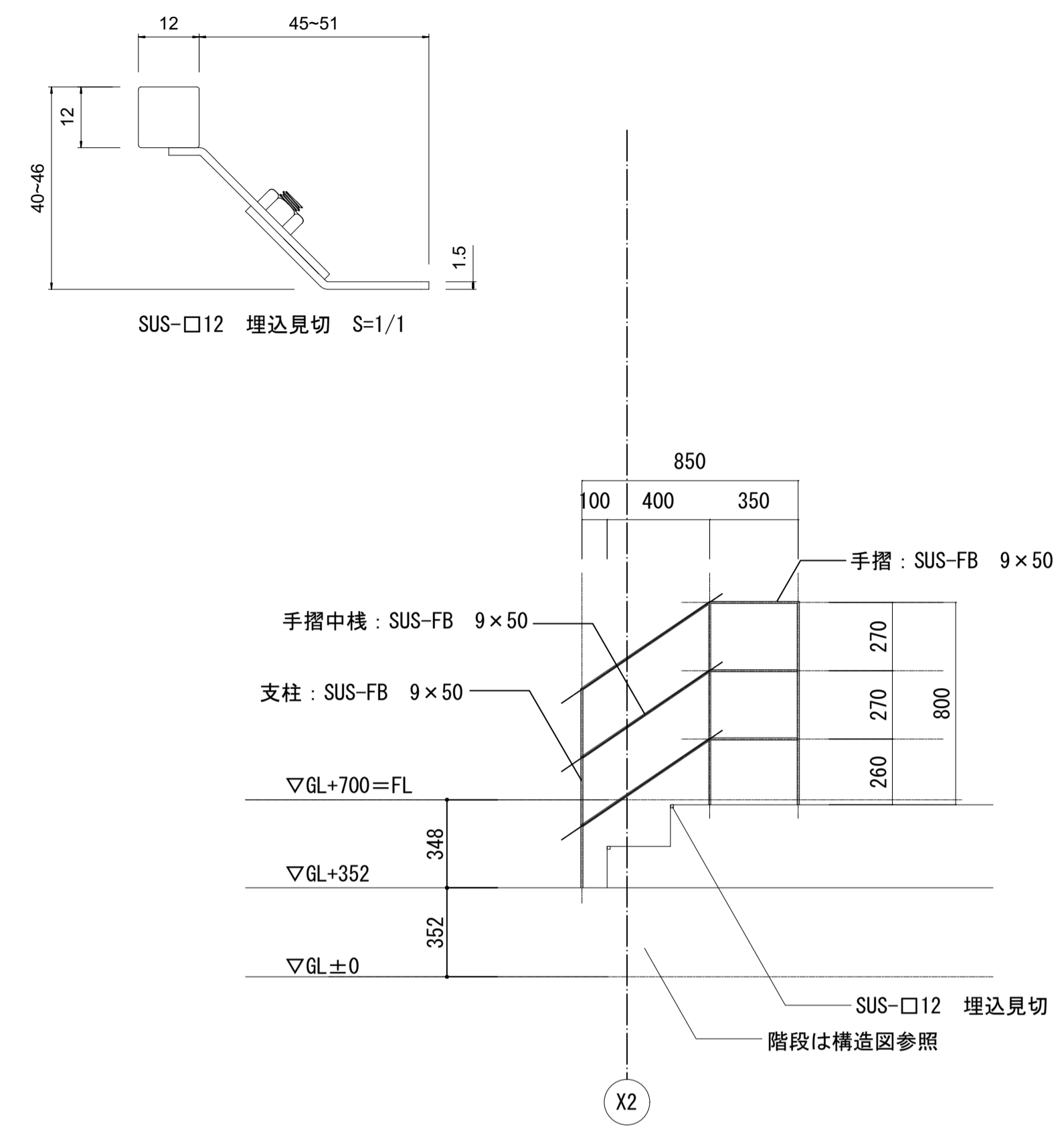
SK B, D展開図 S=1/30

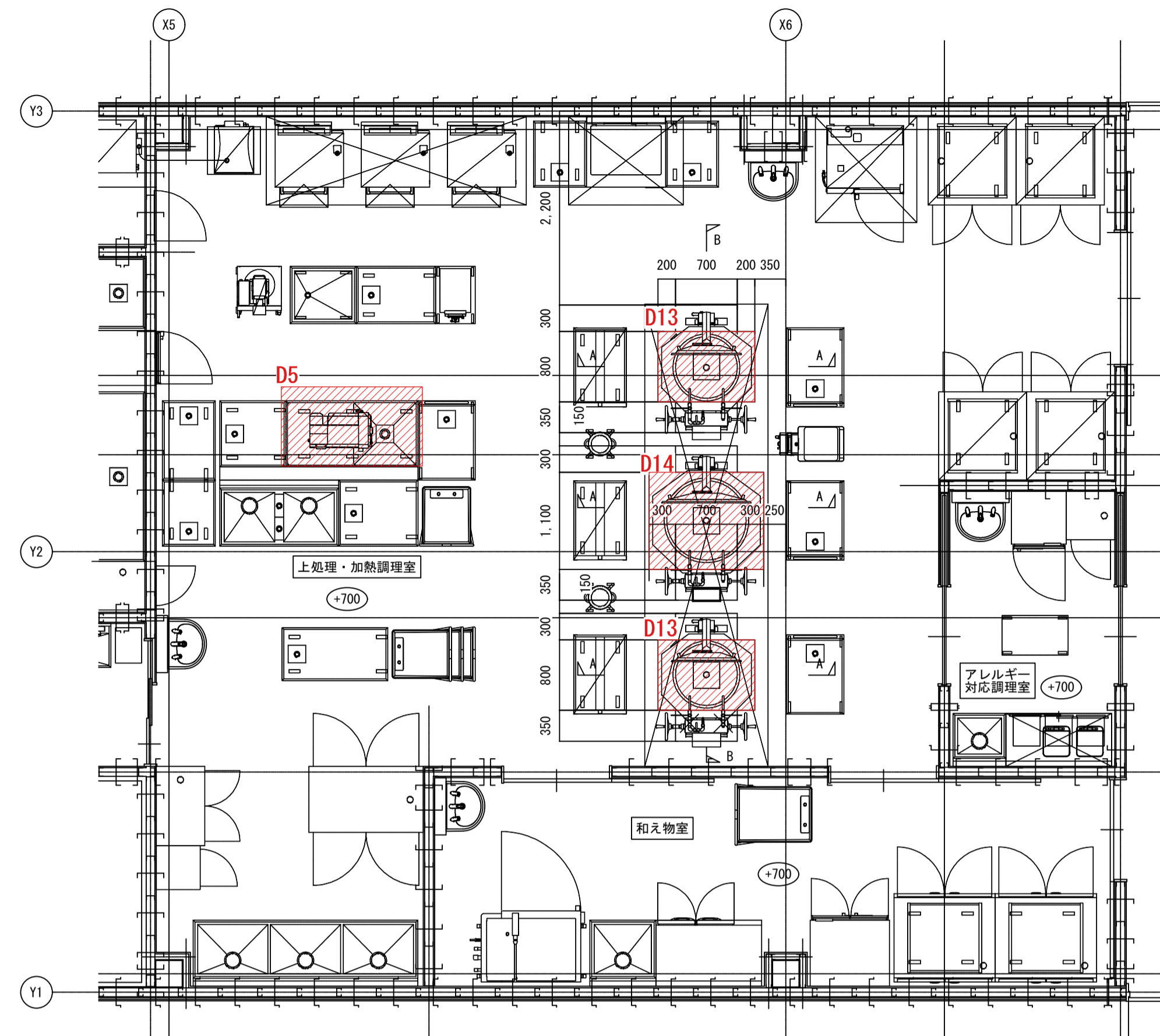


調理員WC D展開図 S=1/30

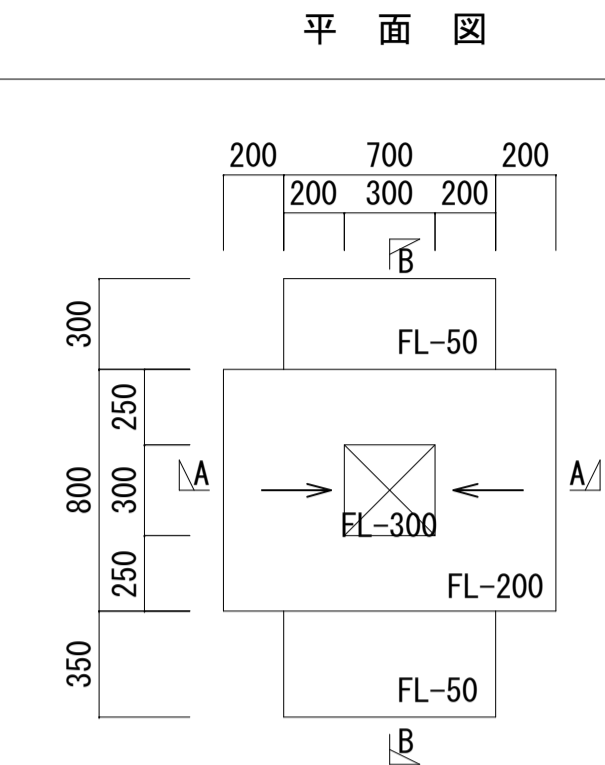


※端部及び隅部はD13とする。

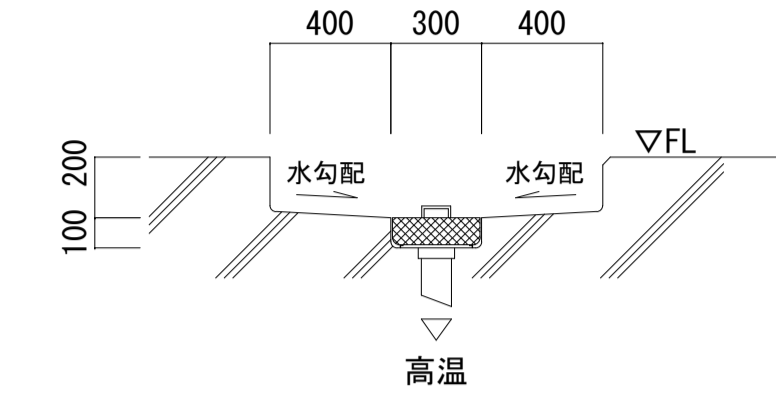




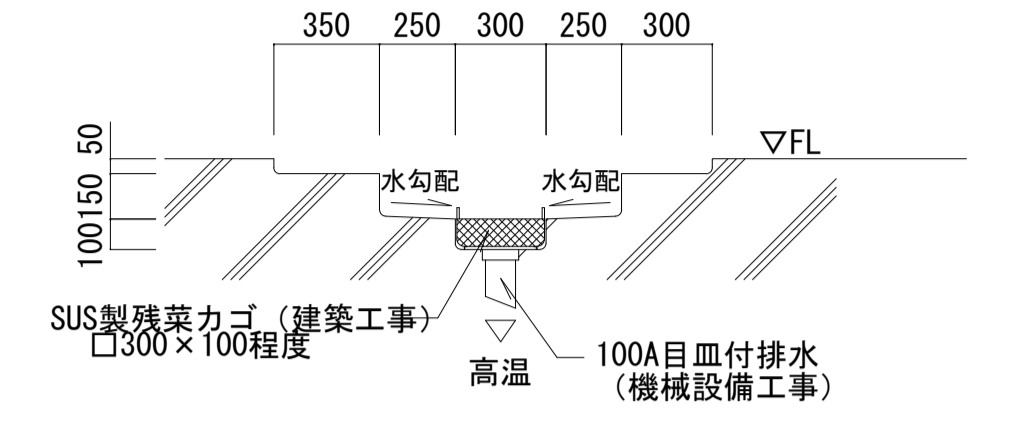
D13



A-A 断面図

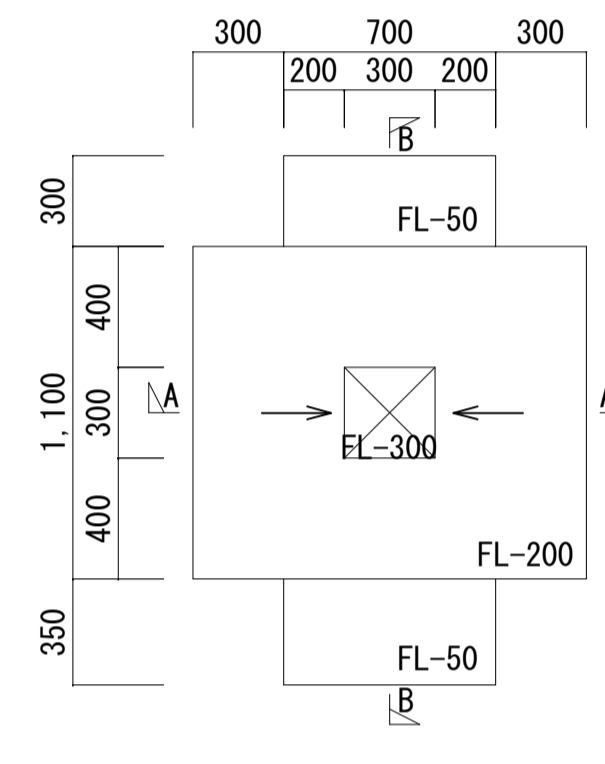


B-B 断面図

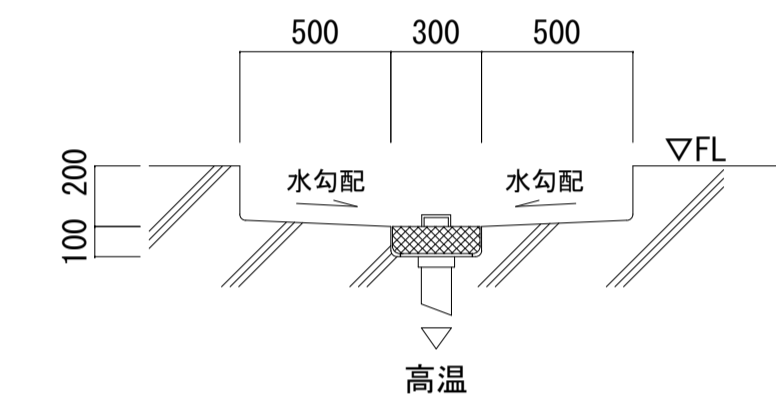


※ピット内コーナー部はR処理とする  
※ピット部 (FL以下) は全て100℃耐熱仕様防水塗床 (建築工事) とする

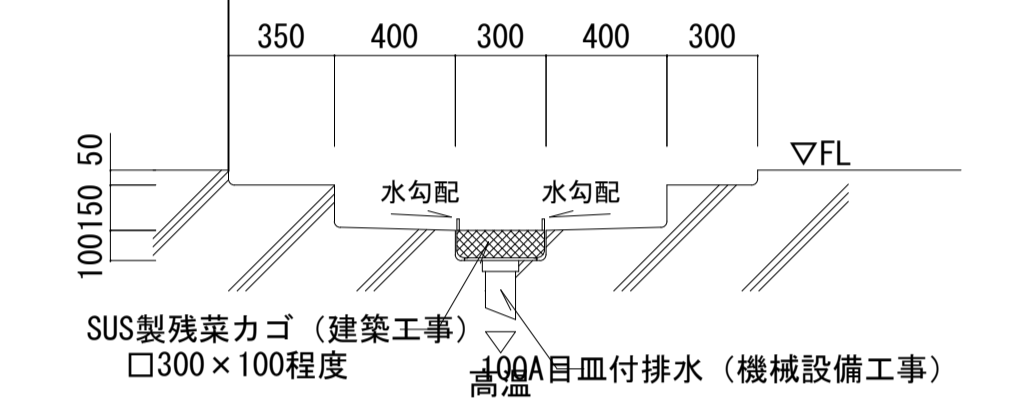
D14



A-A 断面図

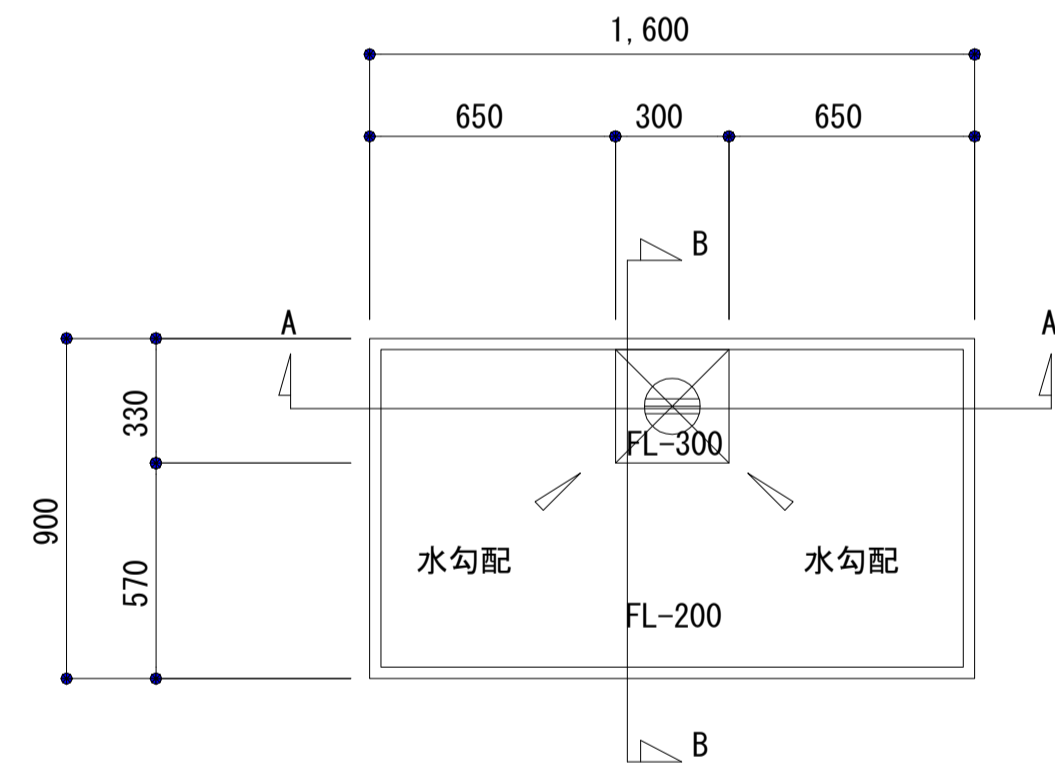


B-B 断面図

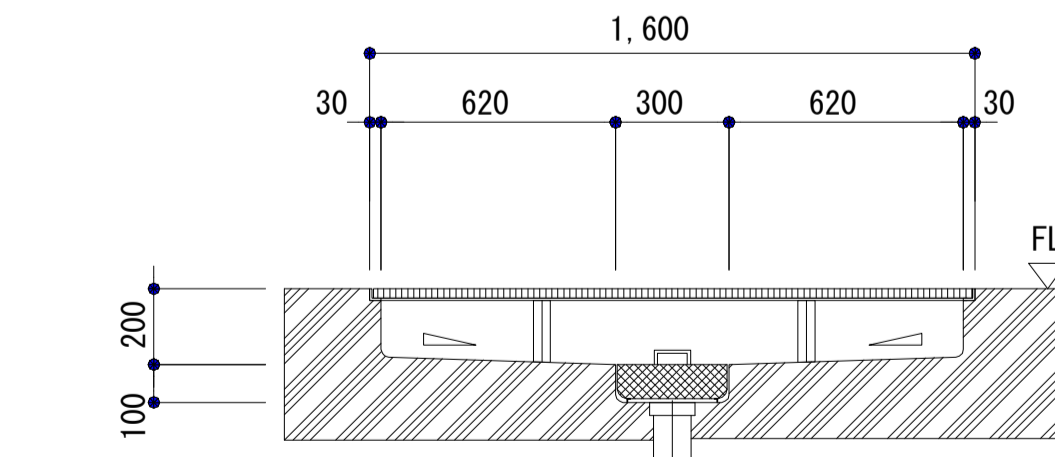


※ピット内コーナー部はR処理とする  
※ピット部 (FL以下) は全て100℃耐熱仕様防水塗床 (建築工事) とする

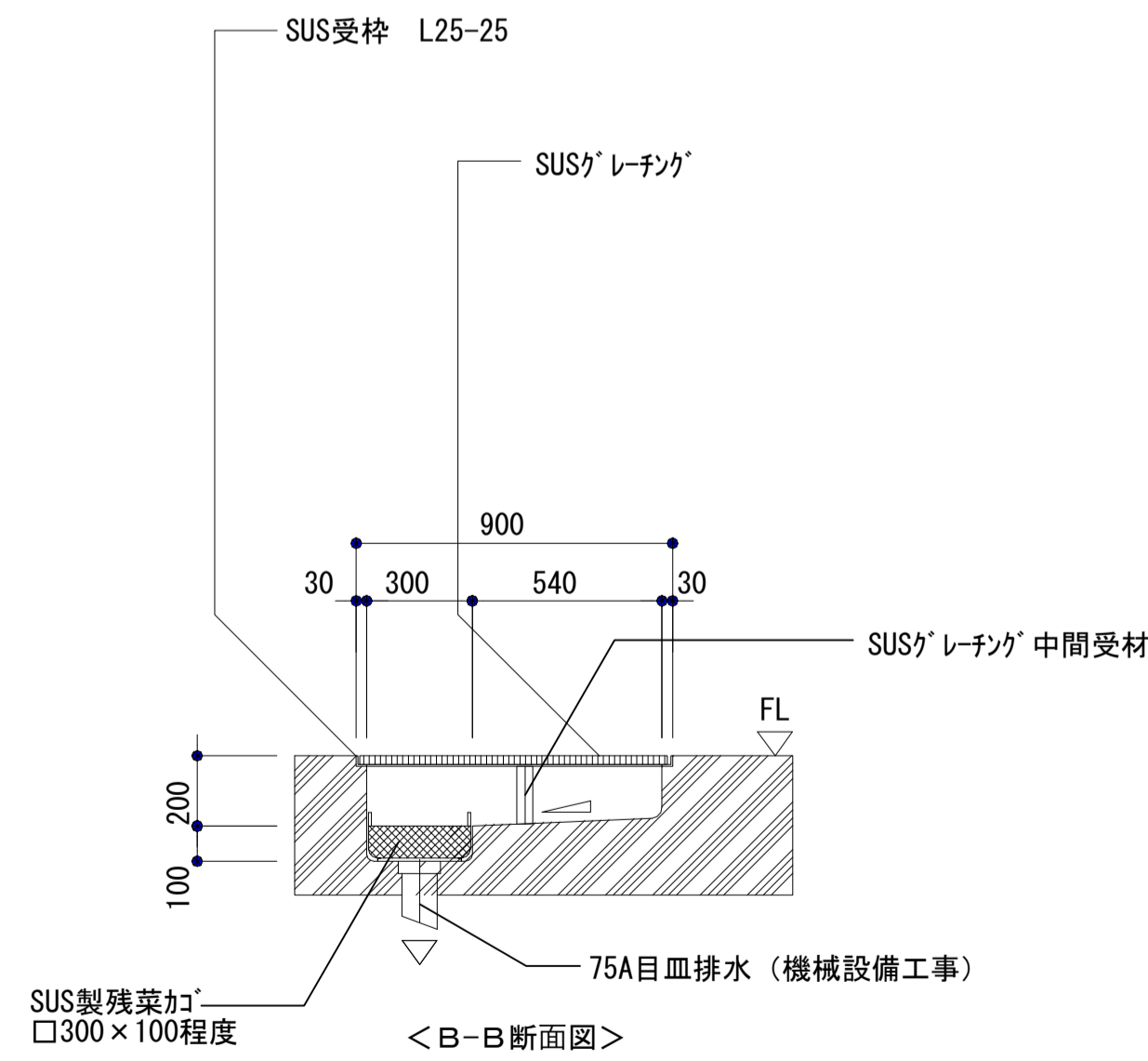
注記  
 ・ピット内排水への水勾配必要 (図中深さは水下で想定)  
 ・ピット内コーナー部はR処理  
 ・ピット部 (FL以下) は全て防水塗床



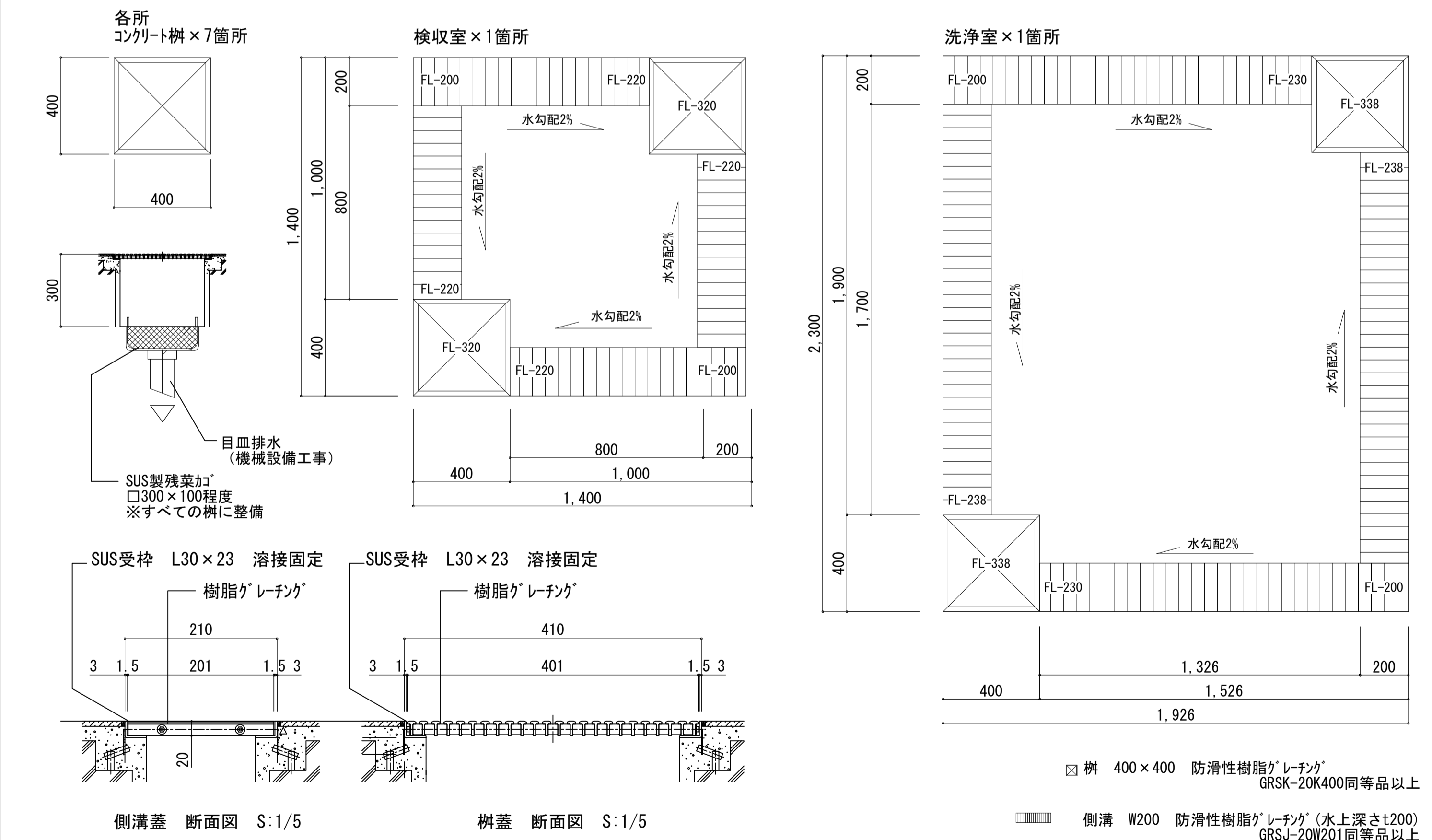
<ピット図>



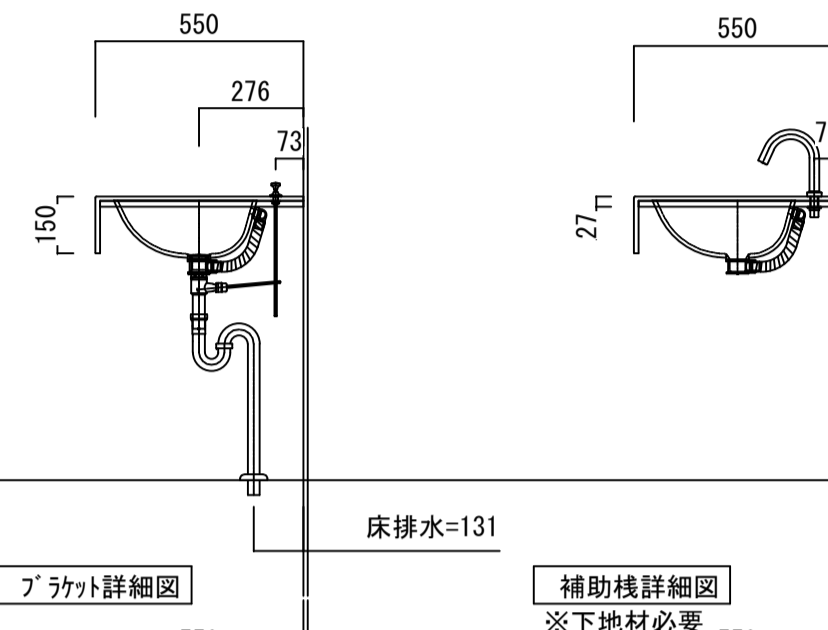
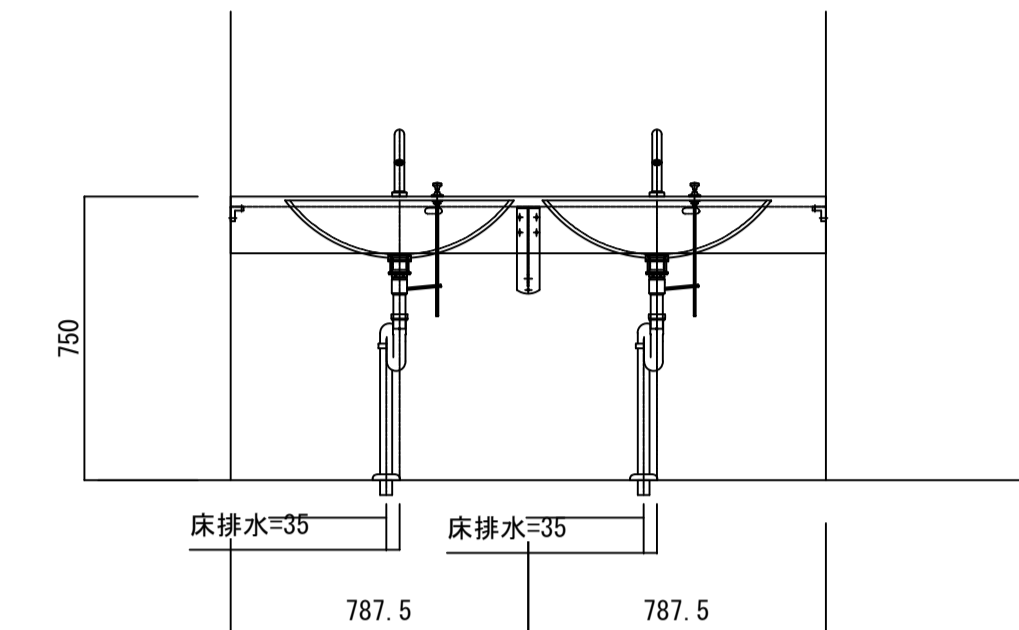
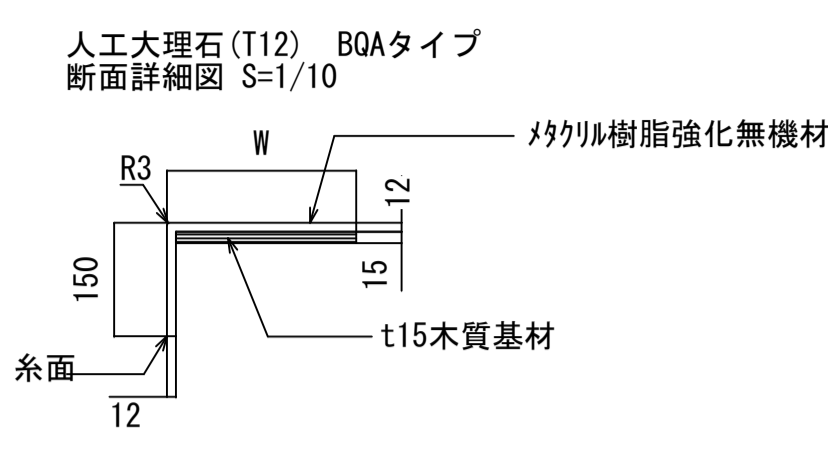
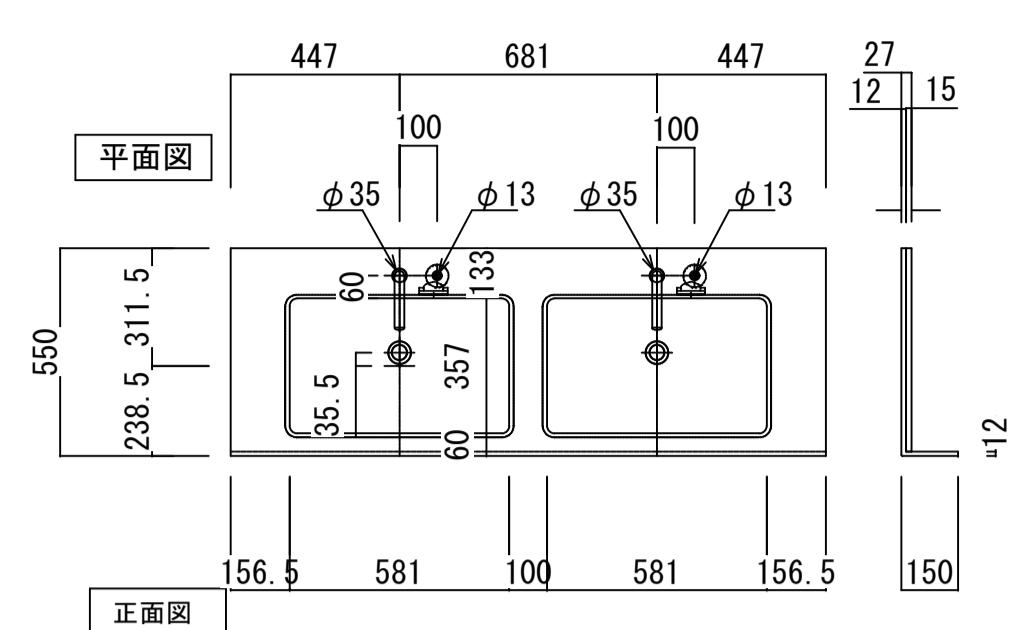
< A-A 断面図 >



< B-B 断面図 >

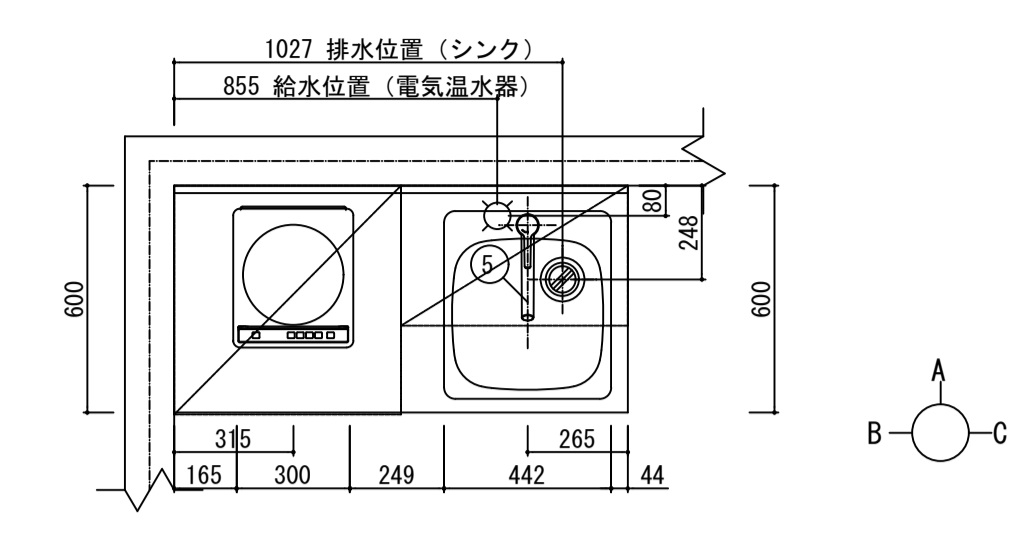


■ 樹 400×400 防滑性樹脂グレーチング  
GRSK-20K400同等品以上  
 ■ 側溝 W200 防滑性樹脂グレーチング (水上深さt200)  
GRSJ-20W201同等品以上



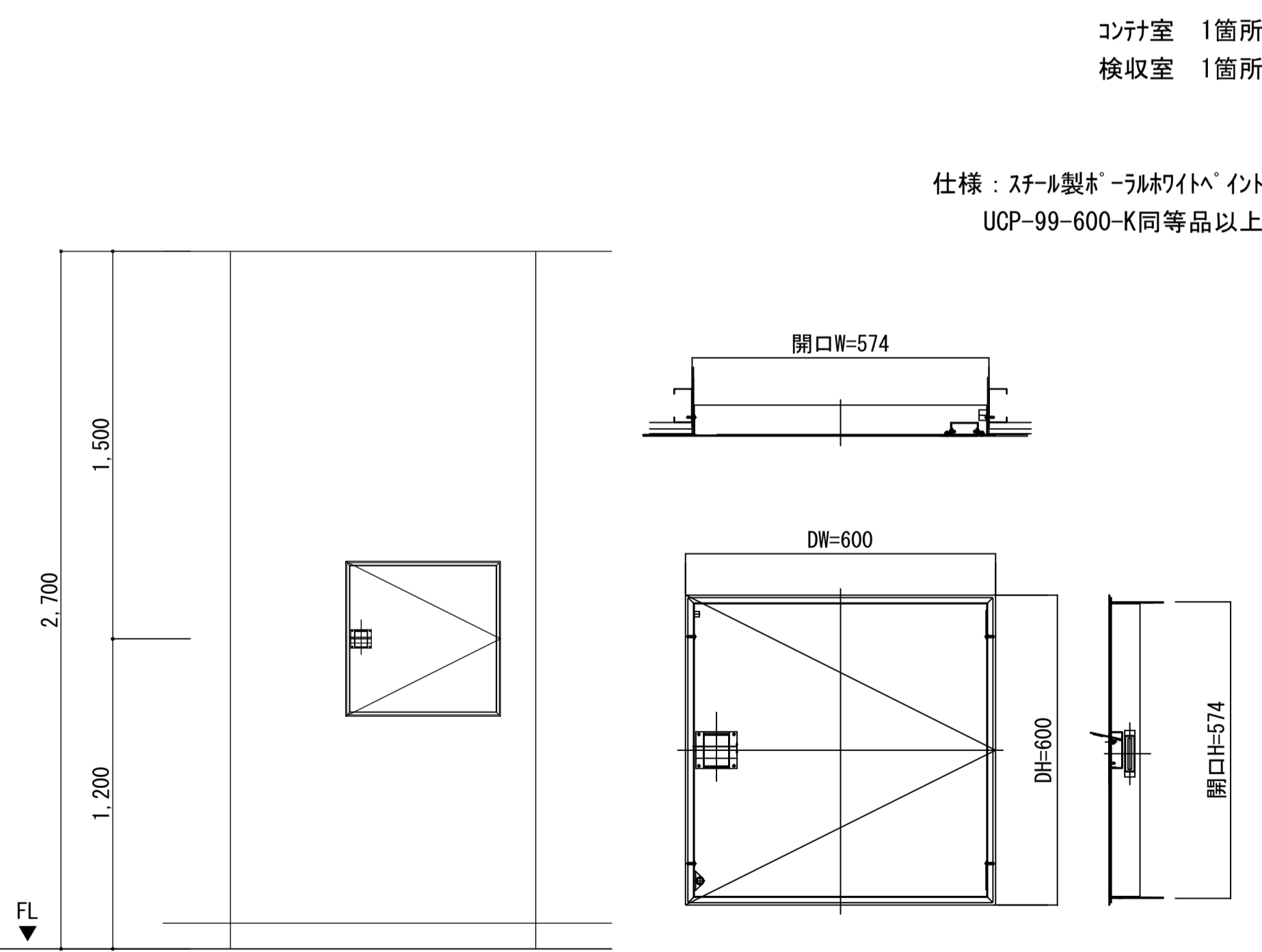
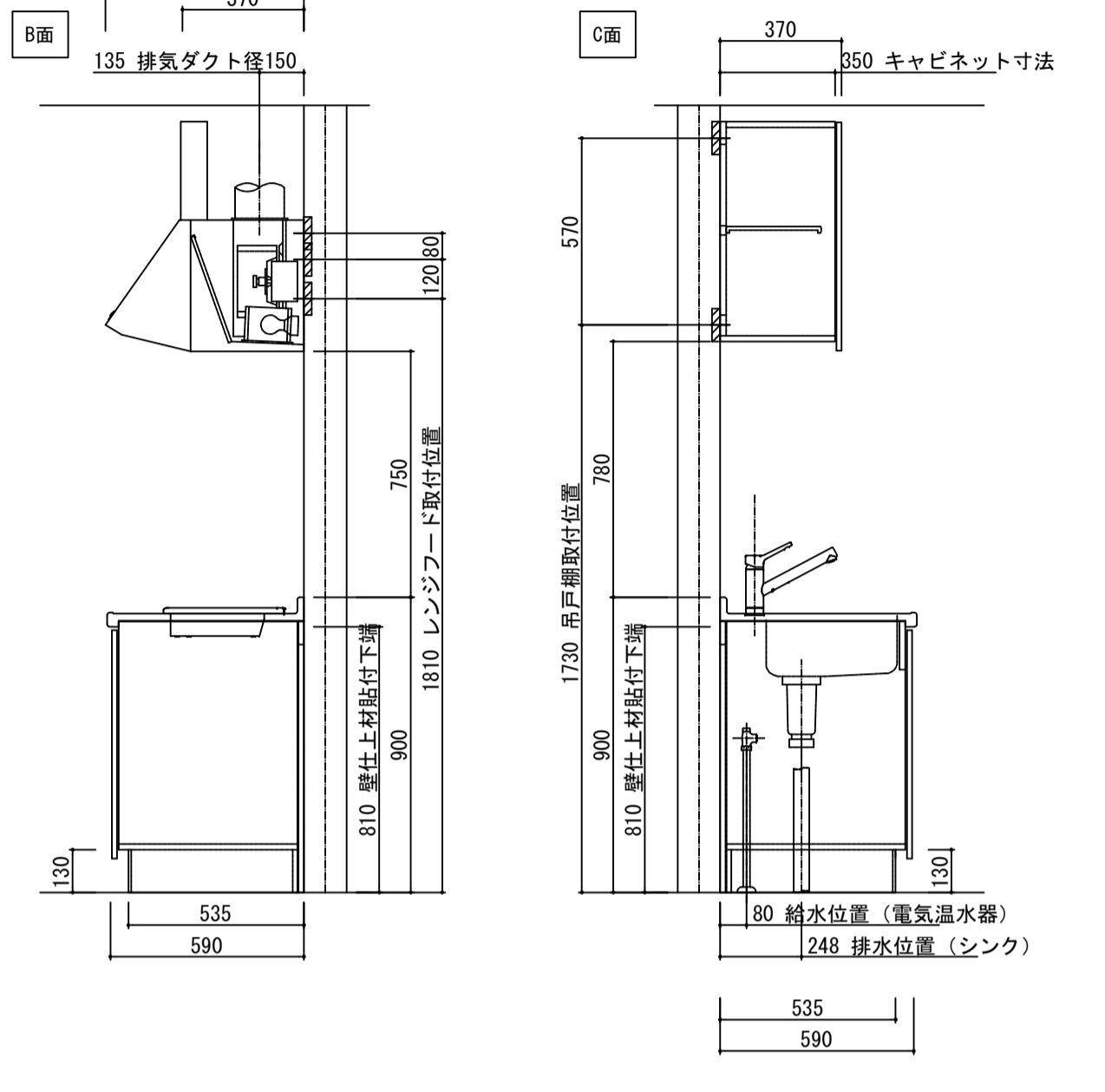
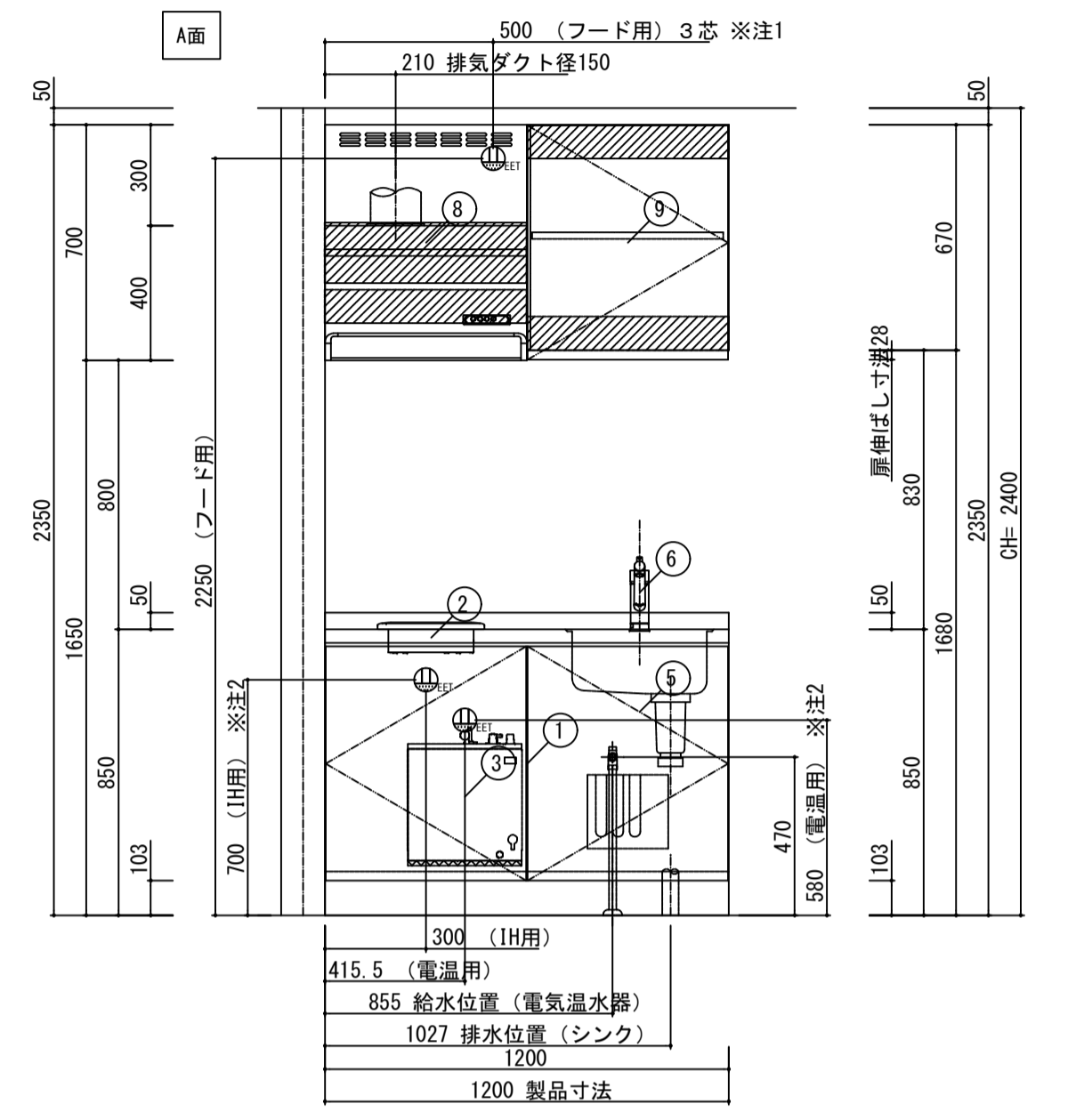
部材構成

部材	参考品番	数量
カウンター	BQA2XB107UA1011	1
排水金具	HMB3002H	2
排水金具	HMB3003	2
自動単水栓(シャワー)	E1700L	2
水栓用アダプター	PZ24-36-38	2
プレート(白)	KH-341WA1	1
施工用補助棧	KH-53W	1

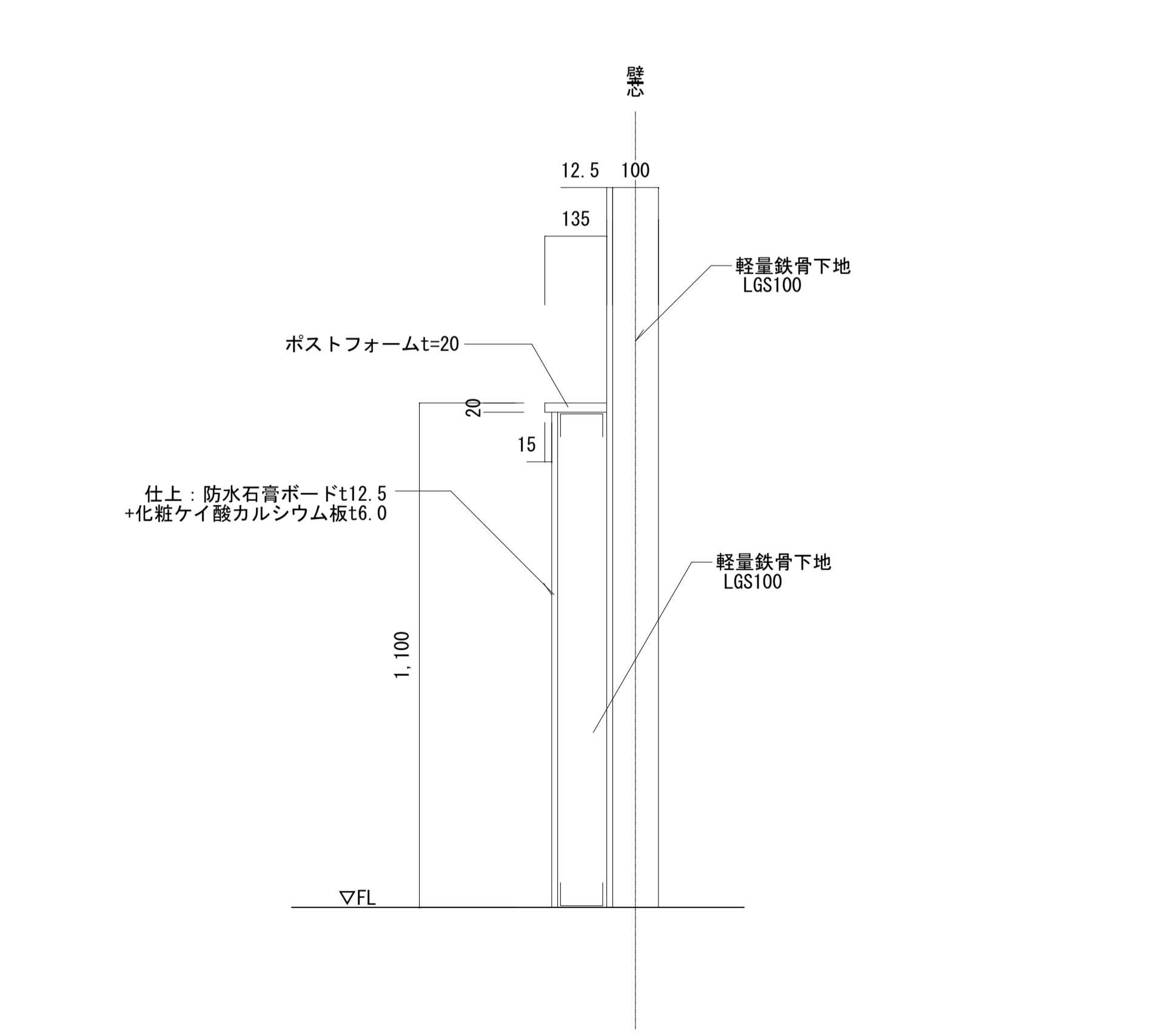
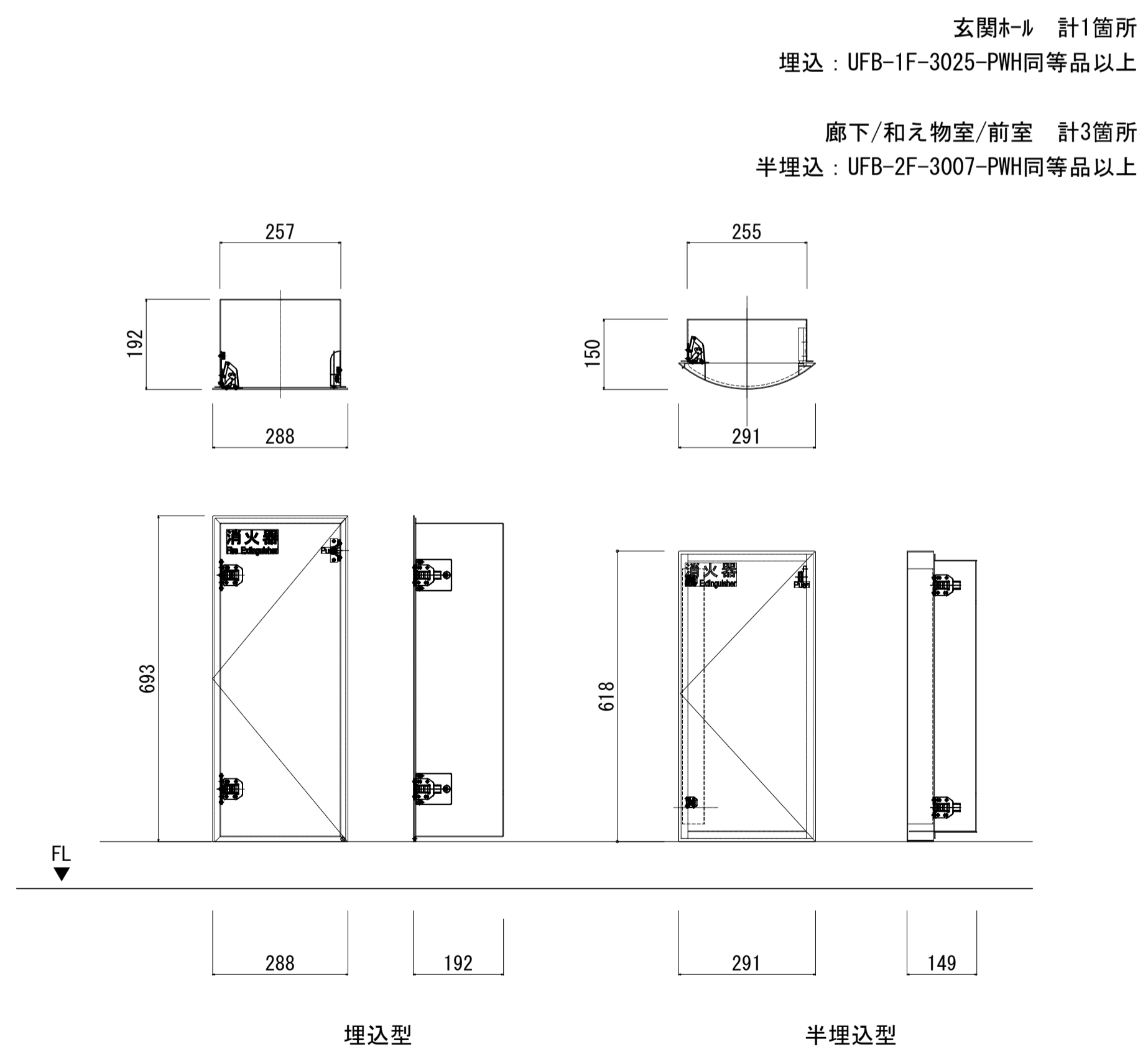


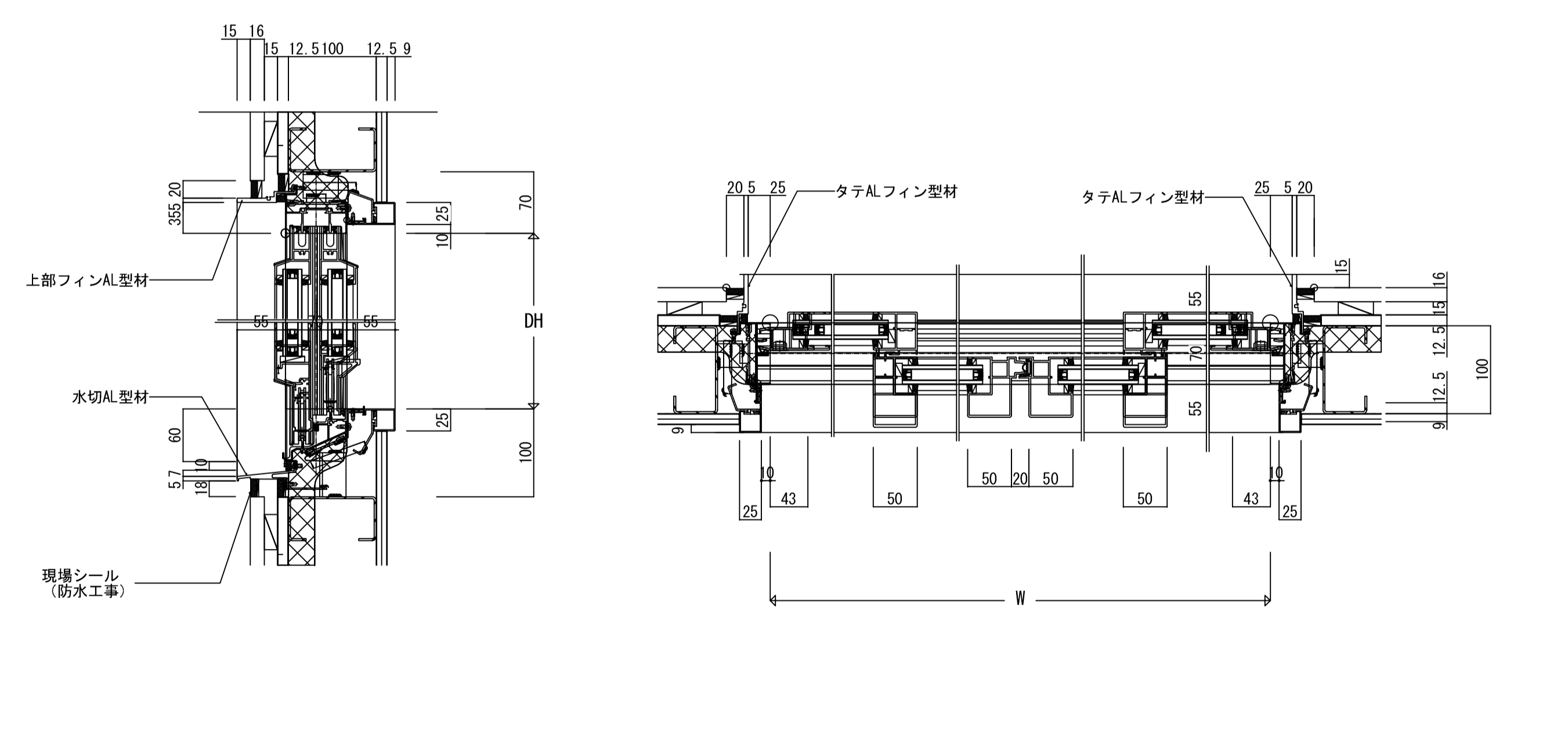
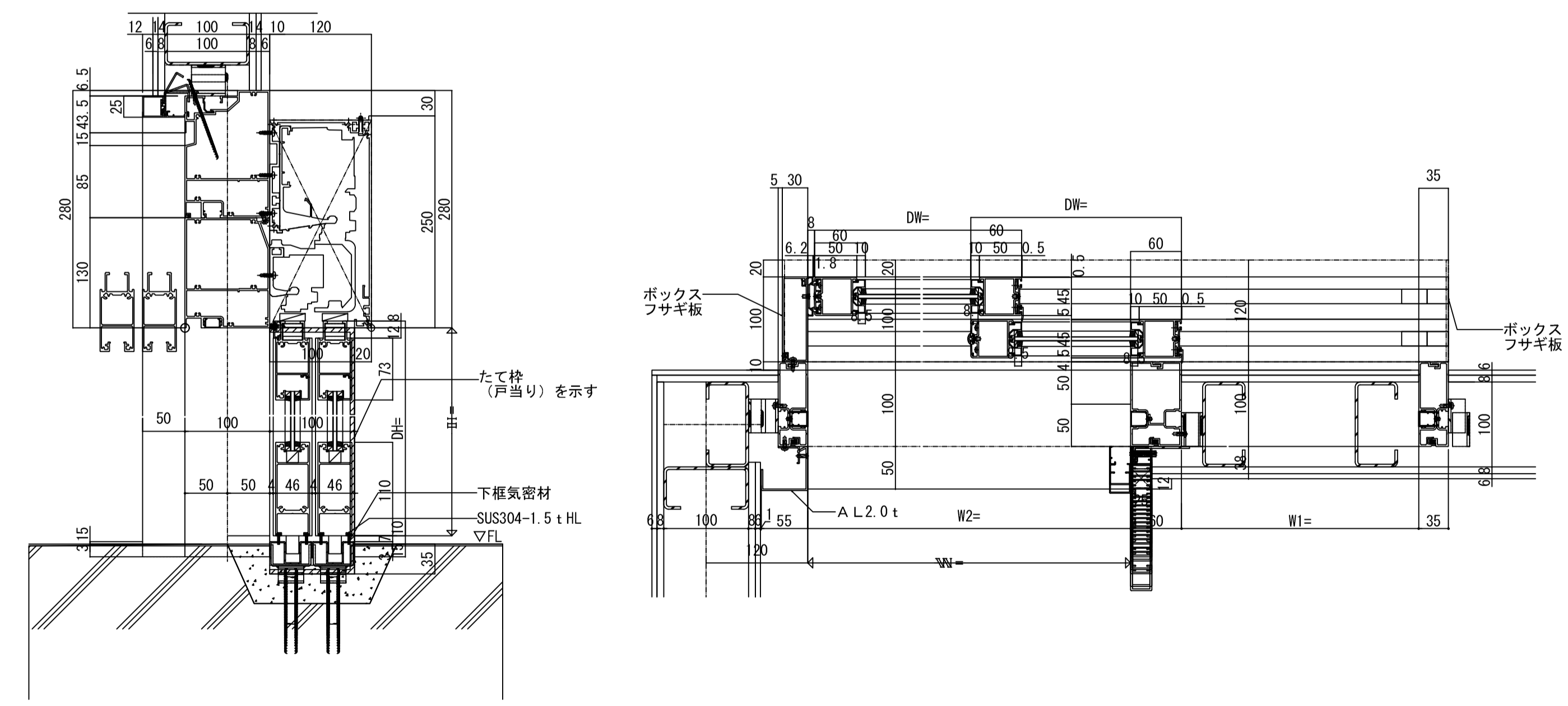
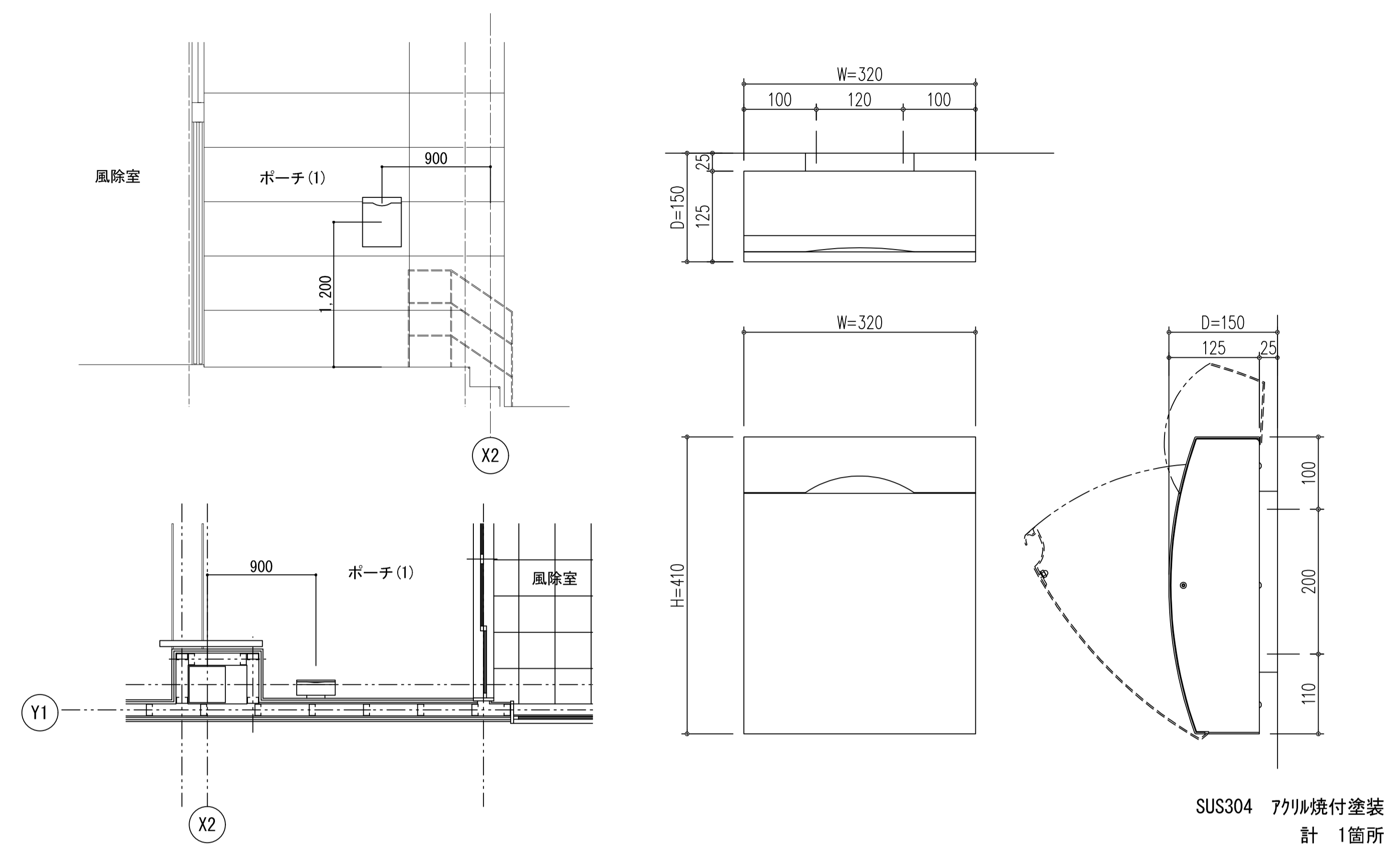
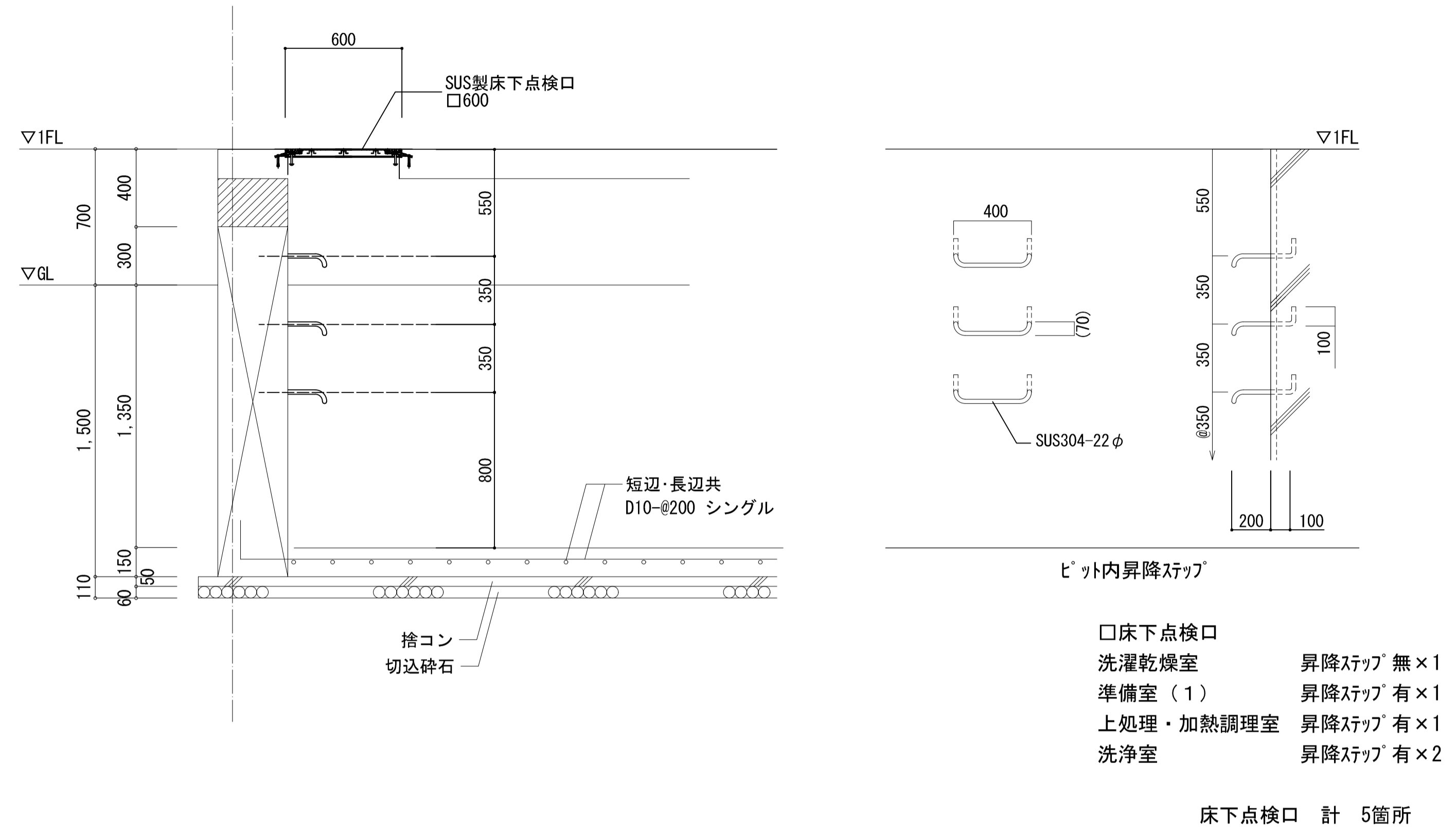
部材構成

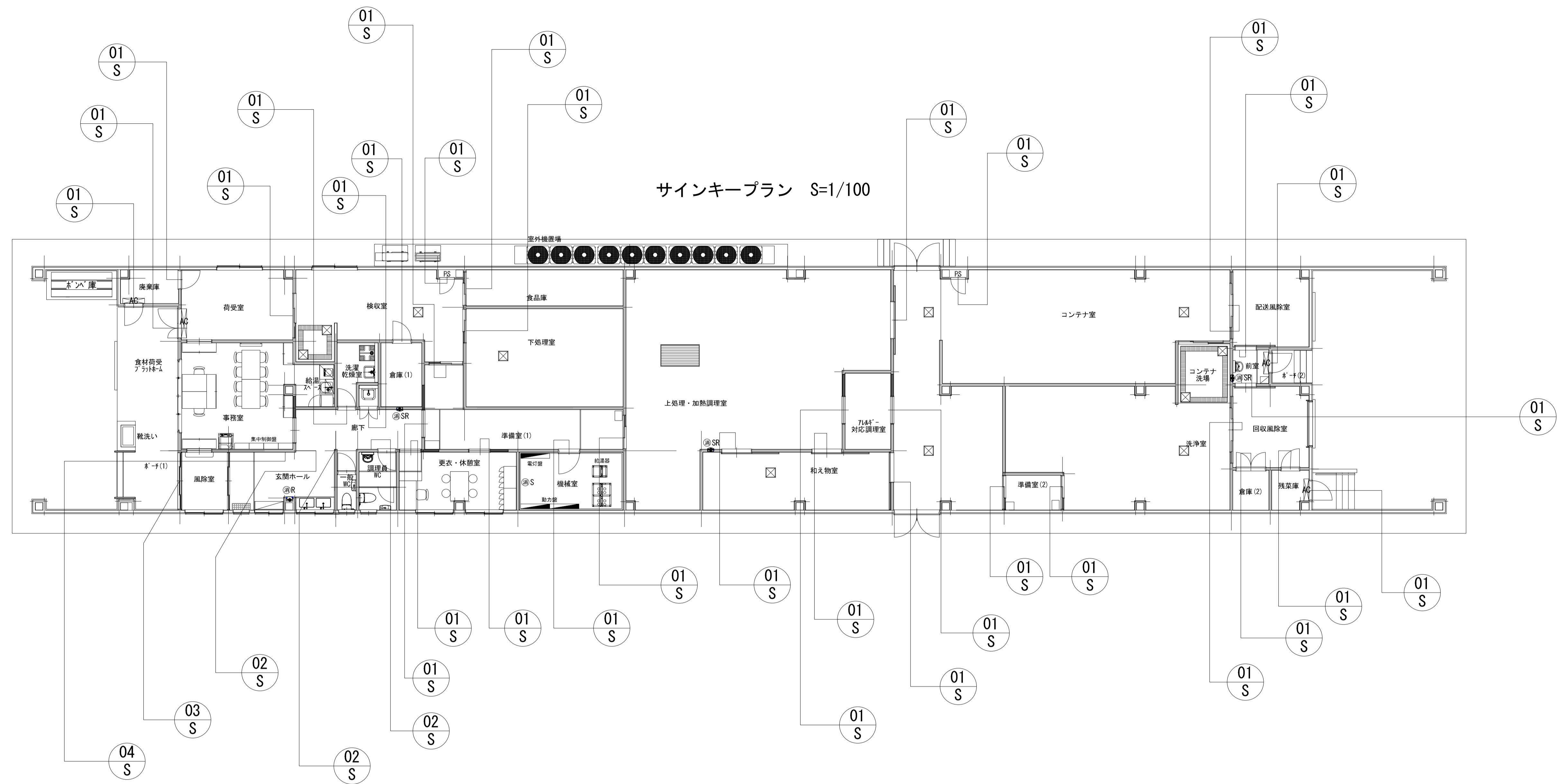
品名	品番	数	備考
1 SUS一体キャビ	MNF2612RAWB3AR	1	
2 W47/IH1ロコンロ	CH11CJGN	1	
3 電気温水器25Lセット	MEHPNH25N4JG2	1	
4 止水栓ストリート型	LF3SV(470)KJG	1	
5 40シンク	R	1	
6 P34/シングルレバー水栓	SFWL420SYXNJG2N	1	
7 ジャバラホース排水セット	HJHSET3N	1	
8 A72/NBHシロッコファン	NBH639751N	1	
9 吊戸棚H70側面不燃・キャッチ	MNAP060A8WB3/R	1	



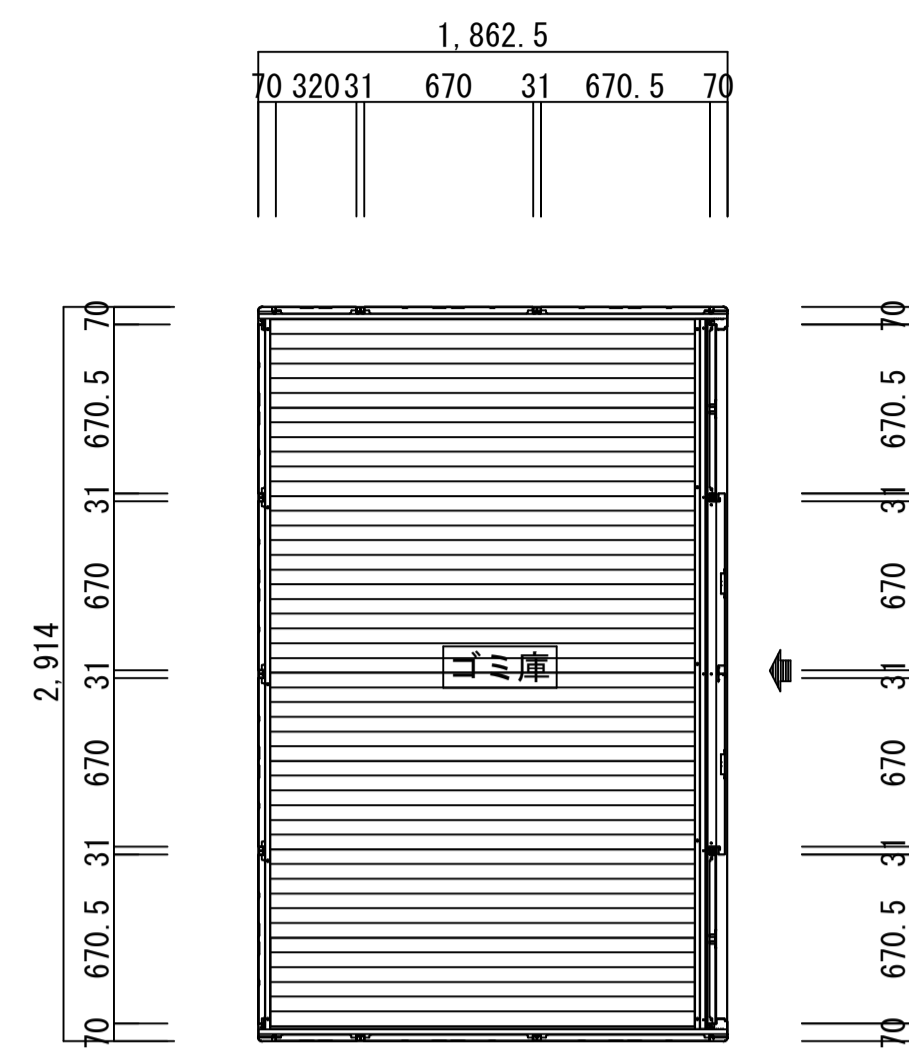
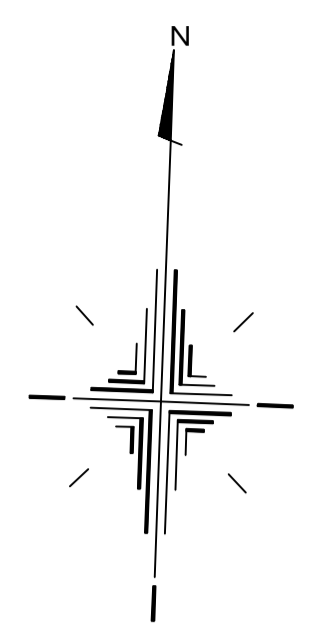
コンクリート 1箇所  
検査室 1箇所  
仕様: スチール製ホ-ルホワイト'イント  
UCP-99-600-K同等品以上



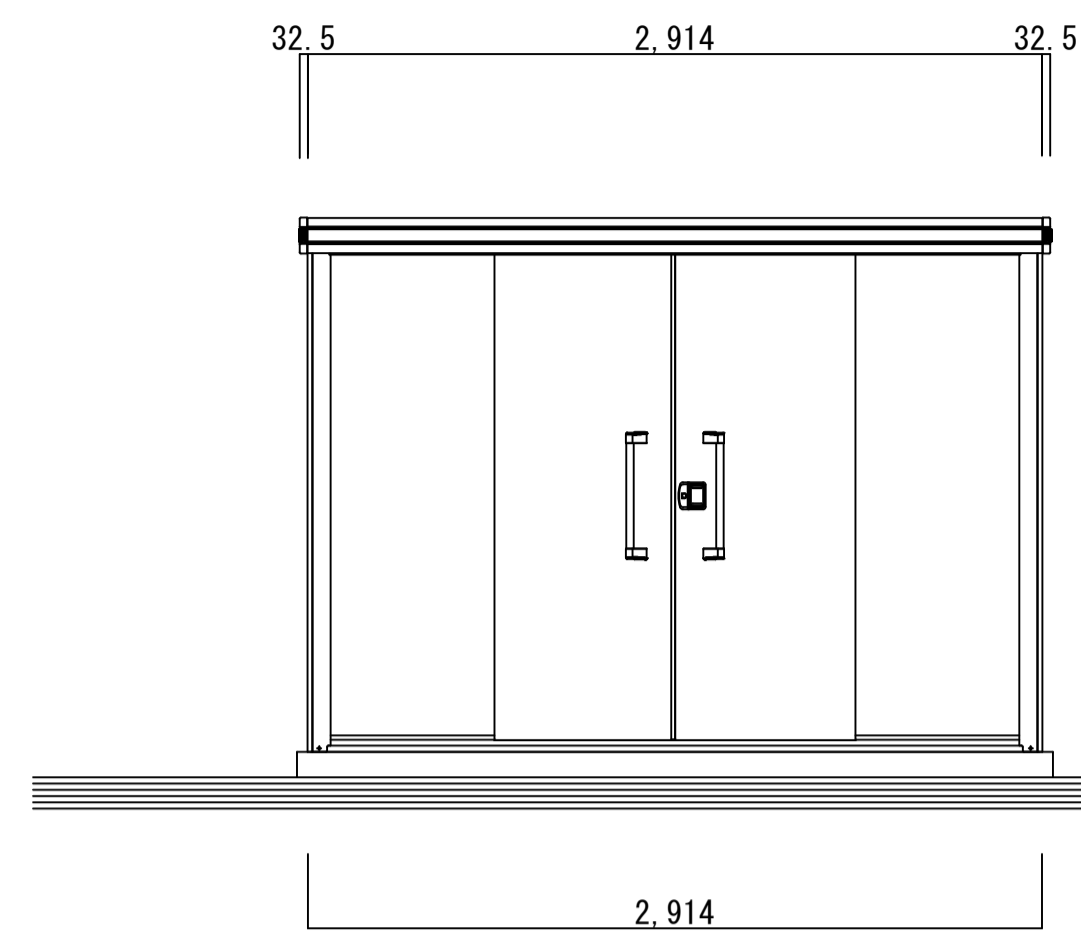




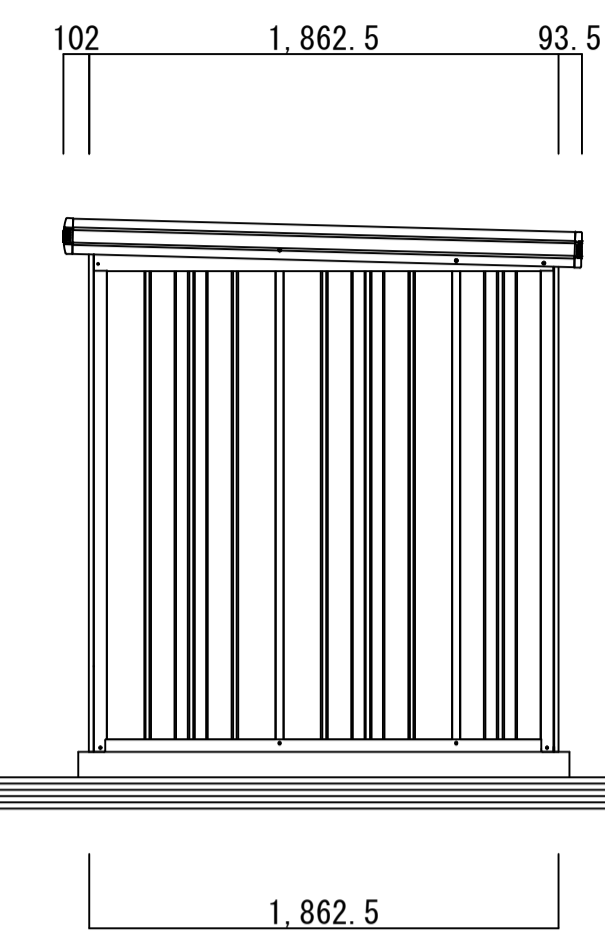
S-01	A1:S=1/5 (A3:S=1/10)	S-02 突き出しサイン	A1:S=1/3 (A3:S=1/6)	S-03 入口サイン	A1:S=1/10 (A3:S=1/20)
<p>艶消し塩ビシート切り文字</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">洗濯乾燥室</p> <p style="text-align: center;">180</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯乾燥室 ×1</li> <li>SK ×1</li> <li>更衣室 ×2</li> <li>機械室 ×1</li> <li>準備室(1) ×1</li> <li>上処理・加熱調理室 ×1</li> <li>和え物室 ×3</li> <li>アレルギー対応調理室 ×2</li> <li>準備室(2) ×1</li> <li>洗浄室 ×2</li> <li>倉庫 ×2</li> <li>残菜庫 ×2</li> <li>回収風除室 ×1</li> <li>通用口 ×1</li> <li>配送風除室 ×1</li> <li>コンテナ室 ×1</li> <li>廃棄庫 ×2</li> <li>荷受室 ×1</li> <li>検収室 ×2</li> <li>PS ×2</li> <li>食品庫 ×1</li> <li>下処理室 ×1</li> </ul> <p>センター 計 32枚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気室 ×1</li> <li>発電機室 ×1</li> </ul> <p>電気・発電機庫 計 2枚</p> <p style="text-align: right;">合計 34枚</p>	<p>本体：艶消しアクリル t5.0 焼付塗装 ベースプレート：SUS304 t3.0焼付塗装 ※室名称は監督員と協議の上決定する</p> <p style="text-align: center;">ベースプレート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>STAFF TOILET × 1箇所</li> <li>GENERAL TOILET × 1箇所</li> <li>OFFICE × 1箇所</li> </ul> <p style="text-align: center;">計 3 箇所</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">大間町学校給食センター</p> <p style="text-align: center;">1,800</p> <p style="text-align: right;">計 1 箇所</p>	<p>SUS304 t9.0 焼付塗装 スタッドボルト30mm</p>	<p>アルミ複合板t3.0 塩ビ出カシート巻込貼</p> <p style="text-align: center;">館内案内</p> <p style="text-align: center;">900</p> <p style="text-align: right;">計 1 箇所</p>	



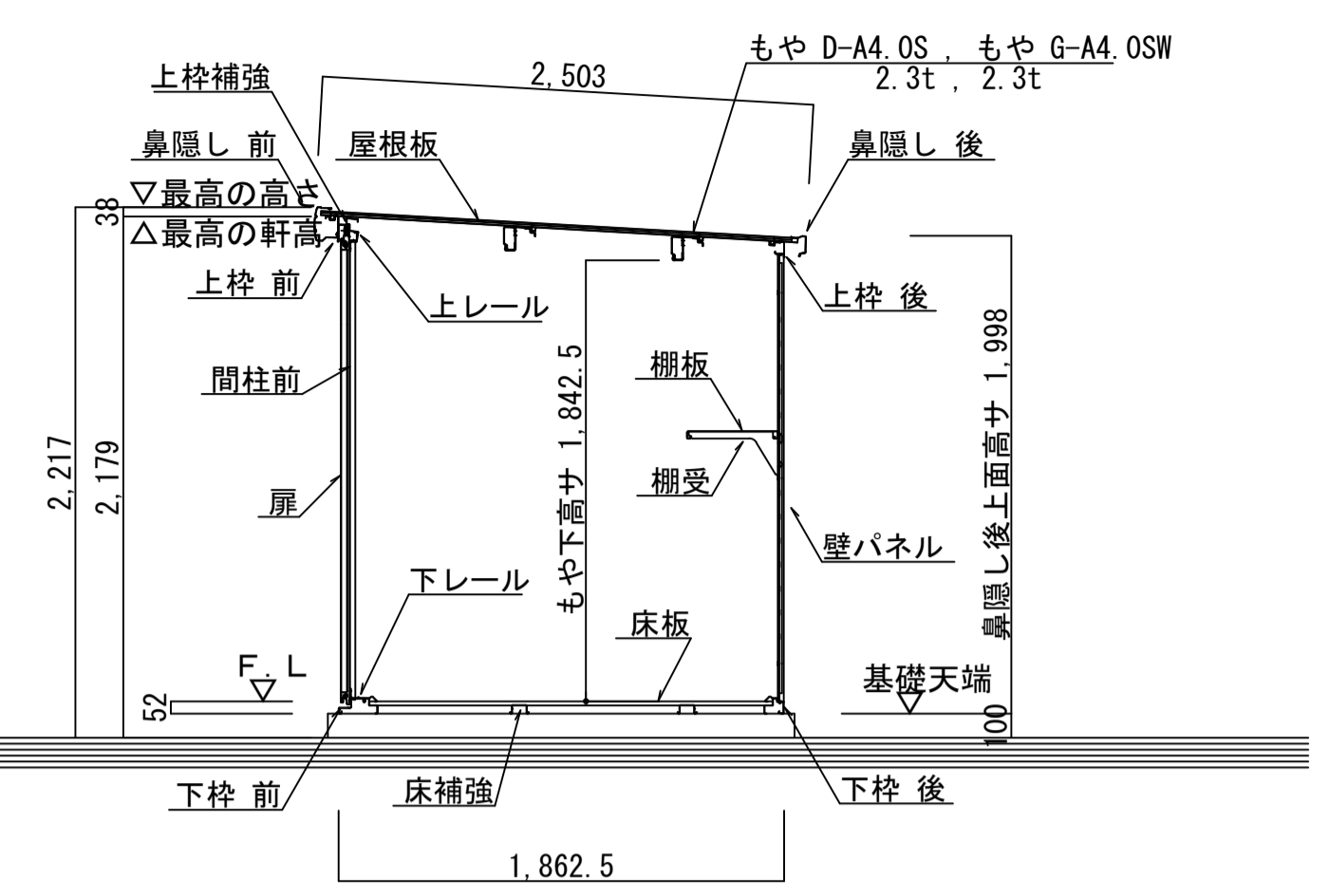
平面図 1:30



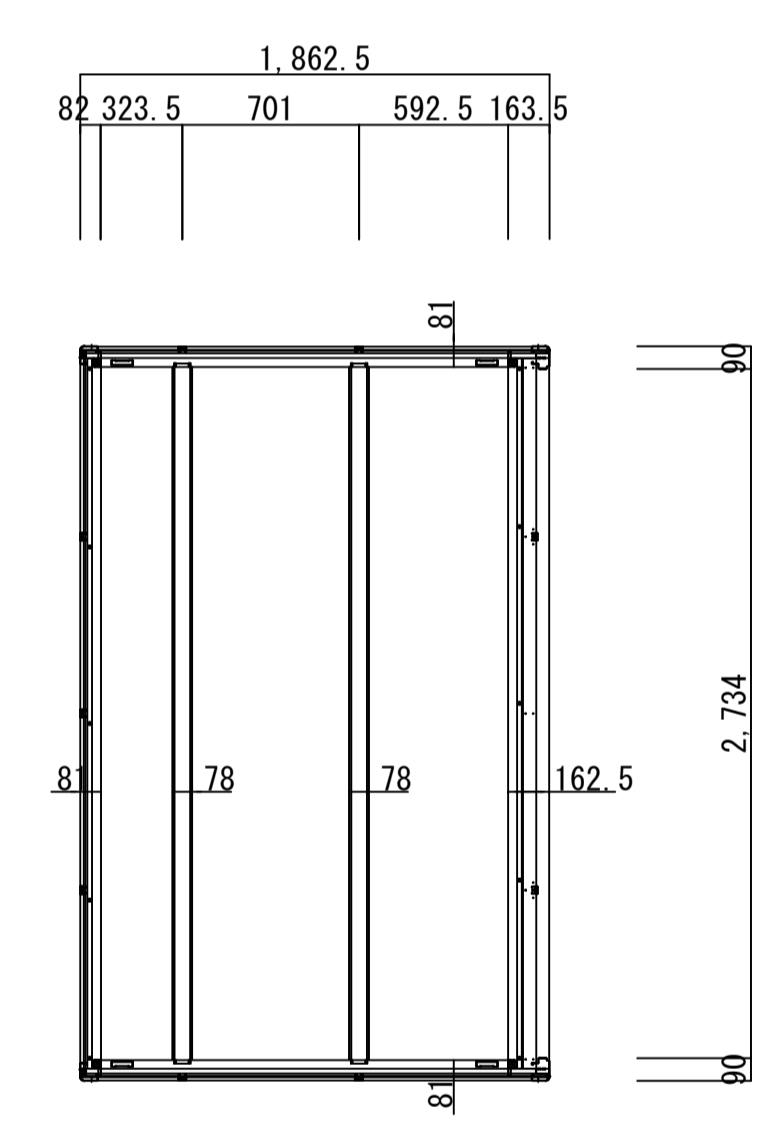
正面立面図 1:30



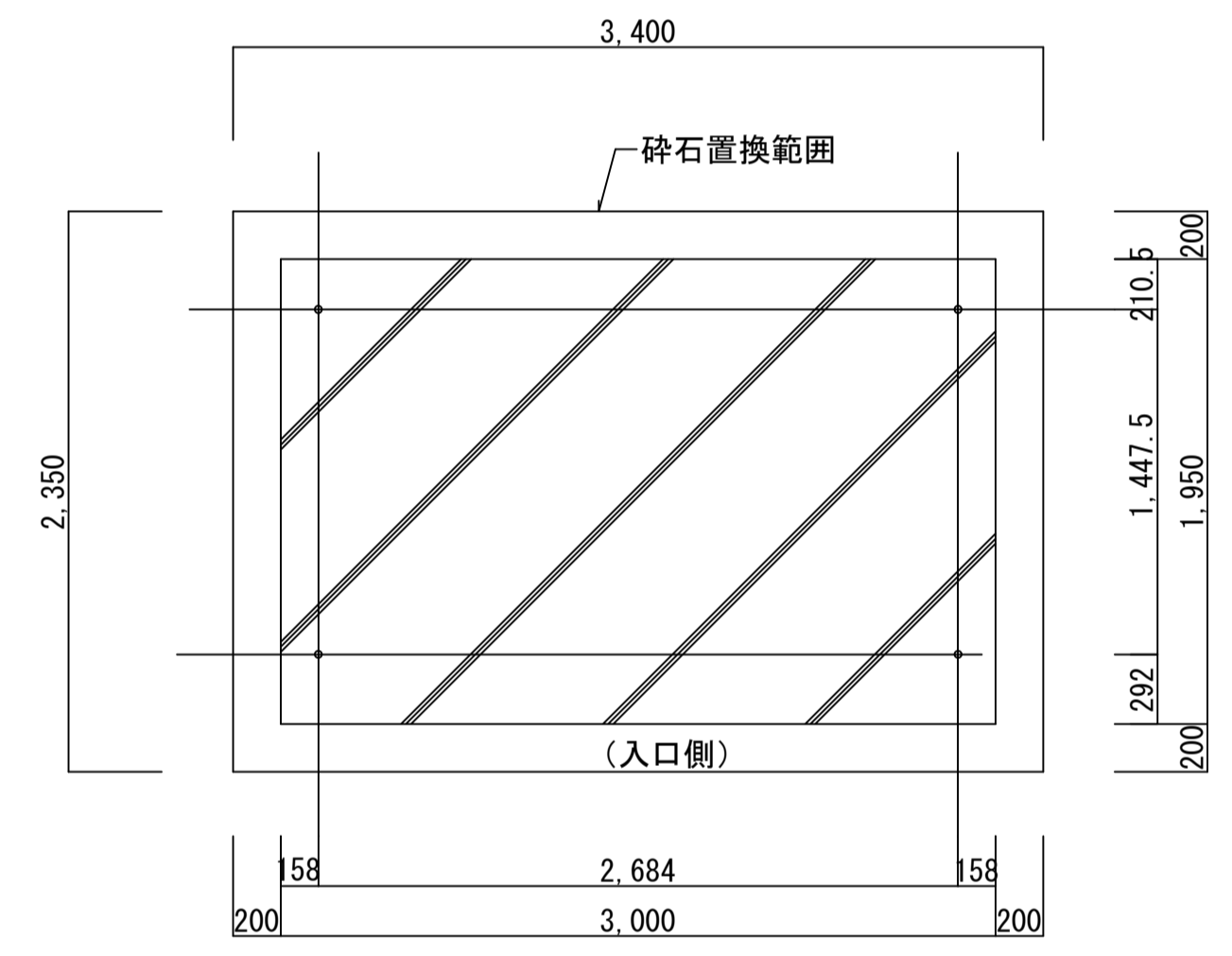
側面立面図 1:30



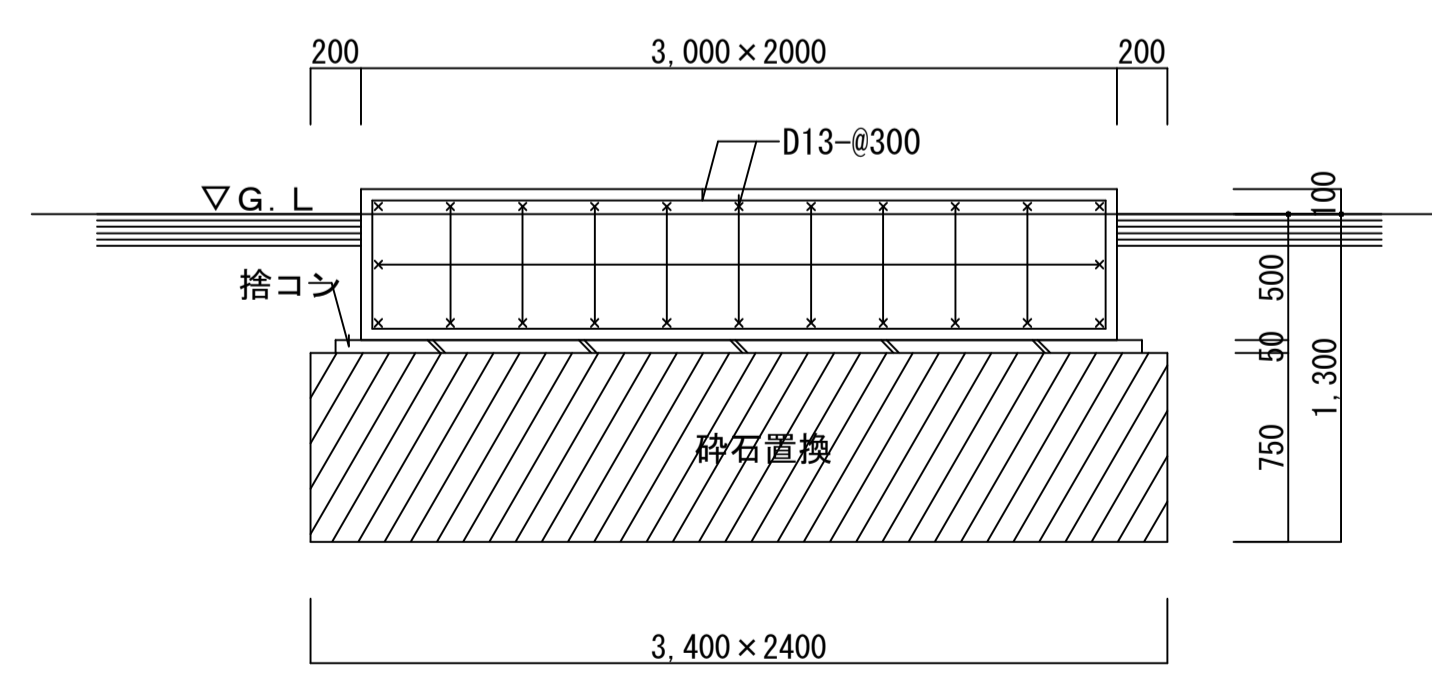
矩計図 1:30



床伏図 1:30



基礎伏図 1:30

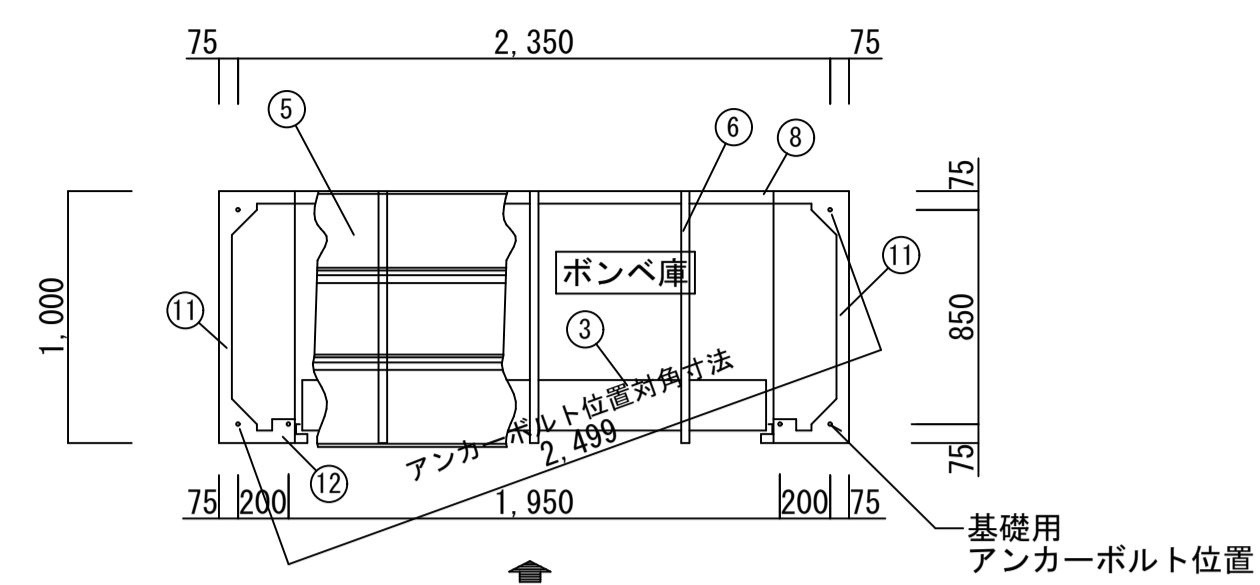


配筋詳細図 1:30

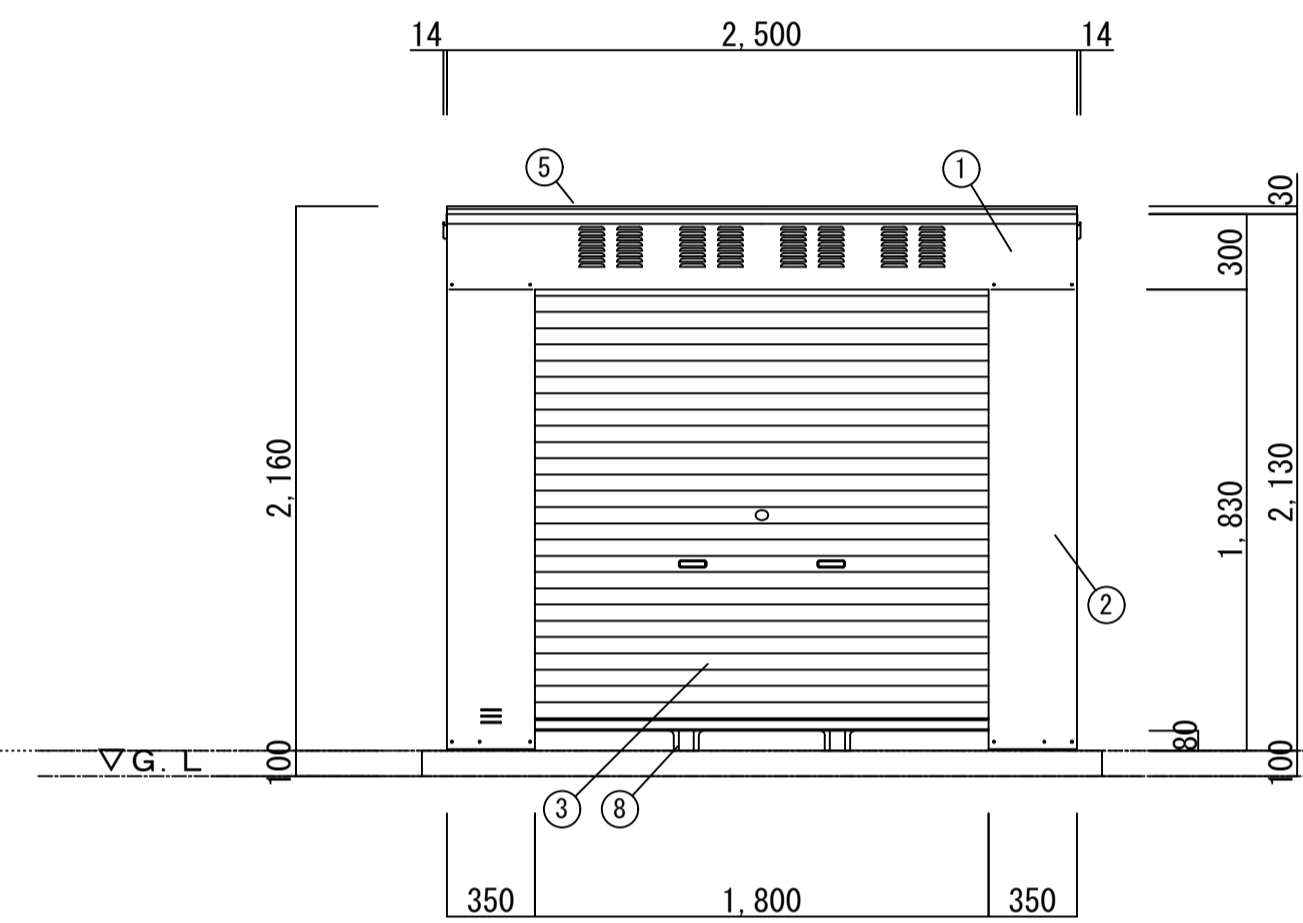
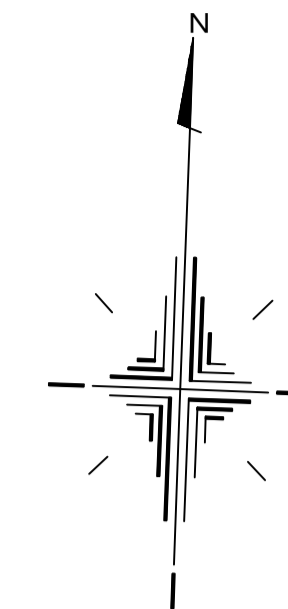
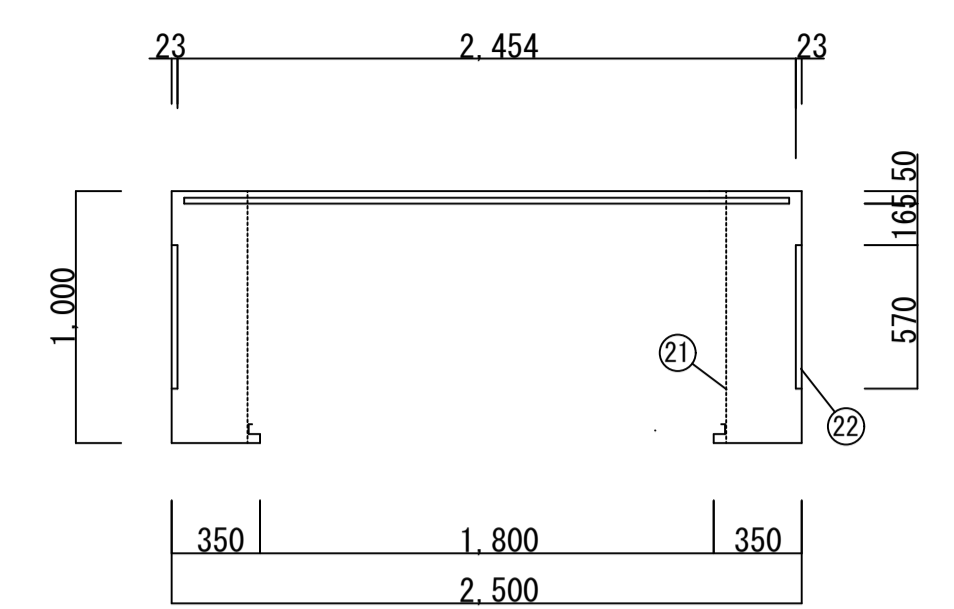
LMDS-2918型		
部 材 名	厚さ (m/m)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床補強	1.2	JIS G3321 溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<積雪型>もや D-A4. OS	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積雪型>もや G-A4. OSW	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠前 (側・後)	1.2 (1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠左, 右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (サトカタ)
上枠補強 (積雪型のみ)	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
上レール	1.2	7%ミニウム合金押出形材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (サトカタ)
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
扉	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
袖壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%7%ミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカープレート (L)	2.3	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC (後塗装仕上げ)

床面積算定表		
2.914 × 1.8625	=	5.42
延べ床面積		5.42
建築面積		5.42

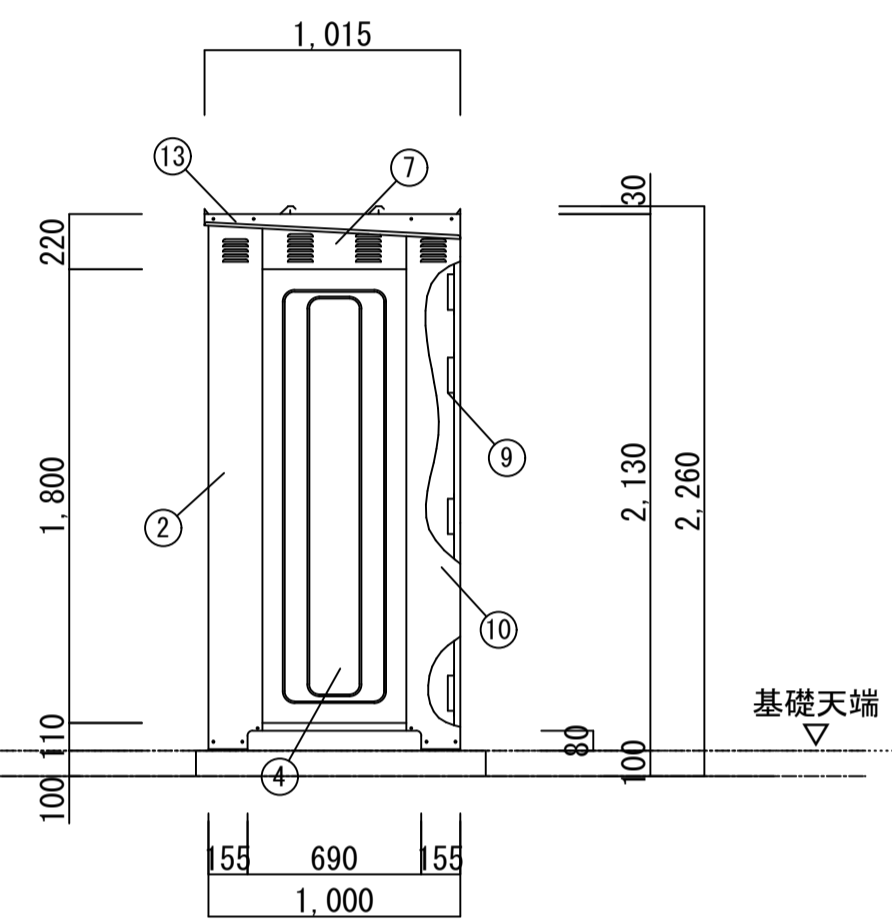
部 材 名	サイズ (巾×高さ)
扉右 L-A	716 × 1938
扉左 L-A	716 × 1938
壁パネル L-A	670 × 1870
壁パネル L-F	319.5 × 1870
袖壁 L-A	670 × 1909



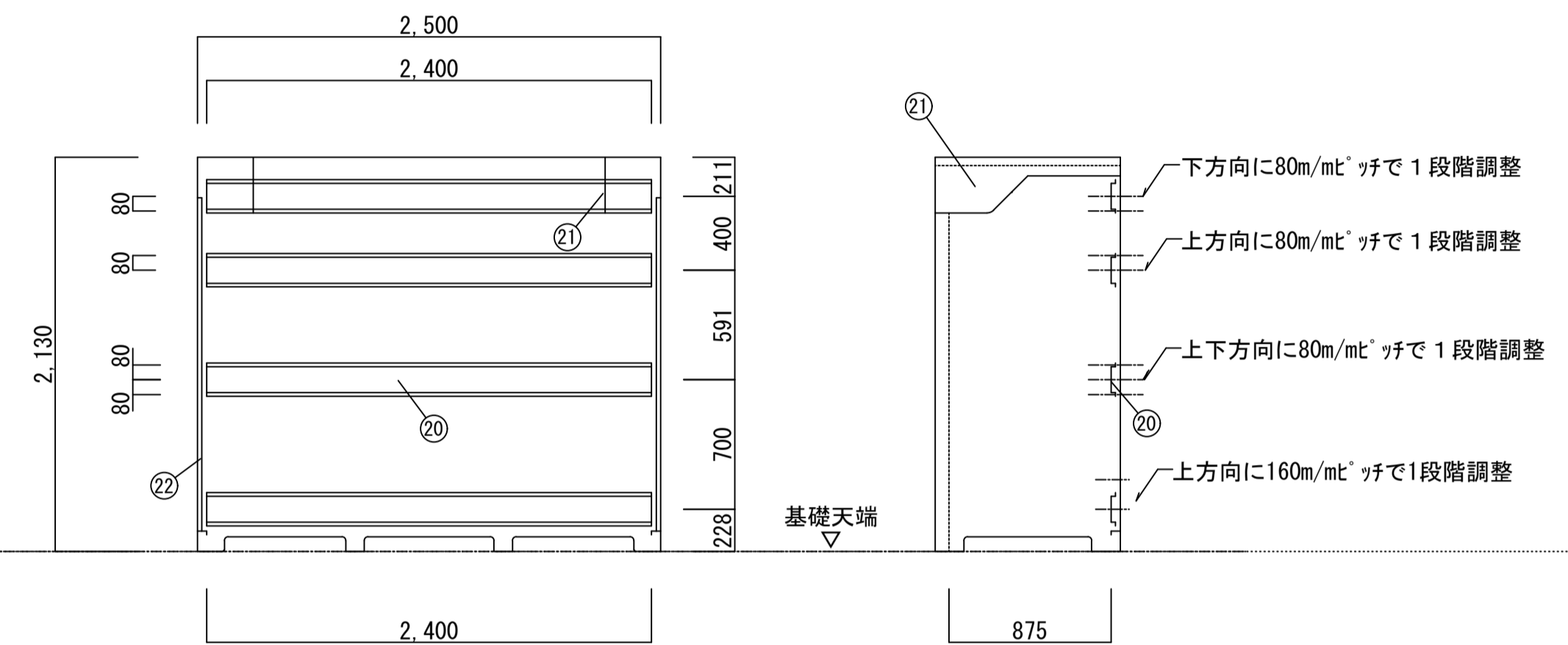
平面図 1:30



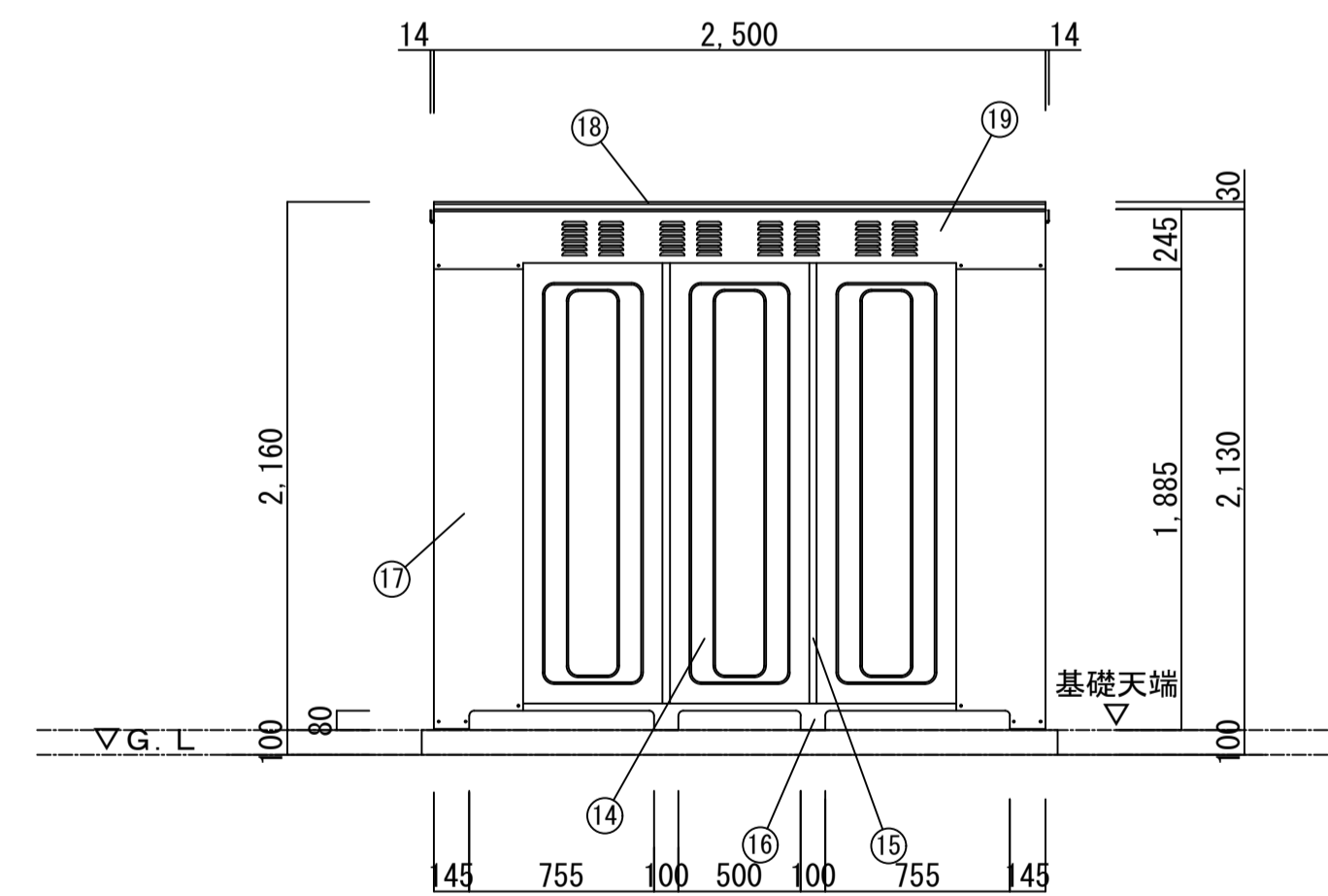
正面立面図 1:30



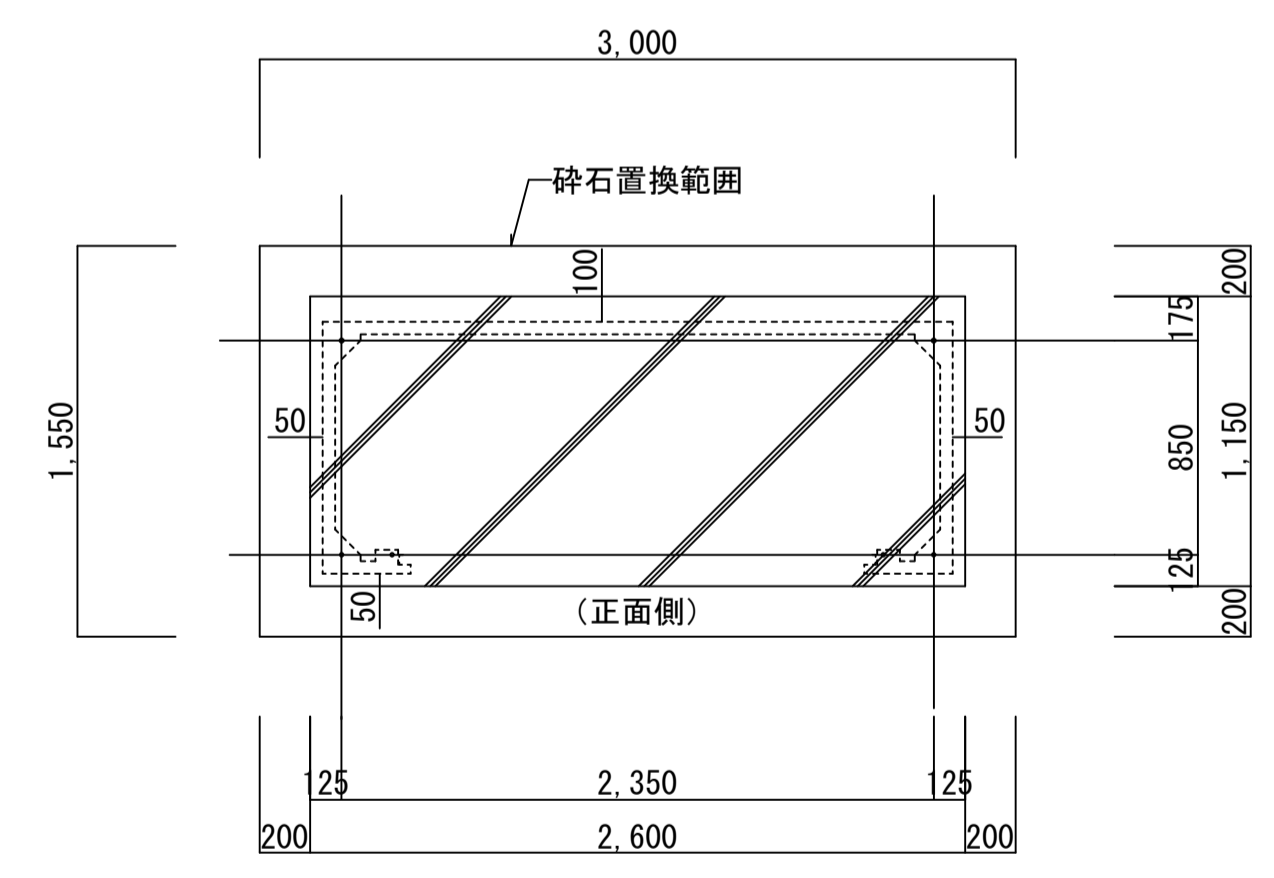
側面立面図 1:30



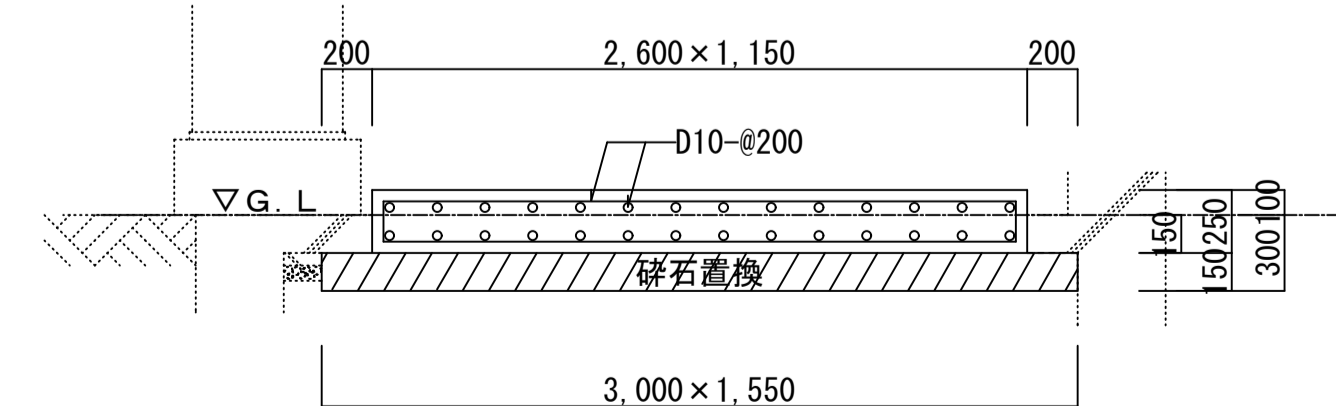
内面図 1:30



背面立面図 1:30



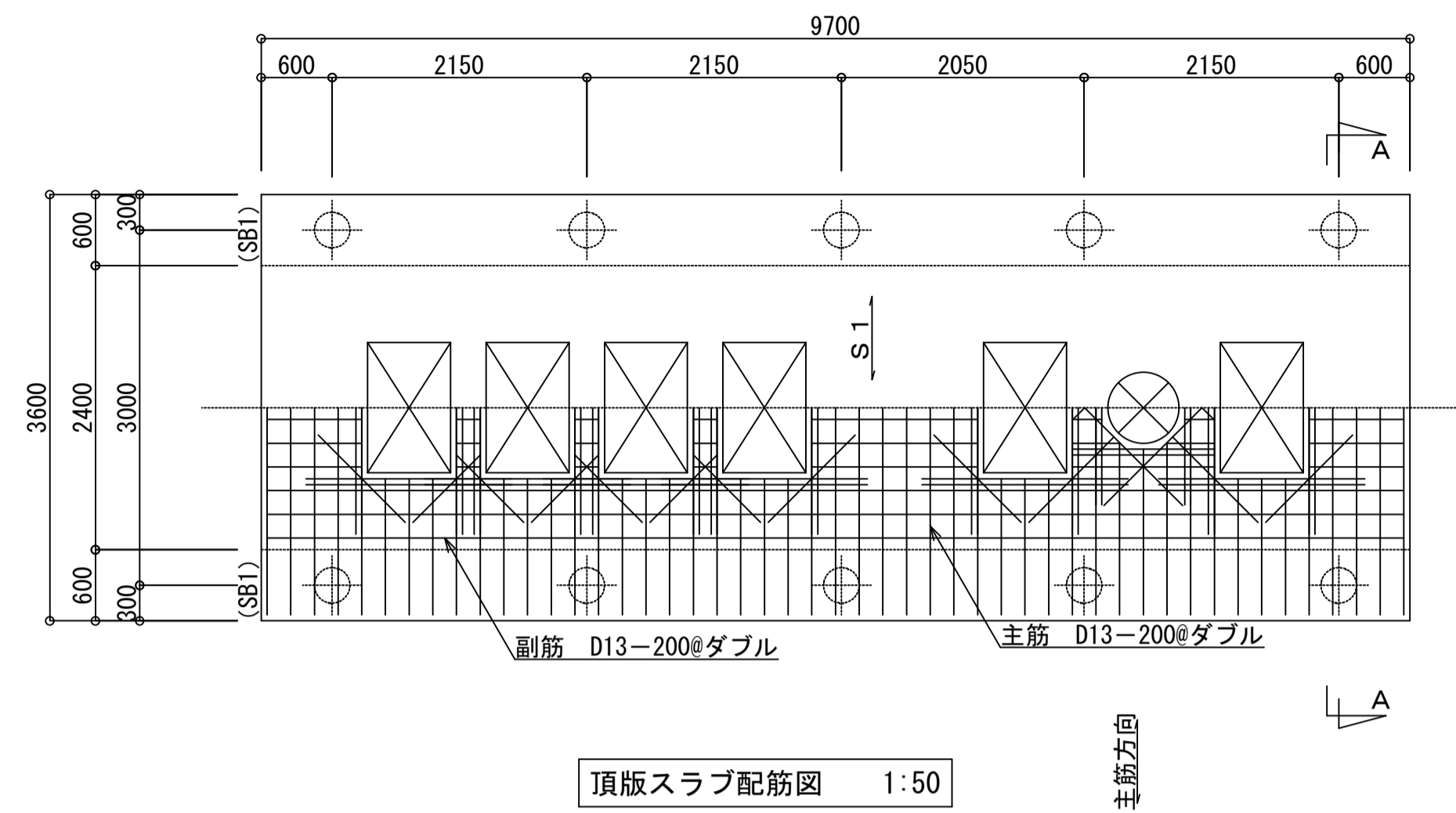
基礎伏図 1:30



配筋詳細図 1:30

BN-500

番号	品名	個数	記事	番号	品名	個数	記事
①	前梁	1	めっき鋼板	⑭	後パネル	3	めっき鋼板
②	前柱	右1左1	めっき鋼板	⑮	間柱	2	めっき鋼板
③	シャッター	1	めっき鋼板 t0.4	⑯	後土台	1	高耐食めっき鋼板
④	側パネル	2	めっき鋼板	⑰	後柱	右1左1	めっき鋼板
⑤	屋根	前1中1後1	高耐食めっき鋼板	⑱	後梁	1	めっき鋼板
⑥	母屋	3	めっき鋼板	⑲	屋根	3	高耐食めっき鋼板
⑦	側梁	2	めっき鋼板	⑳	横棧	4	めっき鋼板
⑧	後土台	1	高耐食めっき鋼板	㉑	シャッターブラケット	右1左1	めっき鋼板
⑨	横棧	4	めっき鋼板	㉒	側パネル	2	めっき鋼板
⑩	後柱	右1左1	めっき鋼板				
⑪	左右土台	2	高耐食めっき鋼板				
⑫	左右前土台	右1左1	高耐食めっき鋼板				
⑬	屋根受け雨樋	右1左1	高耐食めっき鋼板				



頂版スラブ配筋図 1:50

主筋方向

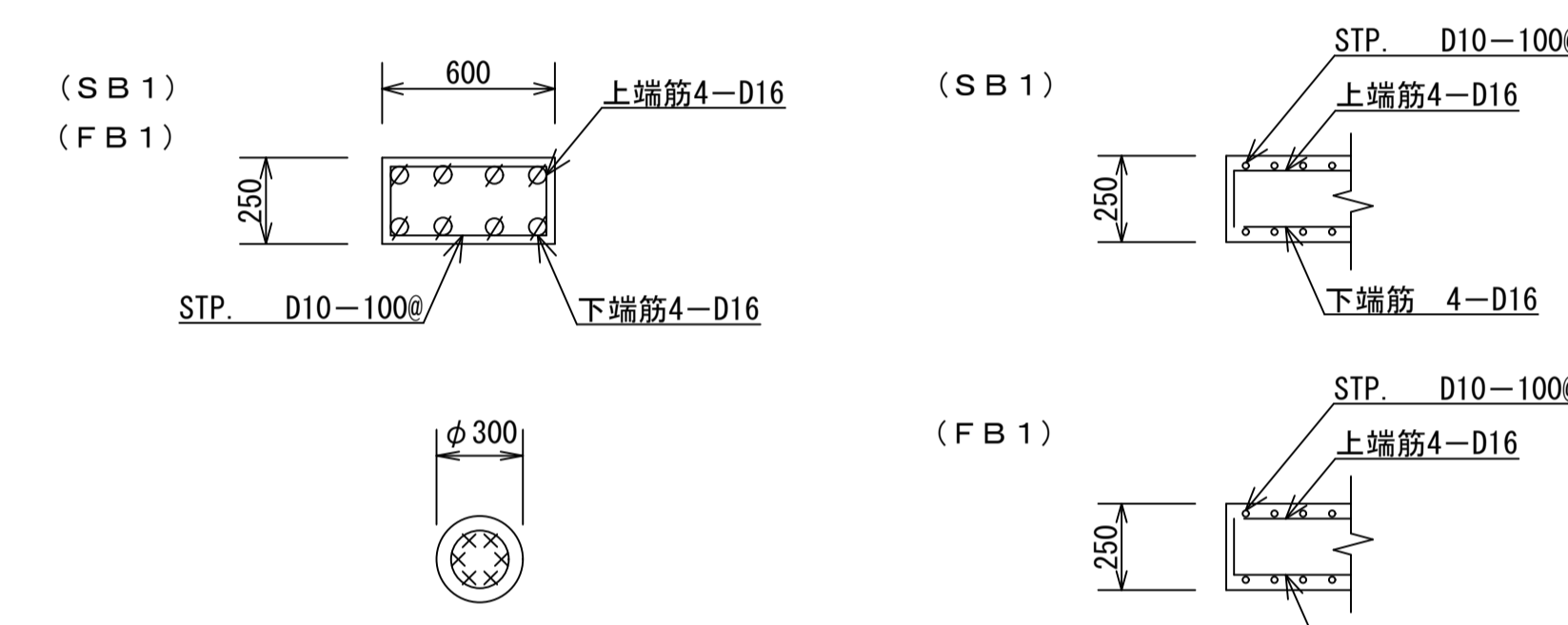
共通事項

凡例	· --- D10   x --- D13   ∅ --- D16 ● --- D19   ○ --- D22
鉄筋	D16以下—SD295 使用とする。 D19以上—SD345 使用とする。
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$ とする。
スラブ荷重	T-20
地耐力	$65 \text{ kN/m}^2$ とする。
その他	詳細は現場係員の指示による。

スラブリスト

スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	250	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル
FS1	250	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル

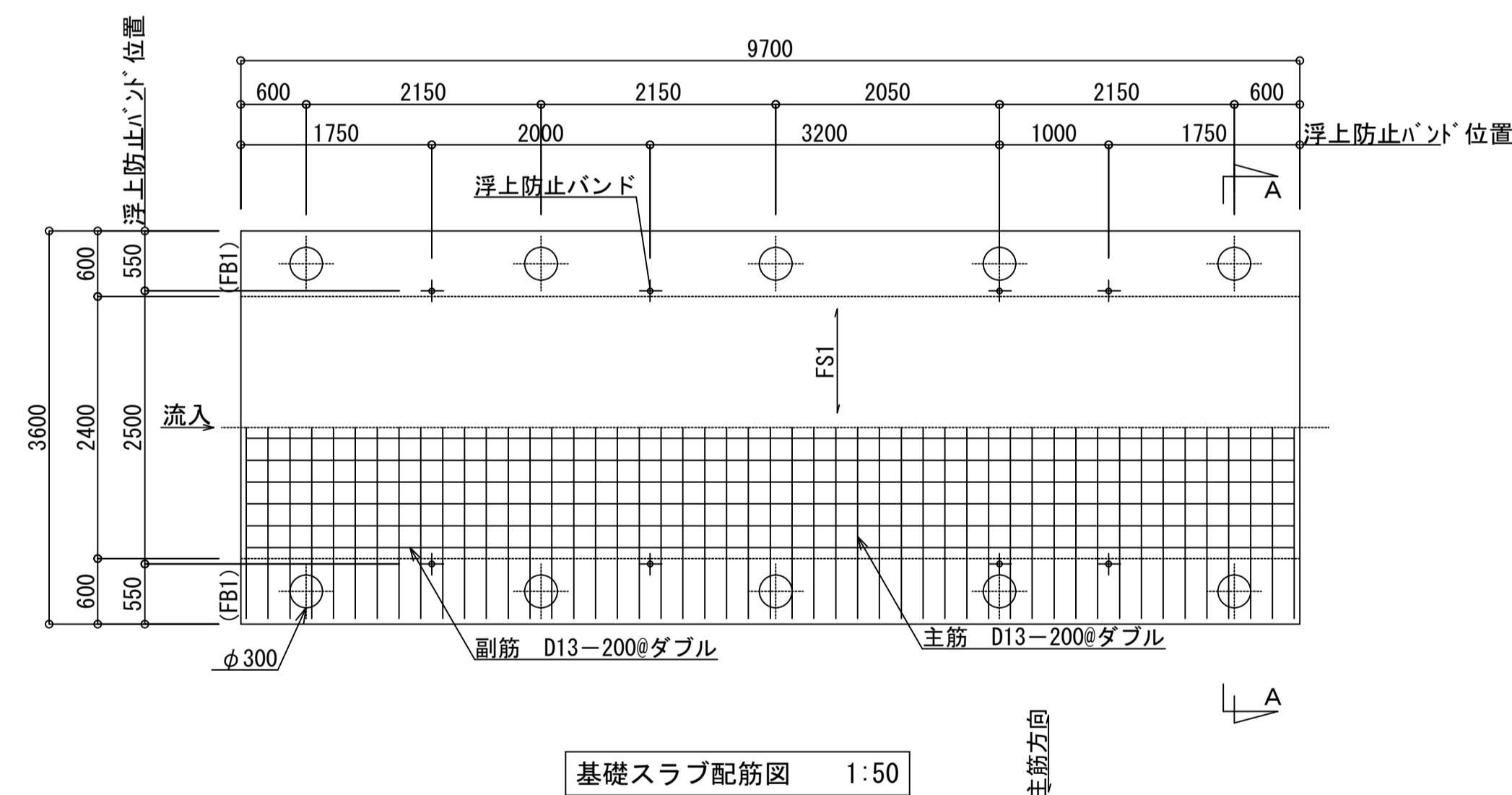
スラブ筋等の重ねつぎで長さは、D16以下が40d以上、  
D19以上を45d以上とする。



主筋 6-D13  
帯筋 D10-100

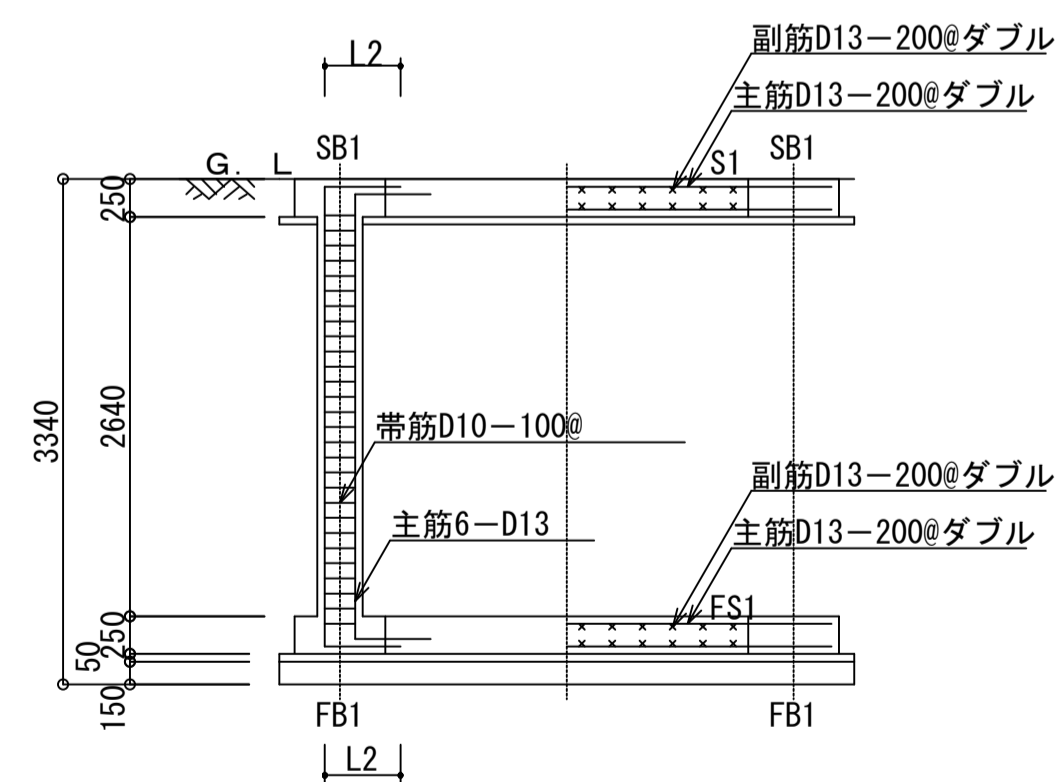
柱、梁リスト

梁端部断面図



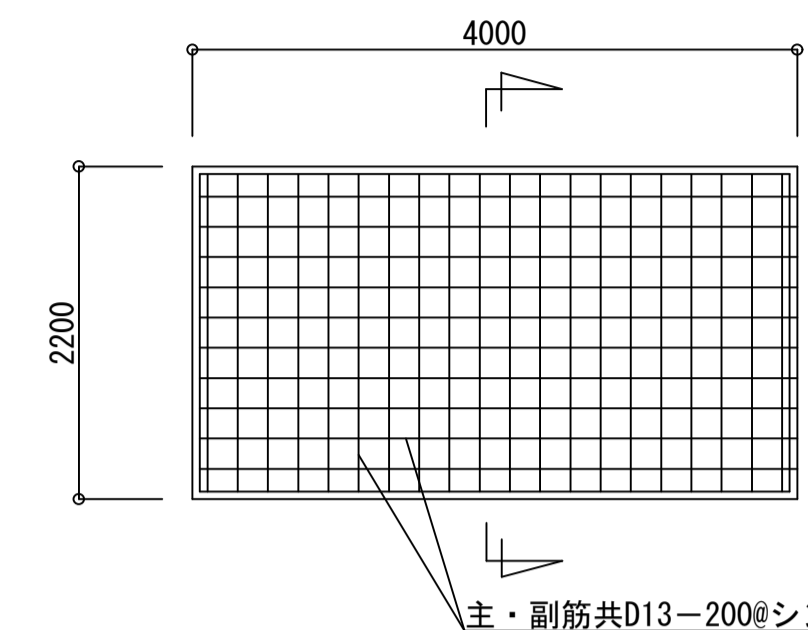
基礎スラブ配筋図 1:50

主筋方向

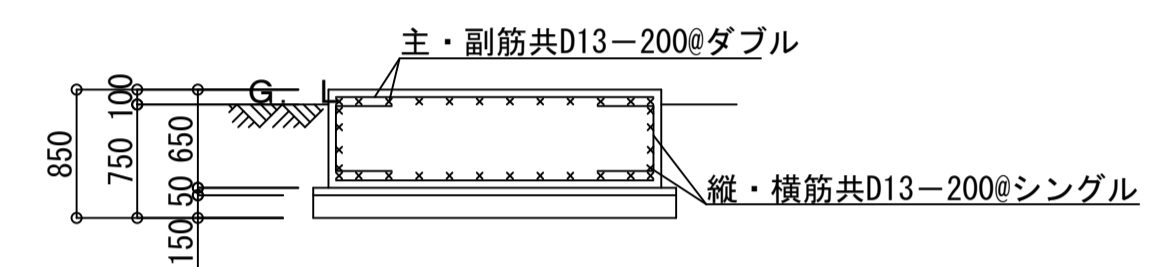


定着長さ  $L2 = 35d$

A-A断面配筋図 1:50

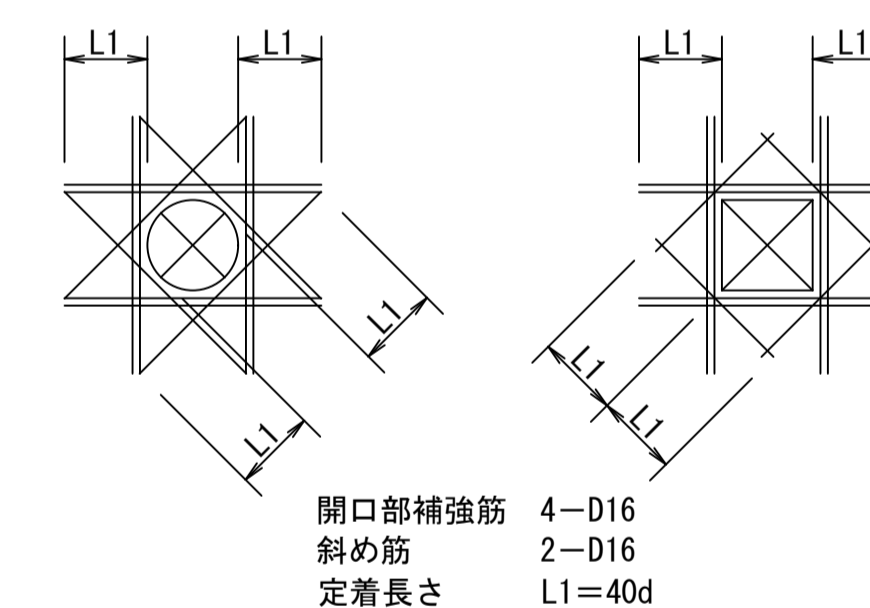


主・副筋共D13-200@シングル

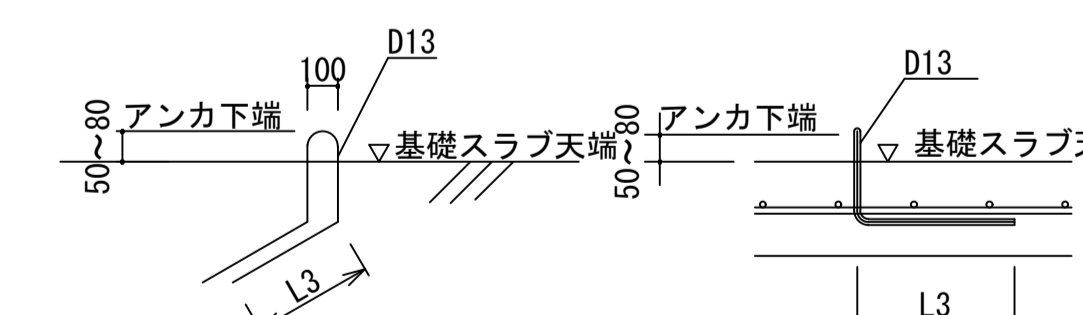


機械室基礎H=650  
機械基礎配筋図 1:50

主筋方向



開口部補強筋



断面図

浮上防止具アンカー図 SS+Zn

定着長さ  $L3 = 40d$  下端筋に定着のこと